

いわき市 子どもの生活実態調査

－調査結果報告書－

令和6年12月

いわき市 こどもみらい部 こどもみらい課

<目 次>

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査設計	1
3	回答状況	1
4	調査結果の見方	2
II	保護者調査結果	3
1	世帯のことについて	3
1-1	居住地区	3
1-2	回答者	3
1-3	親の婚姻状況	4
1-4	親が離婚・未婚の場合の相手との養育費の取り決め	4
1-5	同居者の続柄	5
1-6	同居者の就業状況	6
1-7	世帯タイプ	7
1-8	生活困難度	8
2	子どもとの関わりについて	10
2-1	【回答者】子どもとの関わりの頻度	10
2-2	【配偶者】子どもとの関わりの頻度	12
2-3	【回答者】家庭内で子どもと過ごす時間（平日1日あたり）	14
2-4	【配偶者】家庭内で子どもと過ごす時間（平日1日あたり）	16
2-5	【回答者】家庭内で子どもと過ごす時間（休日1日あたり）	18
2-6	【配偶者】家庭内で子どもと過ごす時間（休日1日あたり）	20
2-7	子どもに対してしてあげていること	22
2-8	子どもをどのように思っているか	24
2-9	子どもに受けさせたい教育段階	29
2-10	子どもに受けさせたい教育段階の理由	30
2-11	子どもの将来について一緒に考えたり話したりすること	32
3	周囲の人との関わりについて	33
3-1	普段の近所の方との交流	33
3-2	子育てに関しての心配事や悩み事	34
3-3	次の事柄で頼れる人の有無	35
3-4	次の事柄で頼れる人	38
4	家計の状況について	41
4-1	昨年（令和5年）1年間の世帯収入	41
4-2	昨年（令和5年）1年間の世帯収入の合計金額（税込）	42
4-3	現在の暮らしの状況	43
4-4	過去1年間に経済的理由で食料を買えなかったこと	44

4-5	過去1年間に経済的理由で衣類を買えなかったこと	45
4-6	過去1年間に経済的理由で次の料金が払えなかったこと	46
4-7	経済的理由で世帯にないもの	53
5	子育て支援について	54
5-1	子育てに関する施策等の情報源	54
5-2	次のような場所の利用状況	55
5-3	次のような場所の利用意向	59
5-4	以下の支援制度の利用状況	63
5-5	以下の支援制度を利用したことがない理由	68
6	子どもの学校への登校状況について	73
6-1	子どもの現在の学校への登校状況	73
6-2	子どもの学校での過ごし方	74
6-3	子どもが不登校の日の日中に最も多く過ごしている場所	75
7	自身のことについて	76
7-1	最近の生活の満足度	76
7-2	困っていることや悩み事、市への要望等	77

Ⅲ 児童・生徒調査結果 80

1	基本的な属性について	80
1-1	性別	80
2	普段の生活習慣や健康状態について	81
2-1	1週間の食事頻度	81
2-2	朝食を食べないことがある理由	84
2-3	夕食を食べないことがある理由	84
2-4	夏休みや冬休みなどに昼食を食べないことがある理由	85
2-5	自分の健康状態をどう感じるか	86
3	家族や友達との関係について	87
3-1	夕食は家族の誰かと一緒に食べているか	87
3-2	一人で夕食を食べるときよく食べているもの	87
3-3	一番仲の良い友達はどのような友達か	88
3-4	小学生になる前の経験	89
4	自身が考えていることなどについて	93
4-1	思いや気持ちについて最も近いもの	93
4-2	次のことにはどの程度あてはまるか	95
4-3	将来の夢はあるか	99
4-4	悩みごとや心配ごと、困りごと、誰かに相談したいこと	100
4-5	困った時に相談できる人	101
4-6	最近の生活の満足度	102
5	放課後の過ごし方について	103
5-1	放課後の過ごし方	103

5-2	放課後に家に帰った時にいる人.....	104
5-3	放課後に家で一人で過ごすとき不安を感じるか.....	105
5-4	放課後どのように過ごすことが多いか.....	106
5-5	家や学校以外に居心地がいい居場所があるか.....	107
5-6	家や学校以外で居心地がいい居場所.....	108
5-7	学校の授業以外での1日あたり勉強時間.....	110
5-8	学校の授業以外で勉強を全くしない理由.....	111
6	学校での授業や進学のことについて.....	112
6-1	学校の授業がわからないことがあるか.....	112
6-2	将来希望する進学段階.....	113
6-3	将来希望する進学段階の理由.....	114
6-4	学校の部活動や地域のクラブの参加状況.....	116
6-5	学校の部活動や地域のクラブに参加していない理由.....	117
7	生活状況について.....	118
7-1	自分が使うことができる次のものを持っているか.....	118
7-2	自分が使うことができる次のものを欲しいか.....	128
7-3	普段の活動頻度.....	130
7-4	家族の中でお世話をしている人.....	132
7-5	家事や家族のお世話によってやりたいけどできていないこと.....	133
7-6	「ヤングケアラー」という言葉の認知度.....	134

IV 使用した調査票..... 135

I 調査概要

1 調査の目的

地域における子ども・子育て支援に係る課題を把握し、課題解決に向けた仕組みづくりや、新たな事業構築などの対応策を検討するため、本調査を実施しました。

2 調査設計

調査種別	項目	内容
①小学5年生 (児童・保護者調査)	調査対象者	市内の小学5年生の児童及びその保護者 1,519人(世帯)
	調査方法	学校配布・回収
	調査期間	令和6年4月17日～4月26日
②中学2年生 (生徒・保護者調査)	調査対象者	市内の中学2年生の生徒及びその保護者 1,532人(世帯)
	調査方法	学校配布・回収
	調査期間	令和6年4月17日～4月26日

3 回答状況

調査種別		配布数	有効回収数 (率)	このうち、児童・生徒票と 保護者票の両方の回答が得られ た(親子のマッチングができた) 世帯(率)
①小学5年生	児童調査	1,519	953 (62.7%)	938 (61.8%)
	保護者調査	1,519	949 (62.5%)	
②中学2年生	生徒調査	1,532	1,000 (65.3%)	953 (62.2%)
	保護者調査	1,532	1,012 (66.1%)	

※本報告書では、児童・生徒票及び保護者票の各設問の単純集計結果のほか、設問によっては「世帯タイプ別」「生活困難度別」のクロス集計結果を掲載しています。

なお、クロス集計においては、上記の「児童・生徒票と保護者票の両方の回答が得られた(親子のマッチングができた)世帯」のみを集計対象としています。

4 調査結果の見方

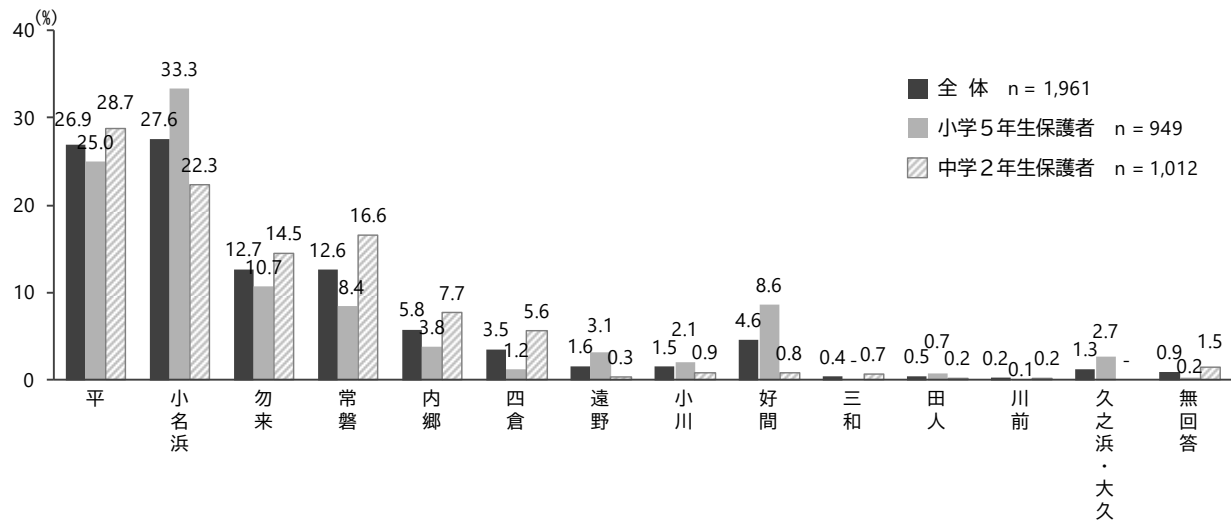
- n (number of cases) は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- 回答割合は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。したがって、単一回答式の質問においては、回答割合を合計しても100.0%にならない場合があります。
また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 回答が皆無（0件）であった選択肢の回答割合は、図表中では「-」と表記しています。なお、一部、図表の見やすさを考慮して「-」を非掲載としている場合があります。
- 図表中またはコメント中で2つ以上の選択肢の回答割合の合算値を掲載している箇所は、四捨五入の関係で、個々の回答割合の単純な足し上げ値と一致しない場合があります。
- 調査数（n）が少数のものは、回答割合の信頼性が低いため、コメントを省略している場合があります。
- 図表及びコメントで、選択肢の語句等を一部簡略化等している場合があります。

II 保護者調査結果

1 世帯のことについて

1-1 居住地区

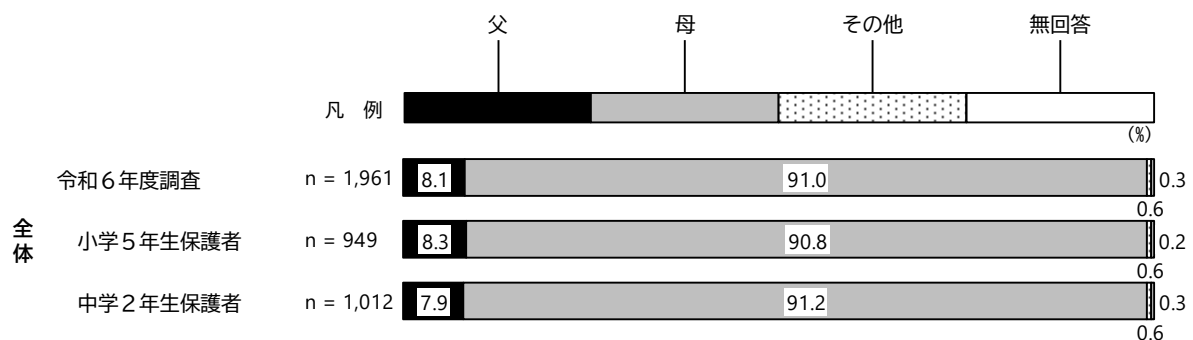
問1 どちらの地区にお住まいですか。(○は1つ)



居住地区について、全体では「小名浜」が27.6%と最も高く、次いで「平」(26.9%)、「勿来」(12.7%)、「常磐」(12.6%)となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者で地区ごとに多少の違いはあるものの、概ね類似した傾向となっています。

1-2 回答者

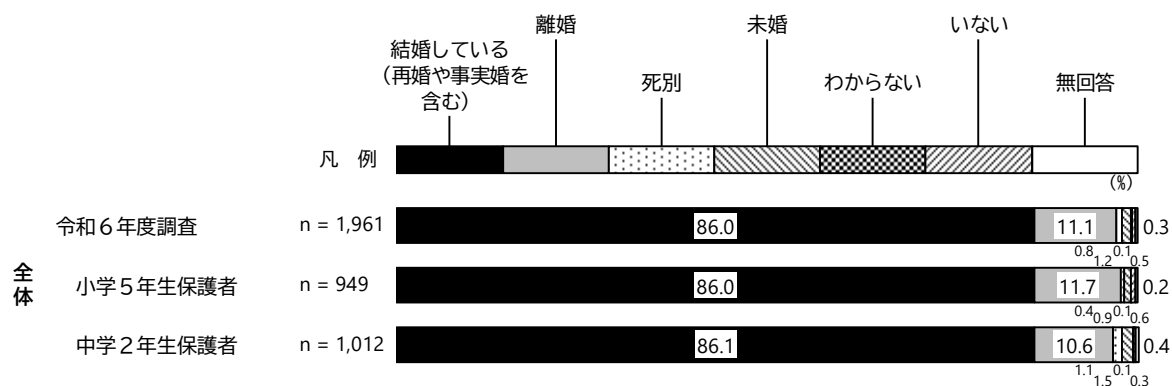
問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)



この調査票への回答者について、全体では「母」が91.0%と9割以上、「父」は8.1%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

1-3 親の婚姻状況

問3 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況について教えてください。
(○は1つ)

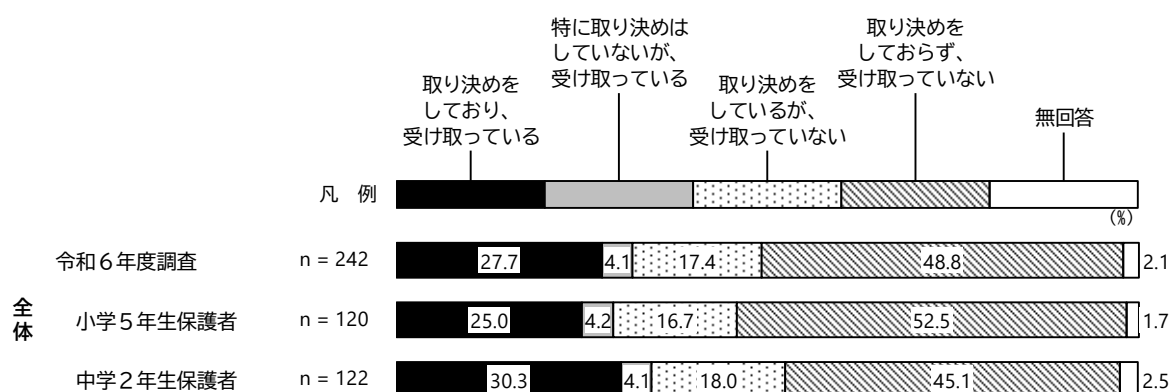


親の婚姻状況について、全体では「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が86.0%と最も高く、次いで「離婚」が11.1%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

1-4 親が離婚・未婚の場合の相手との養育費の取り決め

【問3で「離婚」又は「未婚」を選択した方のみ】

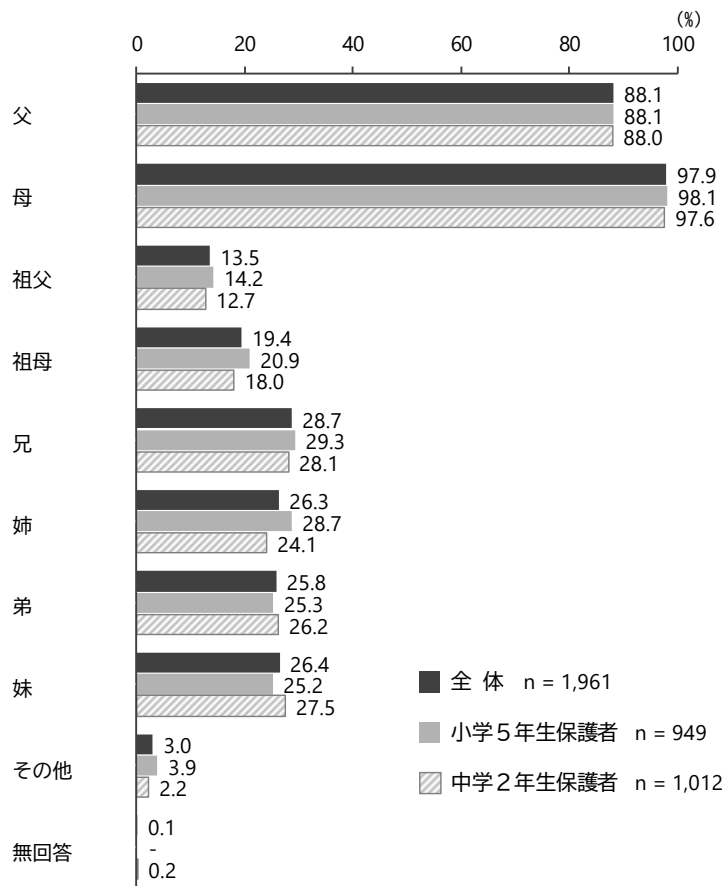
問4 相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(○は1つ)



親が離婚・未婚の場合の相手との養育費の取り決めについて、全体では「取り決めをしておらず、受け取っていない」が48.8%と最も高く、次いで「取り決めをしており、受け取っている」(27.7%)、「取り決めをしているが、受け取っていない」(17.4%)となっており、養育費を「受け取っていない」人は合わせて66.1%となっています。小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

1-5 同居者の続柄

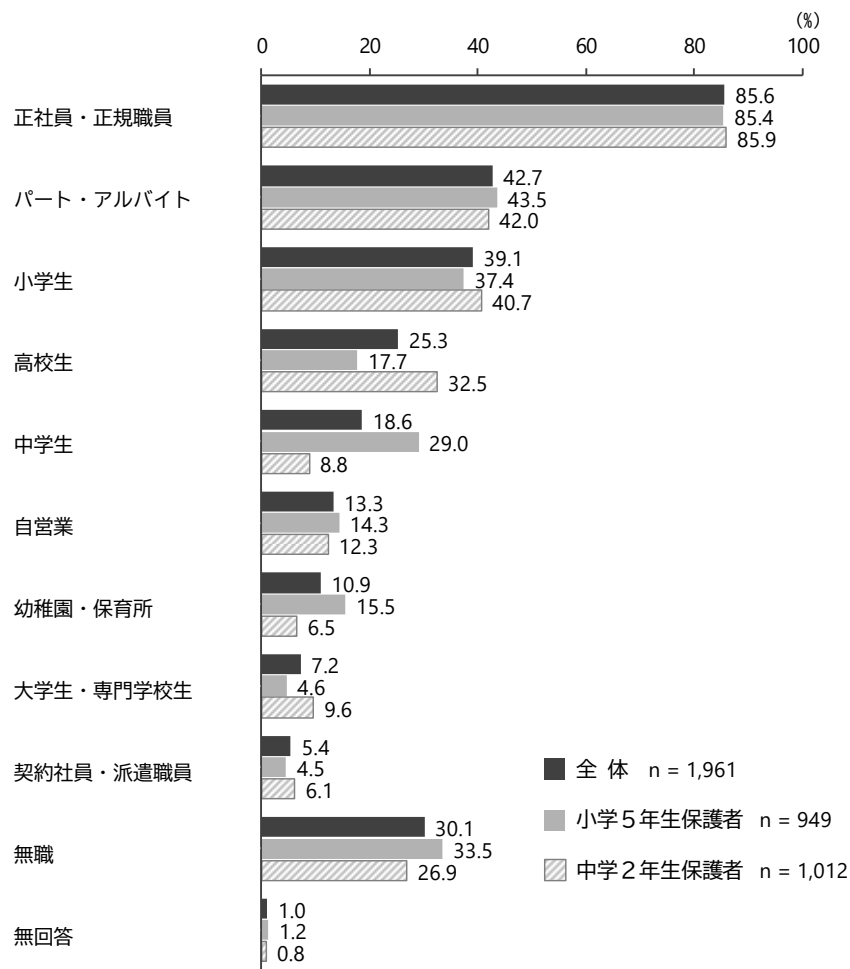
問5 お子さんと同居している方について、お子さんからみた続柄と就業状況をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合も、同居しているものとしてお答えください。



子どもからみた同居者(単身赴任中等の方も含む)の続柄について、全体では「父」が88.1%、「母」が97.9%、祖父母が約1～2割、兄弟姉妹が2割台半ば～3割となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

1-6 同居者の就業状況

問5 お子さんと同居している方について、お子さんからみた続柄と就業状況をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合も、同居しているものとしてお答えください。



子どもからみた同居者（単身赴任中等の方も含む）の就業状況について、全体では「正社員・正規職員」が85.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」(42.7%)、「小学生」(39.1%)となっており、小学5年生保護者では「中学生」の割合が、中学2年生保護者では「高校生」の割合が高くなっています。

1-7 世帯タイプ

世帯の状況に応じた生活困難を把握するため、親子のマッチングができた世帯（P.I 回収状況参照）について、問3、問5の回答をもとに「世帯タイプ」別に分類しました。具体的な分類基準については以下のとおりです。

世帯タイプ	問3 親の配偶関係	問5 同居者の続柄	問5 同居者の就労状況
ひとり親世帯			
祖父母等の同居なし	離婚・死別・未婚	祖父母等※が同居していない	—
祖父母等の同居あり	離婚・死別・未婚	祖父母等※が同居	—
ふたり親世帯			
共働き	結婚している	—	父母ともに就労
父親または母親のどちらかのみ就労	結婚している	—	父親または母親のどちらかのみ就労

※祖父母等：回答者の子どもからみた「祖父」「祖母」「その他」

世帯タイプの具体的な内訳は以下のとおりです。

親子のマッチングができた世帯（P.I 回収状況参照）		1,891 世帯
世帯タイプ	ひとり親世帯	252 世帯（13.3%）
	祖父母等の同居なし	172 世帯（9.1%）
	祖父母等の同居あり	80 世帯（4.2%）
	ふたり親世帯	1,568 世帯（82.9%）
	共働き	1,292 世帯（68.3%）
	父親または母親のどちらかのみ就労	276 世帯（14.6%）
	世帯タイプの把握が困難※	71 世帯（3.8%）

※問3、問5の回答内容から、世帯タイプの分類ができなかった世帯

1-8 生活困難度

世帯の経済状況や家庭環境などによる生活困難を把握するため、親子のマッチングができた世帯（P.I 回収状況参照）について、「①低所得」「②家計の逼迫」「③子どもの体験や所有物の欠如」により「生活困難度」別に分類しました。

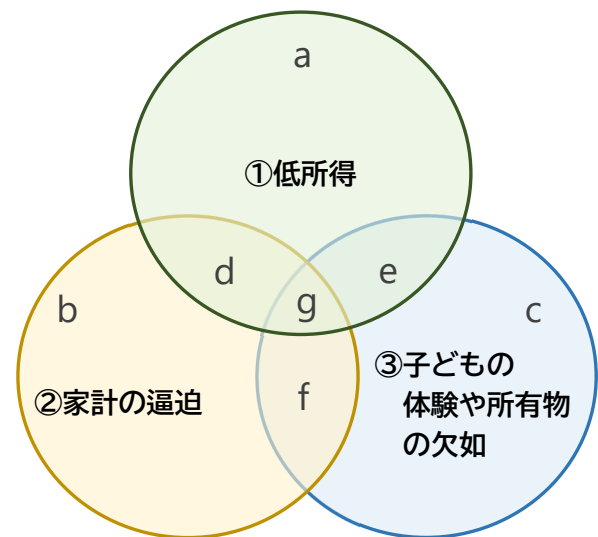
所得による分類は、先進諸国の貧困の測定に最も一般的に用いられるものですが、本調査においては、自記式の質問紙調査であるため、把握できる世帯所得の精緻度が限られています。そこで、所得データを補完し、より精緻な分析を行うために、「②家計の逼迫」と「③子どもの体験や所有物の欠如」も含めた3要素による分類を行いました。

具体的な分類基準については以下のとおりです。

①低所得	③子どもの体験や所有物の欠如
世帯年収（問 17）の選択肢の中間値をその世帯の年収とする （例：「50 万円未満」は 25 万円、「50～100 万円未満」は 75 万円とする。なお、「1000 万円以上」は 1050 万円とする） 上記の値を、問 5 の続柄の回答状況から算出した世帯人数の平方根で除す （例：世帯人数 4 人であれば 2 で除す） こうして得られた値（等価世帯収入）の中央値を求め、「中央値の 2 分の 1 未満」の等価世帯収入だった世帯を「①低所得」と分類	子どもの体験（問 8）や所有物（問 22）に関する 12 項目のうち、<u>経済的な理由で、欠如している項目が 3 つ以上該当</u> 1 毎月お小遣いを渡す 2 毎年新しい洋服・靴を買う 3 習い事に通わせる 4 学習塾に通わせる（家庭教師に来てもらう） 5 誕生日のお祝いをする 6 年 1 回程度、家族旅行に行く 7 クリスマスプレゼントやお年玉をあげる 8 子どもの学校行事などに親が参加する 9 子どもの年齢にあった本 10 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ 11 子どもが宿題をする場所 12 子どもが必要とする文具や教材
②家計の逼迫	
<u>経済的な理由で、食料・衣服を買えなかった経験</u>（問 19・問 20）、<u>公共料金や家賃を支払えなかった経験</u>（問 21）などの 7 項目のうち、<u>1 つ以上が該当</u> 1 家族が必要とする食料をときどき・よく買えなかったことがあった 2 家族が必要とする衣料をときどき・よく買えなかったことがあった 3 電話料金 4 電気料金 5 ガス料金 6 水道料金 7 家賃や住宅ローン ※問 21 については、全 7 項目のうち、未払いにより基本的な生活水準を保つことが困難になると考えられる 5 項目のみを基準として定義	

前述した「①低所得」「②家計の逼迫」「③子どもの体験や所有物の欠如」の3要素のうち、2つ以上に該当する世帯を「困窮層」、1つに該当する世帯を「周辺層」と定義し、これらを合わせて「生活困難層」と定義しました。また、いずれの要素にも該当しない世帯を「一般層」と定義しました。

生活困難度の具体的な内訳は以下のとおりです。



親子のマッチングができた世帯 (P.I 回収状況参照。以下同じ)		1,891 世帯
生活困難度	生活困難層 (a+b+c+d+e+f+g)	447 世帯 (23.6%)
	困窮層 (d+e+f+g)	151 世帯 (8.0%)
	周辺層 (a+b+c)	296 世帯 (15.7%)
	一般層 (いずれの要素にも該当しない)	1,381 世帯 (73.0%)
	生活困難度の把握が困難※	63 世帯 (3.3%)

※前述の分類基準に関連する設問の回答内容から、生活困難度の分類ができなかった世帯

前述した世帯タイプ（ひとり親世帯・ふたり親世帯）ごとに、生活困難度の内訳を示したのが以下の表になります。ひとり親世帯では61.5%の世帯が「生活困難層」に該当しており、ふたり親世帯に比べてより困難な状況があることがうかがえます。

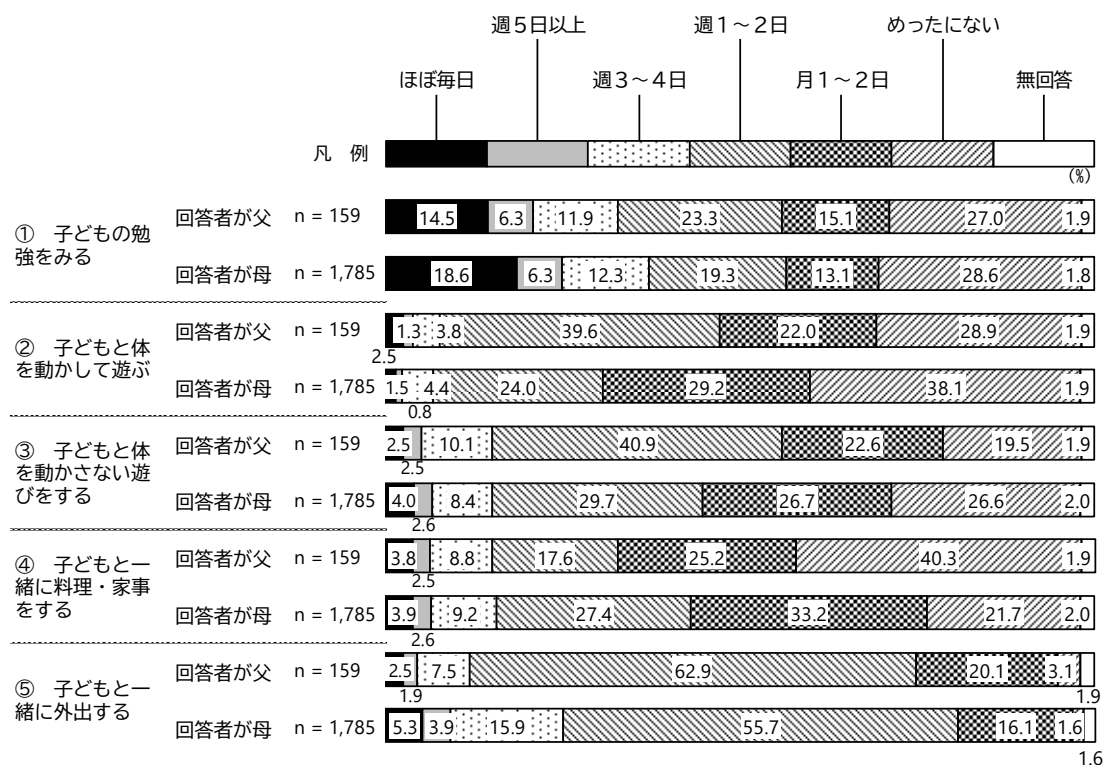
		生活困難度				
		生活困難層	困窮層	周辺層	一般層	生活困難度の把握が困難
世帯タイプ	ひとり親世帯 252 世帯	155 世帯 (61.5%)	67 世帯 (26.6%)	88 世帯 (34.9%)	93 世帯 (36.9%)	4 世帯 (1.6%)
	ふたり親世帯 1,568 世帯	273 世帯 (17.4%)	73 世帯 (4.7%)	200 世帯 (12.8%)	1,242 世帯 (79.2%)	53 世帯 (3.4%)

2 子どもとの関わりについて

2-1 【回答者】子どもとの関わりの頻度

問6 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。
(あなた、あなたの配偶者ごとに、①～⑤のそれぞれあてはまる番号1つに○)

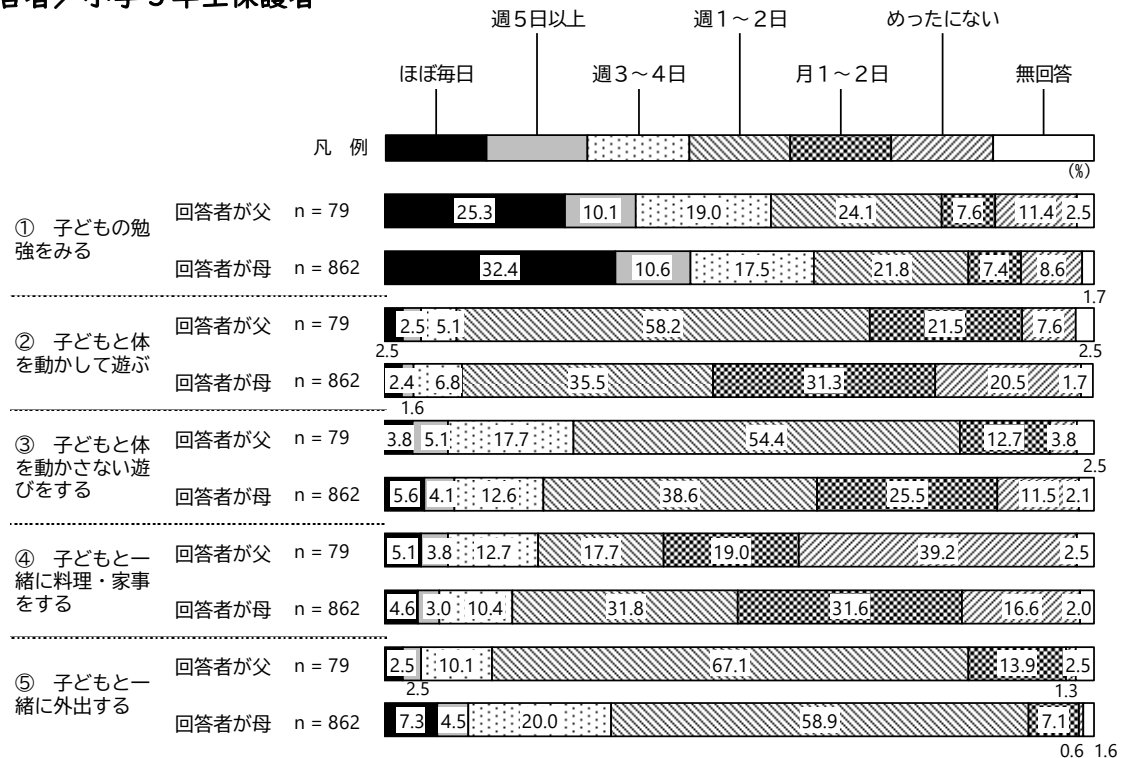
◆回答者／全体



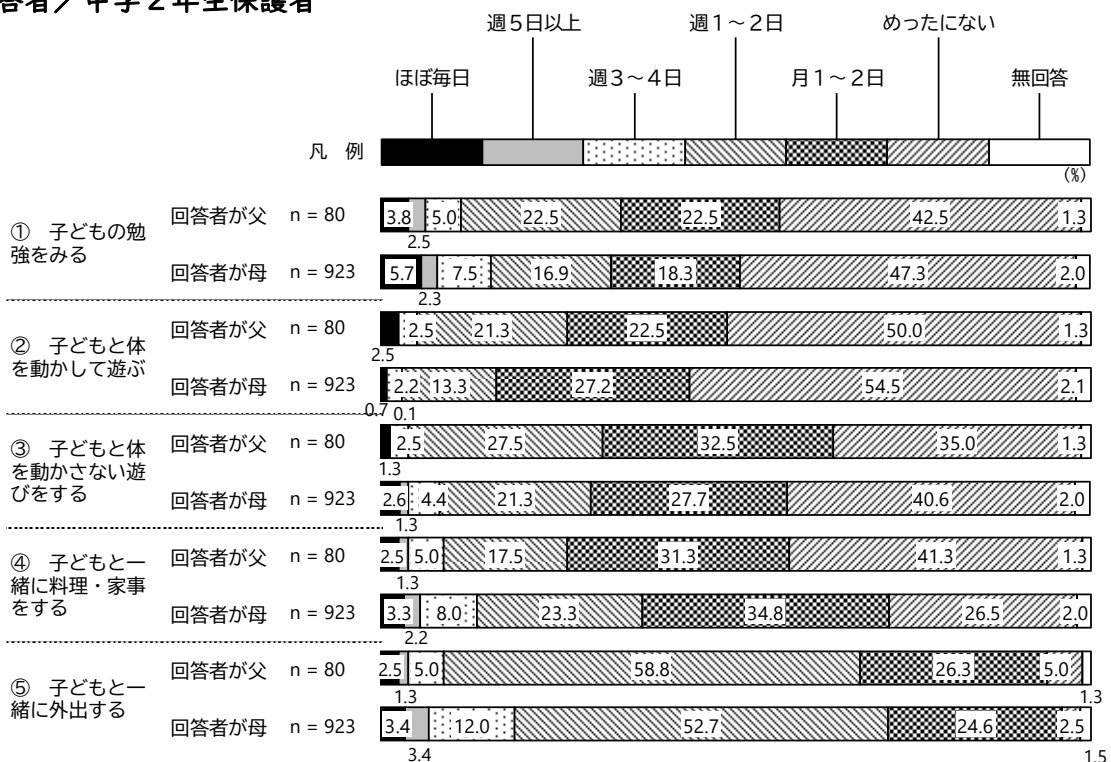
回答者の子どもとの関わりの頻度について、回答者が父の場合と母の場合で分けて集計したのが、上記のグラフになります。

全体では、『②子どもと体を動かして遊ぶ』『③子どもと体を動かさない遊びをする』で、回答者が母の場合に比べ父の場合の方が「めったにない」が低く、子どもと関わる頻度が多いことがうかがえます。一方、『④子どもと一緒に料理・家事をする』では、回答者が父の場合に比べ母の場合の方が「めったにない」が低く、子どもと関わる頻度が多いことがうかがえます。

◆回答者／小学5年生保護者



◆回答者／中学2年生保護者

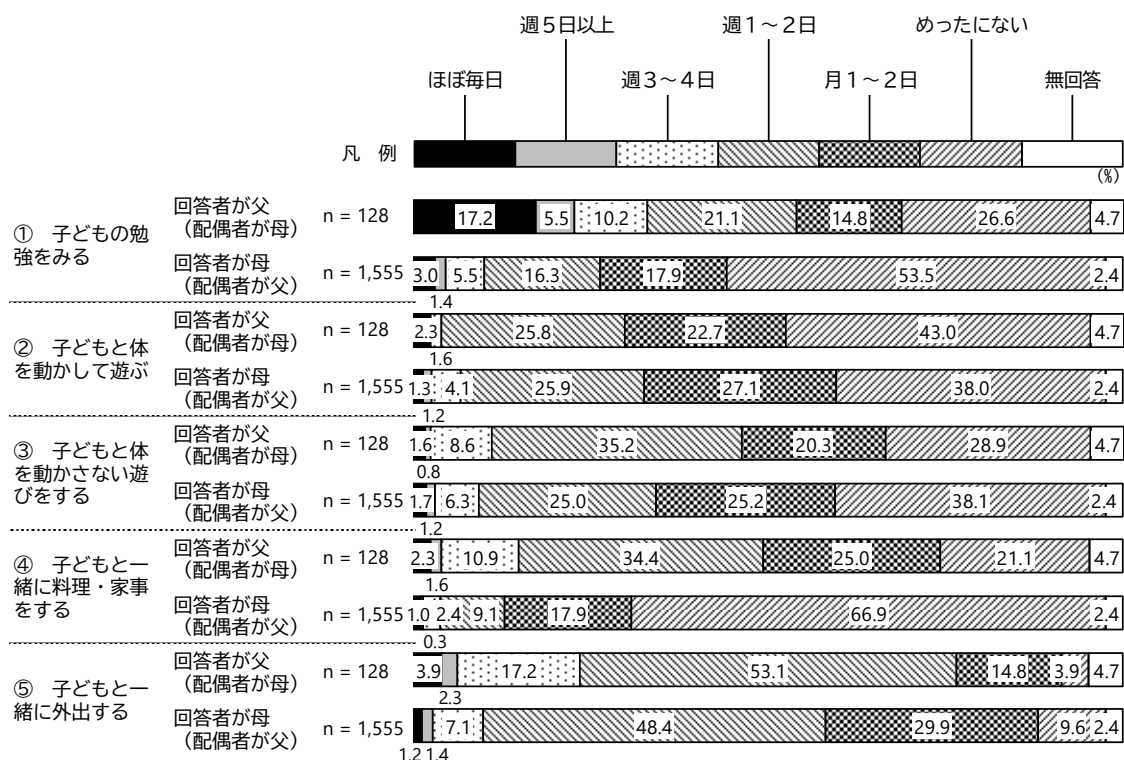


中学2年生保護者では、全体的に「めったにない」が小学5年生保護者に比べ高く、特に『①子どもの勉強をみる』『②子どもと体を動かして遊ぶ』『③子どもと体を動かさない遊びをする』で顕著な差がみられます。

2-2 【配偶者】子どもとの関わりの頻度

問6 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。
(あなた、あなたの配偶者ごとに、①～⑤のそれぞれあてはまる番号1つに○)

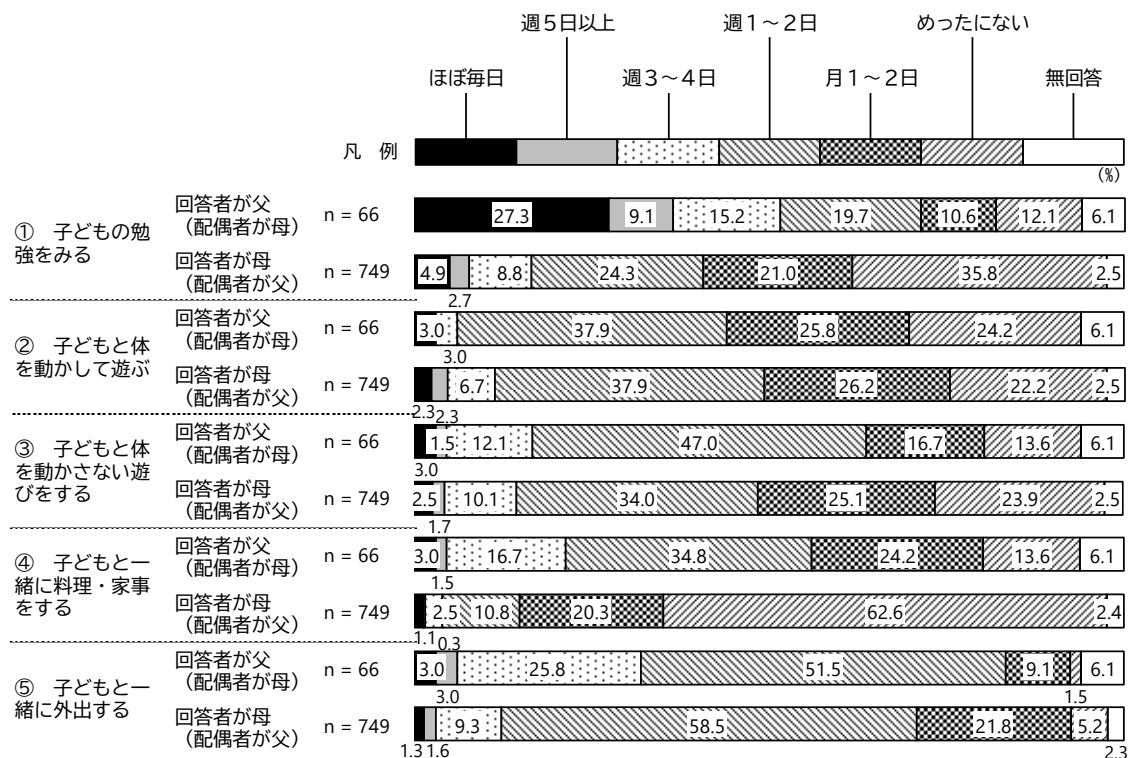
◆配偶者／全体



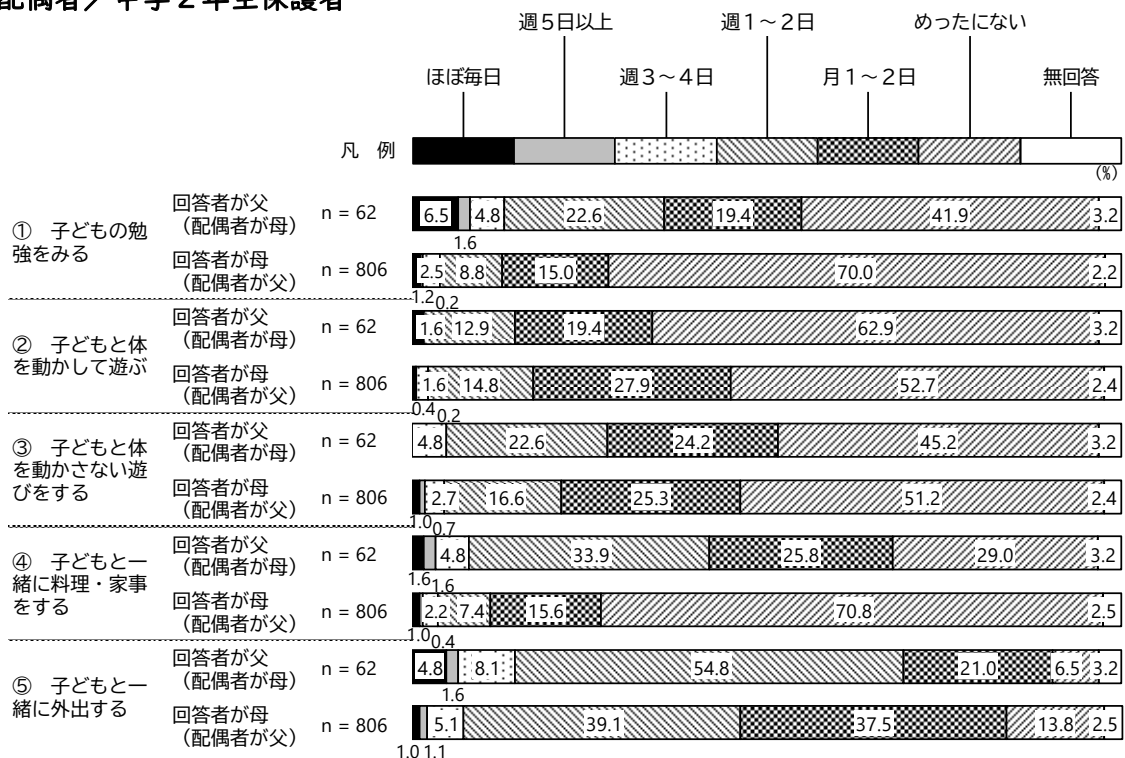
配偶者の子どもとの関わりの頻度について、回答者が父（配偶者が母）の場合と回答者が母（配偶者が父）の場合で分けて集計したのが、上記のグラフになります。

全体では、特に『①子どもの勉強をみる』『④子どもと一緒に料理・家事をする』で、回答者が父（配偶者が母）の場合と回答者が母（配偶者が父）の場合で回答傾向に差が生じており、回答者が母の場合は配偶者（父）の関わりを「めったにない」と回答している割合が高くなっています。

◆配偶者／小学5年生保護者



◆配偶者／中学2年生保護者



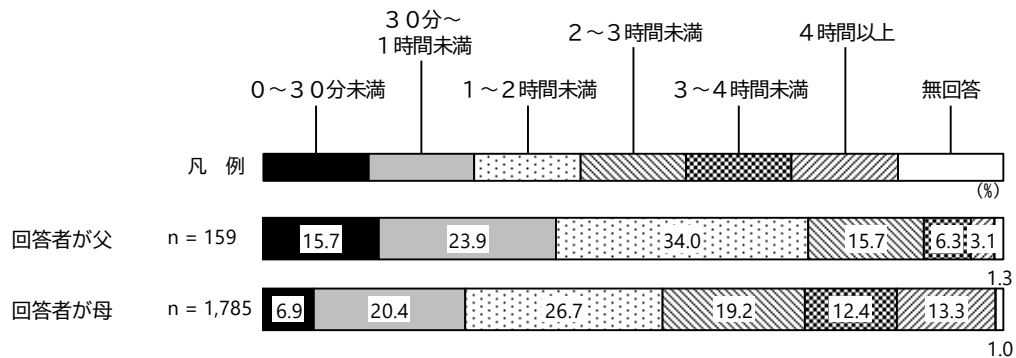
中学2年生保護者では、全体的に「めったにない」が小学5年生保護者に比べ高く、特に『①子どもの勉強をみる』『②子どもと体を動かして遊ぶ』『③子どもと体を動かさない遊びをする』で顕著な差がみられます。

2-3 【回答者】家庭内で子どもと過ごす時間（平日1日あたり）

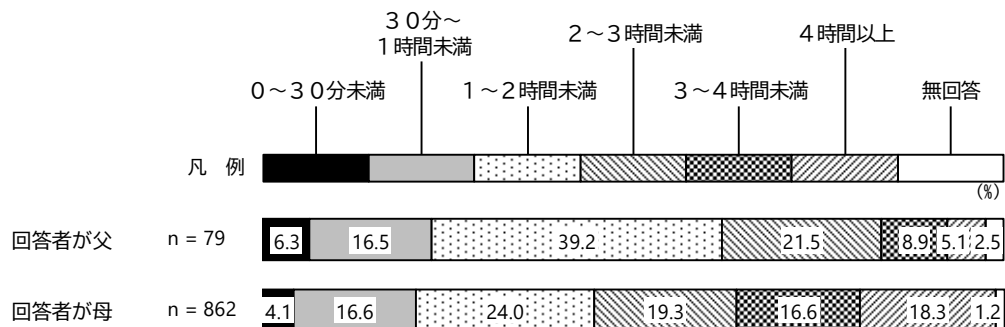
問7 あなたのご家庭ではお子さんと何かをしたり、相手をしたりしている時間は、平日・休日それぞれ1日あたりどのくらいですか。

（1）平日1日あたり（あなた、あなたの配偶者のそれぞれについて、○は1つ）

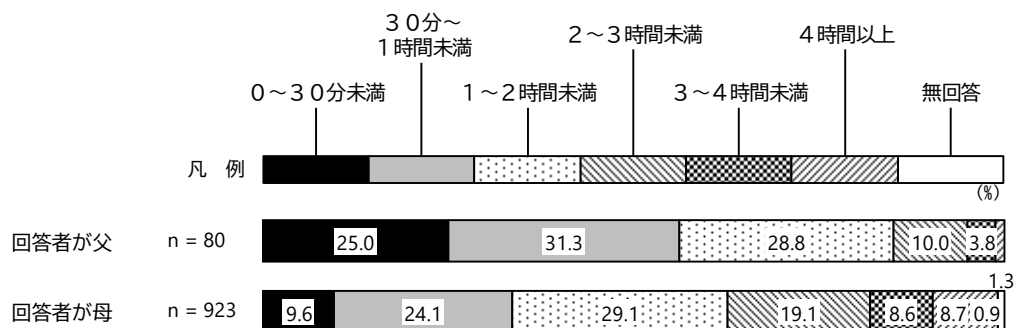
◆回答者／全体



◆回答者／小学5年生保護者



◆回答者／中学2年生保護者



回答者が家庭内で子どもと過ごす時間（平日１日あたり）について、回答者が父の場合と母の場合で分けて集計したのが、前ページのグラフになります。

これをみると、回答者が母の場合に比べ父の場合の方が、より時間が短い項目（「０～３０分未満」「３０分～１時間未満」「１～２時間未満」）で回答している割合が高くなっています。

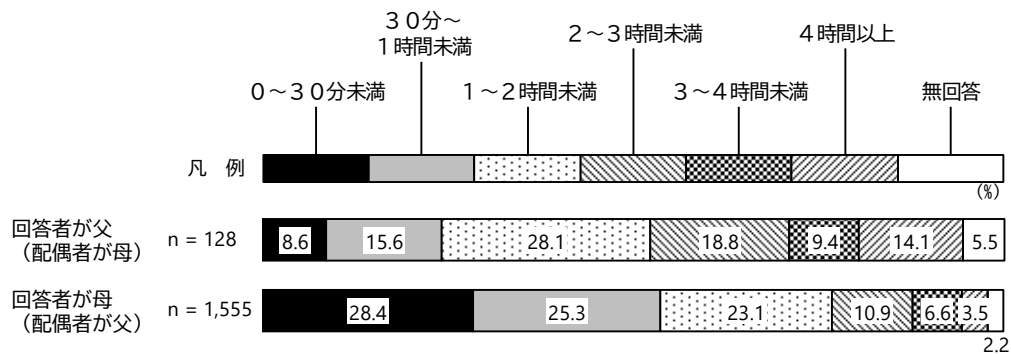
中学２年生保護者では、全体的により時間が短い項目（「０～３０分未満」「３０分～１時間未満」）で回答している割合が、小学５年生保護者に比べ高くなっています。

2-4 【配偶者】家庭内で子どもと過ごす時間（平日1日あたり）

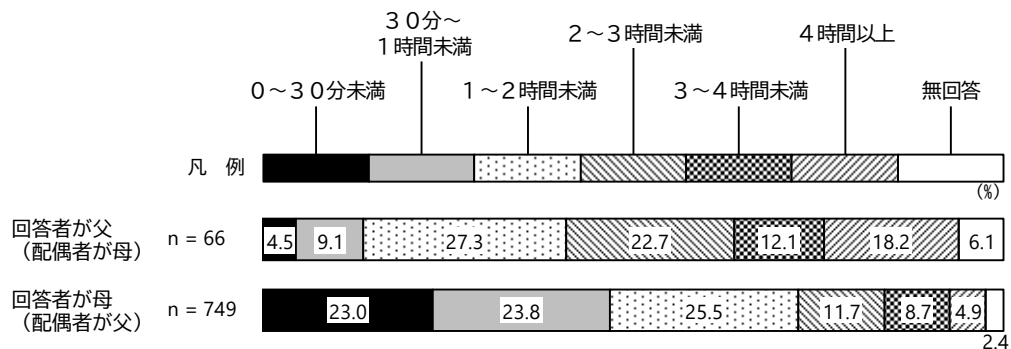
問7 あなたのご家庭ではお子さんと何かをしたり、相手をしたりしている時間は、平日・休日それぞれ1日あたりどのくらいですか。

（1）平日1日あたり（あなた、あなたの配偶者のそれぞれについて、○は1つ）

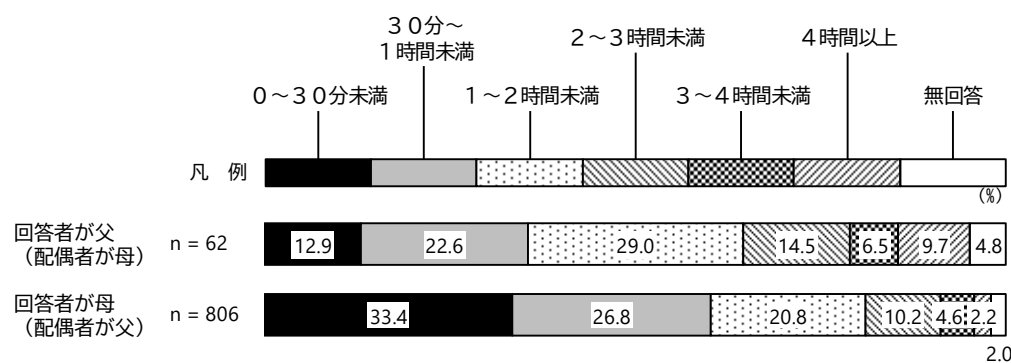
◆配偶者／全体



◆配偶者／小学5年生保護者



◆配偶者／中学2年生保護者



配偶者が家庭内で子どもと過ごす時間（平日１日あたり）について、回答者が父（配偶者が母）の場合と回答者が母（配偶者が父）の場合で分けて集計したのが、前ページのグラフになります。

これをみると、回答者が母の場合は配偶者（父）が子どもと過ごす時間について、より時間が短い項目（「０～３０分未満」「３０分～１時間未満」）で回答している割合が高くなっています。

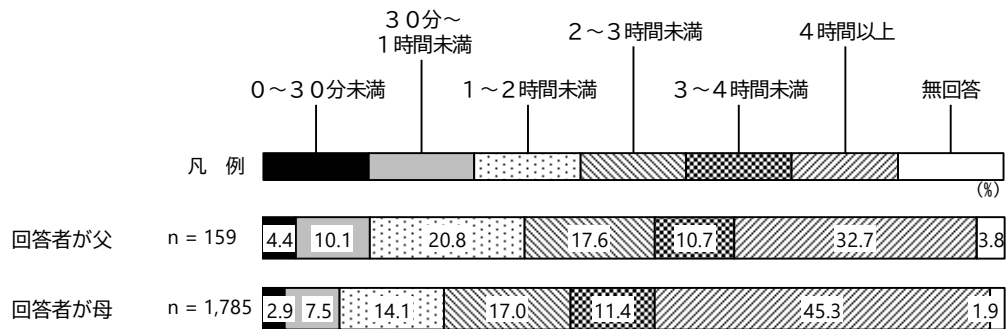
中学２年生保護者では、全体的により時間が短い項目（「０～３０分未満」「３０分～１時間未満」）で回答している割合が、小学５年生保護者に比べ高くなっています。

2-5 【回答者】家庭内で子どもと過ごす時間（休日1日あたり）

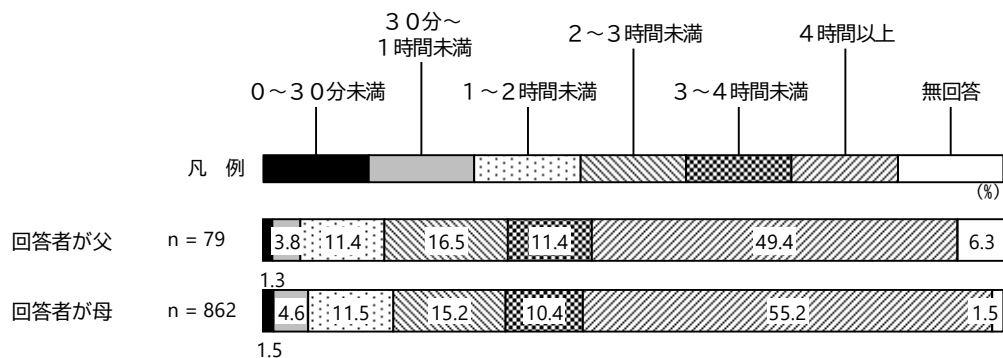
問7 あなたのご家庭ではお子さんと何かをしたり、相手をしたりしている時間は、平日・休日それぞれ1日あたりどのくらいですか。

（1）休日1日あたり（あなた、あなたの配偶者のそれぞれについて、○は1つ）

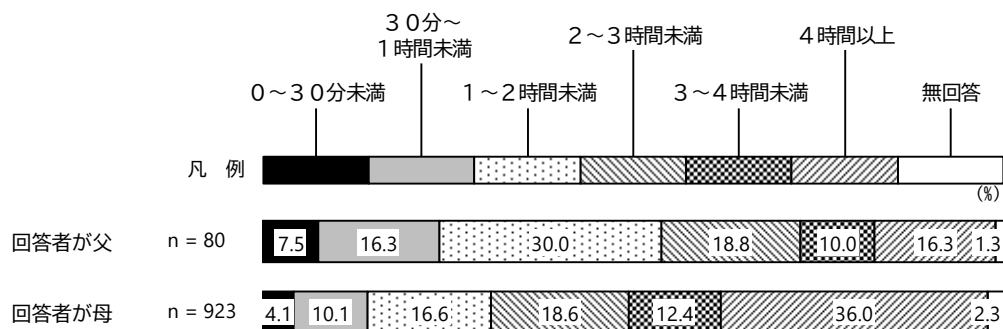
◆回答者／全体



◆回答者／小学5年生保護者



◆回答者／中学2年生保護者



回答者が家庭内で子どもと過ごす時間（休日１日あたり）について、回答者が父の場合と母の場合で分けて集計したのが、前ページのグラフになります。

これをみると、回答者が母の場合に比べ父の場合の方がより時間が短い項目で回答している割合が高くなっているのは“平日１日あたり”の結果と同様ですが、“平日１日あたり”ほど回答者が母の場合と父の場合で大きな差はみられず、どちらの場合も「４時間以上」が最も高くなっています。

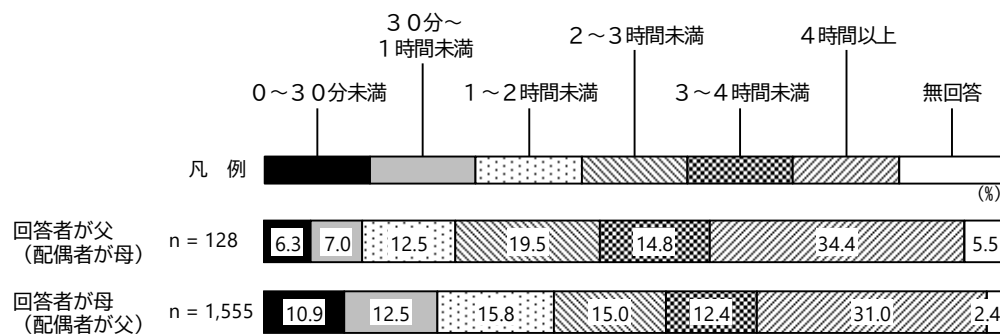
中学２年生保護者では、全体的により時間が短い項目（「０～３０分未満」「３０分～１時間未満」「１～２時間未満」）で回答している割合が、小学５年生保護者に比べ高くなっています。

2-6 【配偶者】家庭内で子どもと過ごす時間（休日1日あたり）

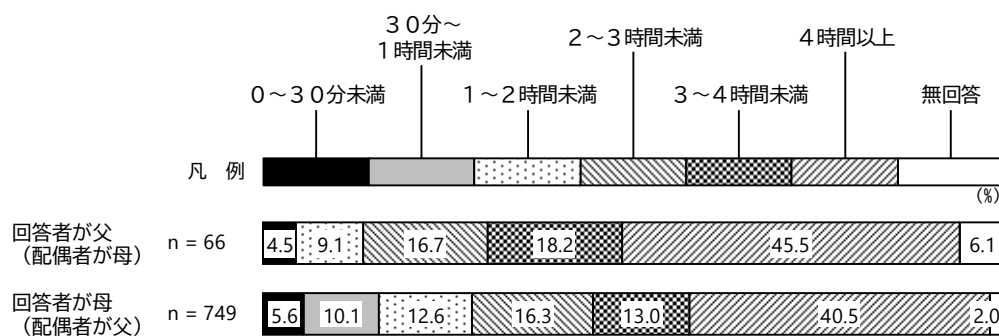
問7 あなたのご家庭ではお子さんと何かをしたり、相手をしたりしている時間は、平日・休日それぞれ1日あたりどのくらいですか。

（1）休日1日あたり（あなた、あなたの配偶者のそれぞれについて、○は1つ）

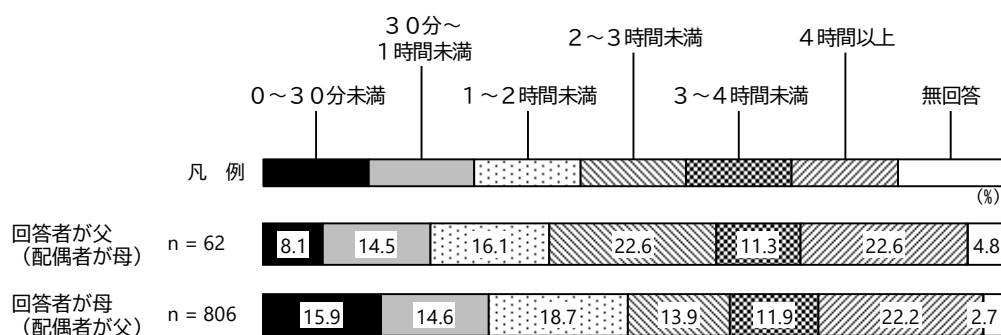
◆配偶者／全体



◆配偶者／小学5年生保護者



◆配偶者／中学2年生保護者



配偶者が家庭内で子どもと過ごす時間（休日１日あたり）について、回答者が父（配偶者が母）の場合と回答者が母（配偶者が父）の場合で分けて集計したのが、前ページのグラフになります。

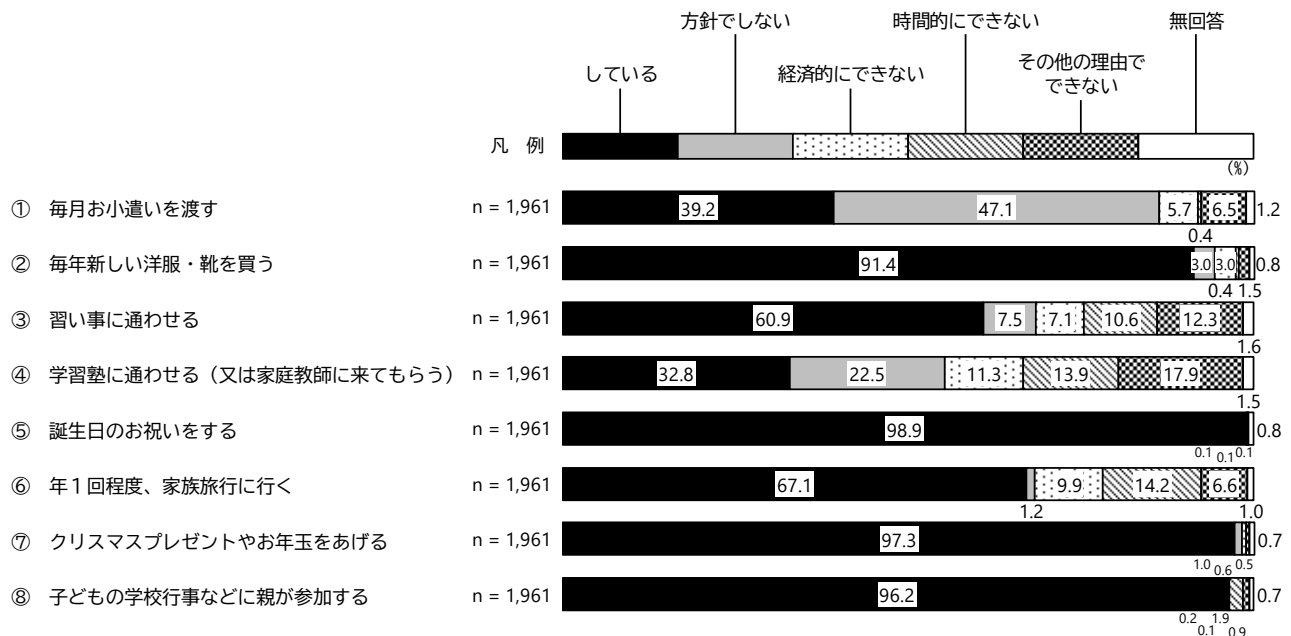
これをみると、回答者が母の場合は配偶者（父）が子どもと過ごす時間について、より時間が短い項目で回答している割合が高くなっているのは“平日１日あたり”の結果と同様ですが、“平日１日あたり”ほど回答者が母（配偶者が父）の場合と父（配偶者が母）の場合で大きな差はみられず、どちらの場合も「４時間以上」が最も高くなっています。

中学２年生保護者では、全体的により時間が短い項目（「０～３０分未満」「３０分～１時間未満」「１～２時間未満」）で回答している割合が、小学５年生保護者に比べ高くなっています。

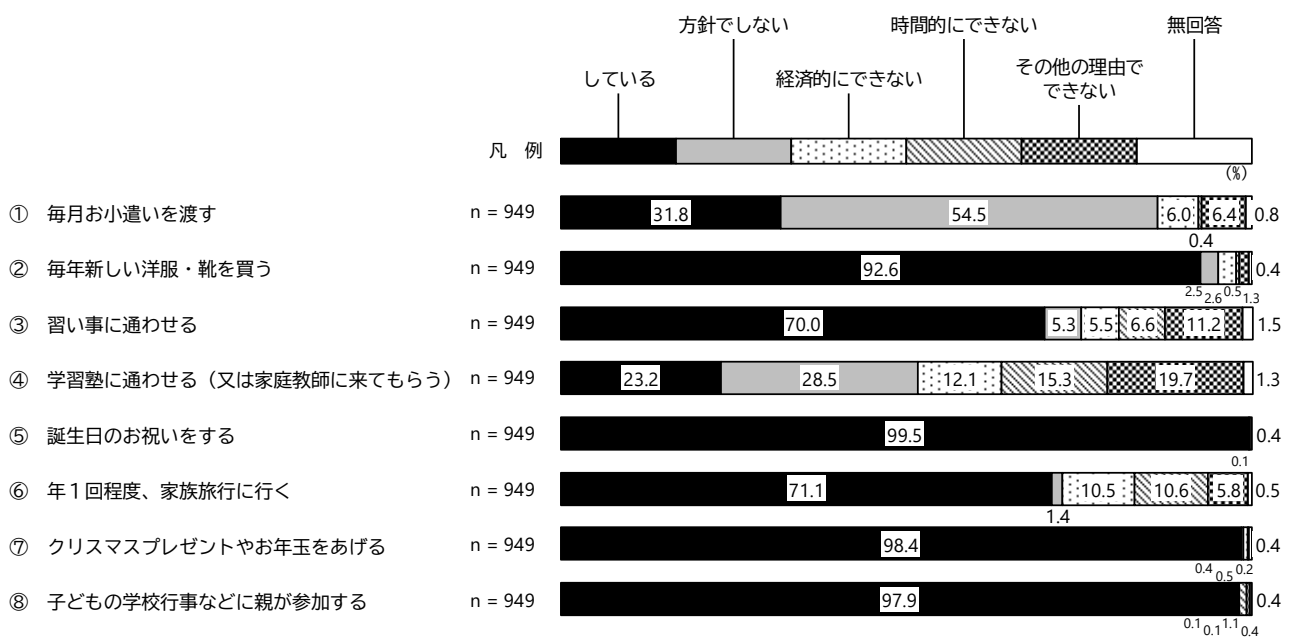
2-7 子どもに対してしてあげていること

問8 あなたのご家庭ではお子さんに次のようなことをしていますか。
(それぞれあてはまる番号1つに○)

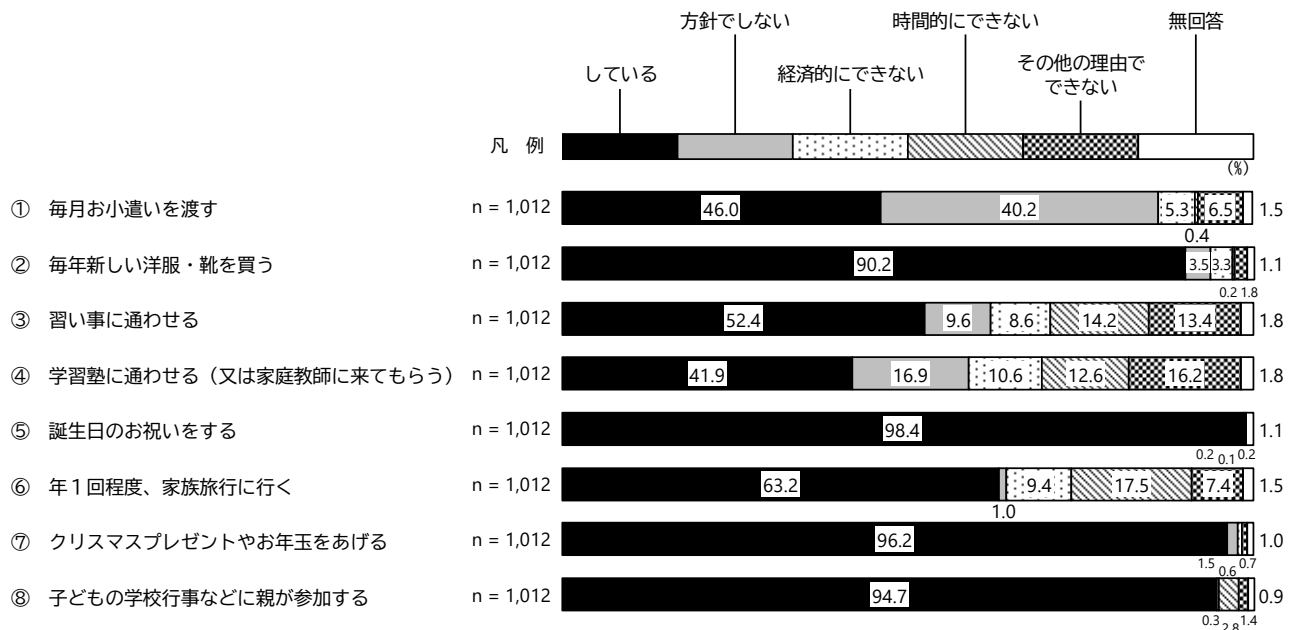
◆全体



◆小学5年生保護者



◆中学2年生保護者



子どもに対してしてあげていることについて、全体では『①毎月お小遣いを渡す』以外で「している」が最も高くなっており、『②毎年新しい洋服・靴を買う』『⑤誕生日のお祝いをする』『⑦クリスマスプレゼントやお年玉をあげる』『⑧子どもの学校行事などに親が参加する』では「している」が9割以上を占めています。

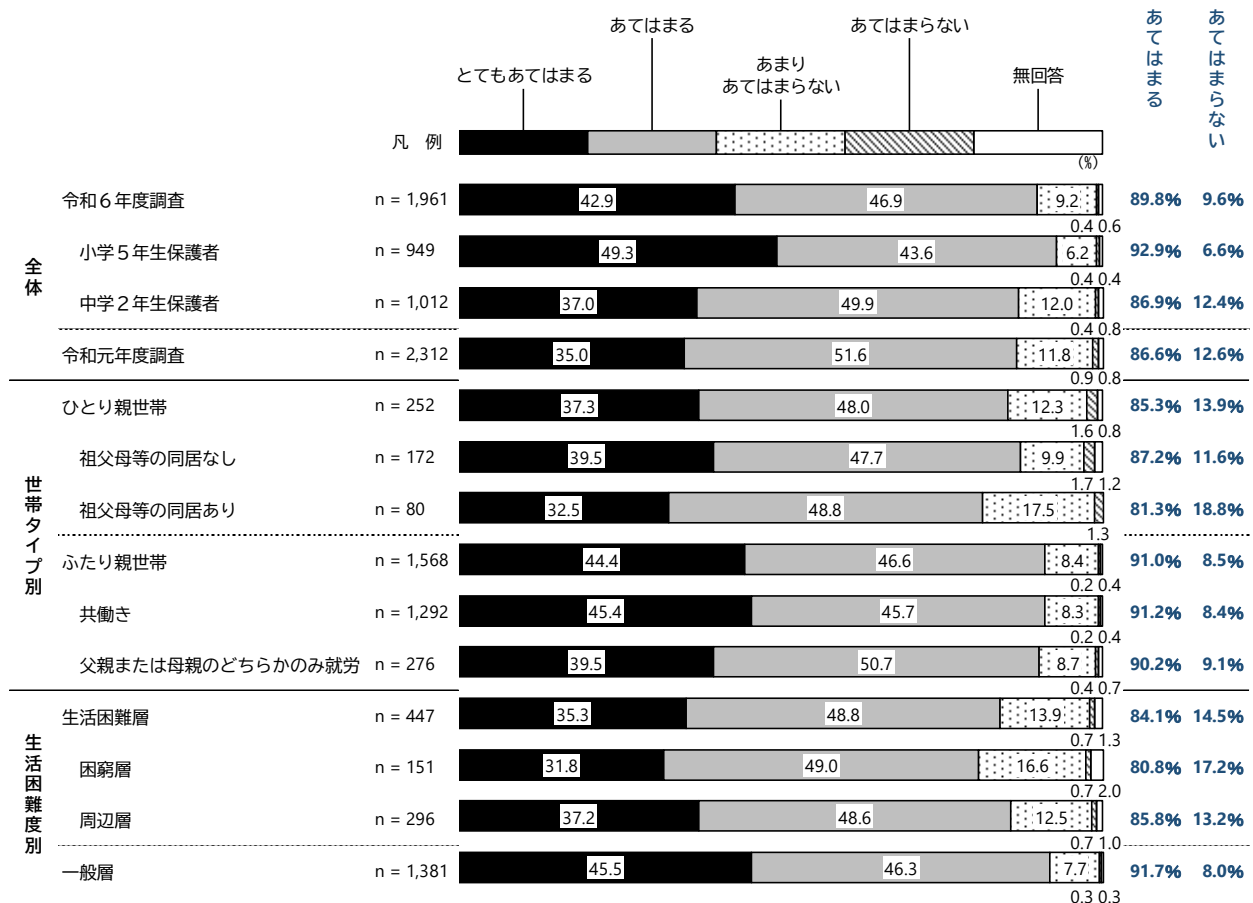
一方、『④学習塾に通わせる（又は家庭教師に来てもらう）』『⑥年1回程度、家族旅行に行く』では、「経済的にできない」が1割前後と他の項目に比べやや高くなっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

2-8 子どもをどのように思っているか

問9 あなたはお子さんについてどのように思っていますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

① 何事にもがんばって取り組んでいる



※グラフ右の数値は、類似した2つの選択肢の回答割合の合算値（以下同じ）

(例) あてはまる = 「とてもあてはまる」 + 「あてはまる」

子どもを『何事にもがんばって取り組んでいる』と思っているかについて、全体では《あてはまる》（「とてもあてはまる」 + 「あてはまる」）が89.8%と約9割を占め、《あてはまらない》（「あてはまらない」 + 「あまりあてはまらない」）は9.6%となっています。小学5年生保護者では《あてはまる》が92.9%と、中学2年生保護者に比べやや高くなっていますが、「とてもあてはまる」でみるとその差がより顕著（約12ポイント差）となっています。

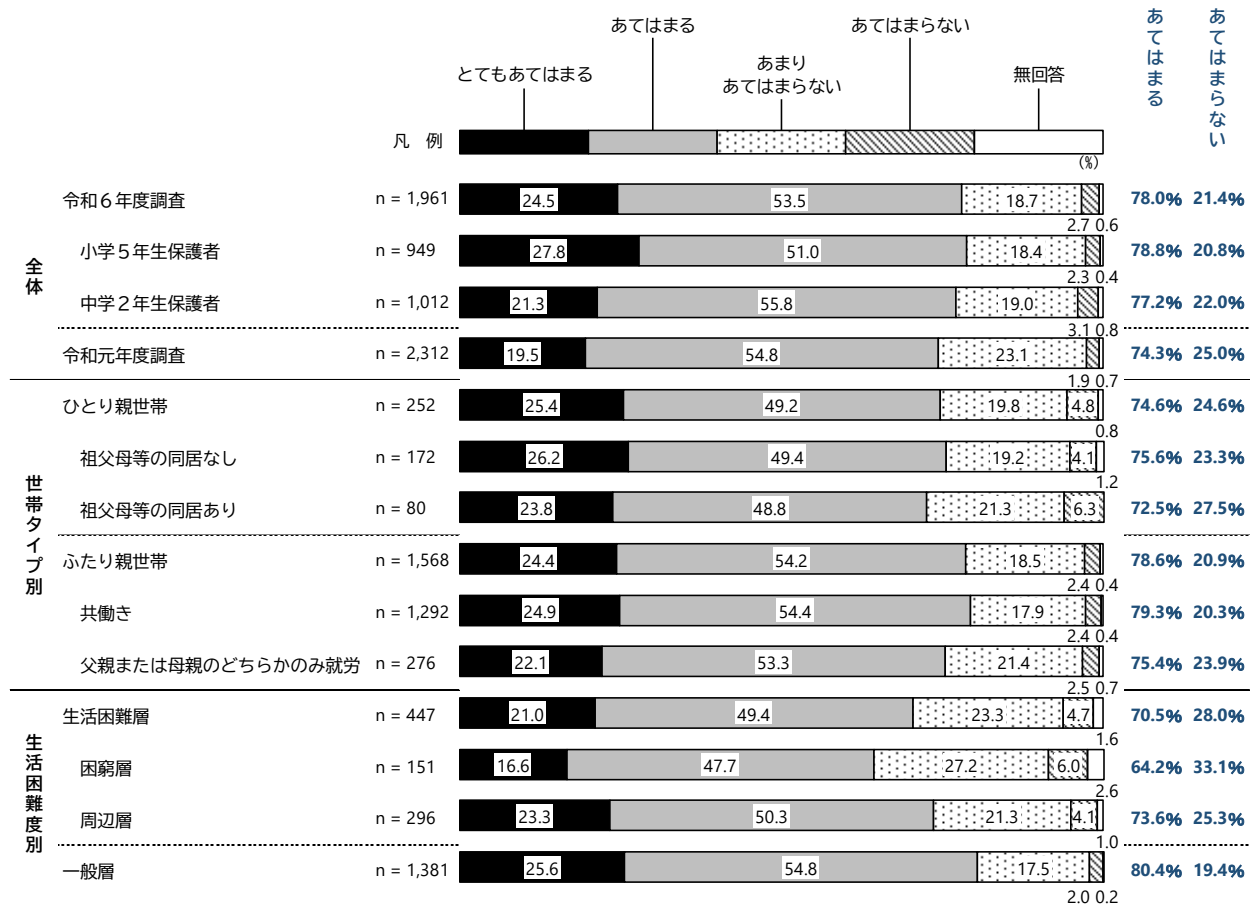
令和元年度に市内の小学5年生・中学2年生の児童生徒の保護者に対して実施した調査（以下「令和元年度調査」という。）と比較すると、《あてはまる》や《あてはまらない》に大きな変化はありませんが、「とてもあてはまる」が約8ポイント上昇しています。

世帯タイプ別にみると、ふたり親世帯では《あてはまる》が91.0%であるのに対し、ひとり親世帯では85.3%とやや低くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では《あてはまる》が91.7%であるのに対し、生活困難層では84.1%とやや低くなり、特に困窮層では80.8%とより低くなっています。

II 保護者調査結果

② 嫌なことがあっても気持ちを切りかえられる



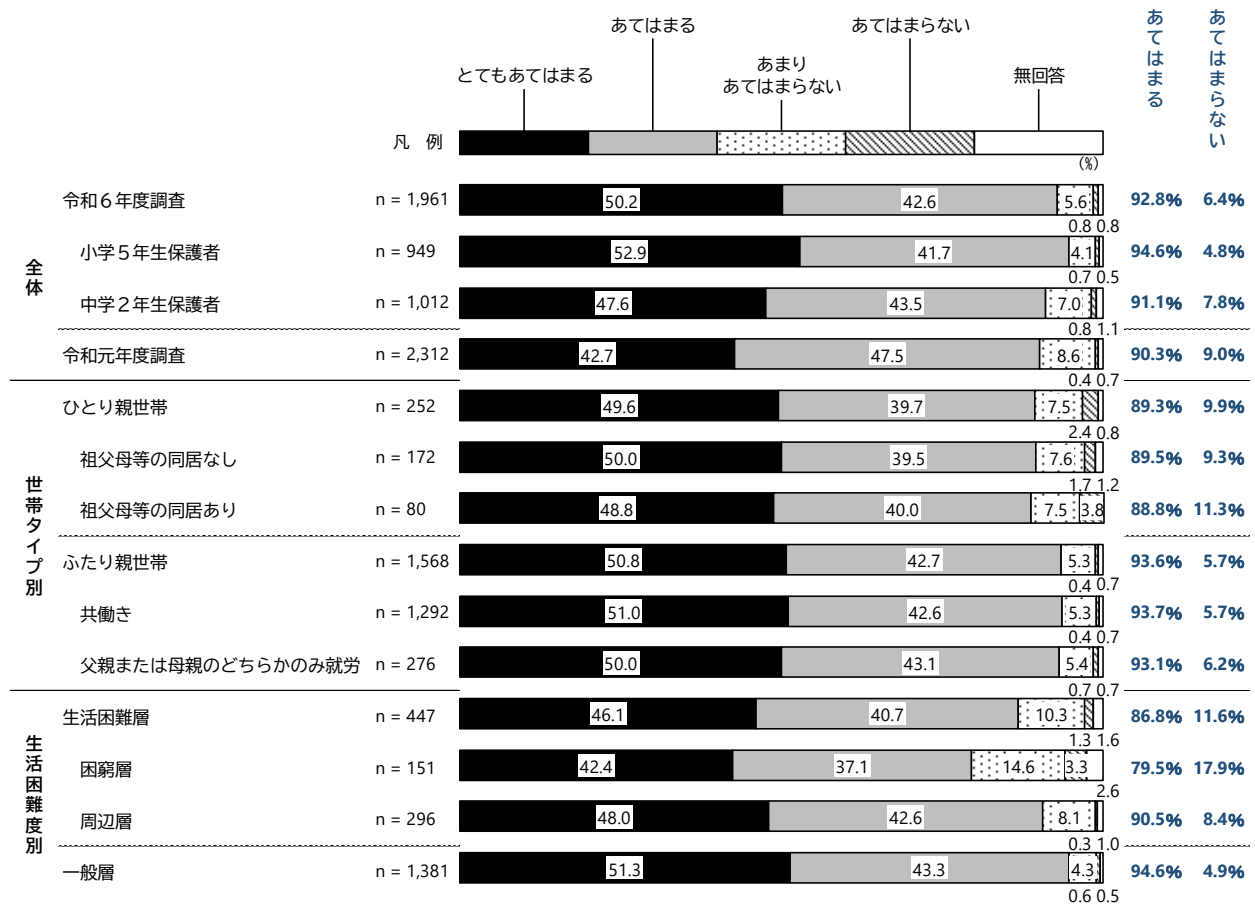
子どもを『嫌なことがあっても気持ちを切りかえられる』と思っているかについて、全体では《あてはまる》が78.0%、《あてはまらない》が21.4%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、一般層では《あてはまる》が80.4%であるのに対し、生活困難層では70.5%と低くなり、特に困窮層では《あてはまる》が64.2%にとどまり、《あてはまらない》が33.1%と3割以上を占めています。

③ 信頼できる



子どもを『信頼できる』と思っているのかについて、全体では《あてはまる》が92.8%と9割以上を占め、《あてはまらない》は6.4%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

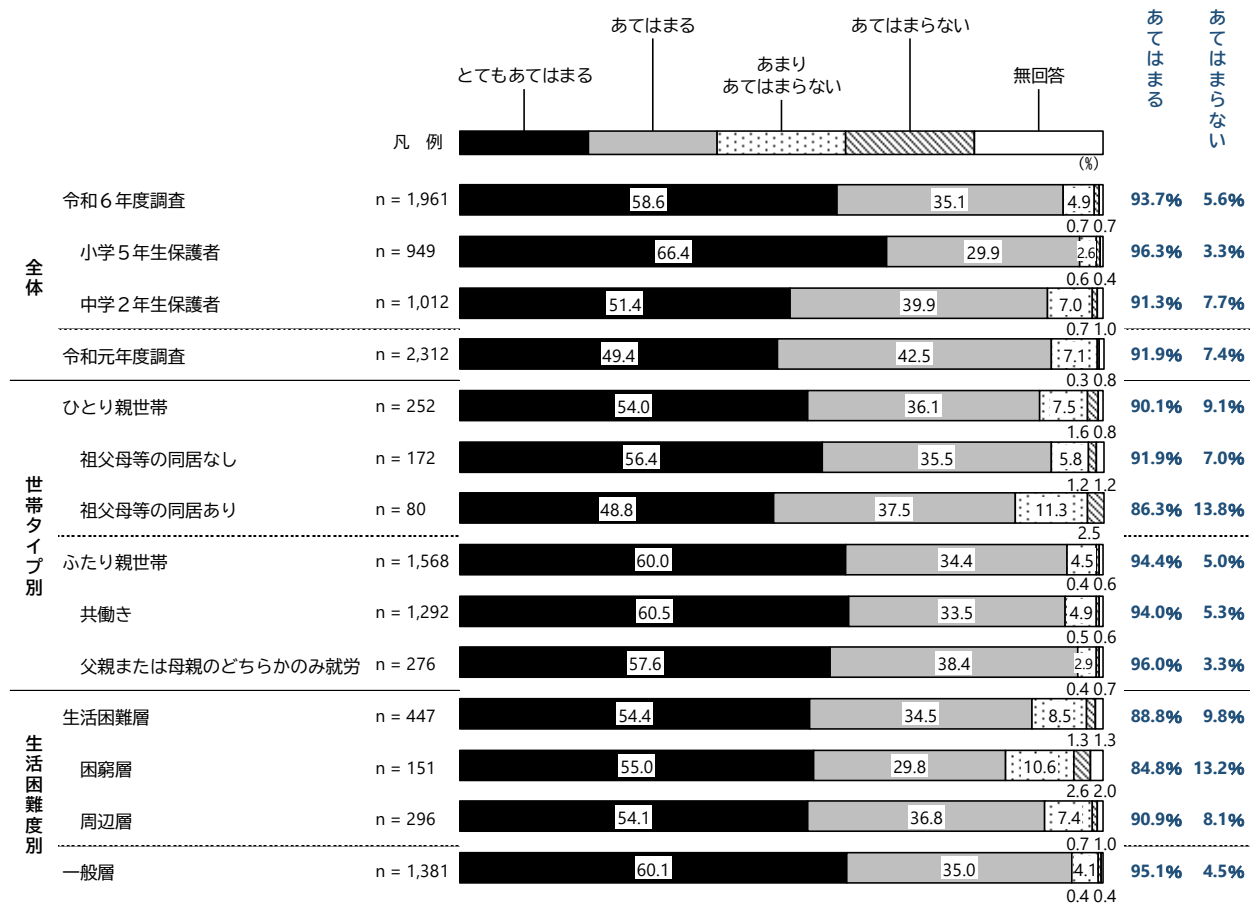
令和元年度調査と比較すると、《あてはまる》や《あてはまらない》に大きな変化はありませんが、「とてもあてはまる」が約8ポイント上昇しています。

世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、一般層では《あてはまる》が94.6%であるのに対し、生活困難層では86.8%とやや低くなり、特に困窮層では79.5%とより低くなっています。

Ⅱ 保護者調査結果

④ 将来が楽しみ



子どもを『将来が楽しみ』と思っているかについて、全体では《あてはまる》が93.7%と9割以上を占め、《あてはまらない》は5.6%となっています。小学5年生保護者では《あてはまる》が96.3%と、中学2年生保護者に比べやや高くなっていますが、「とてもあてはまる」でみるとその差がより顕著（15ポイント差）となっています。

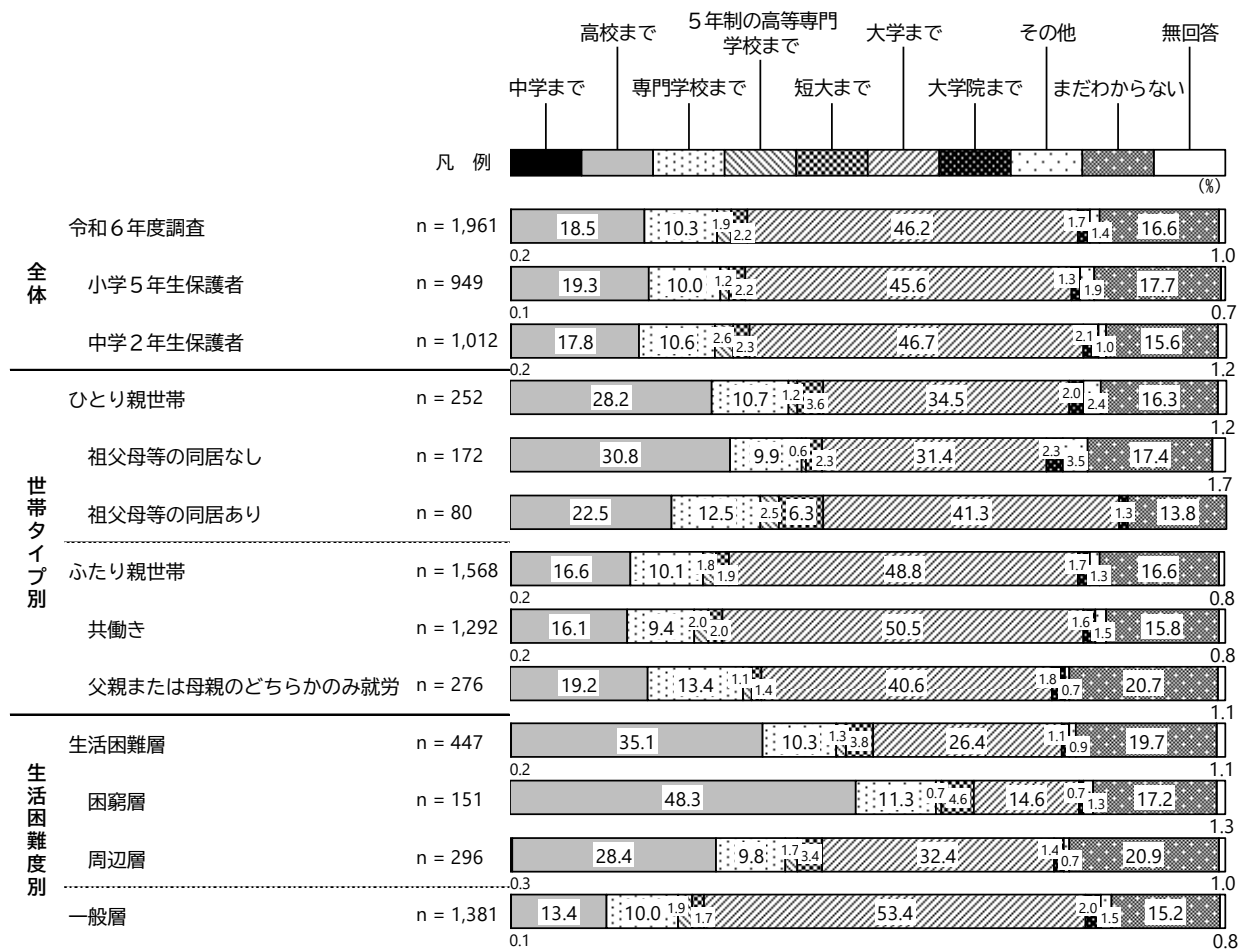
令和元年度調査と比較すると、《あてはまる》や《あてはまらない》に大きな変化はありませんが、「とてもあてはまる」が約9ポイント上昇しています。

世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、一般層では《あてはまる》が95.1%であるのに対し、生活困難層では88.8%とやや低くなり、特に困窮層では84.8%とより低くなっています。

2-9 子どもに受けさせたい教育段階

問 10 現実的にみて、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。
(○は1つ)



子どもに受けさせたい教育段階について、全体では「大学まで」が46.2%と最も高く、次いで「高校まで」(18.5%)、「まだわからない」(16.6%)となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ふたり親世帯では「大学まで」が48.8%と約5割を占めますが、父親または母親のどちらかのみ就労の世帯では40.6%にとどまっています。一方、ひとり親世帯では「大学まで」が34.5%にとどまり、「高校まで」が28.2%と高くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「大学まで」が53.4%と5割以上を占めますが、生活困難層では26.4%と低くなり、「高校まで」が35.1%と高くなっています。特に困窮層では、「大学まで」が14.6%と1割台であり、「高校まで」が48.3%と約5割を占めています。

2-10 子どもに受けさせたい教育段階の理由

【問 10 でいずれかの教育段階を選択した方のみ】

問 11 問 10 の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

		n	一般的 な進路だ と思うから	子ども がそう希 望してい るから	子ども の学力か ら考えて	家庭の 経済的 な状況 から考 えて	それ以 上の教 育を受 けさせ る必要 性を感 じない から	自分も その段 階まで しから 教育を 受けて いない から	その他	特に理 由はな い	(%) 無回 答
全体	令和6年度調査	1,616	32.5	30.3	27.4	12.9	5.4	3.7	10.4	7.2	1.1
	小学5年生保護者	774	36.7	24.5	21.6	14.6	6.6	4.4	11.5	8.3	0.6
	中学2年生保護者	842	28.6	35.5	32.7	11.3	4.4	3.1	9.4	6.3	1.4
世帯 タイプ 別	ひとり親世帯	208	30.3	30.8	21.2	20.2	2.9	3.4	9.1	6.3	1.9
	祖父母等の同居なし	139	29.5	30.2	21.6	21.6	3.6	3.6	10.1	5.8	2.2
	祖父母等の同居あり	69	31.9	31.9	20.3	17.4	1.4	2.9	7.2	7.2	1.4
	ふたり親世帯	1,294	33.2	29.8	28.3	11.6	5.6	3.6	10.7	7.7	0.9
	共働き	1,078	33.3	29.6	28.3	12.1	5.5	3.8	10.8	7.7	1.0
	父親または母親のどちらかのみ就労	216	32.4	31.0	28.2	9.3	6.0	2.8	10.2	7.9	0.5
生活 困難 度別	生活困難層	354	27.1	26.8	26.6	27.4	6.8	4.5	9.3	5.9	1.1
	困窮層	123	17.9	27.6	17.1	48.0	7.3	4.1	9.8	5.7	0.8
	周辺層	231	32.0	26.4	31.6	16.5	6.5	4.8	9.1	6.1	1.3
	一般層	1,160	35.0	30.6	27.9	8.7	4.9	3.3	10.3	7.7	1.0

子どもに受けさせたい教育段階の理由について、全体では「一般的な進路だと思うから」が32.5%と最も高く、次いで「子どもがそう希望しているから」(30.3%)、「子どもの学力から考えて」(27.4%)となっており、中学2年生保護者では「子どもがそう希望しているから」「子どもの学力から考えて」が、小学5年生保護者に比べ10ポイント以上高くなっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「家庭の経済的な状況から考えて」が20.2%と、ふたり親世帯に比べ高くなっています。一方、ふたり親世帯では「子どもの学力から考えて」が28.3%と、ひとり親世帯に比べ高くなっています。

生活困難度別にみると、「家庭の経済的な状況から考えて」で特に顕著な差がみられており、一般層では8.7%であるのに対し、生活困難層では27.4%と高くなり、特に困窮層では48.0%と突出しています。

※問 10 子どもに受けさせたい教育段階で「高校まで」の回答を抜粋

			(%)								
		n	一般的 な進路だ と思うから	子ども がそう希 望してい る	子ども の学力か ら考えて	家庭の 経済的な 状況から 考えて	それ以 上の教 育を受け させたい と感じる	自分も その段 階まで しか教 育を受け ていない	その他	特に理 由はな い	無回 答
世帯 タイプ 別	ひとり親世帯	71	21.1	21.1	22.5	47.9	4.2	2.8	2.8	12.7	2.8
	祖父母等の同居なし	53	18.9	24.5	24.5	49.1	5.7	3.8	3.8	11.3	1.9
	祖父母等の同居あり	18	27.8	11.1	16.7	44.4	-	-	-	16.7	5.6
	ふたり親世帯	261	19.5	21.5	34.9	36.0	12.6	7.7	5.4	7.3	-
	共働き	208	20.2	21.2	35.1	38.5	12.0	8.7	4.3	6.7	-
	父親または母親のどちらかのみ就労	53	17.0	22.6	34.0	26.4	15.1	3.8	9.4	9.4	-
生活 困難 度別	生活困難層	157	21.0	17.2	32.5	52.9	11.5	5.7	4.5	5.7	1.3
	困窮層	73	16.4	13.7	23.3	72.6	12.3	5.5	5.5	5.5	1.4
	周辺層	84	25.0	20.2	40.5	35.7	10.7	6.0	3.6	6.0	1.2
	一般層	185	18.4	26.5	32.4	27.6	11.4	7.6	4.9	9.7	-

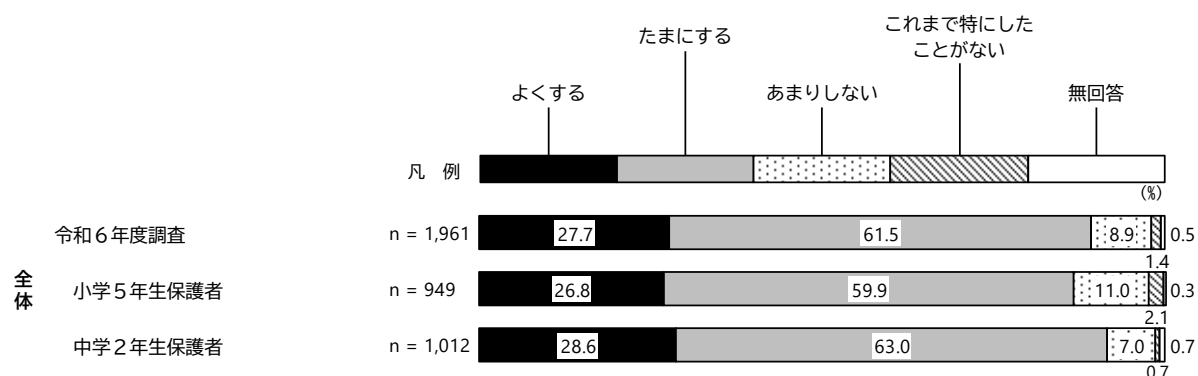
前ページの世帯タイプ別、生活困難度別のクロス集計について、問 10 の子どもに受けさせたい教育段階が「高校まで」の回答を抜粋したのが、上記のグラフになります。

これを世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「家庭の経済的な状況から考えて」が 47.9%と、ふたり親世帯に比べ高くなっています。一方、ふたり親世帯では「子どもの学力から考えて」が 34.9%と、ひとり親世帯に比べ高くなっています。

生活困難度別にみると、前ページと同様に「家庭の経済的な状況から考えて」で特に顕著な差がみられており、一般層では 27.6%であるのに対し、生活困難層では 52.9%と半数以上が回答しており、特に困窮層では 72.6%と 7 割以上が回答しています。

2-11 子どもの将来について一緒に考えたり話したりすること

問 12 お子さんの将来について、お子さんと一緒に考えたり、話したりすることがありますか。(○は1つ)

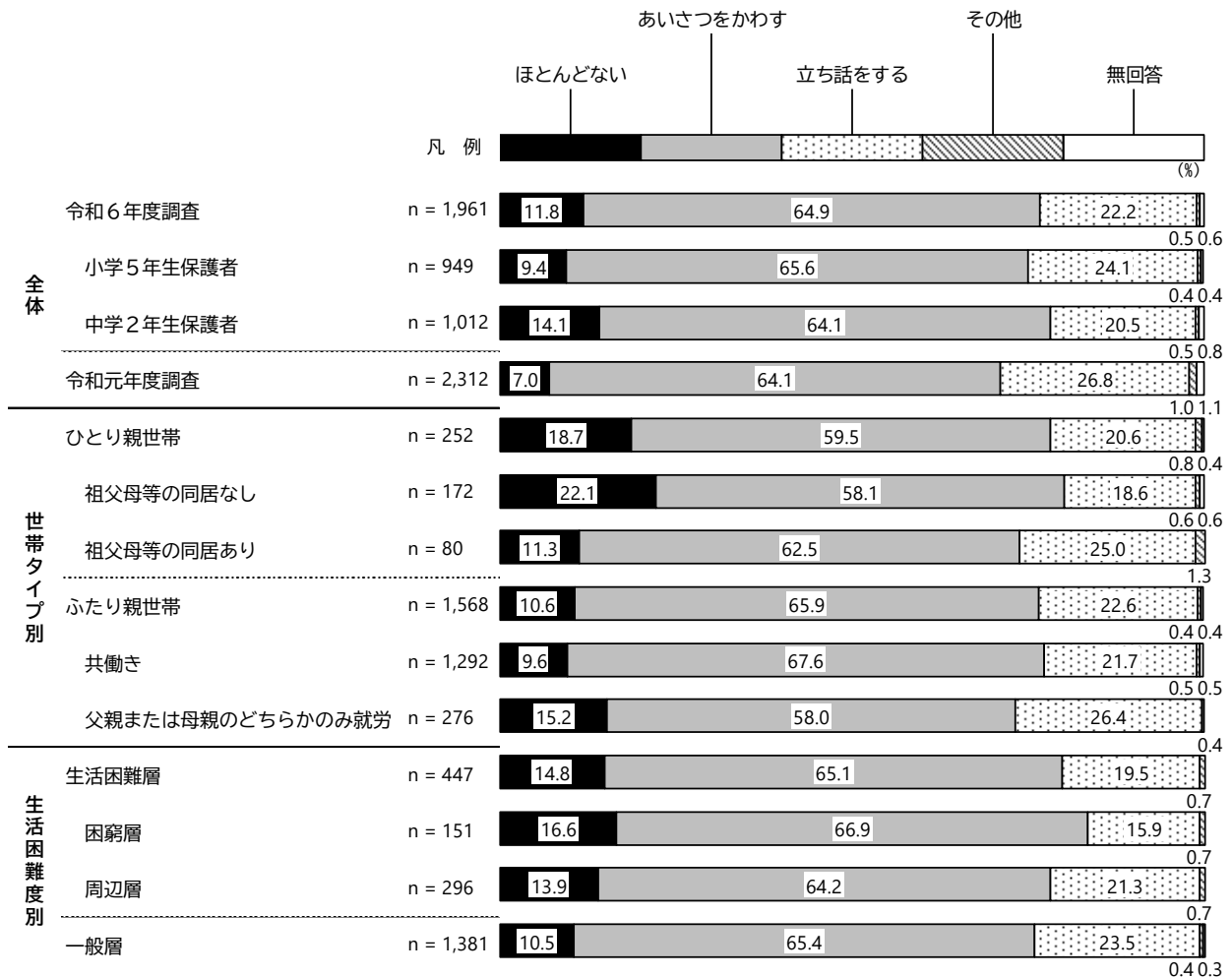


子どもの将来について一緒に考えたり話したりすることについて、全体では「たまにする」が61.5%と最も高く、次いで「よくする」(27.7%)、「あまりしない」(8.9%)となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

3 周囲の人との関わりについて

3-1 普段の近所の方との交流

問 13 普段、近所の方との交流はありますか。(○は1つ)



普段の近所の方との交流について、全体では「あいさつをかわす」が64.9%と最も高く、次いで「立ち話をする」(22.2%)、「ほとんどない」(11.8%)となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較すると、「立ち話をする」が僅かに下降し、「ほとんどない」が僅かに上昇しています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「ほとんどない」が18.7%と、ふたり親世帯に比べやや高く、特に祖父母等の同居がない世帯で「ほとんどない」が2割を超えています。

生活困難度別にみると、一般層では「ほとんどない」が10.5%であるのに対し、生活困難層では14.8%とやや高くなっています。

3-2 子育てに関しての心配事や悩み事

問14 子育てに関して次のような心配事や悩み事がありますか。

(あてはまるものすべてに○)

		n	子どもの進学や受験が心配	子どもの教育費に不安がある	子どもの友人関係が心配	子どもの基本的な生活習慣(あいさつ、整理整頓など)が不安	子どもに対するしつけや教育に自信が持てない	子どもが勉強しない	子どもがなかなか言うことをきかない	子どもの身体の発育や病気が心配	子どもが何事に対しても消極的である	子育てに配偶者の協力が得られない	その他	心配事や悩み事はない	無回答
全体	令和6年度調査	1,961	40.7	29.7	20.3	19.1	19.0	18.5	10.2	9.2	9.0	5.8	1.9	19.6	2.4
	小学5年生保護者	949	29.7	28.9	19.2	21.1	21.2	14.2	10.3	7.9	7.5	5.9	2.1	22.9	2.6
	中学2年生保護者	1,012	51.0	30.5	21.4	17.3	16.9	22.4	10.2	10.5	10.4	5.6	1.7	16.6	2.3
	令和元年度調査	2,312	47.4	32.9	21.8	21.2	22.0	18.6	14.8	9.9	10.6	7.6	2.4	13.8	2.9
世帯タイプ別	ひとり親世帯	252	40.9	45.6	19.4	22.2	25.8	18.7	12.7	9.1	10.3	4.0	2.0	15.5	2.4
	祖父母等の同居なし	172	36.6	42.4	18.6	20.3	23.8	16.9	11.0	9.3	10.5	4.1	2.3	18.0	2.3
	祖父母等の同居あり	80	50.0	52.5	21.3	26.3	30.0	22.5	16.3	8.8	10.0	3.8	1.3	10.0	2.5
	ふたり親世帯	1,568	40.5	27.4	20.8	19.0	18.0	18.6	9.7	9.4	8.6	5.9	1.8	20.5	2.1
	共働き	1,292	40.6	28.0	19.9	18.8	17.3	19.1	9.7	8.6	8.5	5.7	2.1	20.5	2.1
	父親または母親のどちらかのみ就労	276	40.2	24.6	25.0	19.9	21.4	16.3	9.8	13.4	9.1	6.9	0.4	20.7	2.2
生活困難度別	生活困難層	447	43.2	50.3	24.2	24.4	27.3	22.1	14.1	10.1	11.9	8.7	1.8	13.0	1.1
	困窮層	151	47.7	65.6	19.9	25.8	31.8	20.5	16.6	12.6	9.9	11.9	0.7	7.9	-
	周辺層	296	40.9	42.6	26.4	23.6	25.0	23.0	12.8	8.8	12.8	7.1	2.4	15.5	1.7
	一般層	1,381	40.3	23.4	18.9	17.9	17.1	17.5	8.9	8.8	8.0	4.8	1.9	21.8	2.0

※令和6年度調査の全体回答割合の上位10項目を抜粋掲載

子育てに関しての心配事や悩み事について、全体では「子どもの進学や受験が心配」が40.7%と最も高く、次いで「子どもの教育費に不安がある」(29.7%)、「子どもの友人関係が心配」(20.3%)となっており、中学2年生保護者では「子どもの進学や受験が心配」が51.0%と、小学5年生保護者に比べ20ポイント以上高くなっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

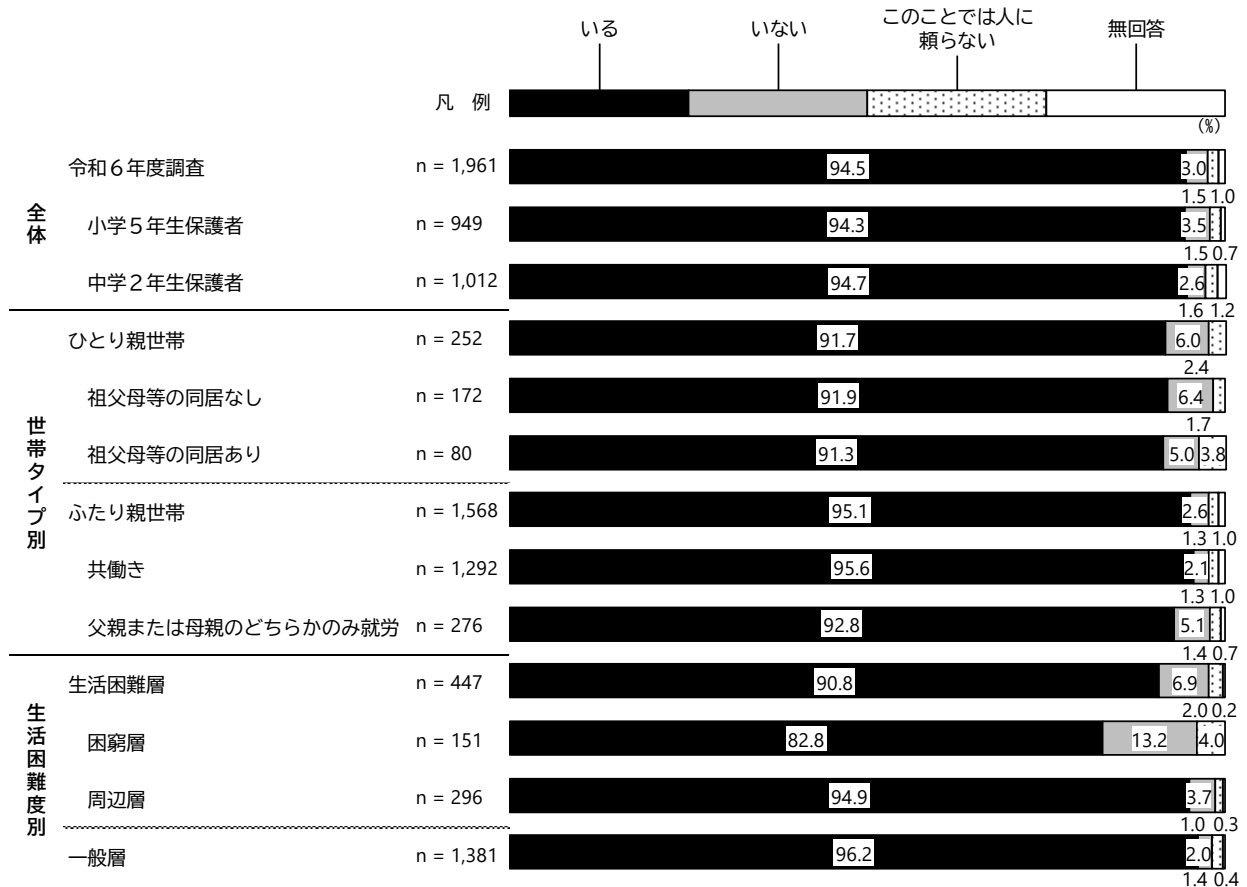
世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「子どもの教育費に不安がある」が45.6%、「子どもに対するしつけや教育に自信が持てない」が25.8%と、それぞれふたり親世帯に比べ高くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「子どもの教育費に不安がある」が23.4%であるのに対し、生活困難層では50.3%と高くなり、特に困窮層では65.6%とより高くなっています。また、「子どもに対するしつけや教育に自信が持てない」も同様に、一般層では17.1%であるのに対し、生活困難層では27.3%と高くなっています。

3-3 次の事柄で頼れる人の有無

問 15 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
(それぞれあてはまる番号1つに○)

① 子育てに関する相談



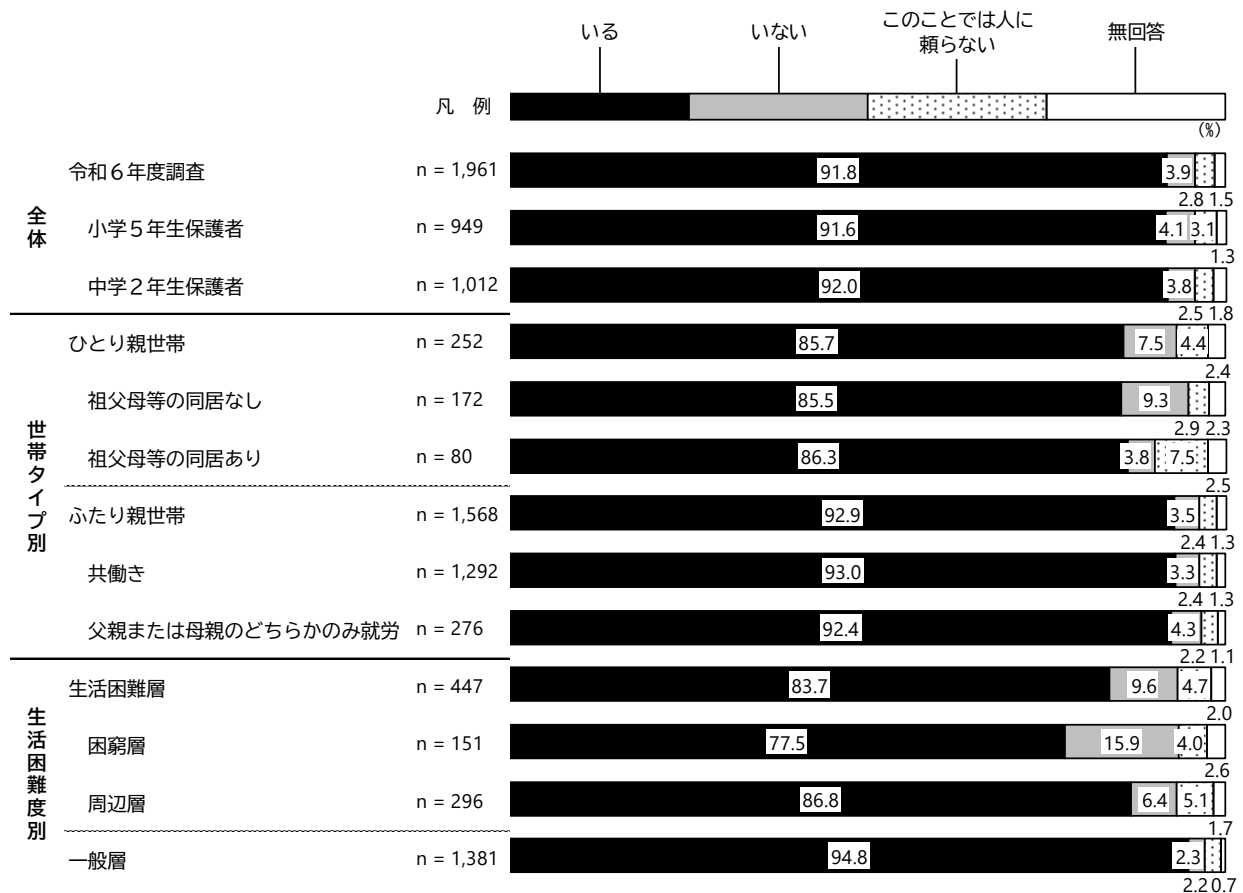
『子育てに関する相談』で頼れる人がいるかどうかについて、全体では「いる」が94.5%、「いない」が3.0%、「このことでは人に頼らない」が1.5%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、一般層では「いない」が2.0%であるのに対し、生活困難層では6.9%と高くなり、特に困窮層では13.2%とより高くなっています。

Ⅱ 保護者調査結果

② 重要な事柄の相談

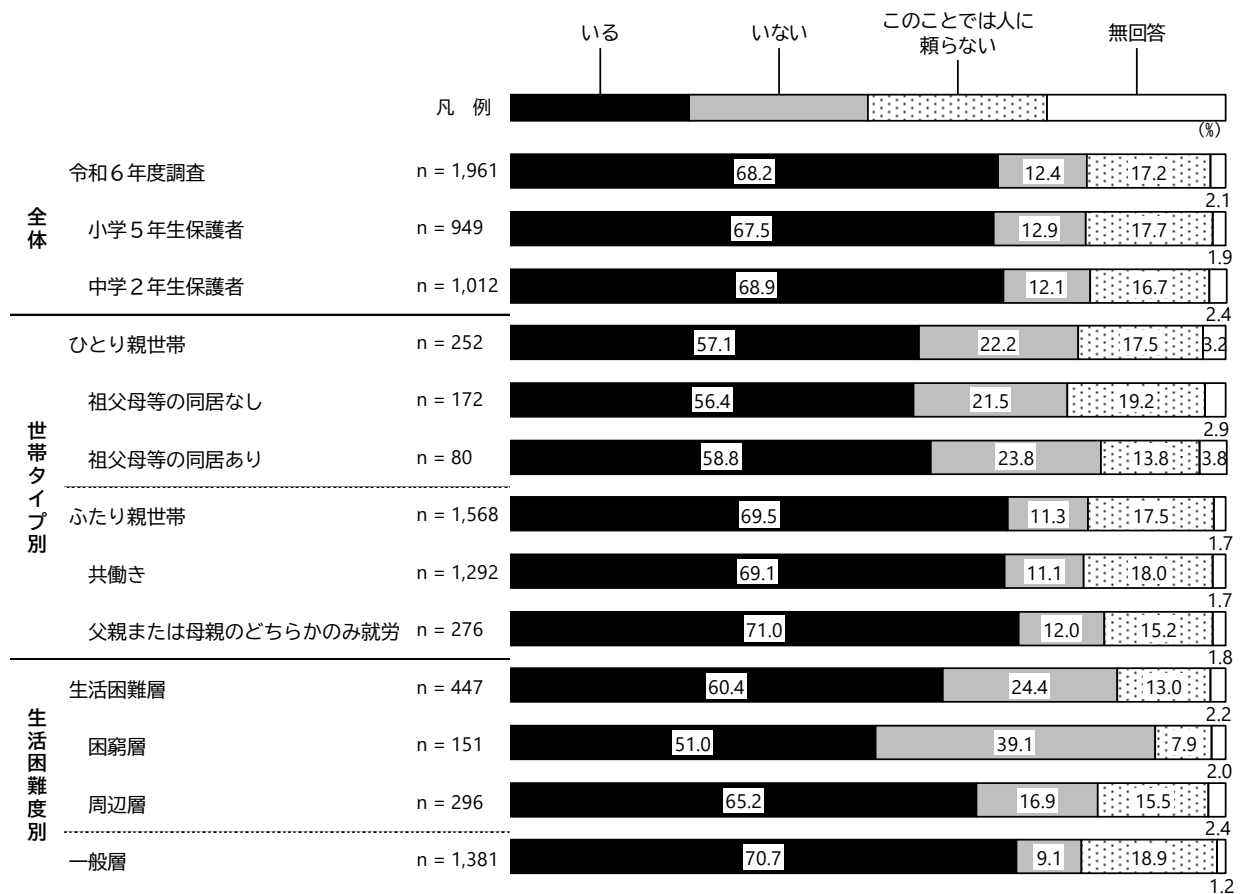


『重要な事柄の相談』で頼れる人がいるかどうかについて、全体では「いる」が91.8%、「いない」が3.9%、「このことでは人に頼らない」が2.8%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「いない」が7.5%と、ふたり親世帯に比べやや高く、特に祖父母等の同居がない世帯では9.3%とより高くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「いない」が2.3%であるのに対し、生活困難層では9.6%と高くなり、特に困窮層では15.9%とより高くなっています。

③ いざという時のお金の援助



『いざという時のお金の援助』で頼れる人がいるかどうかについて、全体では「いる」が68.2%、「いない」が12.4%、「このことでは人に頼らない」が17.2%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「いない」が22.2%と、ふたり親世帯に比べ10ポイント以上高くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「いない」が9.1%であるのに対し、生活困難層では24.4%と高くなり、特に困窮層では39.1%と4割以上を占めています。

Ⅱ 保護者調査結果

3-4 次の事柄で頼れる人

問 15 頼れる人がいる場合それはだれですか。（それぞれあてはまるものすべてに○）

① 子育てに関する相談

			(%)								
		n	家族・親族	友人・知人	職場の人	近所の人	行政の相談窓口	民間の相談窓口	民生委員・児童委員	その他	無回答
全体	令和6年度調査	1,853	89.5	63.2	31.9	6.4	1.6	0.6	0.4	1.5	0.4
	小学5年生保護者	895	90.9	63.2	32.6	6.8	2.1	1.0	0.3	1.6	0.4
	中学2年生保護者	958	88.2	63.2	31.3	5.9	1.0	0.3	0.4	1.4	0.4
世帯タイプ別	ひとり親世帯	231	81.8	57.6	26.0	5.2	2.2	0.9	0.9	3.0	0.4
	祖父母等の同居なし	158	80.4	62.0	30.4	6.3	2.5	1.3	1.3	3.2	-
	祖父母等の同居あり	73	84.9	47.9	16.4	2.7	1.4	-	-	2.7	1.4
	ふたり親世帯	1,491	90.7	64.1	33.1	6.8	1.4	0.7	0.3	1.3	0.5
	共働き	1,235	90.0	64.0	39.4	6.8	1.1	0.6	0.2	1.2	0.2
	父親または母親のどちらかのみ就労	256	94.1	64.5	2.7	6.6	2.7	1.2	0.4	1.6	1.6
生活困難度別	生活困難層	406	86.0	56.2	28.6	6.2	2.5	0.7	0.7	1.0	0.2
	困窮層	125	86.4	49.6	25.6	4.8	3.2	2.4	2.4	0.8	-
	周辺層	281	85.8	59.1	29.9	6.8	2.1	-	-	1.1	0.4
	一般層	1,329	90.7	65.3	33.0	6.4	1.3	0.6	0.2	1.4	0.5

『子育てに関する相談』で頼れる人について、全体では「家族・親族」が89.5%と最も高く、次いで「友人・知人」(63.2%)、「職場の人」(31.9%)となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「家族・親族」が81.8%と、ふたり親世帯に比べやや低くなっています。また、「職場の人」は共働き世帯では39.4%であるのに対し、父親または母親のどちらかのみ就労の世帯では2.7%と極めて低くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「友人・知人」が65.3%であるのに対し、生活困難層では56.2%とやや低くなり、特に困窮層では49.6%と5割を下回っています。

② 重要な事柄の相談

												(%)
		n	家族・親族	友人・知人	職場の人	近所の人	行政の相談窓口	民間の相談窓口	民生委員・児童委員	その他	無回答	
全体	令和6年度調査	1,800	96.0	31.7	7.1	0.9	0.6	0.6	0.2	0.8	0.5	
	小学5年生保護者	869	96.8	30.3	6.6	0.5	0.8	0.8	0.2	0.8	0.6	
	中学2年生保護者	931	95.3	33.0	7.5	1.4	0.4	0.3	0.2	0.9	0.4	
世帯タイプ別	ひとり親世帯	216	88.4	37.5	6.5	0.9	0.5	-	0.5	1.4	0.5	
	祖父母等の同居なし	147	87.1	40.8	7.5	1.4	0.7	-	0.7	1.4	-	
	祖父母等の同居あり	69	91.3	30.4	4.3	-	-	-	-	1.4	1.4	
	ふたり親世帯	1,456	97.3	30.6	7.3	1.0	0.6	0.6	0.1	0.7	0.5	
	共働き	1,201	97.3	30.6	8.6	0.9	0.7	0.7	0.2	0.7	0.3	
	父親または母親のどちらかのみ就労	255	97.3	30.2	1.2	1.2	-	0.4	-	0.4	1.6	
生活困難度別	生活困難層	374	94.1	28.9	5.6	0.8	0.5	0.3	0.3	0.8	0.3	
	困窮層	117	94.0	24.8	6.8	-	0.9	0.9	0.9	-	-	
	周辺層	257	94.2	30.7	5.1	1.2	0.4	-	-	1.2	0.4	
	一般層	1,309	96.6	32.2	7.4	1.0	0.6	0.6	0.2	0.8	0.5	

『重要な事柄の相談』で頼れる人について、全体では「家族・親族」が96.0%と最も高く、次いで「友人・知人」(31.7%)、「職場の人」(7.1%)となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「友人・知人」が37.5%と、ふたり親世帯に比べやや高くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層の「友人・知人」が他の困難度と比べやや低いものの、それ以外で特徴的な傾向はみられませんでした。

Ⅱ 保護者調査結果

③ いざという時のお金の援助

			(%)								
		n	家族・親族	友人・知人	行政の相談窓口	民間の相談窓口	職場の人	近所の人	民生委員・児童委員	その他	無回答
全体	令和6年度調査	1,338	98.2	2.0	1.0	0.9	0.3	0.1	-	0.9	0.7
	小学5年生保護者	641	97.8	2.0	0.9	0.6	0.2	-	-	0.6	0.9
	中学2年生保護者	697	98.6	2.0	1.1	1.1	0.4	0.1	-	1.1	0.4
世帯タイプ別	ひとり親世帯	144	94.4	4.9	2.8	2.8	0.7	-	-	2.1	1.4
	祖父母等の同居なし	97	93.8	6.2	3.1	3.1	1.0	-	-	2.1	1.0
	祖父母等の同居あり	47	95.7	2.1	2.1	2.1	-	-	-	2.1	2.1
	ふたり親世帯	1,089	98.6	1.4	0.9	0.7	0.3	0.1	-	0.7	0.6
	共働き	893	98.9	1.3	1.0	0.9	0.2	0.1	-	0.7	0.4
	父親または母親のどちらかのみ就労	196	97.4	1.5	0.5	-	0.5	-	-	1.0	1.5
生活困難度別	生活困難層	270	96.3	2.2	1.5	1.9	-	0.4	-	1.5	0.7
	困窮層	77	96.1	3.9	3.9	2.6	-	-	-	1.3	1.3
	周辺層	193	96.4	1.6	0.5	1.6	-	0.5	-	1.6	0.5
	一般層	977	98.7	1.7	1.0	0.7	0.4	-	-	0.8	0.6

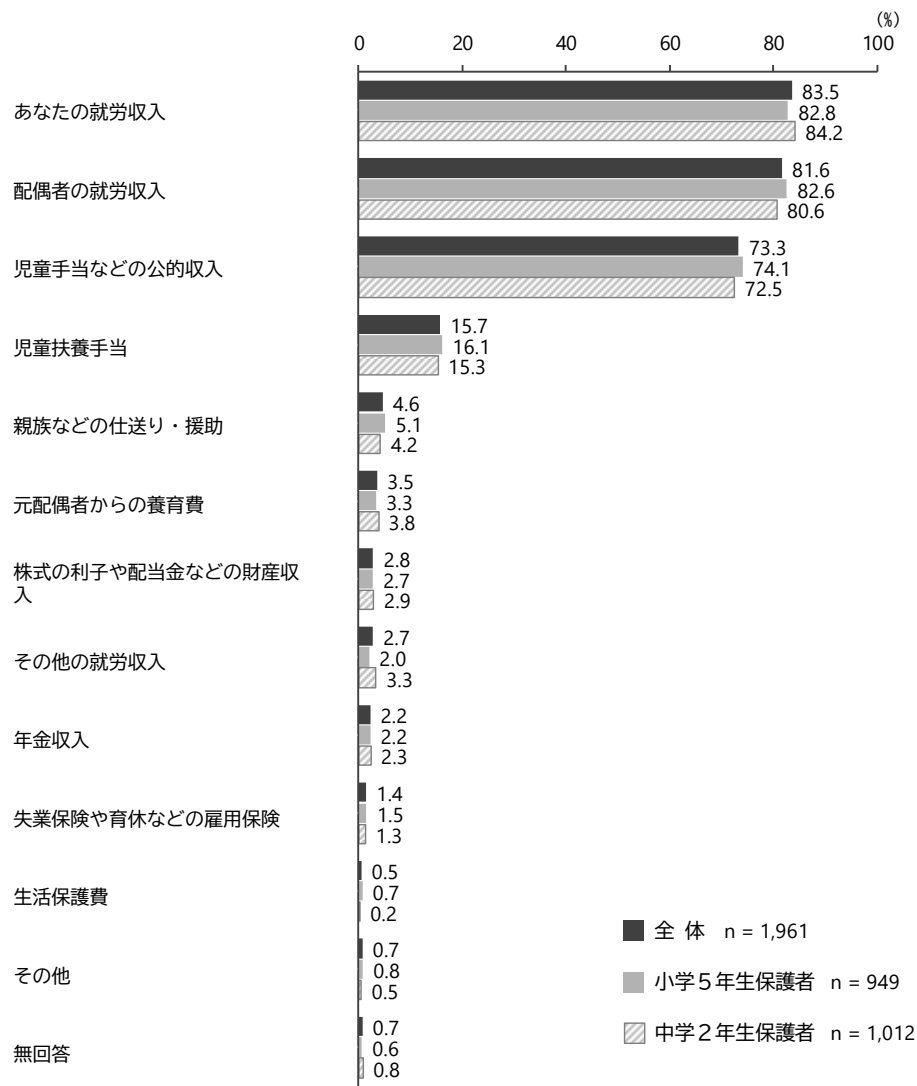
『いざという時のお金の援助』で頼れる人について、全体では「家族・親族」が98.2%と最も高く、それ以外の項目への回答は僅かであり、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別、生活困難度別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

4 家計の状況について

4-1 昨年（令和5年）1年間の世帯収入

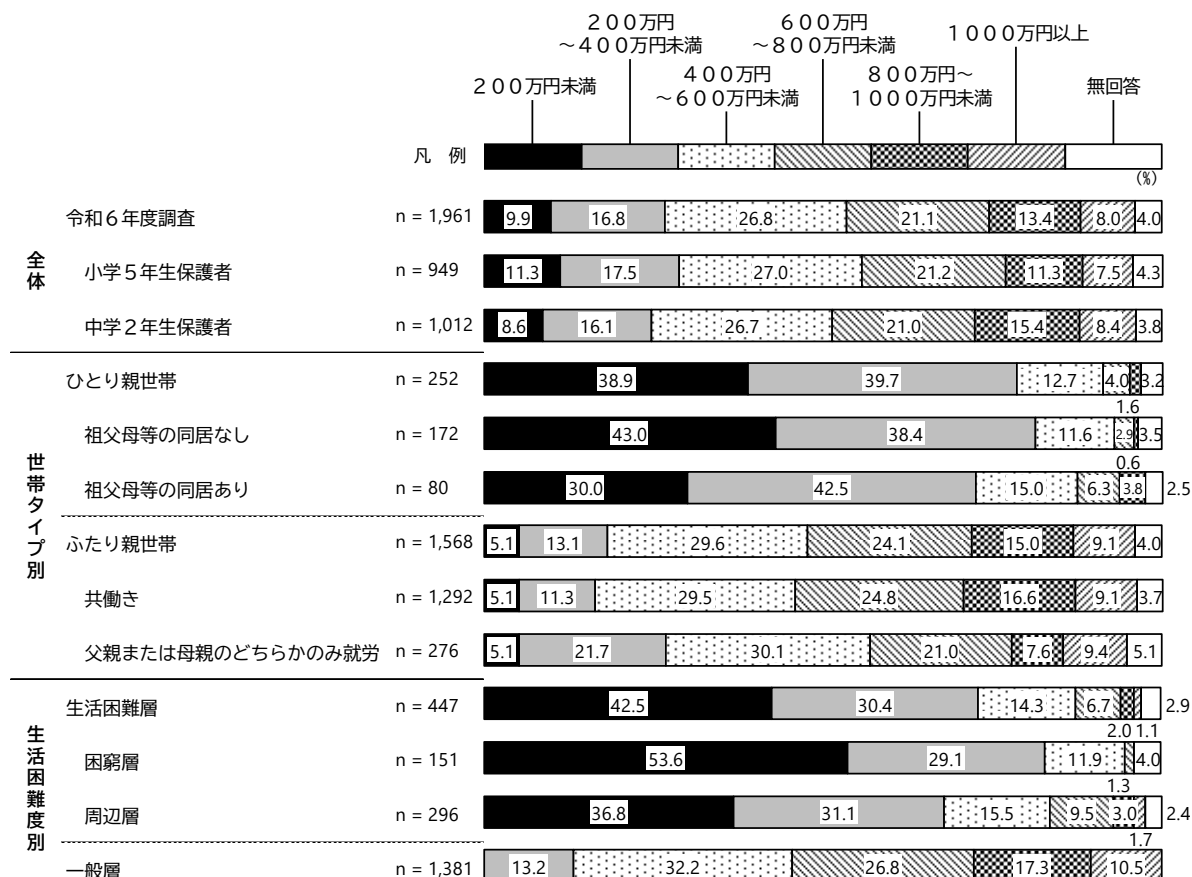
問16 あなたの世帯で、昨年1年間（令和5年1～12月）に次の収入がありましたか。
（あてはまるものすべてに○）



昨年（令和5年）1年間の世帯収入について、全体では「あなたの就労収入」が83.5%と最も高く、次いで「配偶者の就労収入」（81.6%）、「児童手当などの公的収入」（73.3%）となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

4-2 昨年（令和5年）1年間の世帯収入の合計金額（税込）

問17 問16の合計金額は、おおよそいくらになりますか。（〇は1つ）



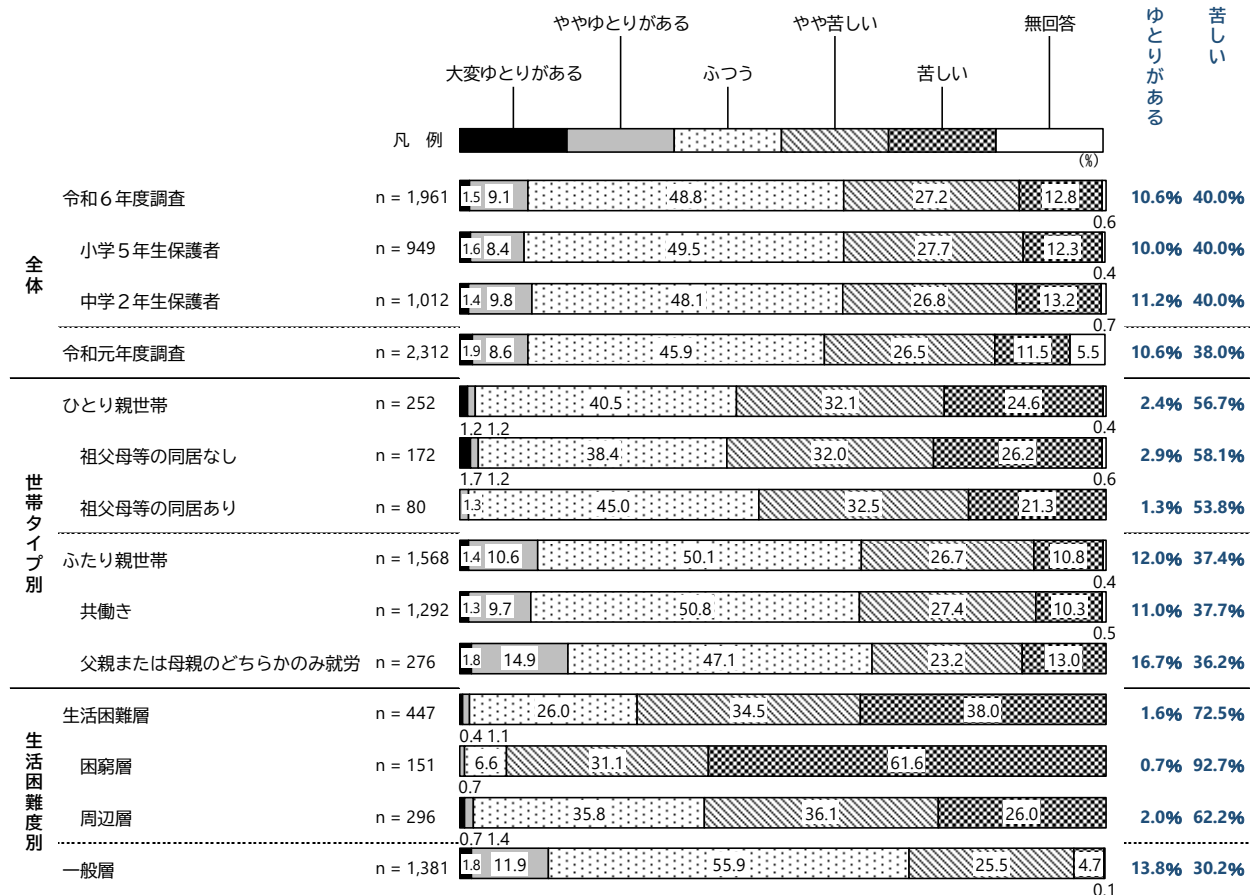
昨年（令和5年）1年間の世帯収入の合計金額（税込）について、「50万円未満」から「1000万円以上」の16段階の収入階層でたずね、その結果を上記のとおり6つの階層に再分類して集計したところ、「400万円～600万円未満」が26.8%と最も高く、次いで「600万円～800万円未満」（21.1%）、「200万円～400万円未満」（16.8%）となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ふたり親世帯では世帯収入400万円未満が18.2%と2割程度であるのに対し、ひとり親世帯では78.6%と約8割を占めています。

生活困難度別にみると、周辺層では世帯収入400万円未満が67.9%、困窮層では世帯収入400万円未満が82.8%を占めています。

4-3 現在の暮らしの状況

問18 現在の暮らしの状況をどう感じていますか。(○は1つ)



現在の暮らしの状況について、全体では《ゆとりがある》(「大変ゆとりがある」+「ややゆとりがある」)は10.6%と1割程度であり、《苦しい》(「苦しい」+「やや苦しい」)が40.0%、「ふつう」が27.2%となっています。小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

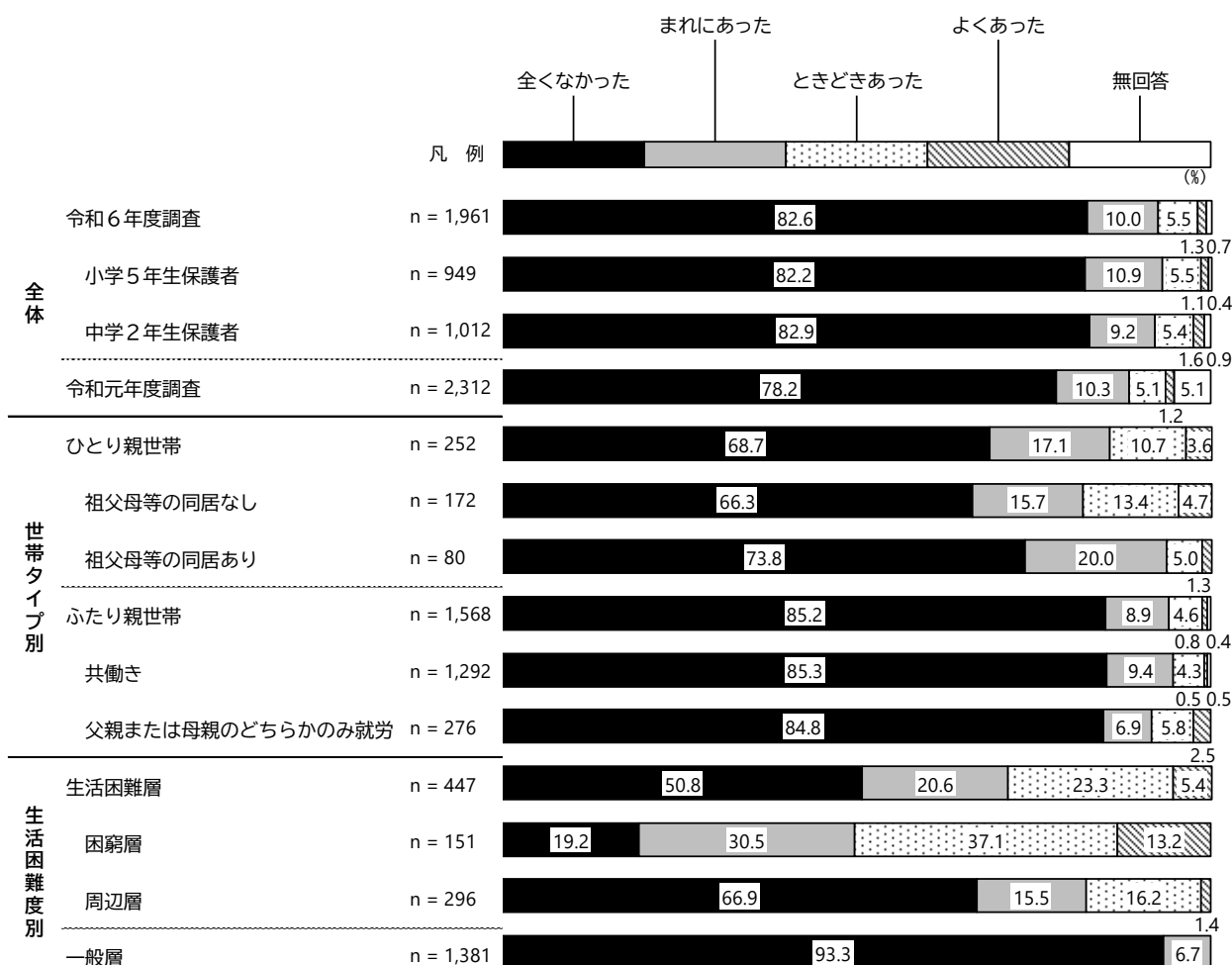
令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別にみると、ふたり親世帯では《ゆとりがある》が12.0%、《苦しい》が37.4%であるのに対し、ひとり親世帯では《ゆとりがある》が2.4%と僅かであり、《苦しい》が56.7%と5割を超えています。

生活困難度別にみると、一般層では《ゆとりがある》が13.8%、《苦しい》が30.2%であるのに対し、生活困難層では《ゆとりがある》が1.6%と僅かであり、《苦しい》が72.5%となっています。特に、困窮層では《苦しい》が92.7%と9割以上を占めています。

4-4 過去1年間に経済的理由で食料を買えなかったこと

問 19 過去1年間に、経済的理由で家族が必要とする食料を買えなかったことはありますか。ただし、嗜好品は含みません。(〇は1つ)



過去1年間に経済的理由で食料を買えなかったことについて、全体では「全くなかった」が82.6%と最も高く、次いで「まれにあった」(10.0%)、「ときどきあった」(5.5%)となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

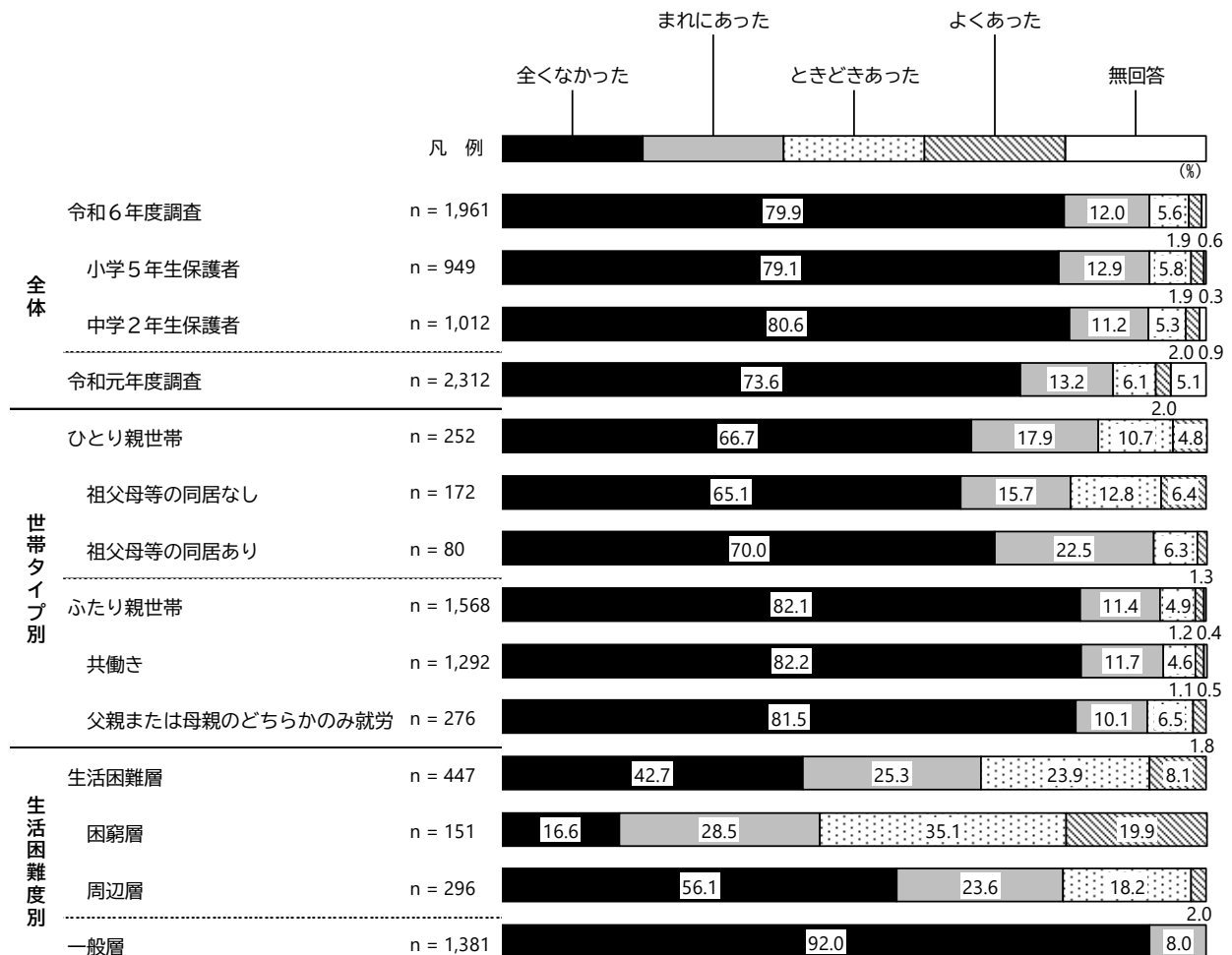
令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「全くなかった」が68.7%と、ふたり親世帯に比べ低くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では「全くなかった」が19.2%にとどまり、8割以上の世帯が経済的理由で食料を買えなかったと回答しています。

4-5 過去1年間に経済的理由で衣類を買えなかったこと

問 20 過去1年間に、経済的理由で家族が必要とする衣類を買えなかったことはありますか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(○は1つ)



過去1年間に経済的理由で衣料を買えなかったことについて、全体では「全くなかった」が79.9%と最も高く、次いで「まれにあった」(12.0%)、「ときどきあった」(5.6%)となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

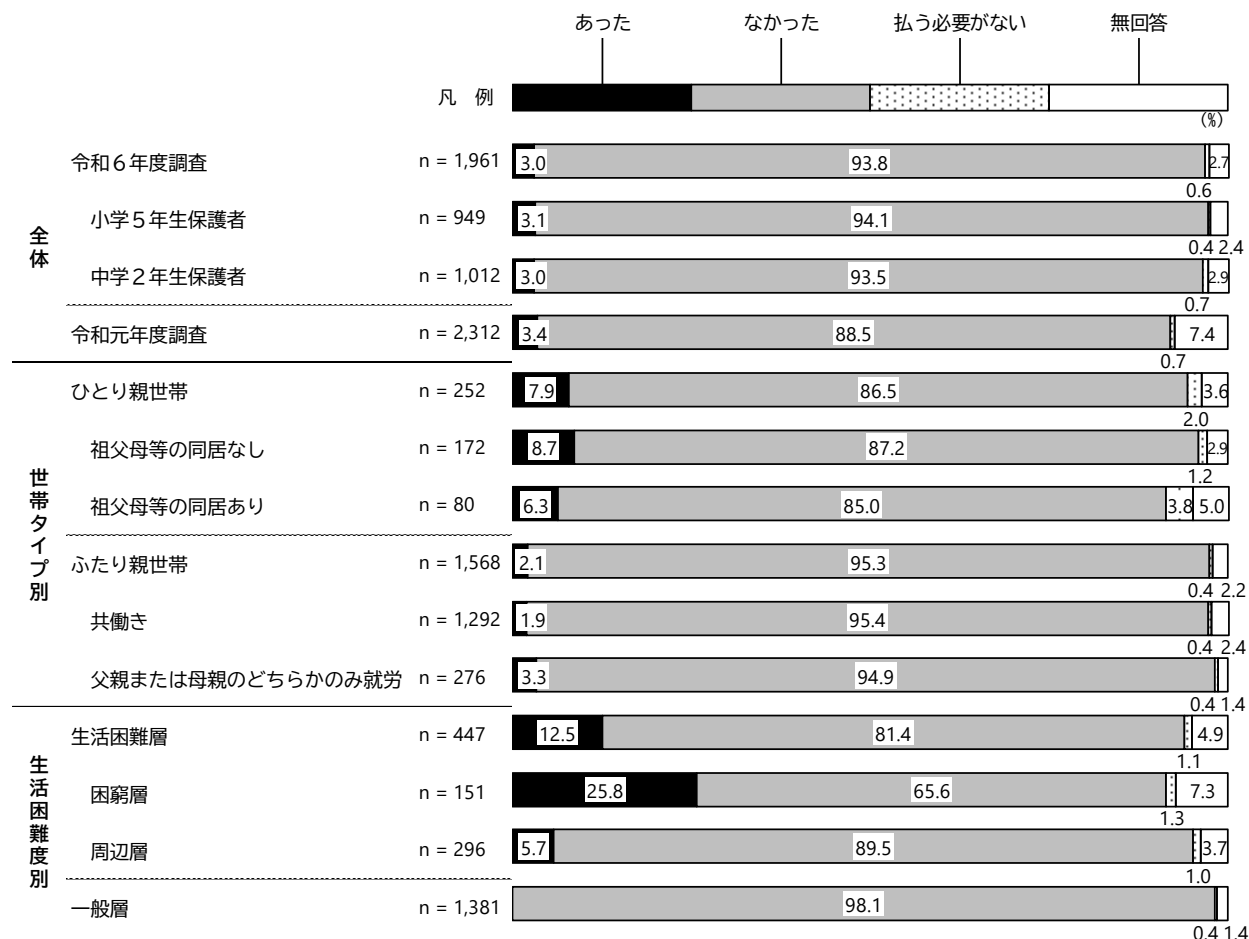
世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「全くなかった」が66.7%と、ふたり親世帯に比べ低くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では「全くなかった」が16.6%にとどまり、8割以上の世帯が経済的理由で衣料を買えなかったと回答しています。

4-6 過去1年間に経済的理由で次の料金が払えなかったこと

問 21 過去1年間に、経済的理由で次の料金が支払えなかったことがありますか。
(それぞれあてはまる番号1つに○)

① 電話料金



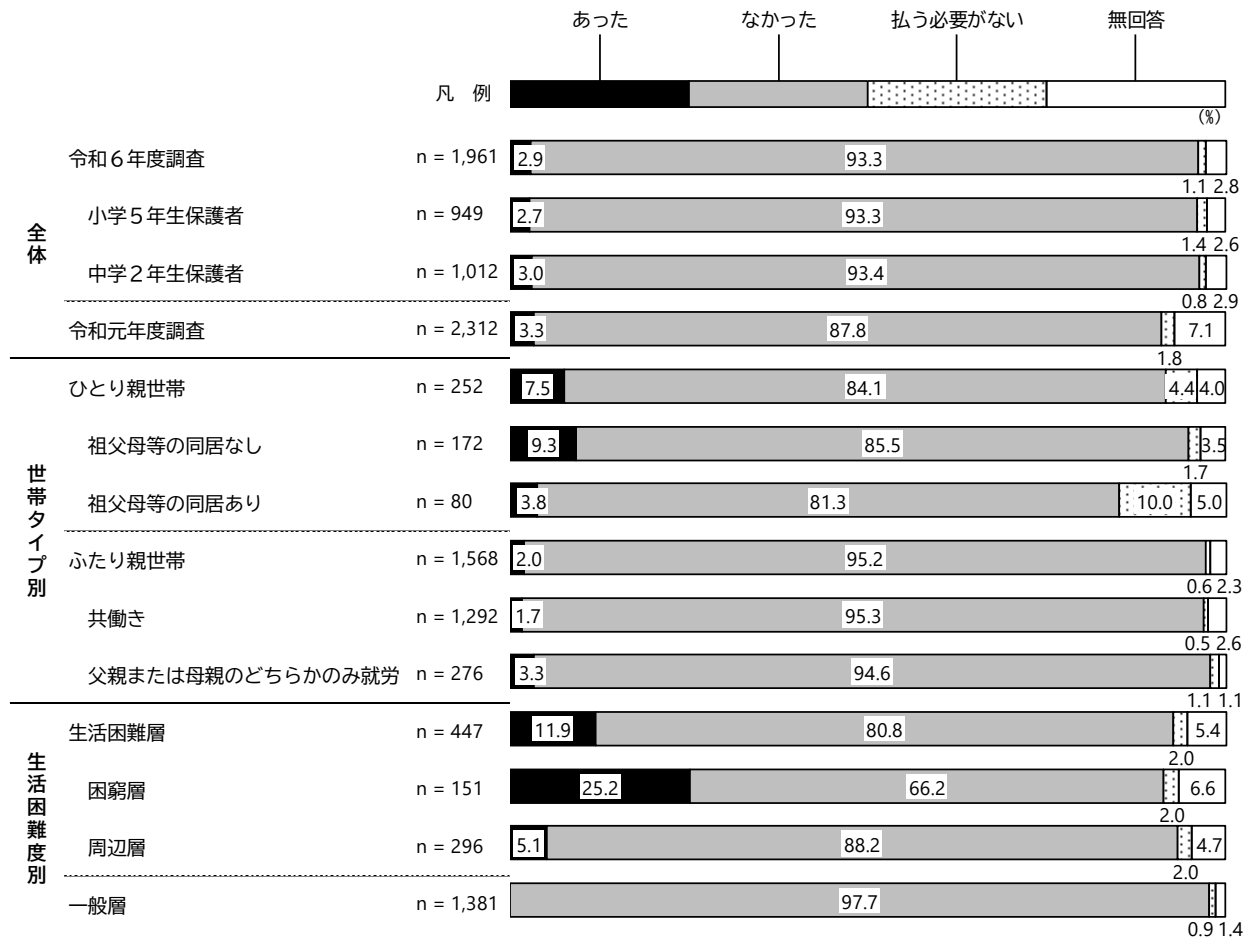
過去1年間に経済的理由で『電話料金』が払えなかったことについて、全体では「あった」が3.0%、「なかった」が93.8%、「払う必要がない」が0.6%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「あった」が7.9%と、ふたり親世帯に比べやや高くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では「あった」が25.8%を占めています。

② 電気料金



過去1年間に経済的理由で『電気料金』が払えなかったことについて、全体では「あった」が2.9%、「なかった」が93.3%、「払う必要がない」が1.1%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

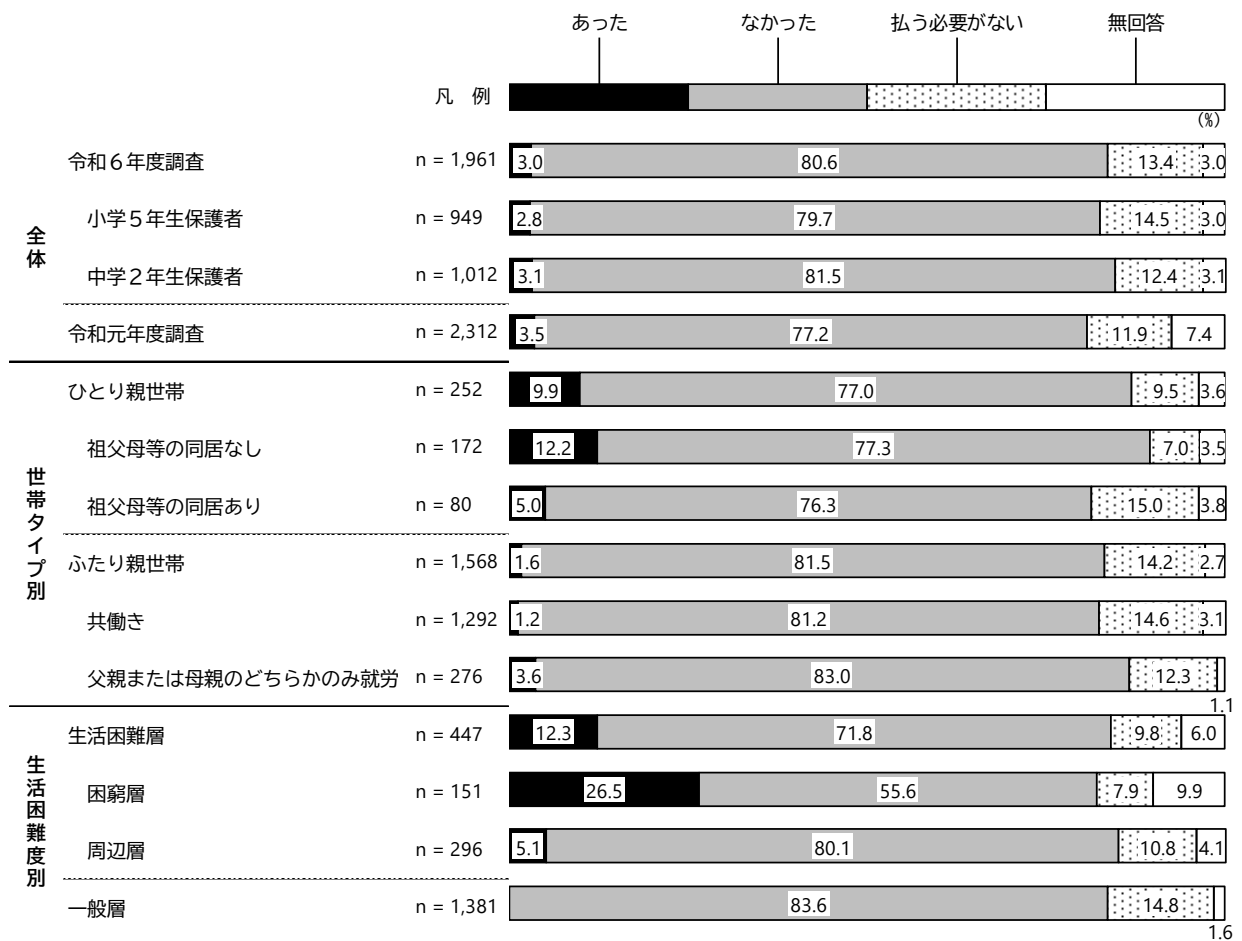
令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「あった」が7.5%と、ふたり親世帯に比べやや高くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では「あった」が25.2%を占めています。

Ⅱ 保護者調査結果

③ ガス料金



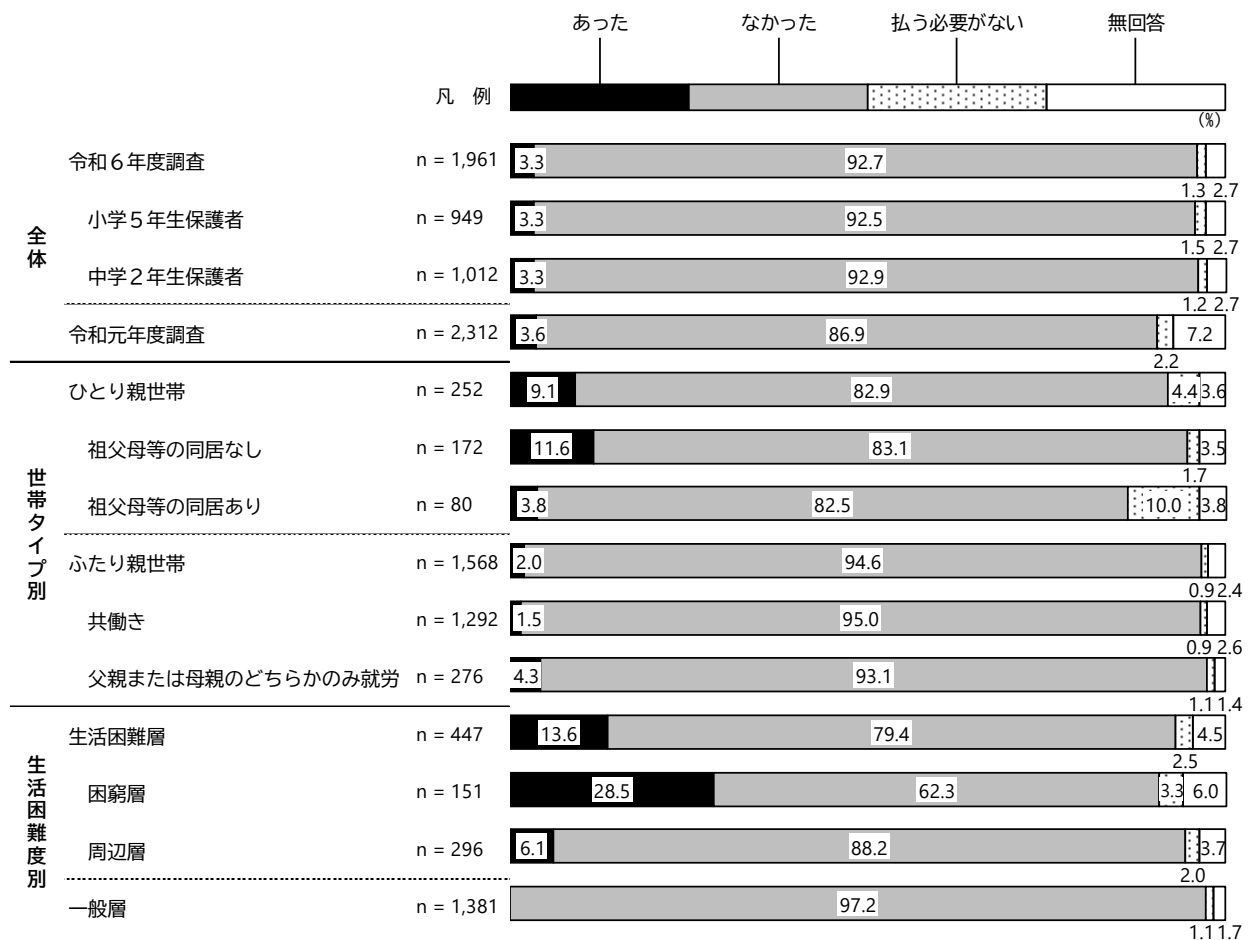
過去1年間に経済的理由で『ガス料金』が払えなかったことについて、全体では「あった」が3.0%、「なかった」が80.6%、「払う必要がない」が13.4%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「あった」が9.9%と、ふたり親世帯に比べやや高くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では「あった」が26.5%を占めています。

④ 水道料金



過去1年間に経済的理由で『水道料金』が払えなかったことについて、全体では「あった」が3.3%、「なかった」が92.7%、「払う必要がない」が1.3%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

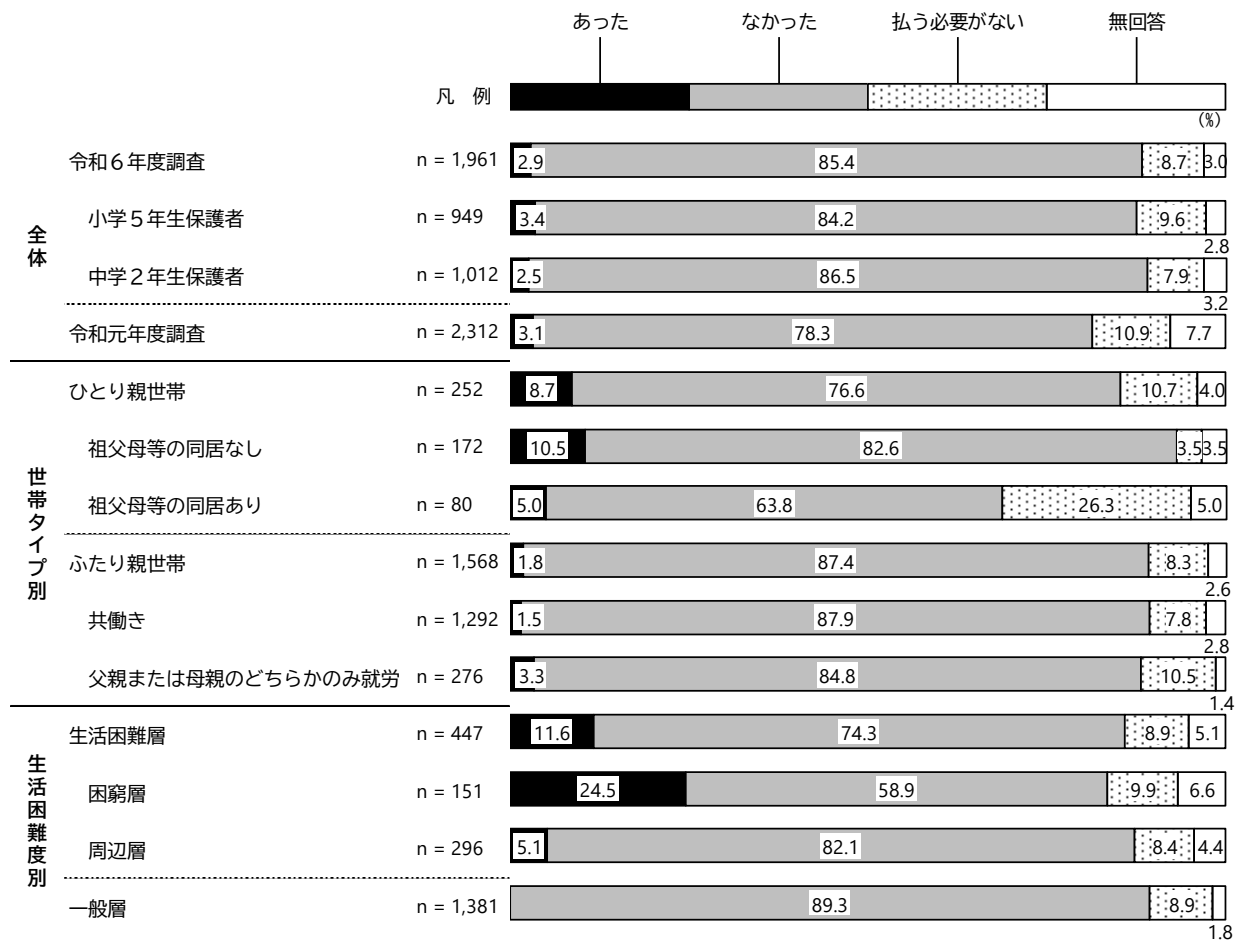
令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「あった」が9.1%と、ふたり親世帯に比べやや高くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では「あった」が28.5%を占めています。

Ⅱ 保護者調査結果

⑤ 家賃や住宅ローン



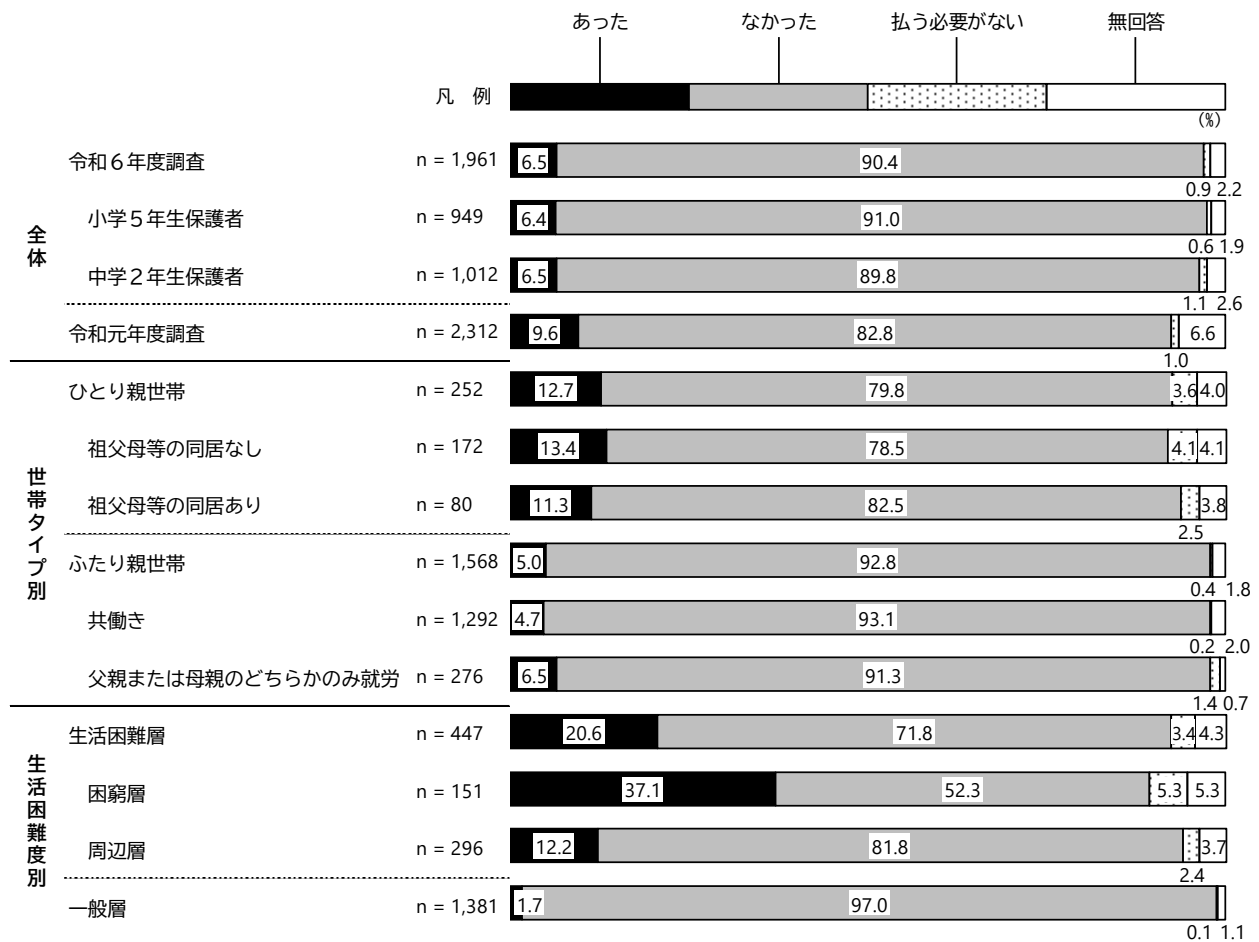
過去1年間に経済的理由で『家賃や住宅ローン』が払えなかったことについて、全体では「あった」が2.9%、「なかった」が85.4%、「払う必要がない」が8.7%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「あった」が8.7%と、ふたり親世帯に比べやや高くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では「あった」が24.5%を占めています。

⑥ 税金



過去1年間に経済的理由で『税金』が払えなかったことについて、全体では「あった」が6.5%、「なかった」が90.4%、「払う必要がない」が0.9%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

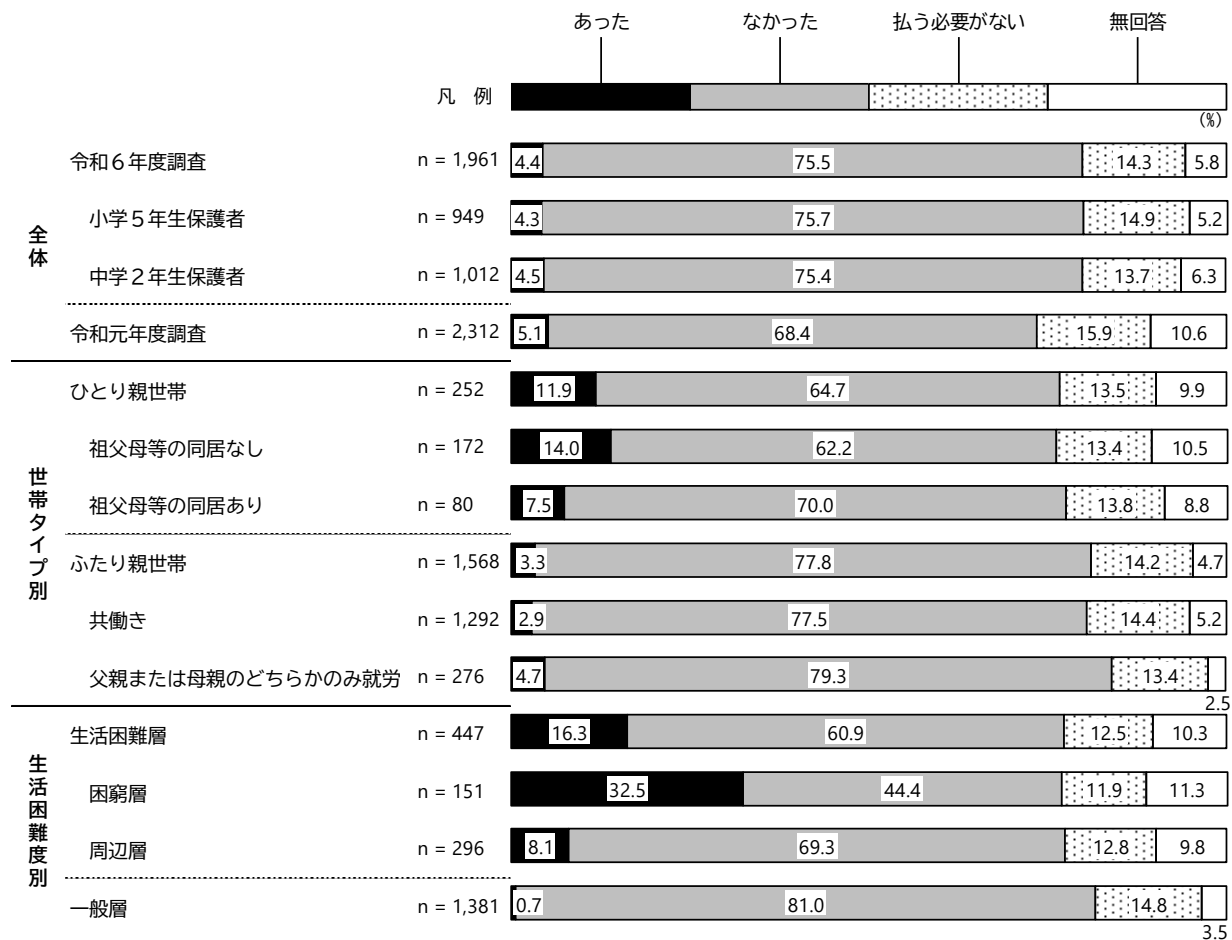
令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「あった」が12.7%と、ふたり親世帯に比べやや高くなっています。

生活困難度別にみると、生活困難層では「あった」が20.6%を占め、特に困窮層では37.1%と高くなっています。

Ⅱ 保護者調査結果

⑦ その他の債務



過去1年間に経済的理由で『その他の債務』が払えなかったことについて、全体では「あった」が4.4%、「なかった」が75.5%、「払う必要がない」が14.3%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「あった」が11.9%と、ふたり親世帯に比べやや高くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では「あった」が32.5%を占めています。

4-7 経済的理由で世帯にないもの

問 22 次のうち、経済的理由であなたの世帯にないものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

		n	子どもが宿題をする場所	子どもの年齢にあった本	子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	子どもが必要とする文具や教材	その他	特にない	無回答
全体	令和6年度調査	1,961	4.8	4.3	3.6	2.2	0.7	84.0	5.0
	小学5年生保護者	949	4.8	4.6	4.4	2.1	0.7	85.0	3.6
	中学2年生保護者	1,012	4.8	4.1	2.8	2.3	0.6	83.1	6.4
	令和元年度調査	2,312	5.3	6.0	3.5	2.7	1.2	76.6	10.0
世帯タイプ別	ひとり親世帯	252	11.9	11.9	12.3	7.9	1.2	67.9	4.0
	祖父母等の同居なし	172	11.6	11.0	11.6	9.3	1.7	67.4	5.2
	祖父母等の同居あり	80	12.5	13.8	13.8	5.0	-	68.8	1.3
	ふたり親世帯	1,568	4.0	3.3	2.4	1.2	0.6	86.5	4.9
	共働き	1,292	3.8	3.0	2.2	1.1	0.6	86.6	5.2
	父親または母親のどちらかのみ就労	276	4.7	4.3	3.3	1.8	0.7	86.2	3.6
生活困難度別	生活困難層	447	16.1	16.1	13.2	8.5	1.3	59.7	4.9
	困窮層	151	31.1	33.1	30.5	23.2	1.3	27.8	4.0
	周辺層	296	8.4	7.4	4.4	1.0	1.4	76.0	5.4
	一般層	1,381	1.5	0.7	0.7	0.3	0.5	92.1	4.3

経済的理由で世帯にないものについて、全体ではいずれの項目も、世帯に無いとの回答は5%未満であり、「特にない」が84.0%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「特にない」が約7ポイント上昇しています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「子どもが宿題をする場所」「子どもの年齢にあった本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」がないとの回答が1割を超えており、ふたり親世帯に比べ高くなっています。

生活困難度別にみると、特に困窮層では「子どもが宿題をする場所」「子どもの年齢にあった本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」がないとの回答がいずれも3割以上、「子どもが必要とする文具や教材」がないとの回答も2割以上と高くなっています。

5 子育て支援について

5-1 子育てに関する施策等の情報源

問 23 子育てに関する施策等の情報をどのように入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

		n	学校からの お便り	家族や友人からの 情報	SNS	広報い わき	市のホ ームペ ージ	市子ど も・子 育て支 援サイ ト	民間の 子育て 支援サ イト	こども みらい BOOK	おやC oC oア プリ	その他	特にな い	無回 答
全 体	令和6年度調査	1,961	60.6	44.2	26.8	23.2	18.4	4.4	1.1	0.7	0.2	0.9	16.7	1.1
	小学5年生保護者	949	62.9	45.1	28.3	20.9	18.3	5.3	1.6	1.2	0.3	1.2	17.0	0.6
	中学2年生保護者	1,012	58.5	43.4	25.3	25.3	18.4	3.7	0.7	0.3	0.1	0.7	16.4	1.5
	令和元年度調査	2,312	62.8	46.8	10.9	27.7	10.1	3.9	1.3	-	0.2	0.8	14.5	6.0
世 帯 タ イ プ 別	ひとり親世帯	252	53.2	36.1	23.0	10.7	23.4	5.6	0.8	1.2	-	0.4	22.6	1.2
	祖父母等の同居なし	172	53.5	37.2	25.6	10.5	23.8	7.0	0.6	1.7	-	0.6	22.7	1.7
	祖父母等の同居あり	80	52.5	33.8	17.5	11.3	22.5	2.5	1.3	-	-	-	22.5	-
	ふたり親世帯	1,568	62.3	46.1	27.6	25.5	17.7	4.3	1.2	0.6	0.3	1.0	15.3	0.9
	共働き	1,292	61.8	45.7	27.5	26.3	17.6	4.1	1.0	0.6	0.3	1.2	15.0	0.9
	父親または母親のどちらかのみ就労	276	64.5	47.8	28.3	21.7	18.1	5.1	2.2	0.4	-	0.4	16.7	0.7
生 活 困 難 度 別	生活困難層	447	54.6	38.5	21.9	19.0	19.5	5.1	1.1	1.1	-	0.7	21.0	1.6
	困窮層	151	58.3	39.7	21.2	17.2	22.5	7.9	0.7	0.7	-	0.7	20.5	0.7
	周辺層	296	52.7	37.8	22.3	19.9	17.9	3.7	1.4	1.4	-	0.7	21.3	2.0
	一般層	1,381	62.8	46.8	28.5	25.0	18.2	4.3	1.1	0.7	0.3	1.0	15.0	0.5

子育てに関する施策等の情報源について、全体では「学校からのお便り」が60.6%と最も高く、次いで「家族や友人からの情報」(44.2%)、「SNS」(26.8%)となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較すると、「SNS」が約16ポイント上昇しています。

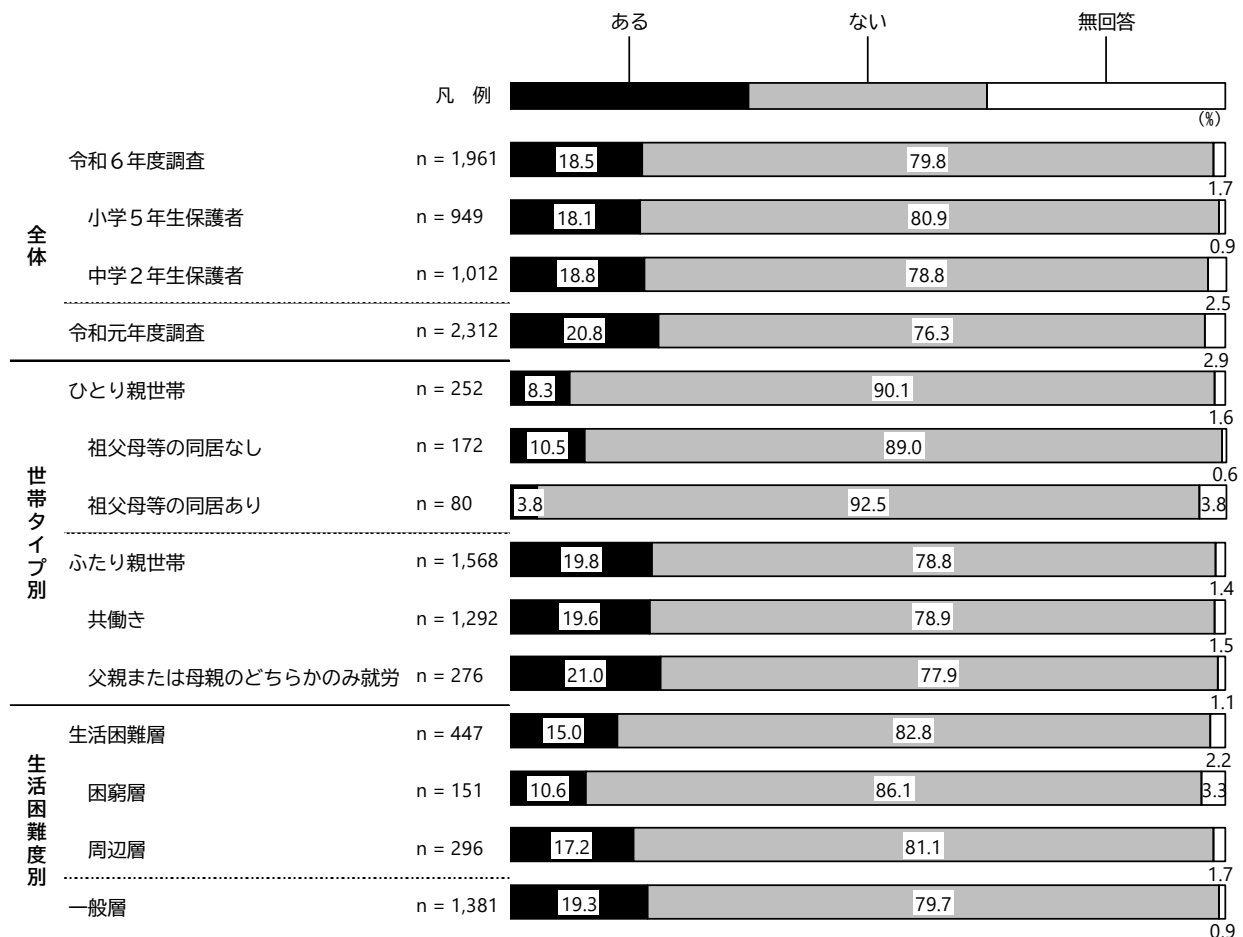
世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「学校からのお便り」「家族や友人からの情報」「広報いわき」がふたり親世帯に比べ低く、特に「広報いわき」はふたり親世帯が25.5%なのに対し、ひとり親世帯では10.7%と約15ポイントの差がみられます。

生活困難度別にみると、生活困難層では「学校からのお便り」「家族や友人からの情報」が、一般層に比べやや低くなっています。

5-2 次のような場所の利用状況

問 24 次のことについて、これまでに利用したことはありますか。また、利用したことがない場合は、利用してみたいですか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

① 利用状況／子育てサークル



『子育てサークル』をこれまで利用したことについて、全体では「ある」が18.5%、「ない」が79.8%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

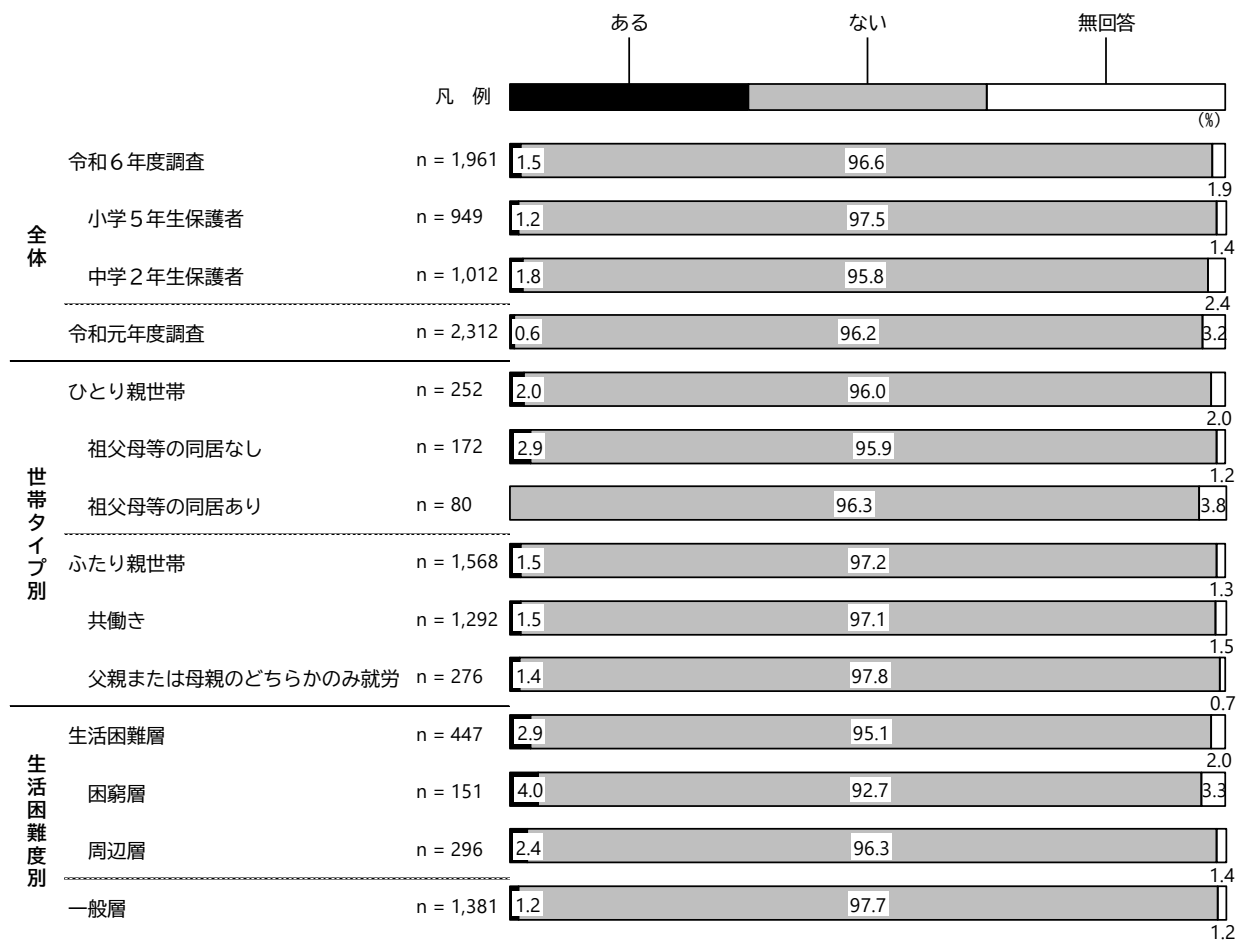
令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「ある」が8.3%と、ふたり親世帯に比べ低くなっており、特に祖父母等の同居がある世帯での利用が少なくなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では「ある」が10.6%と、他の困難度と比べやや低くなっています。

Ⅱ 保護者調査結果

② 利用状況／こども食堂・コミュニティ食堂

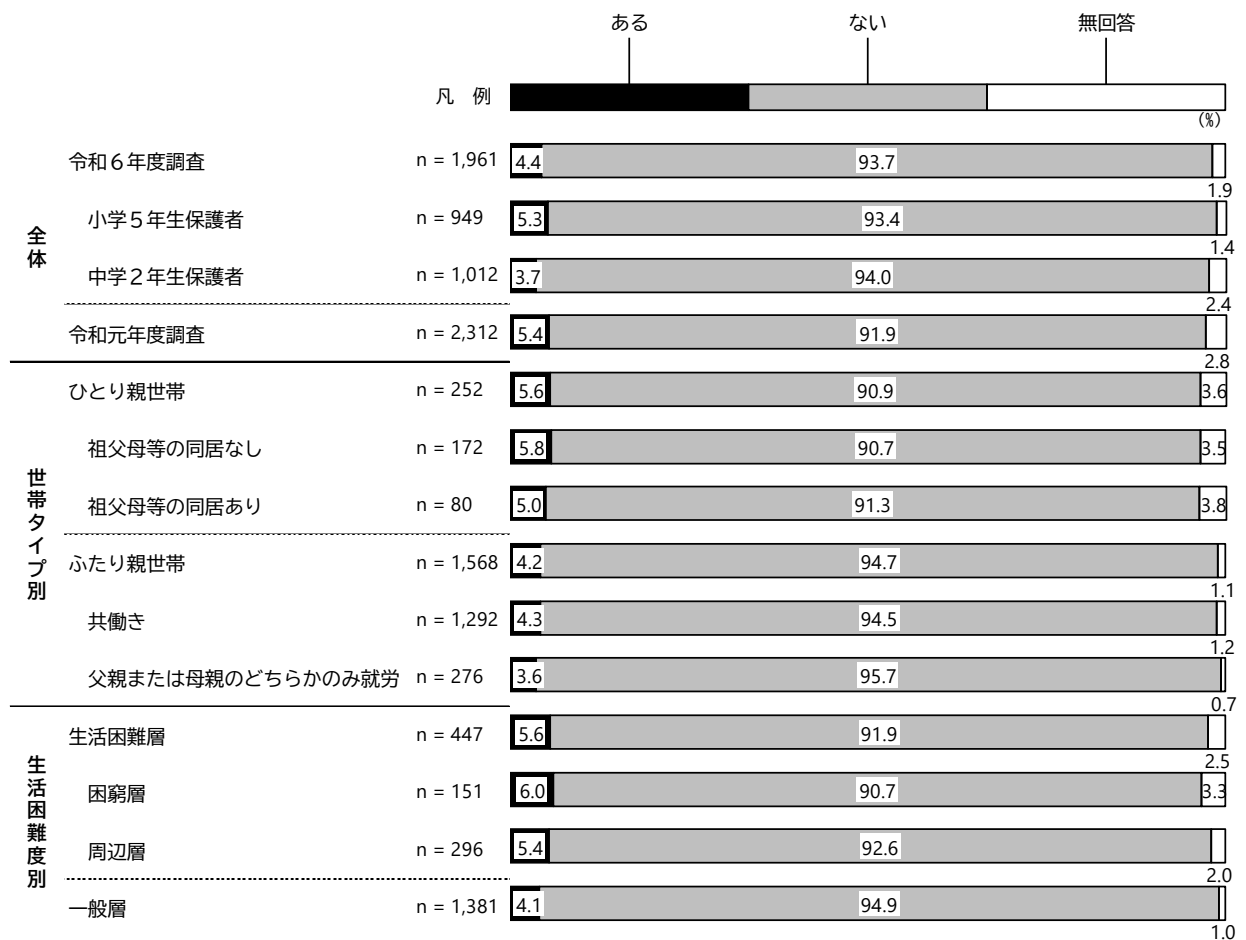


『こども食堂・コミュニティ食堂』をこれまで利用したことについて、全体では「ある」が1.5%、「ない」が96.6%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別、生活困難度別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

③ 利用状況／学校・塾以外の学習支援



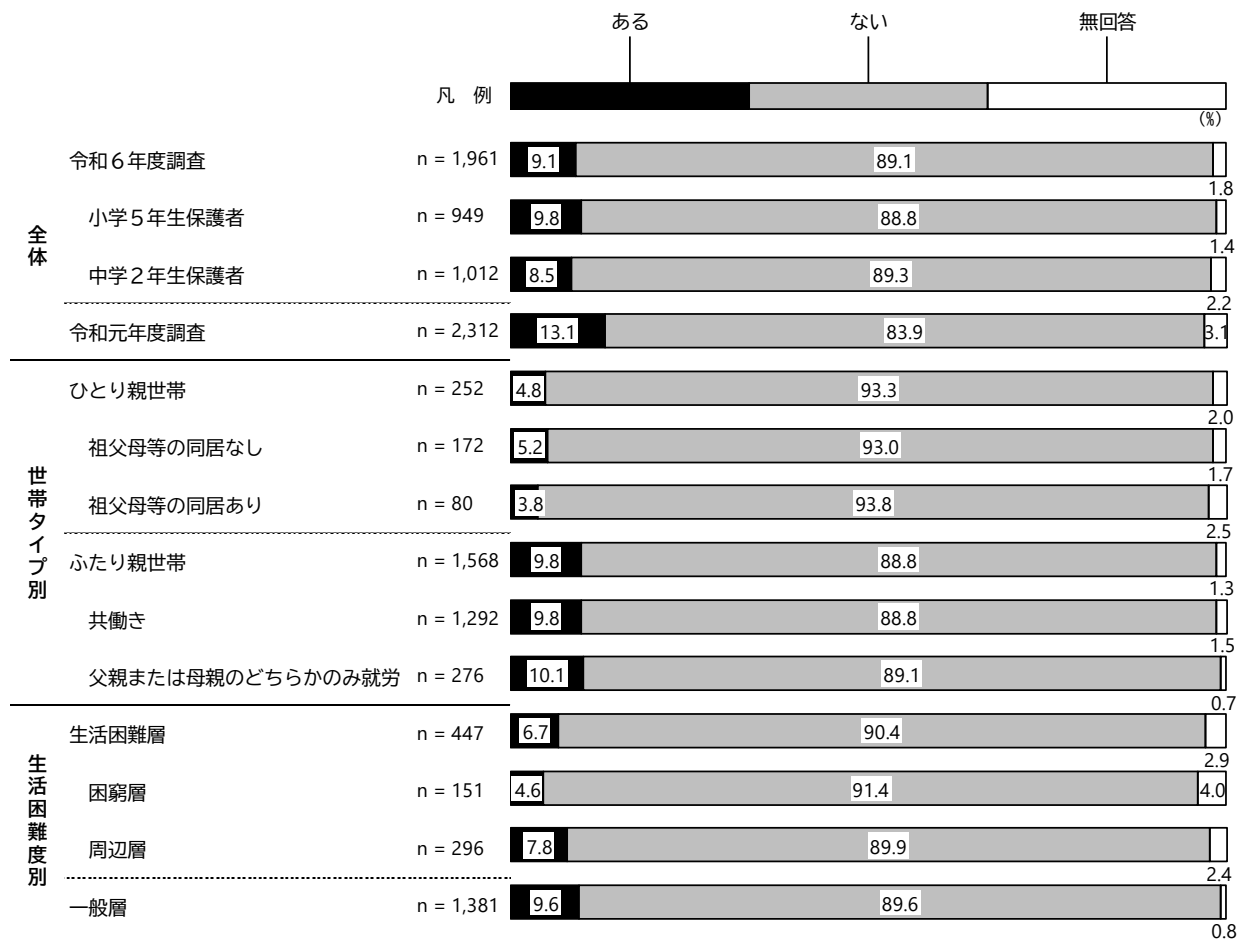
『学校・塾以外の学習支援』をこれまで利用したことについて、全体では「ある」が4.4%、「ない」が93.7%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別、生活困難度別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

Ⅱ 保護者調査結果

④ 利用状況／公民館（ジュニアリーダー学級など）



『公民館（ジュニアリーダー学級など）』をこれまで利用したことについて、全体では「ある」が9.1%、「ない」が89.1%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較すると、「ある」が僅かに下降しています。

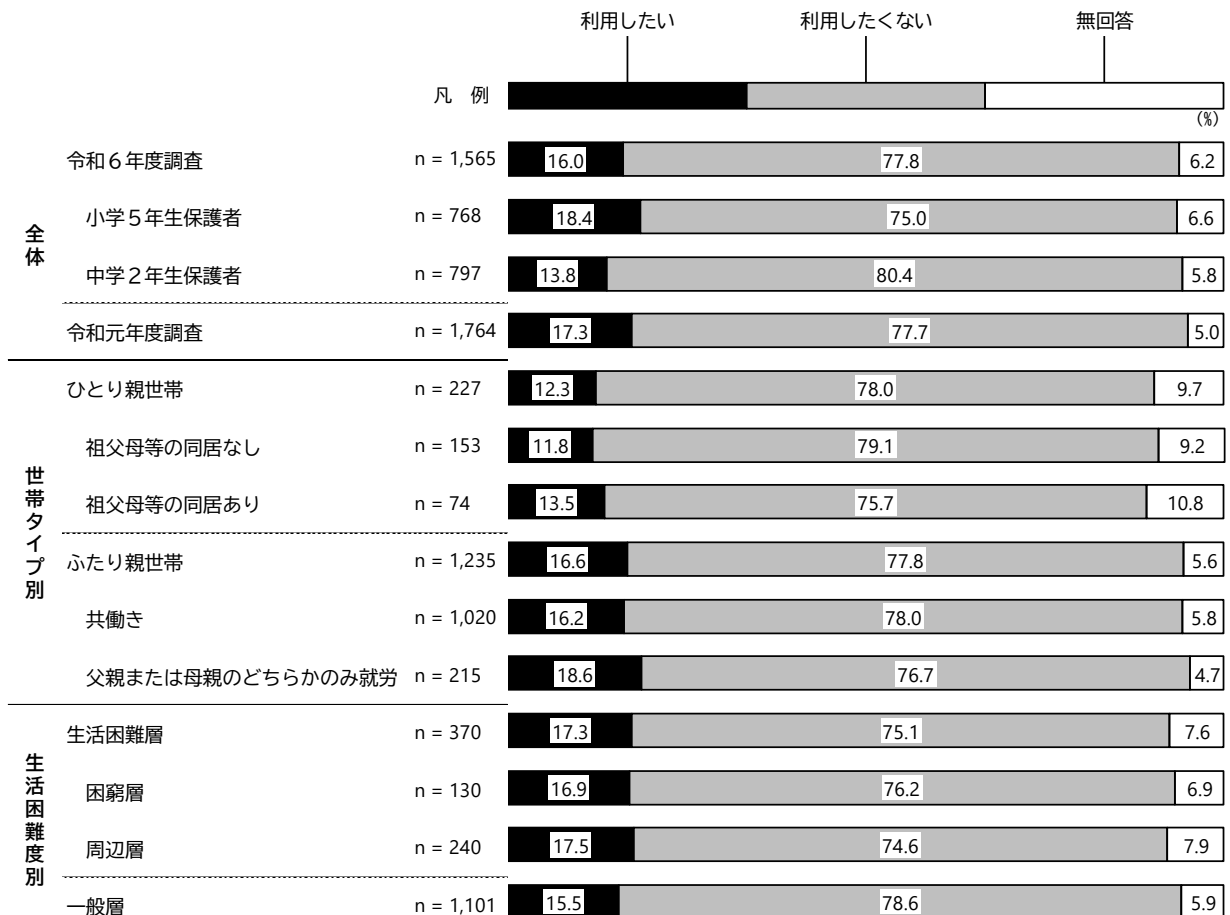
世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「ある」が4.8%と、ふたり親世帯に比べやや低くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では「ある」が4.6%と、他の困難度にならばやや低くなっています。

5-3 次のような場所の利用意向

問 24 次のことについて、これまでに利用したことはありますか。また、利用したことがない場合は、利用してみたいですか。（それぞれあてはまる番号1つに○）

① 利用意向／子育てサークル



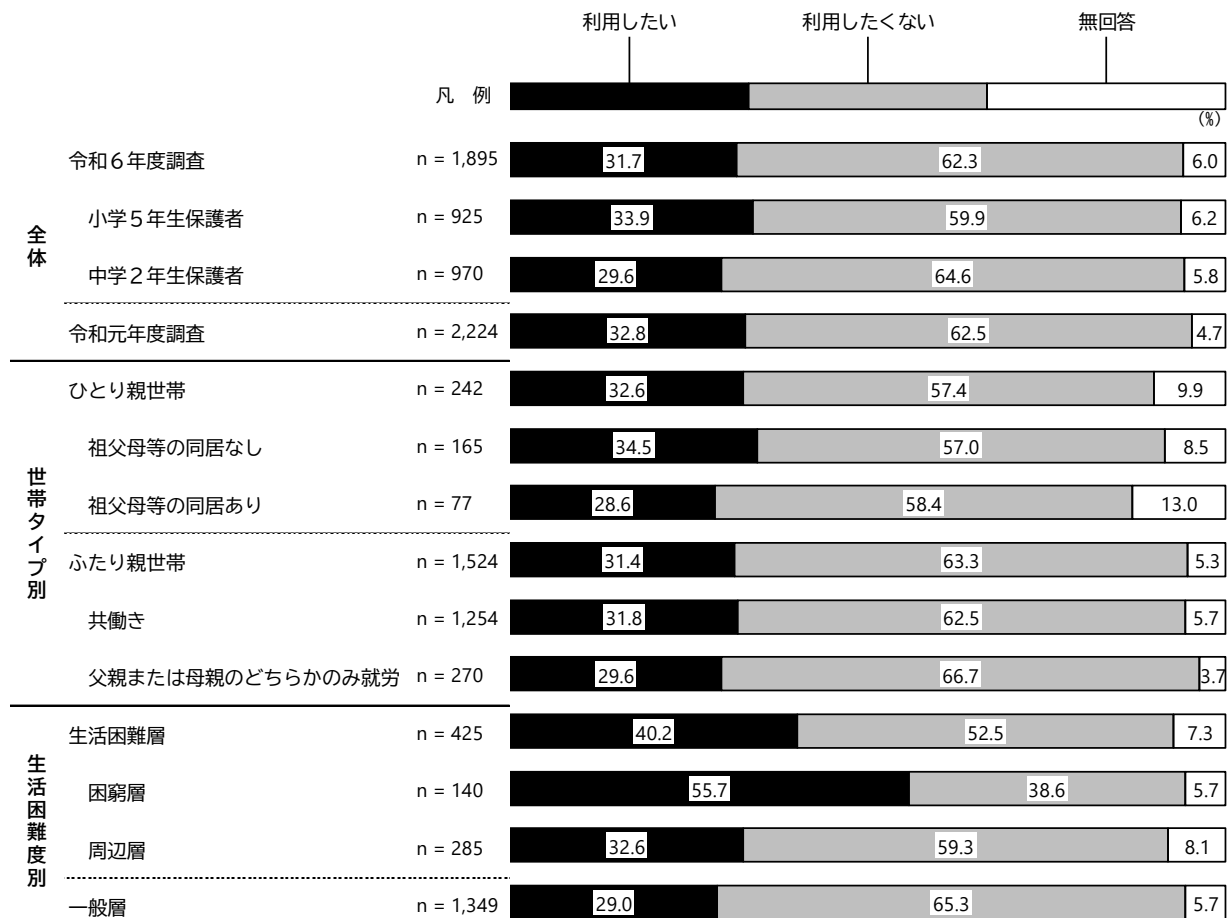
『子育てサークル』を利用したことがない場合の利用意向について、全体では「利用したい」が16.0%、「利用したくない」が77.8%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別、生活困難度別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

Ⅱ 保護者調査結果

② 利用意向／こども食堂・コミュニティ食堂



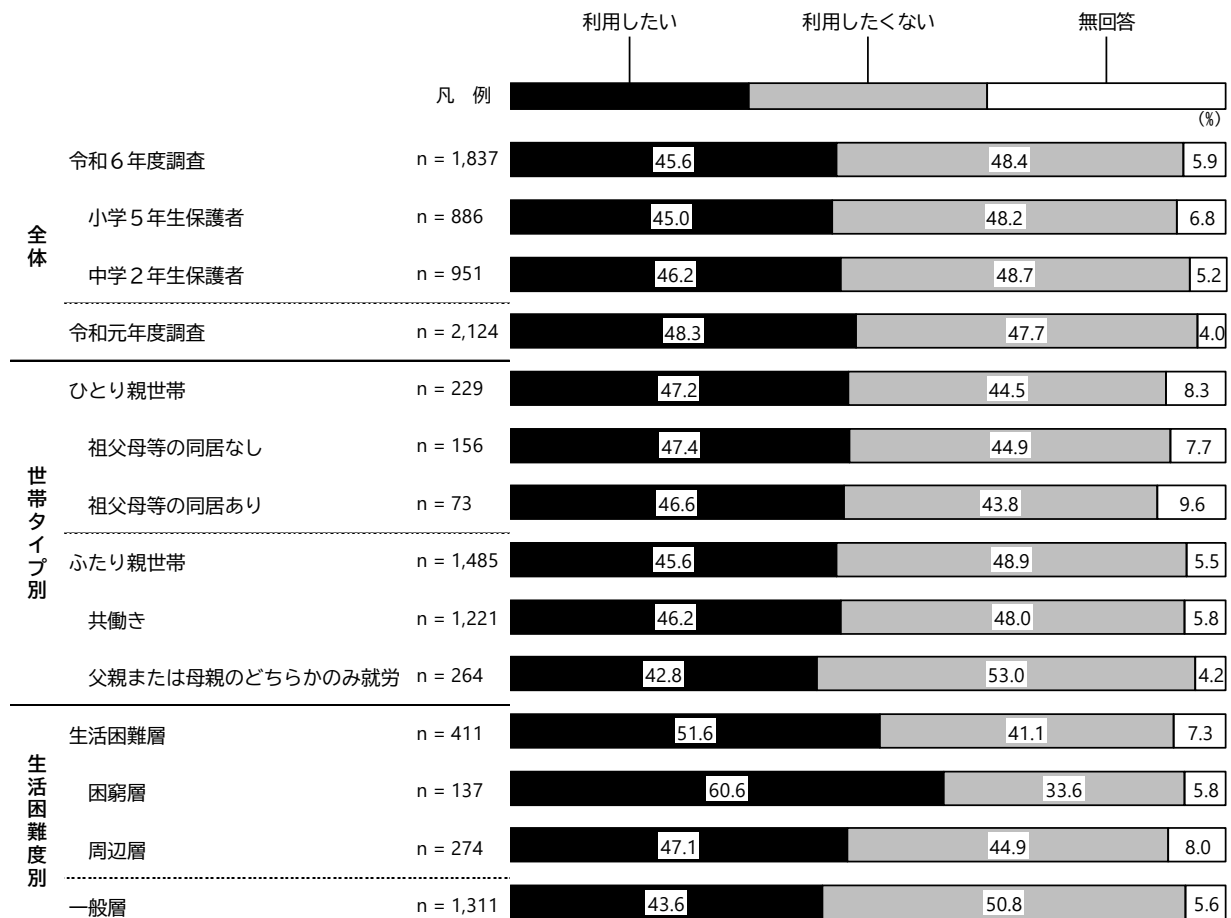
『こども食堂・コミュニティ食堂』を利用したことがない場合の利用意向について、全体では「利用したい」が31.7%、「利用したくない」が62.3%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、一般層では「利用したい」が29.0%であるのに対し、生活困難層では40.2%と高くなり、特に困窮層では55.7%と突出しています。

③ 利用意向／学校・塾以外の学習支援



『学校・塾以外の学習支援』を利用したことがない場合の利用意向について、全体では「利用したい」が45.6%、「利用したくない」が48.4%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

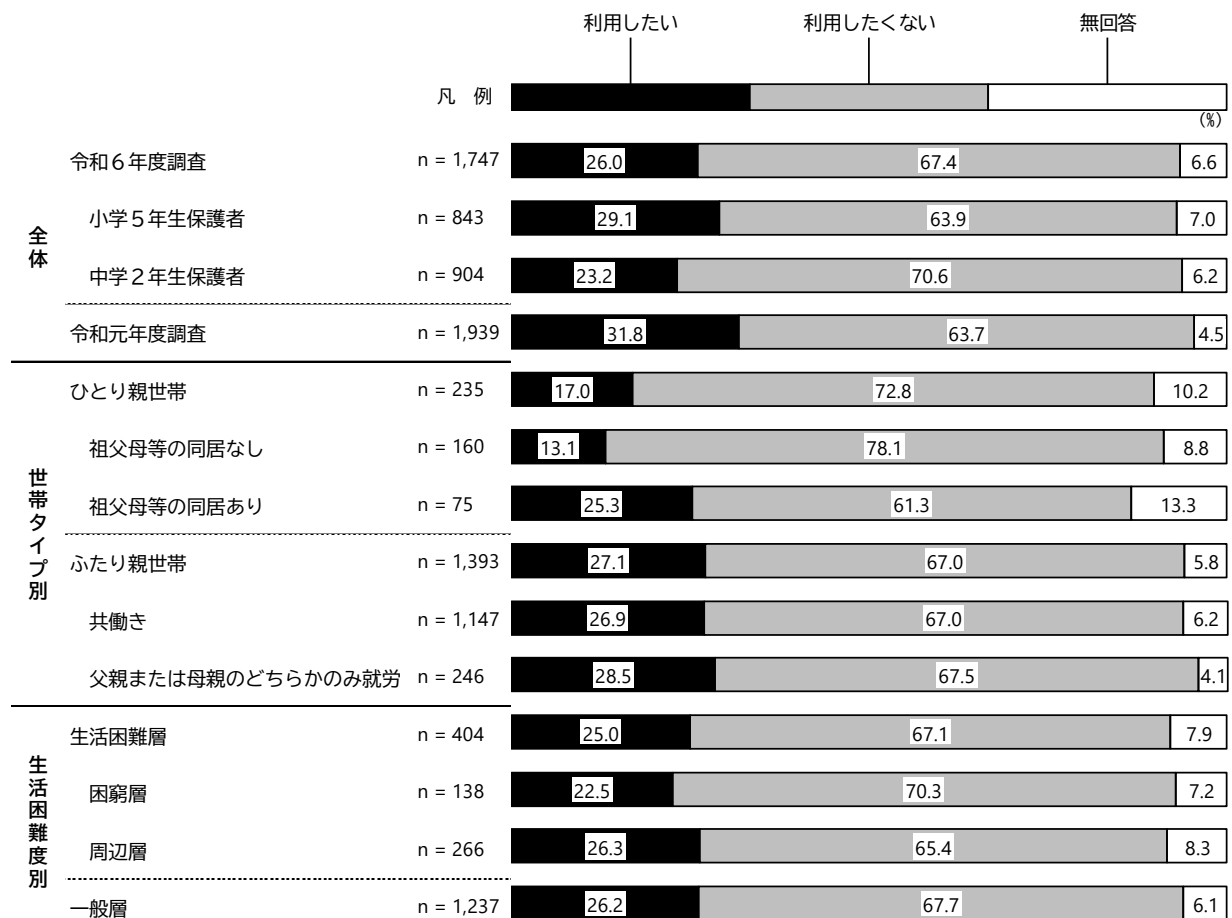
令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、一般層では「利用したい」が43.6%であるのに対し、生活困難層では51.6%と高くなり、特に困窮層では60.6%とより高くなっています。

Ⅱ 保護者調査結果

④ 利用意向／公民館（ジュニアリーダー学級など）



『公民館（ジュニアリーダー学級など）』を利用したことがない場合の利用意向について、全体では「利用したい」が26.0%、「利用したくない」が67.4%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

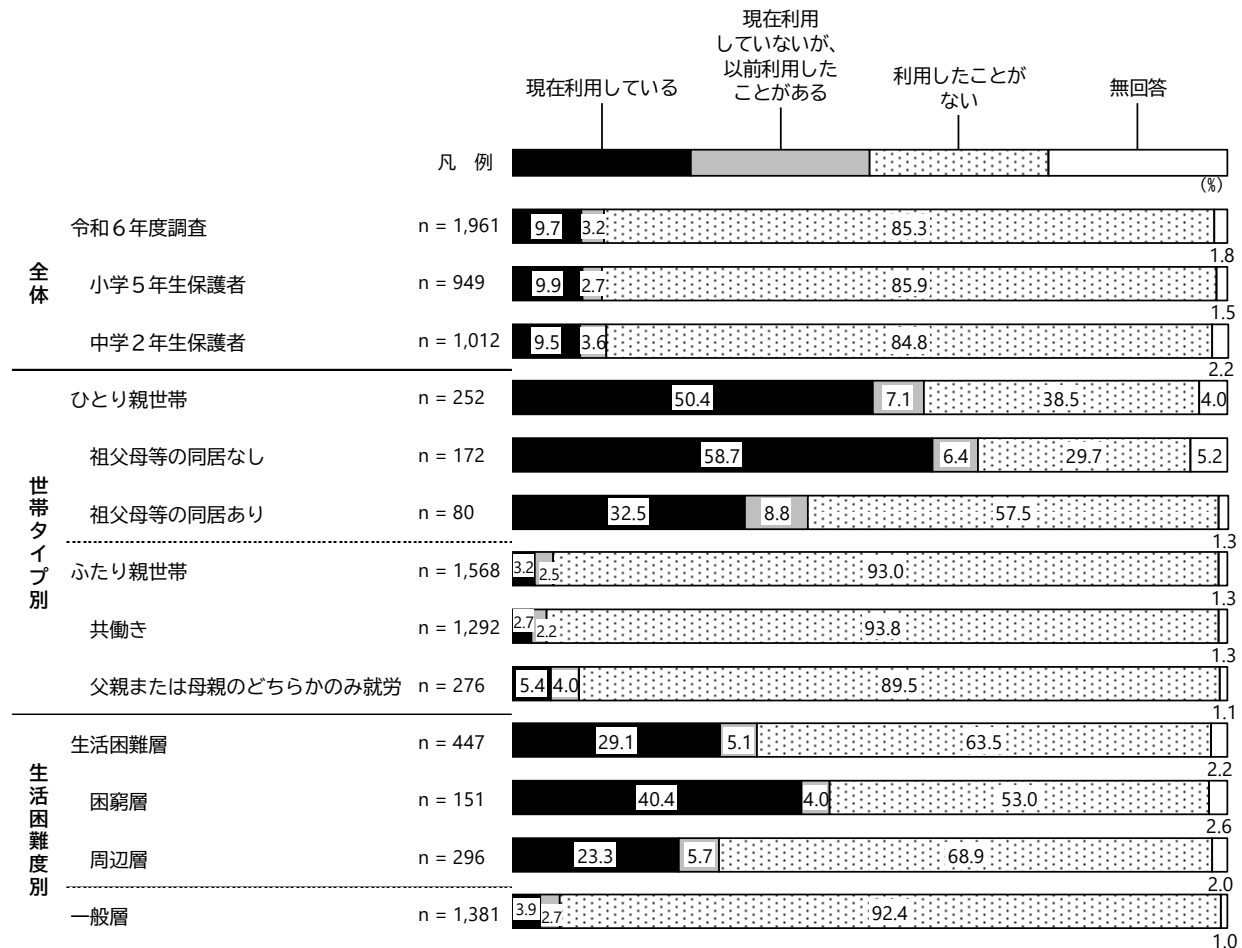
世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「利用したい」が17.0%と、ふたり親世帯に比べやや低く、特に祖父母等の同居がない世帯で13.1%とより低くなっています。

生活困難度別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

5-4 以下の支援制度の利用状況

問 25 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
(それぞれあてはまる番号1つに○)

① 利用状況／就学援助



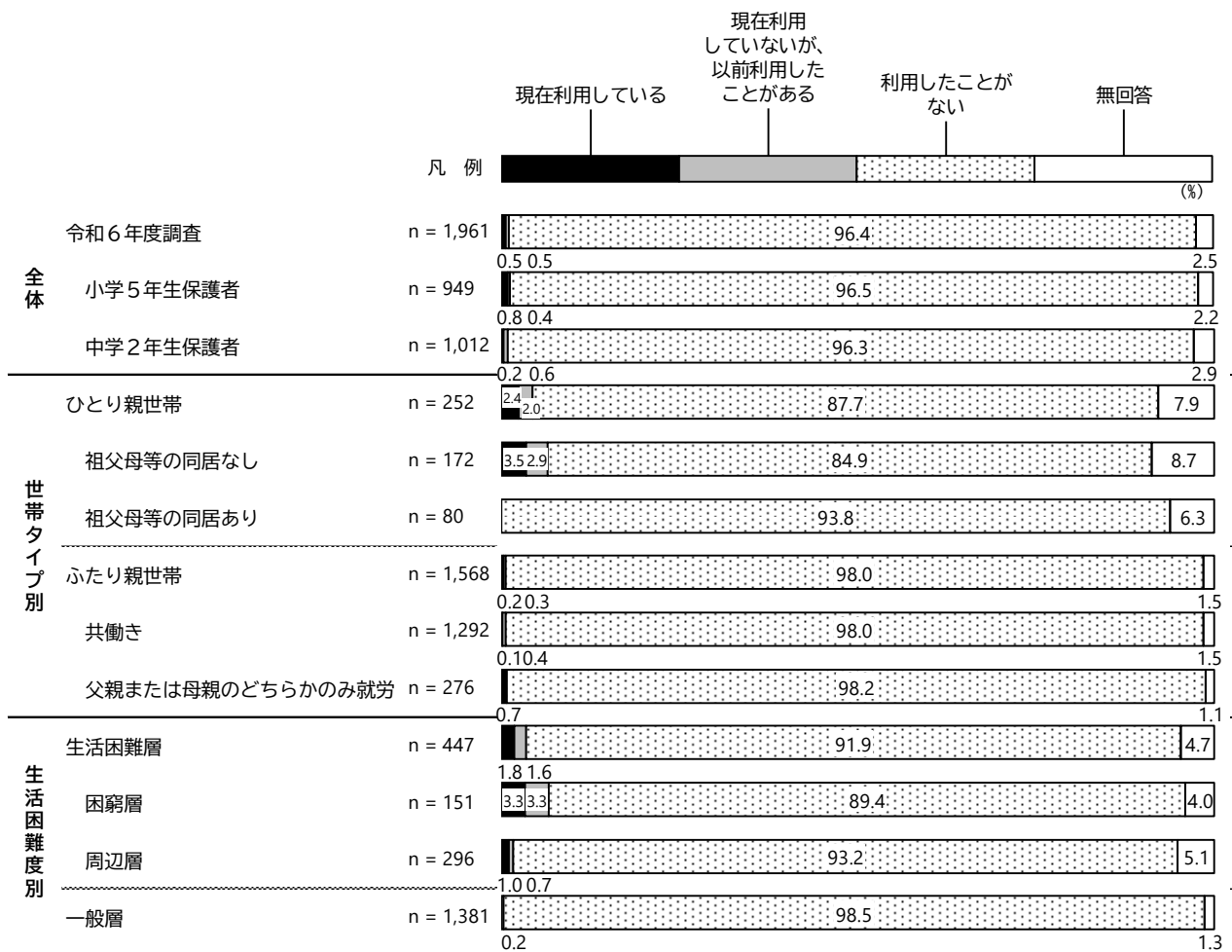
『就学援助』をこれまで利用したことについて、全体では「現在利用している」が9.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.2%、「利用したことがない」が85.3%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「現在利用している」が50.4%と5割以上を占め、特に祖父母等の同居がない世帯での利用率がやや高くなっています。

生活困難度別にみると、生活困難層では「現在利用している」が29.1%と約3割を占め、特に困窮層での利用率が高くなっています。

II 保護者調査結果

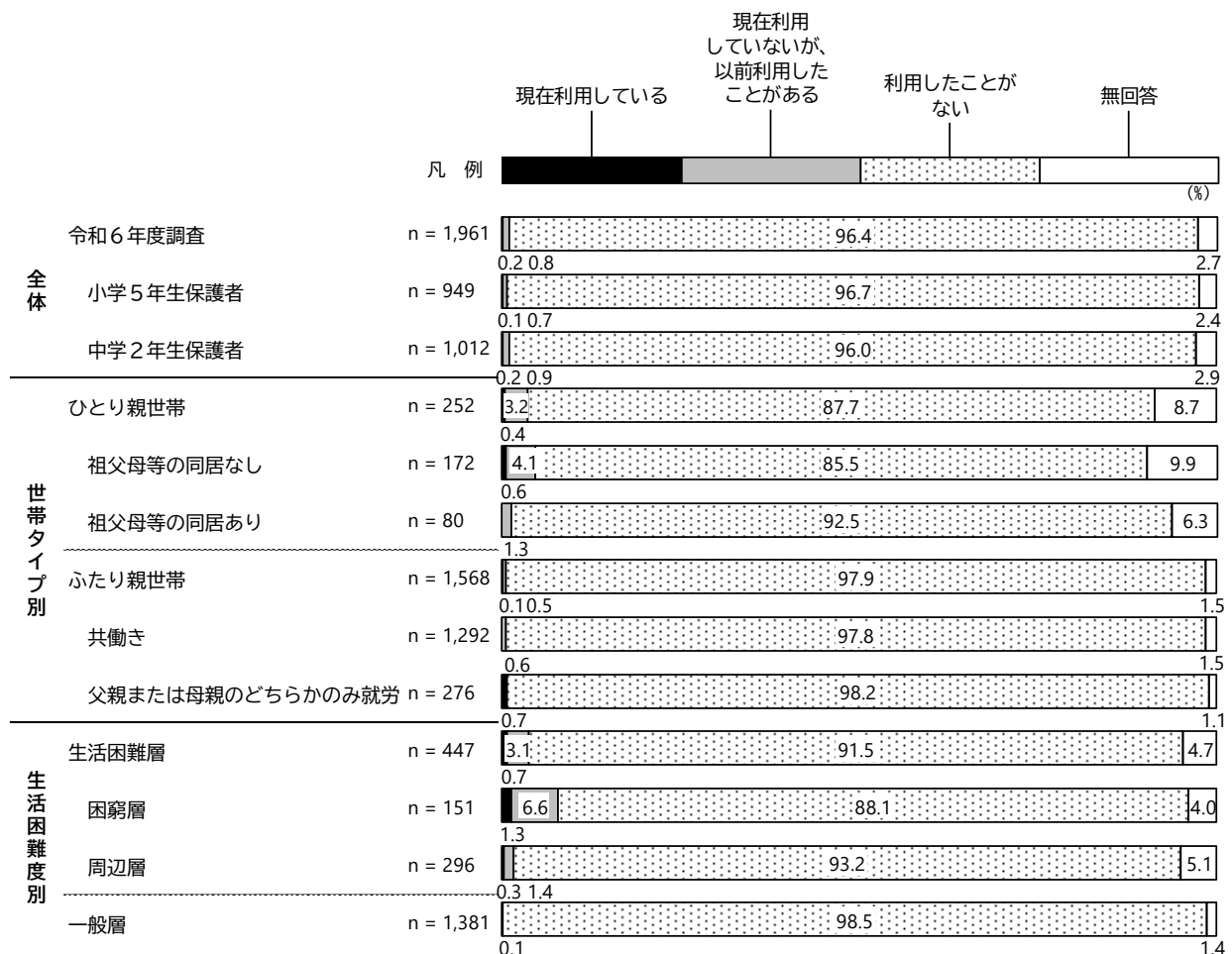
② 利用状況／生活保護



『生活保護』をこれまで利用したことについて、全体では「現在利用している」が0.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%、「利用したことがない」が96.4%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別、生活困難度別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

③ 利用状況／生活困窮者の自立支援相談窓口



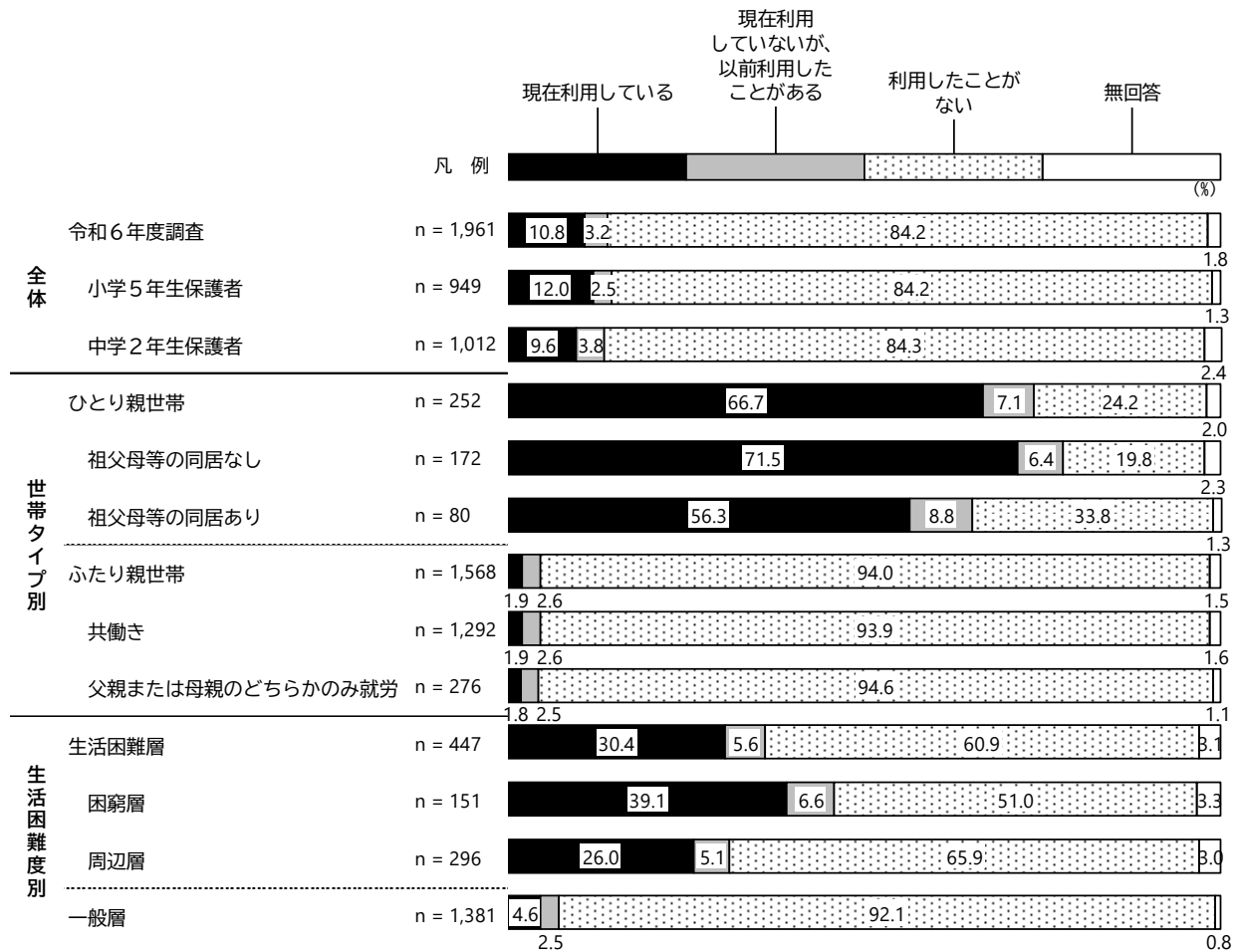
『生活困窮者の自立支援相談窓口』をこれまで利用したことについて、全体では「現在利用している」が0.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.8%、「利用したことがない」が96.4%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、困窮層の「現在利用していないが、以前利用したことがある」が他の困難度に比べ僅かに高いものの、それ以外で特徴的な傾向はみられませんでした。

Ⅱ 保護者調査結果

④ 利用状況／児童扶養手当

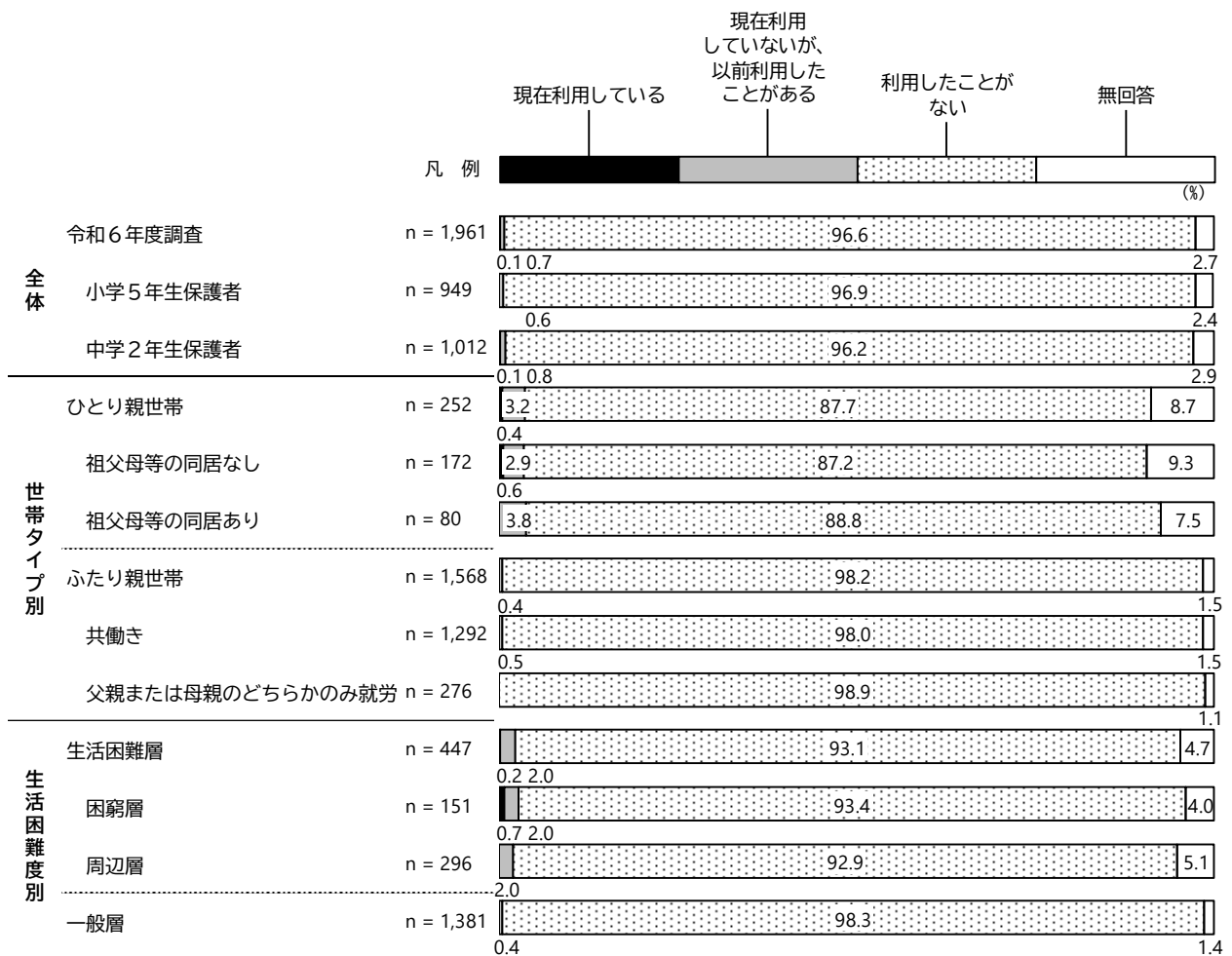


『児童扶養手当』をこれまで利用したことについて、全体では「現在利用している」が10.8%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.2%、「利用したことがない」が84.2%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「現在利用している」が66.7%と6割台半ばを占め、特に祖父母等の同居がない世帯での利用率がやや高くなっています。

生活困難度別にみると、生活困難層では「現在利用している」が30.4%と約3割を占め、特に困窮層での利用率がやや高くなっています。

⑤ 利用状況／母子家庭等就業・自立支援センター



『母子家庭等就業・自立支援センター』をこれまで利用したことについて、全体では「現在利用している」が0.1%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.7%、「利用したことがない」が96.6%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別、生活困難度別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

5-5 以下の支援制度を利用したことがない理由

問 25 利用したことがない場合、その理由は何ですか。

(それぞれあてはまるものすべてに○)

① 利用したことがない理由／就学援助

		n	条件を満たさない(収入等の条件)	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	支援制度を知らなかったから	それ以外の理由	(%) 無回答
全体	令和6年度調査	1,673	85.6	1.9	1.0	0.8	3.4	7.7
	小学5年生保護者	815	84.8	1.3	1.5	0.9	3.4	8.3
	中学2年生保護者	858	86.4	2.4	0.6	0.8	3.4	7.0
世帯タイプ別	ひとり親世帯	97	59.8	14.4	9.3	2.1	10.3	6.2
	祖父母等の同居なし	51	60.8	17.6	5.9	2.0	13.7	2.0
	祖父母等の同居あり	46	58.7	10.9	13.0	2.2	6.5	10.9
	ふたり親世帯	1,459	88.3	1.2	0.5	0.6	2.3	7.4
	共働き	1,212	88.8	1.0	0.3	0.4	2.1	7.7
	父親または母親のどちらかのみ就労	247	85.8	2.0	1.2	1.6	3.2	6.1
生活困難度別	生活困難層	284	75.0	7.0	3.9	1.8	5.6	7.0
	困窮層	80	62.5	13.8	3.8	3.8	12.5	5.0
	周辺層	204	79.9	4.4	3.9	1.0	2.9	7.8
	一般層	1,276	88.9	0.9	0.4	0.3	2.4	7.4

『就学援助』を利用したことがない理由について、全体では「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が85.6%と高く、その他の項目への回答は僅かであり、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が59.8%と、ふたり親世帯に比べ低く、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」がやや高くなっています。

生活困難度別にみると、特に困窮層では「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が62.5%と、他の困難度に比べ低く、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」「それ以外の理由」がやや高くなっています。

② 利用したことがない理由／生活保護

			(%)					
		n	から件制を満した対象外（収入等）の条件を満たさない	利用はできないが、特にかつたから利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	支援制度を利用したいが、今までの利用状況から判断できない	それ以外の理由	無回答
全体	令和6年度調査	1,891	86.2	0.9	0.8	0.3	4.6	7.2
	小学5年生保護者	916	85.9	0.8	0.8	0.3	4.4	8.0
	中学2年生保護者	975	86.5	1.0	0.8	0.3	4.8	6.6
世帯タイプ別	ひとり親世帯	221	75.1	4.1	3.6	0.5	10.9	5.9
	祖父母等の同居なし	146	75.3	4.1	4.8	-	12.3	3.4
	祖父母等の同居あり	75	74.7	4.0	1.3	1.3	8.0	10.7
	ふたり親世帯	1,537	88.8	0.4	0.5	0.3	3.1	7.0
	共働き	1,266	89.0	0.3	0.4	0.1	3.0	7.3
	父親または母親のどちらかのみ就労	271	87.8	0.7	0.7	1.1	3.7	5.9
生活困難度別	生活困難層	411	79.3	2.2	3.2	0.7	8.5	6.1
	困窮層	135	66.7	4.4	8.1	1.5	13.3	5.9
	周辺層	276	85.5	1.1	0.7	0.4	6.2	6.2
	一般層	1,360	89.1	0.5	0.1	0.1	3.1	7.1

『生活保護』を利用したことがない理由について、全体では「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思ふから」が86.2%と高く、その他の項目への回答は僅かであり、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思ふから」が75.1%と、ふたり親世帯に比べ低く、「それ以外の理由」がやや高くなっています。

生活困難度別にみると、特に困窮層では「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思ふから」が66.7%と、他の困難度レベルに比べ低く、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」「それ以外の理由」がやや高くなっています。

Ⅱ 保護者調査結果

③ 利用したことがない理由／生活困窮者の自立支援相談窓口

			(%)					
		n	か件制 らを度の 満た対象 さない外 (収入等 の条件を 満たさな い)だと思 うから	し利用 はでき るが、特 に利用 したい と思わ なかつ たから	い利用 した が、手 続がわ からな かつた から	ら支用 したい が、今 までこ の支用 制度を 知らな かつた から	それ 以外 の理 由	無 回 答
全体	令和6年度調査	1,890	83.6	2.0	1.4	0.8	5.1	7.3
	小学5年生保護者	918	83.1	2.0	1.5	0.9	5.0	7.8
	中学2年生保護者	972	84.1	2.0	1.3	0.7	5.1	6.8
世帯 タイプ 別	ひとり親世帯	221	62.0	9.0	6.8	3.6	13.1	6.3
	祖父母等の同居なし	147	62.6	7.5	7.5	4.1	15.0	4.8
	祖父母等の同居あり	74	60.8	12.2	5.4	2.7	9.5	9.5
	ふたり親世帯	1,535	87.6	1.0	0.8	0.4	3.3	7.0
	共働き	1,264	88.0	0.9	0.6	0.2	3.1	7.3
	父親または母親のどちらかのみ就労	271	86.0	1.1	1.8	1.1	4.1	5.9
生活 困 難 度 別	生活困難層	409	70.7	5.1	5.1	2.7	10.3	6.6
	困窮層	133	57.9	4.5	11.3	7.5	14.3	6.0
	周辺層	276	76.8	5.4	2.2	0.4	8.3	6.9
	一般層	1,360	88.2	1.1	0.4	0.1	3.2	7.1

『生活困窮者の自立支援相談窓口』を利用したことがない理由について、全体では「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思いうから」が83.6%と高く、その他の項目への回答は僅かであり、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思いうから」が62.0%と、ふたり親世帯に比べ低く、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかつたから」「利用したいが、手続きがわからなかつたり、利用しにくいから」「それ以外の理由」がやや高くなっています。

生活困難度別にみると、特に困窮層では「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思いうから」が57.9%と、他の困難度に比べ低く、「利用したいが、手続きがわからなかつたり、利用しにくいから」「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつたから」「それ以外の理由」がやや高くなっています。

④ 利用したことがない理由／児童扶養手当

			(%)					
		n	から件制 を度の 満た対 さない 対象外 (収入 等と思 う条	い かな から かつ たい が、 利 手 続 が わ く か	利 用 は で き る が、 特 に 利 用 し た い と 思 わ な か つ た か ら	支 援 制 度 を 知 ら な か つ た か ら	そ れ 以 外 の 理 由	無 回 答
全 体	令和6年度調査	1,652	86.9	0.7	0.5	0.5	3.9	7.6
	小学5年生保護者	799	86.4	0.3	0.5	0.4	4.1	8.5
	中学2年生保護者	853	87.5	1.1	0.5	0.7	3.6	6.7
世 帯 タ イ プ 別	ひとり親世帯	61	77.0	3.3	1.6	1.6	11.5	4.9
	祖父母等の同居なし	34	76.5	2.9	-	2.9	14.7	2.9
	祖父母等の同居あり	27	77.8	3.7	3.7	-	7.4	7.4
	ふたり親世帯	1,474	88.3	0.6	0.3	0.4	3.1	7.3
	共働き	1,213	88.5	0.7	0.2	0.2	2.9	7.6
	父親または母親のどちらかのみ就労	261	87.4	0.4	0.8	1.5	3.8	6.1
生 活 困 難 度 別	生活困難層	272	80.9	2.9	0.4	1.1	7.7	7.0
	困窮層	77	70.1	6.5	1.3	2.6	15.6	3.9
	周辺層	195	85.1	1.5	-	0.5	4.6	8.2
	一般層	1,272	88.8	0.2	0.5	0.2	2.9	7.4

『児童扶養手当』を利用したことがない理由について、全体では「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思ふから」が86.9%と高く、その他の項目への回答は僅かであり、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思ふから」が77.0%と、ふたり親世帯に比べ低く、「それ以外の理由」がやや高くなっています。

生活困難度別にみると、特に困窮層では「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思ふから」が70.1%と、他の困難度に比べ低く、「それ以外の理由」がやや高くなっています。

II 保護者調査結果

⑤ 利用したことがない理由／母子家庭等就業・自立支援センター

			(%)					
		n	か件制 らを度の 満たさない (収入等 の条件を 満たさない) だと思 うから	し利用 はでき るが、 特に利 用した いと思 わなか ったか ら	い利用 したか ら、利 用手続 がわか らない から	ら支用 したい が、今 までの 利用が 少ない から	それ以 外の理 由	無回 答
全体	令和6年度調査	1,894	81.7	2.9	1.4	1.3	5.5	7.3
	小学5年生保護者	920	80.9	3.0	1.4	1.3	5.7	8.0
	中学2年生保護者	974	82.5	2.8	1.3	1.3	5.4	6.6
世帯タイプ別	ひとり親世帯	221	44.8	18.6	8.6	7.2	15.8	5.9
	祖父母等の同居なし	150	44.7	17.3	9.3	8.0	18.0	4.0
	祖父母等の同居あり	71	45.1	21.1	7.0	5.6	11.3	9.9
	ふたり親世帯	1,539	88.0	0.7	0.4	0.4	3.4	7.1
	共働き	1,266	88.1	0.7	0.4	0.2	3.3	7.3
	父親または母親のどちらかのみ就労	273	87.9	0.7	0.4	1.1	3.7	6.2
生活困難度別	生活困難層	416	64.9	8.2	4.8	4.3	11.3	7.0
	困窮層	141	48.2	9.2	8.5	8.5	19.1	7.8
	周辺層	275	73.5	7.6	2.9	2.2	7.3	6.5
	一般層	1,357	87.5	1.5	0.4	0.2	3.5	7.0

『母子家庭等就業・自立支援センター』を利用したことがない理由について、全体では「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が81.7%と高く、その他の項目への回答は僅かとなっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が44.8%と、ふたり親世帯に比べ低く、その他の項目はふたり親世帯に比べ高くなっており、特に「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」「それ以外の理由」がより高くなっています。

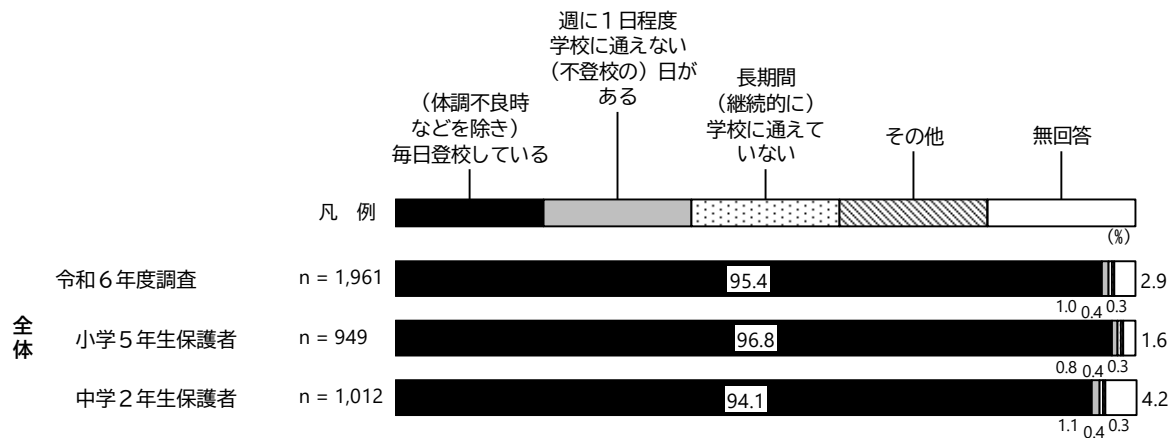
生活困難度別にみると、特に困窮層では「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が48.2%と、他の困難度に比べ低く、「それ以外の理由」がやや高くなっています。

6

子どもの学校への登校状況について

6-1 子どもの現在の学校への登校状況

問 26 調査票を受け取ったお子さんの、現在の学校への登校状況として最もあてはまるものをお答えください。(○は1つ)

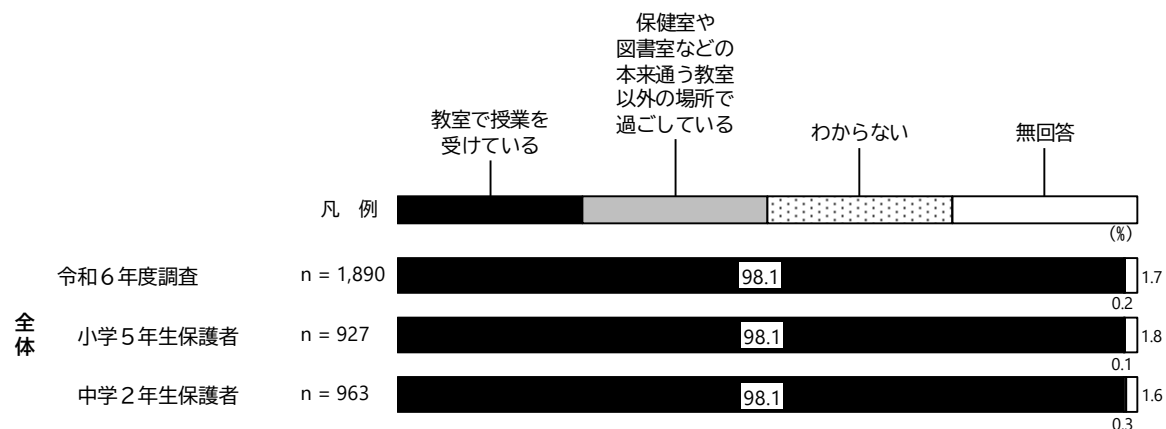


子どもの現在の学校への登校状況について、全体では「(体調不良時などを除き)毎日登校している」が95.4%と最も高くなっていますが、「週に1日程度学校に通えない(不登校の)日がある」や「長期間(継続的に)学校に通えていない」との回答も僅かにみられます。小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

6-2 子どもの学校での過ごし方

【問 26 で「毎日登校している」「週に 1 日程度学校に通えない（不登校の）日がある」と回答した方のみ】

問 26-1 調査票を受け取ったお子さんは、学校でどのように過ごしていますか。（○は 1 つ）

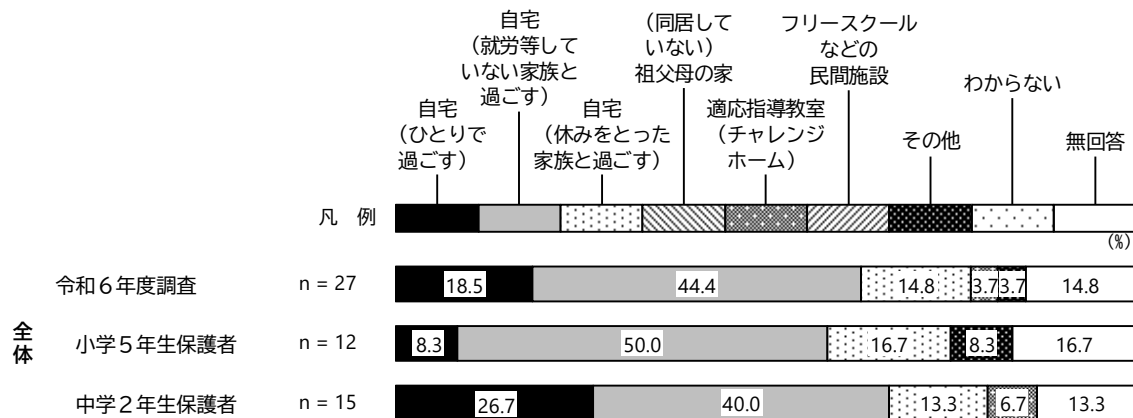


子どもの学校での過ごし方について、全体では「教室で授業を受けている」が98.1%と大多数を占め、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっています。

6-3 子どもが不登校の日の日中に最も多く過ごしている場所

【問 26 で「週に 1 日程度学校に通えない（不登校の）日がある」「長期間（継続的に）学校に通えていない」と回答した方のみ】

問 26-2 調査票を受け取ったお子さんが学校に通えていない（不登校の）日の日中に、最も多くの時間を過ごしている場所はどこですか。（○は 1 つ）

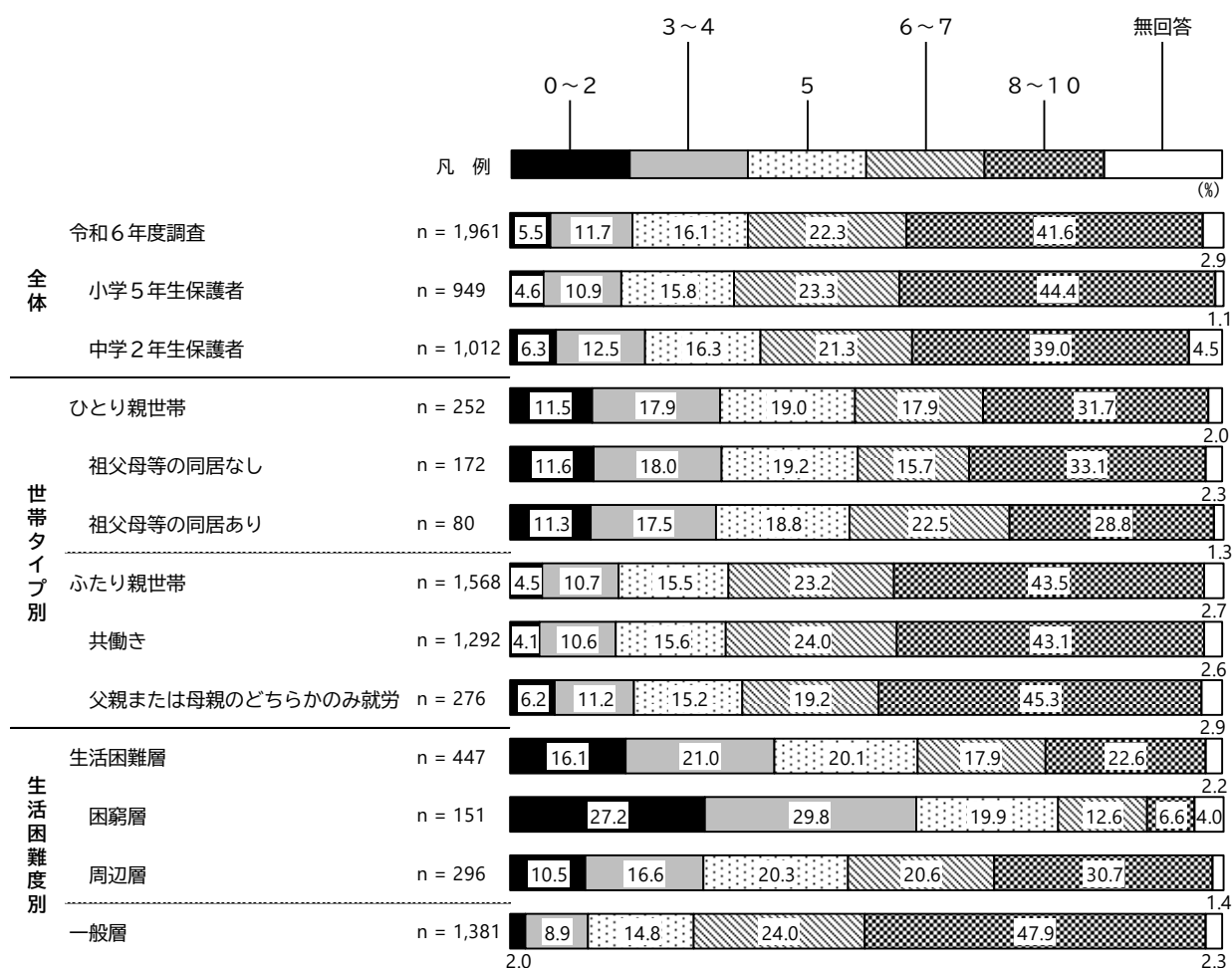


子どもが不登校の日の日中に最も多く過ごしている場所については、調査数（n）が少ないため参考値としての掲載になりますが、全体では「自宅（就労等していない家族と過ごす）」が 44.4%と最も高く、次いで「自宅（ひとりで過ごす）」（18.5%）、「自宅（休みをとった家族と過ごす）」（14.8%）となっており、中学 2 年生保護者では「自宅（ひとりで過ごす）」が 26.7%と、小学 5 年生保護者に比べ高くなっています。

7 自身のことについて

7-1 最近の生活の満足度

問 27 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。0を「まったく満足していない」、10を「十分に満足している」としたとき、どれぐらいの数字になるか教えてください。(数字に○を1つ)



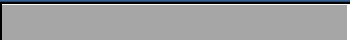
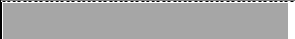
回答者自身の最近の生活の満足度について、0（まったく満足していない）から10（十分に満足している）の11段階でたずね、その結果を上記のとおり5つに再分類して集計したところ、「8～10」が41.6%と最も高く、次いで「6～7」が22.3%となり、生活満足度が高い（数字が大きい）回答の割合が高くなっています。一方、「0～2」(5.5%)や「3～4」(11.7%)との回答もみられます。小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「4」以下の回答割合が合わせて29.4%と、ふたり親世帯に比べ高くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「4」以下の回答割合が合わせて1割程度であるのに対し、生活困難層では37.1%と高く、特に困窮層では57.0%と突出しています。

7-2 困っていることや悩み事、市への要望等

問 28 あなたが今、困っていることや悩み事、市への要望等がありましたら、ご自由に記入してください。

項 目	件 数	
子育て環境、生活環境について	185	
制度・手当・補助金について	153	
金銭面について	142	
子育て（支援）について	88	
学校生活・先生について	76	
窓口・行政について	66	
就労について	38	
医療について	17	
精神・健康面について	14	
家族に関することについて	11	
その他	21	
意見合計	811	

※回答者数：489人（「特になし」などの回答は除く）

※1人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類している

困っていることや悩み事、市への要望等について自由記述式でたずね、回答のあった意見を分類したところ、「子育て環境、生活環境について」が185件と最も多く、次いで「制度・手当・補助金について」（153件）、「金銭面について」（142件）となっています。

以下に、主な意見を抜粋して掲載します。

【主な意見】 ※上位5項目

①子育て環境、生活環境について

- ・道路整備をしてほしいです。小学生も遊べる室内遊び場などが増えるといいなと思います（雨の日は公園に行けないため、そのかわりとなるような施設）。
- ・休日、子どもと遊べる所が中央台の方に集中している。もっと公園があるとうれしい。
- ・長期休みに学校の図書室など自習できる場所を設けてほしいです。また、勿来には時間を問わず自習スペースがある施設がないので、公民館など子どもが勉強できる場所がほしいです。自由に勉強できる場所が近くにあれば子どもも友達と勉強する時間が増えたり、家との切り替えができるので、勉強する時間も増えるのではないかと思います。
- ・子どもの通学路の街灯が壊れたままの所があります。丁度、信号のない横断歩道の所で、暗いと歩行者が見づらく、子どもは「暗くてとても不安だ」と言っています。どこへ言って良いかわからずにいたので、こちらで要望します。

- ・子育てにはお金がかかると実感しています。塾ではなく、放課後、子どもが集まって学習できる場所があれば良いと思っています。高額ではなく、そのような環境があれば利用したい。

②制度・手当・補助金について

- ・物価高で給料も上がらず、生活が大変。手当てや、なにか対策をしてほしいと思う。
- ・毎月の支払いだけで精一杯の為、貯金をする余裕が全くない。子育て世帯にもっと手厚い経済的な支援制度を整えてほしい。
- ・入園、入学の時は出費が多いので、定額で市からお祝金のような一時金があるとうれしいです。
- ・小学校、中学校、高校と進学していくなか、今後の経済的に不安があります。子どもへの経済的支援がもっとあれば助かります。
- ・子どもが成長するにつれ学費等が大きくなっていくので、もう少し支援があると子育てしやすくなるかなと思います。大学進学が主流になってきているので、大学の授業料免除など支援があると助かります。

③金銭面について

- ・物価が高い。税金、光熱費が上がっているのに、手取りが増えない（給料が上がっても）。安心して子どもを育てられる環境があればと思います。
- ・現状の夫の所得の額を考えると将来のための貯蓄などが難しく、食料品等の高騰も年々増え、養育費の不安が大きくなります。
- ・物価高で日々の生活で精一杯。今後の貯蓄が出来ない。大学に行かせたいが、お金の面で本当に進学させられるか不安。少子化の現在、第1子から色々免除してほしいです。
- ・大学の費用が高額。子ども2人を大学に通わせたいが、できるか不安。大学資金を貯めようとすると生活に余裕がない。
- ・高校入学や大学への教育費に不安があります。行きたい高校、大学に行かせたいが、交通費や入学金等色々なお金が心配です。奨学金を借りても子どもの負担になってしまうので考えます。

④子育て（支援）について

- ・教育や子育てに、もっとお金をかけていくべきだと思う。
- ・子育て支援についての情報を、よりわかりやすく入手しやすくしてほしい。
- ・子どもがいる家庭はどれも大変なので、ひとり親だけでなく、全体に手厚い支援をして欲しい。
- ・子育て世帯への支援を手厚くしてほしい。親の収入に関わらず、子どもたちが、自分の望む教育を受けられるようになったらいいなと思います。
- ・仕事と子育ての両立が大変で精神的にきつい。子どもを育てるために仕事をしているが、帰りが遅く、一緒にいる時間も少ない。もう少し子育て支援があればと思います。

⑤学校生活・先生について

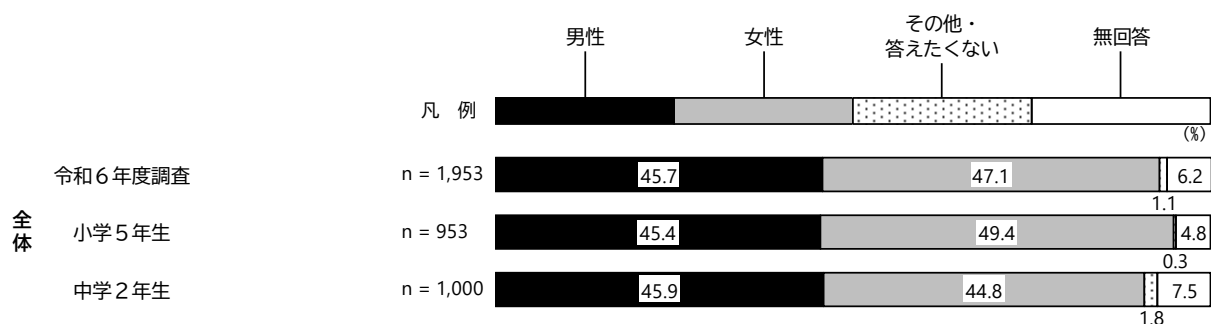
- ・通学のためのバスの時刻が減便となり、不便な状況。
- ・先生や授業の質の向上、学力低下に対する具体的対策をお願いします。また学校のトイレや公園の整備をして欲しいです。
- ・勿来地区の学習施設（自習スペース等）を充実させてほしい。平地区との格差があると思う。学校の特別教室（音楽室、図書室等）にエアコンを入れてほしい。
- ・このようなアンケートの取組で、困っている人、助けを求めている人を救うことができると思います。また、学校の先生と関係機関のつながりを大切にし、家庭に恵まれない子を救うことができたらいいです。
- ・小学校のトイレや手洗い場等がだいぶ老朽化しています。特にトイレは和式があり、今の子どもたちは使えなかったりするので、時代にそぐわないと思います。これからの子どもたちのためにも、学校の設備に税金を使ってほしいです。また、他県や他の市では給食費が無料のところもあるので、第三子だけでなく、すべての子どもたちが平等に無料になったらいいなと思います。

Ⅲ 児童・生徒調査結果

1 基本的な属性について

1-1 性別

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)



性別について、全体では「男性」が45.7%、「女性」が47.1%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

2

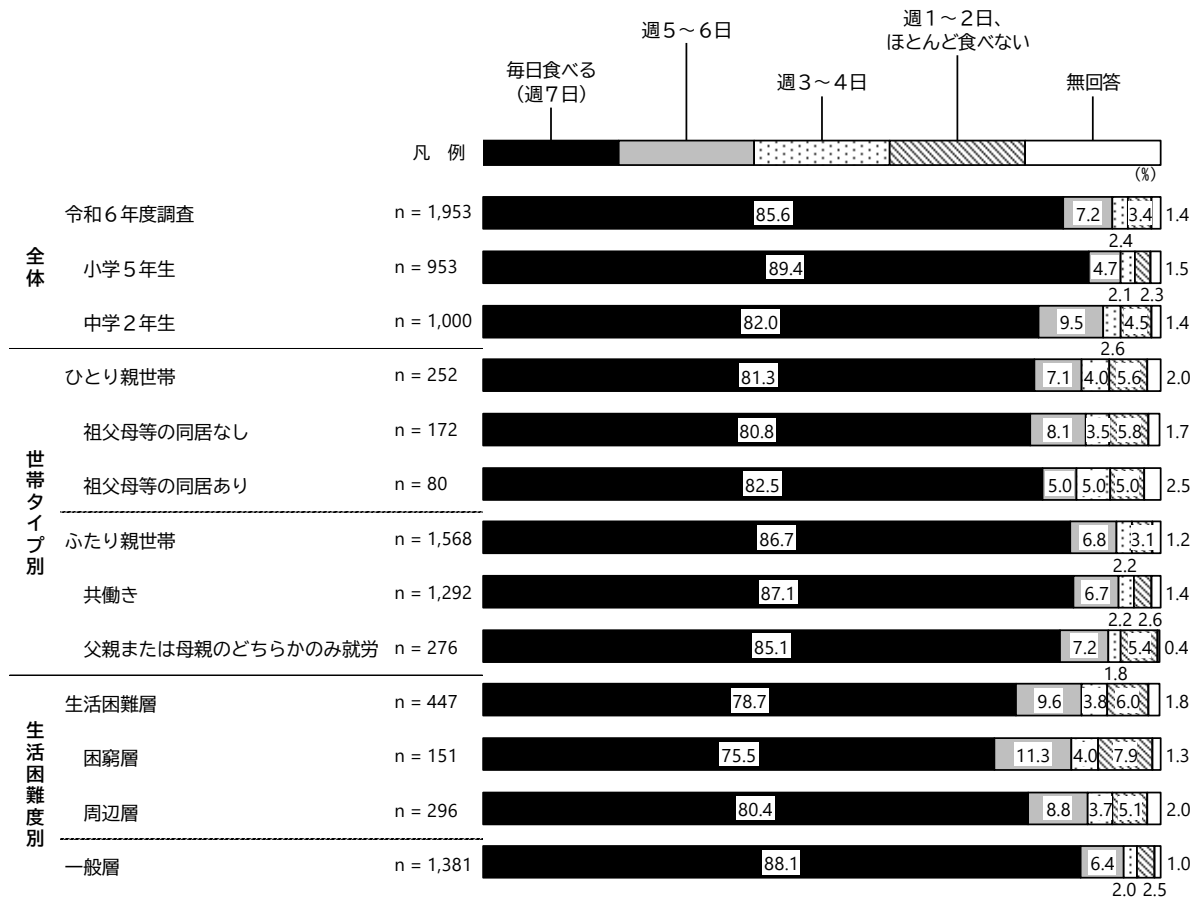
普段の生活習慣や健康状態について

2-1 1週間の食事頻度

問2 あなたは1週間にどれくらい、食事をしていますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

① 朝食

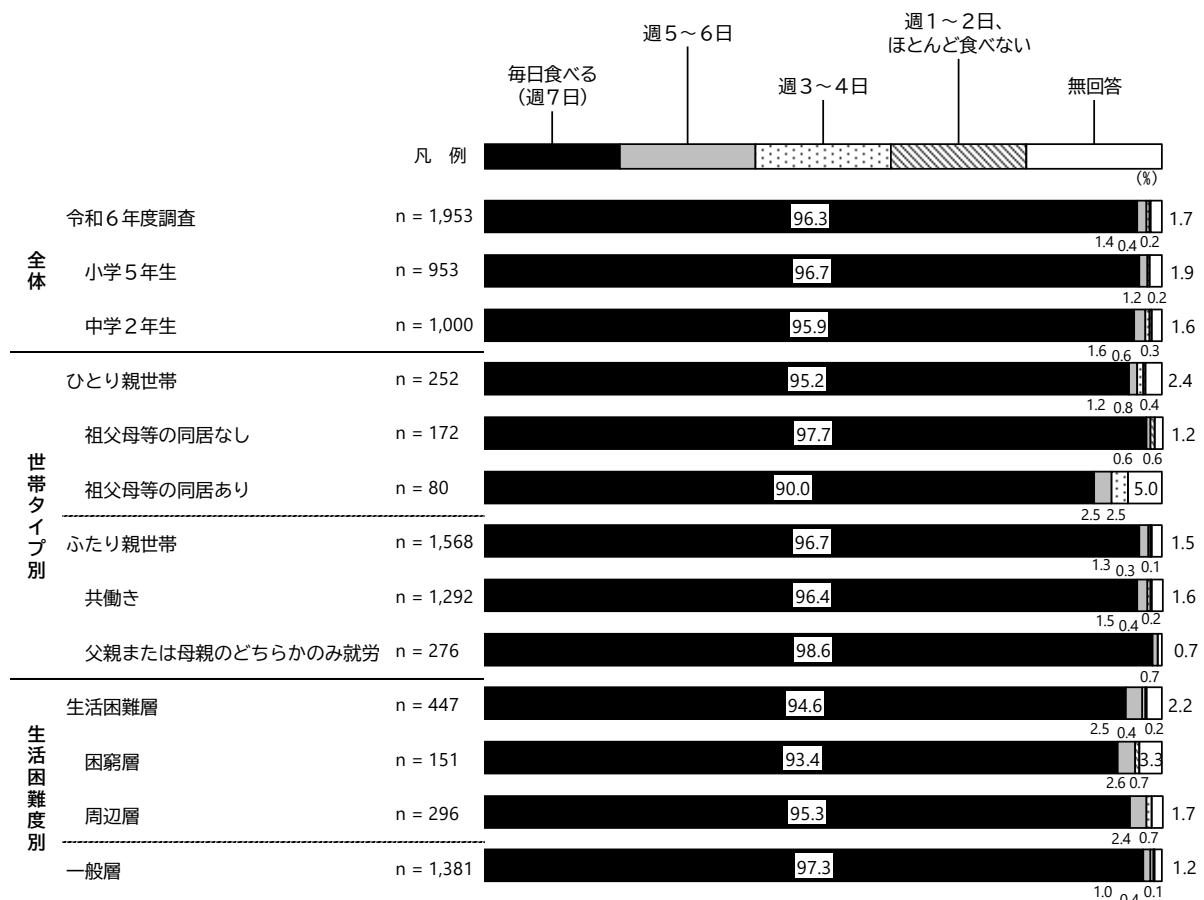


1週間の朝食の頻度について、全体では「毎日食べる（週7日）」が85.6%と最も高く、次いで「週5～6日」（7.2%）、「週1～2日、ほとんど食べない」（3.4%）となっており、中学2年生では「毎日食べる（週7日）」が小学5年生に比べやや低く、「週5～6日」がやや高くなっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「毎日食べる（週7日）」がふたり親世帯に比べ低いもののそれほど大きな差ではなく、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、一般層では「毎日食べる（週7日）」が88.1%であるのに対し、生活困難層では78.7%と低くなり、特に困窮層では75.5%とより低く、朝食を毎日食べない人が2割以上を占めています。

② 夕食

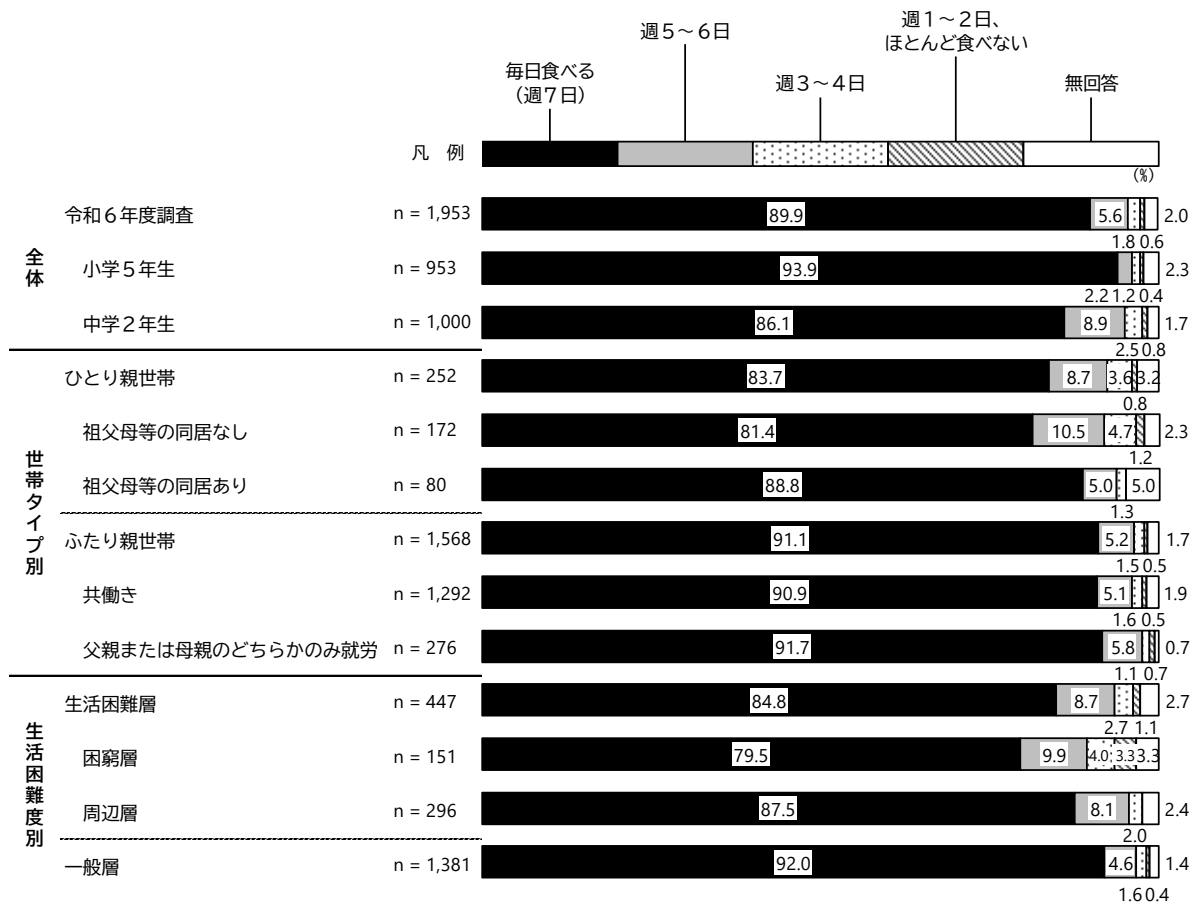


1週間の夕食の頻度について、全体では「毎日食べる（週7日）」が96.3%と大多数を占め、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、生活困難層では「毎日食べる（週7日）」が一般層に比べ低いもののそれほど大きな差ではなく、特徴的な傾向はみられませんでした。

③ 夏休みや冬休みなどの期間の昼食



夏休みや冬休みなどの1週間の昼食の頻度について、全体では「毎日食べる（週7日）」が89.9%と最も高く、次いで「週5～6日」（5.6%）、「週3～4日」（1.8%）となっており、中学2年生では「毎日食べる（週7日）」が小学5年生に比べやや低く、「週5～6日」がやや高くなっています。

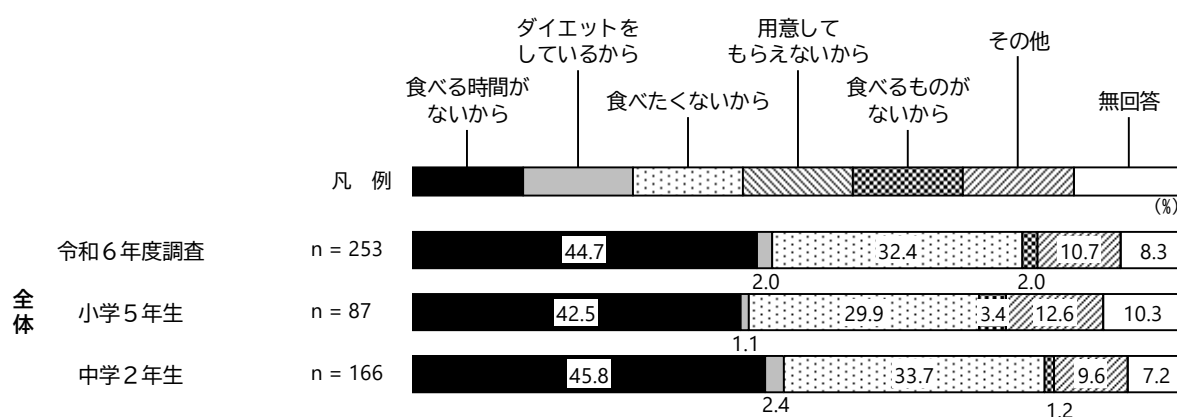
世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「毎日食べる（週7日）」が83.7%と、ふたり親世帯に比べ低くなり、特に祖父母等の同居がない世帯では「週5～6日」が1割以上となっています。

生活困難度別にみると、一般層では「毎日食べる（週7日）」が92.0%であるのに対し、生活困難層では84.8%と低くなり、特に困窮層では79.5%とより低くなっています。

2-2 朝食を食べないことがある理由

【問2①で「毎日食べる（週7日）」以外を選択した方のみ】

問2-1 1週間の食事について、①朝食を食べないことがあると答えた主な理由を1つ教えてください。（○は1つ）

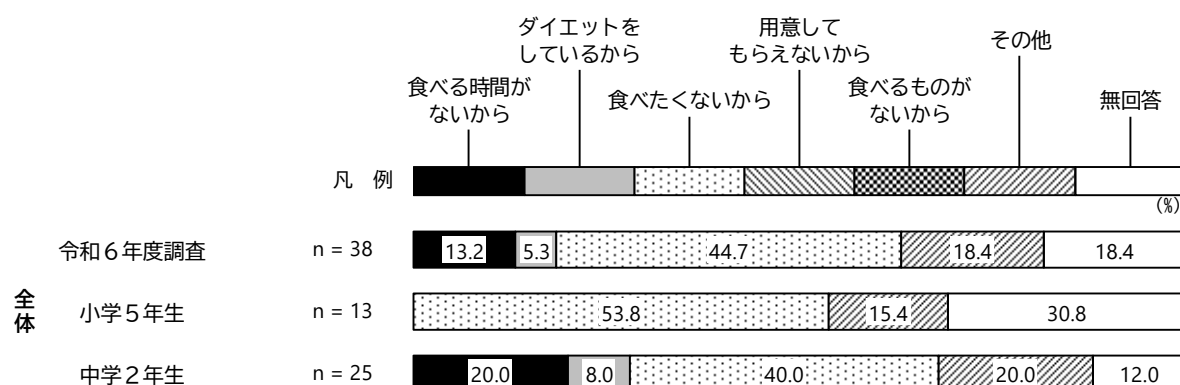


朝食を食べないことがある理由について、全体では「食べる時間がないから」が44.7%と最も高く、次いで「食べたくないから」が32.4%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

2-3 夕食を食べないことがある理由

【問2②で「毎日食べる（週7日）」以外を選択した方のみ】

問2-2 1週間の食事について、②夕食を食べないことがあると答えた主な理由を1つ教えてください。（○は1つ）

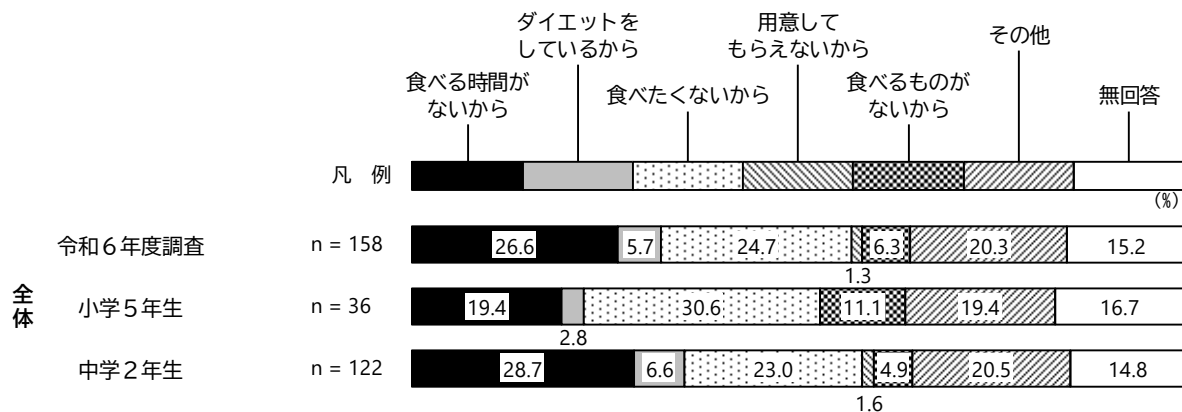


夕食を食べないことがある理由については、調査数（n）が少ないため参考値としての掲載になりますが、全体では「食べたくないから」が44.7%と最も高く、次いで「食べる時間がないから」が13.2%となっています。

2-4 夏休みや冬休みなどに昼食を食べないことがある理由

【問2③で「毎日食べる（週7日）」以外を選択した方のみ】

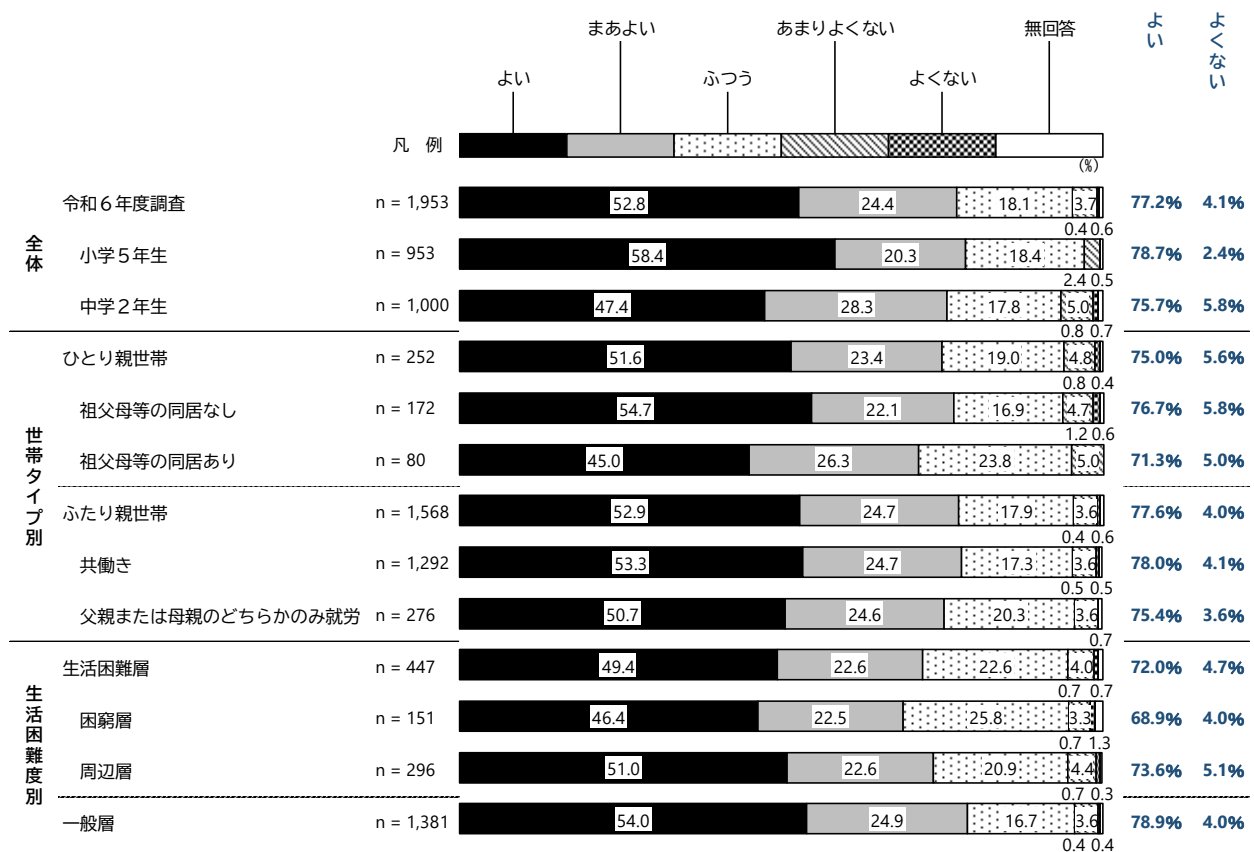
問2-2 1週間の食事について、③夏休みや冬休みなどの期間の昼食を食べないことがあると答えた主な理由を1つ教えてください。（○は1つ）



夏休みや冬休みなどに昼食を食べないことがある理由について、全体では「食べる時間がないから」が26.6%と最も高く、次いで「食べたくないから」(24.7%)、「食べるものがないから」(6.3%)となっており、小学5年生では「食べたくないから」が中学2年生に比べやや高く、中学2年生では「食べる時間がないから」が小学5年生に比べやや高くなっています。

2-5 自分の健康状態をどう感じるか

問3 自分の健康状態についてどう感じていますか。(○は1つ)



※グラフ右の数値は、類似した2つの選択肢の回答割合の合算値（以下同じ）

（例）よい＝「よい」＋「まあよい」

自分の健康状態をどう感じるかについて、全体では《よい》（「よい」＋「まあよい」）が77.2%、《よくない》（「よくない」＋「あまりよくない」）が4.1%、「ふつう」が18.1%となっています。小学5年生と中学2年生で《よい》や《よくない》にそれほど大きな差はありませんが、中学2年生では「よい」が47.4%と、小学5年生に比べ10ポイント以上低くなっています。

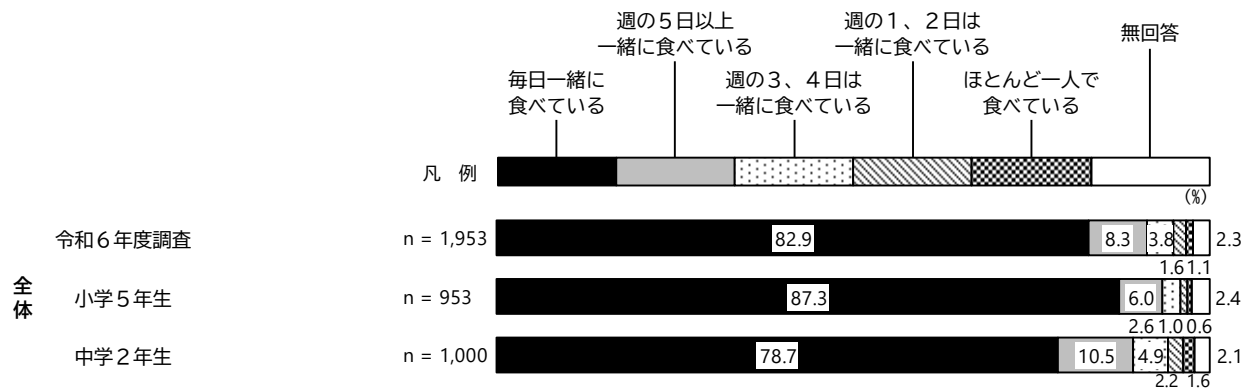
世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、一般層では《よい》が78.9%であるのに対し、生活困難層では72.0%とやや低くなり、特に困窮層では68.9%と7割を下回っています。

3 家族や友達との関係について

3-1 夕食は家族の誰かと一緒に食べているか

問 4 夕食は家族の誰かと一緒に食べていますか。(○は1つ)

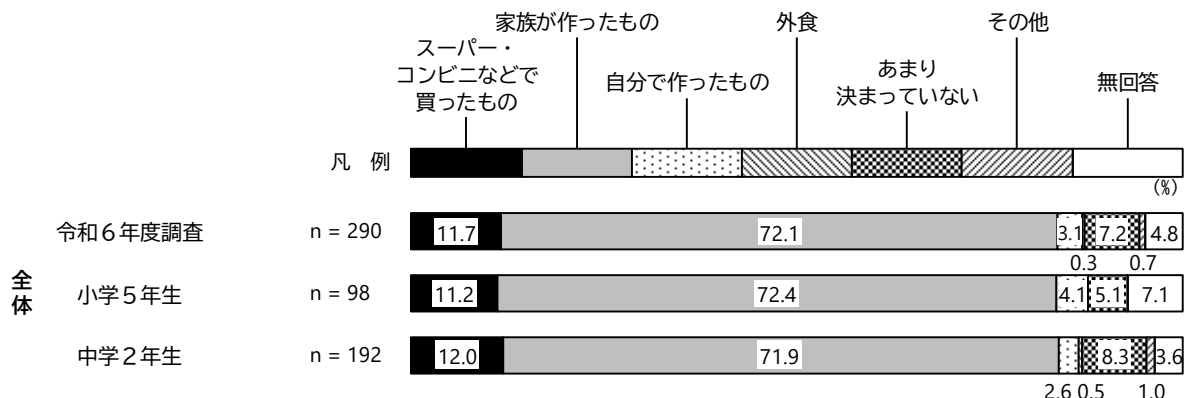


夕食は家族の誰かと一緒に食べているかについて、全体では「毎日一緒に食べている」が82.9%と最も高く、次いで「週の5日以上一緒に食べている」(8.3%)、「週の3、4日は一緒に食べている」(3.8%)となっており、中学2年生では「毎日一緒に食べている」が78.7%と、小学5年生に比べやや低くなっています。

3-2 一人で夕食を食べるときよく食べているもの

【問4で「毎日一緒に食べている」以外を選択した方のみ】

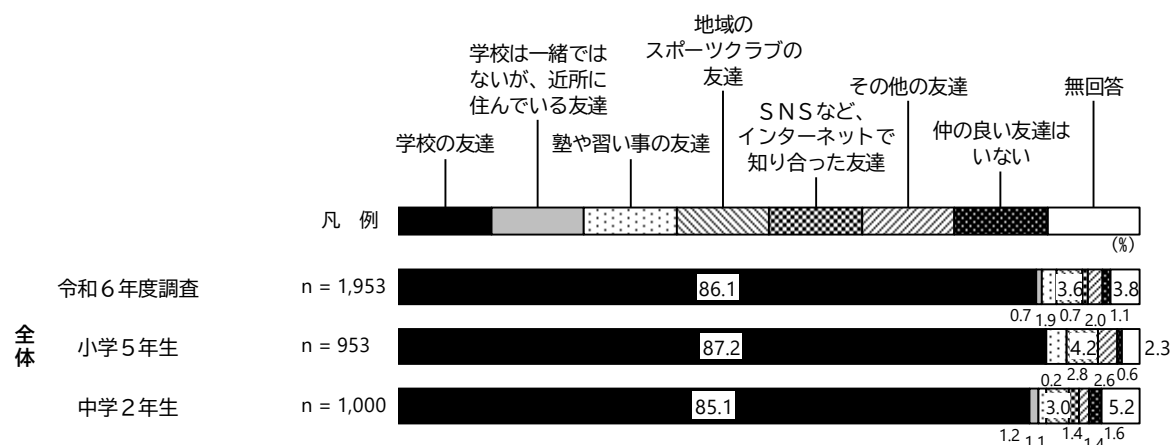
問 4-1 一人でごはんを食べるとき、何をよく食べていますか。特によく食べているものを1つ教えてください。(○は1つ)



一人で夕食を食べるときよく食べているものについて、全体では「家族が作ったもの」が72.1%と最も高く、次いで「スーパー・コンビニなどで買ったもの」(11.7%)、「あまり決まっていない」(7.2%)となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

3-3 一番仲の良い友達はどうような友達か

問5 一番仲の良い友達は、どのような友達ですか。(○は1つ)

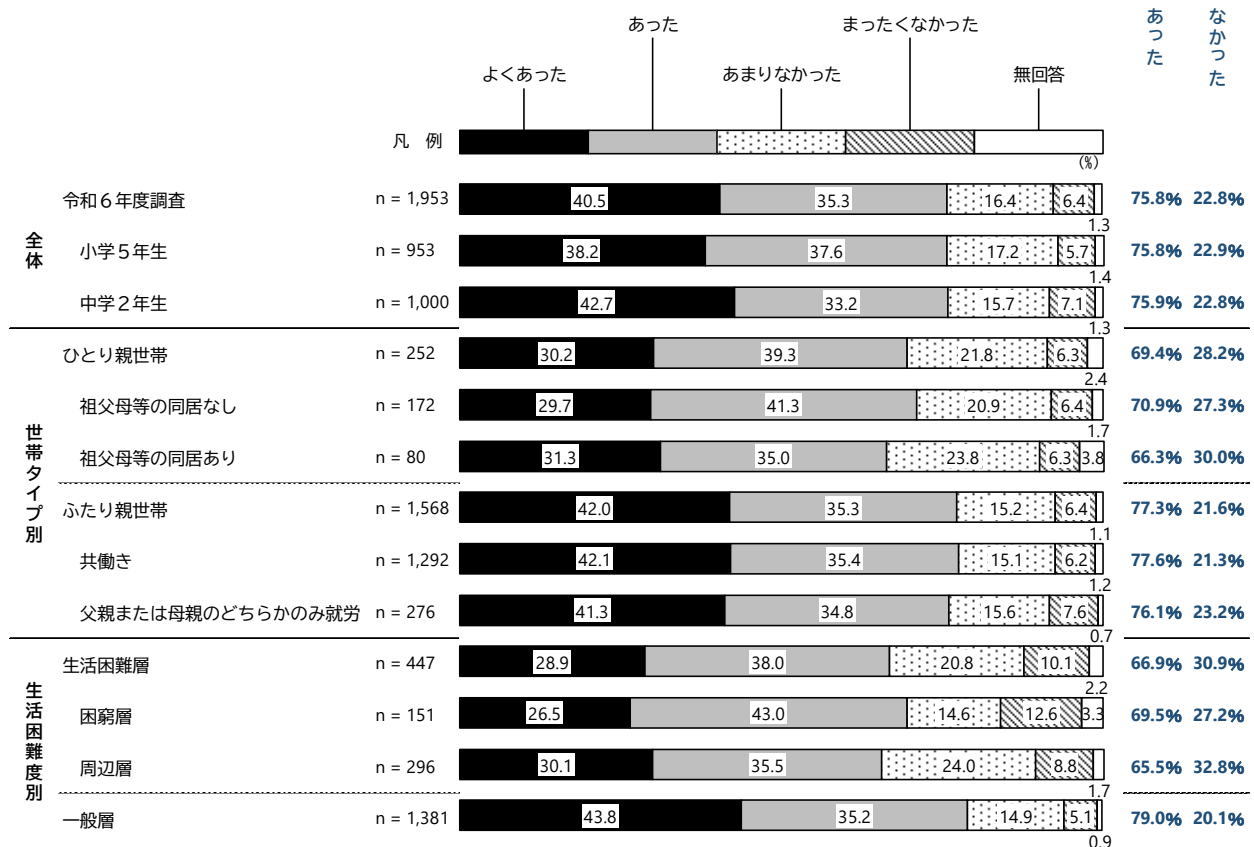


一番仲の良い友達はどうような友達かについて、全体では「学校の友達」が86.1%と最も高く、次いで「地域のスポーツクラブの友達」が3.6%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

3-4 小学生になる前の経験

問6 小学生になる前に、次のような経験がどれくらいありましたか。
(それぞれあてはまる番号1つに○)

① 家族に本や絵本を読んでもらったこと

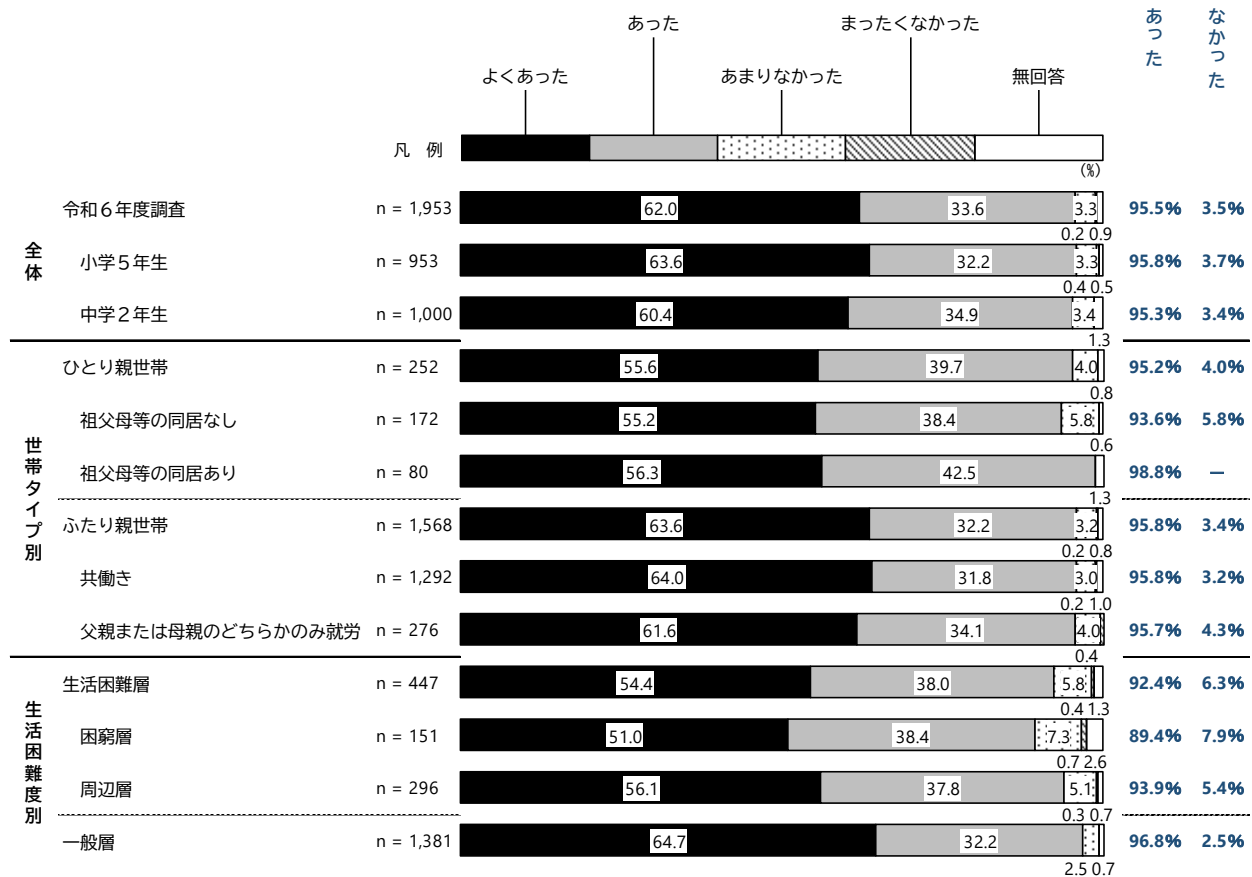


小学生になる前に家族に本や絵本を読んでもらった経験について、全体では《あった》（「よくあった」＋「あった」）が75.8%、《なかった》（「まったくなかった」＋「あまりなかった」）が22.8%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では《あった》が69.4%と、ふたり親世帯に比べやや低くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では《あった》が79.0%であるのに対し、生活困難層では66.9%と10ポイント以上低くなっています。

② 家族に褒められたこと

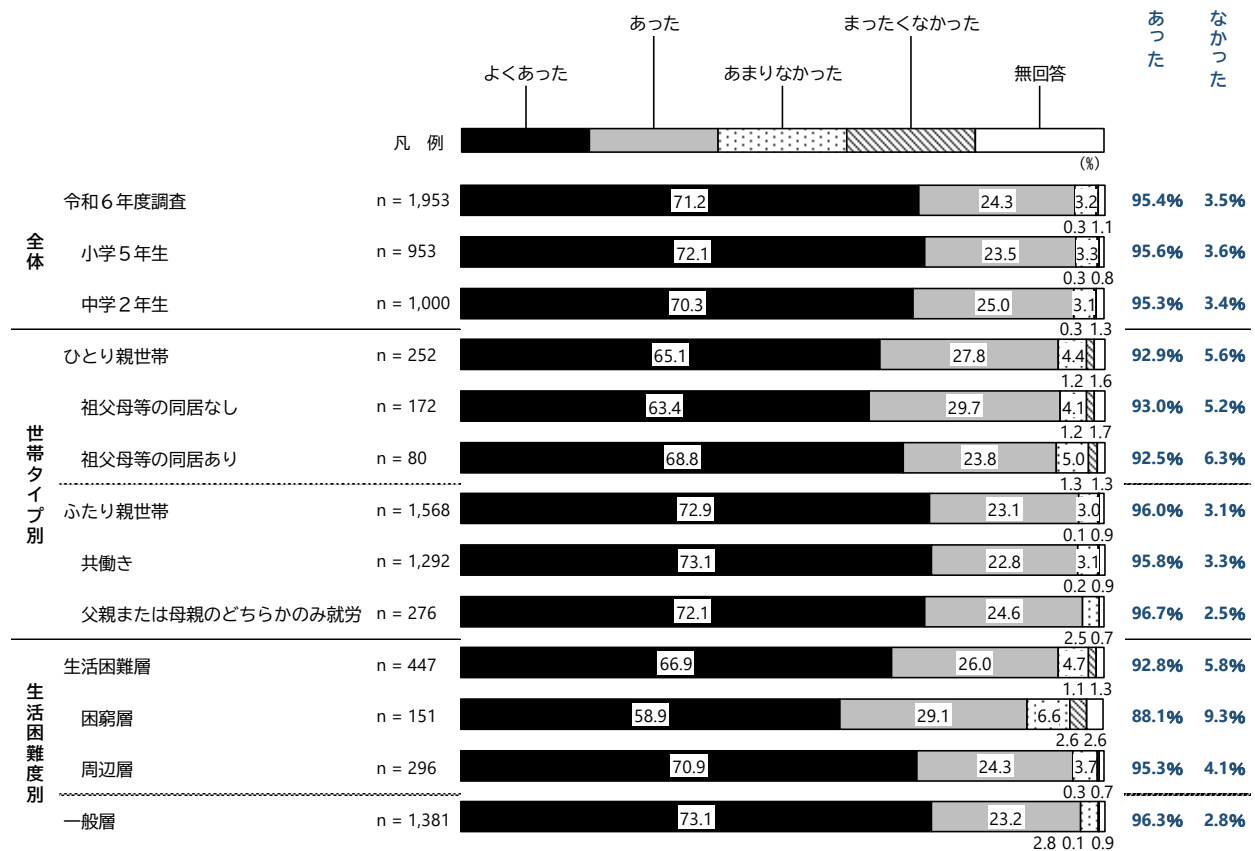


小学生になる前に家族に褒められた経験について、全体では《あった》が 95.5%、《なかった》が 3.5% となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯とふたり親世帯で《あった》や《なかった》に大きな差はありませんが、ひとり親世帯では「よくあった」が 55.6% と、ふたり親世帯に比べやや低くなっています。

生活困難度別にみると、生活困難層と一般層で《あった》や《なかった》に大きな差はありませんが、一般層では「よくあった」が 64.7% であるのに対し、生活困難層では 54.4% と 10 ポイント以上低くなっています。

③ 家族で遊びにでかけたこと

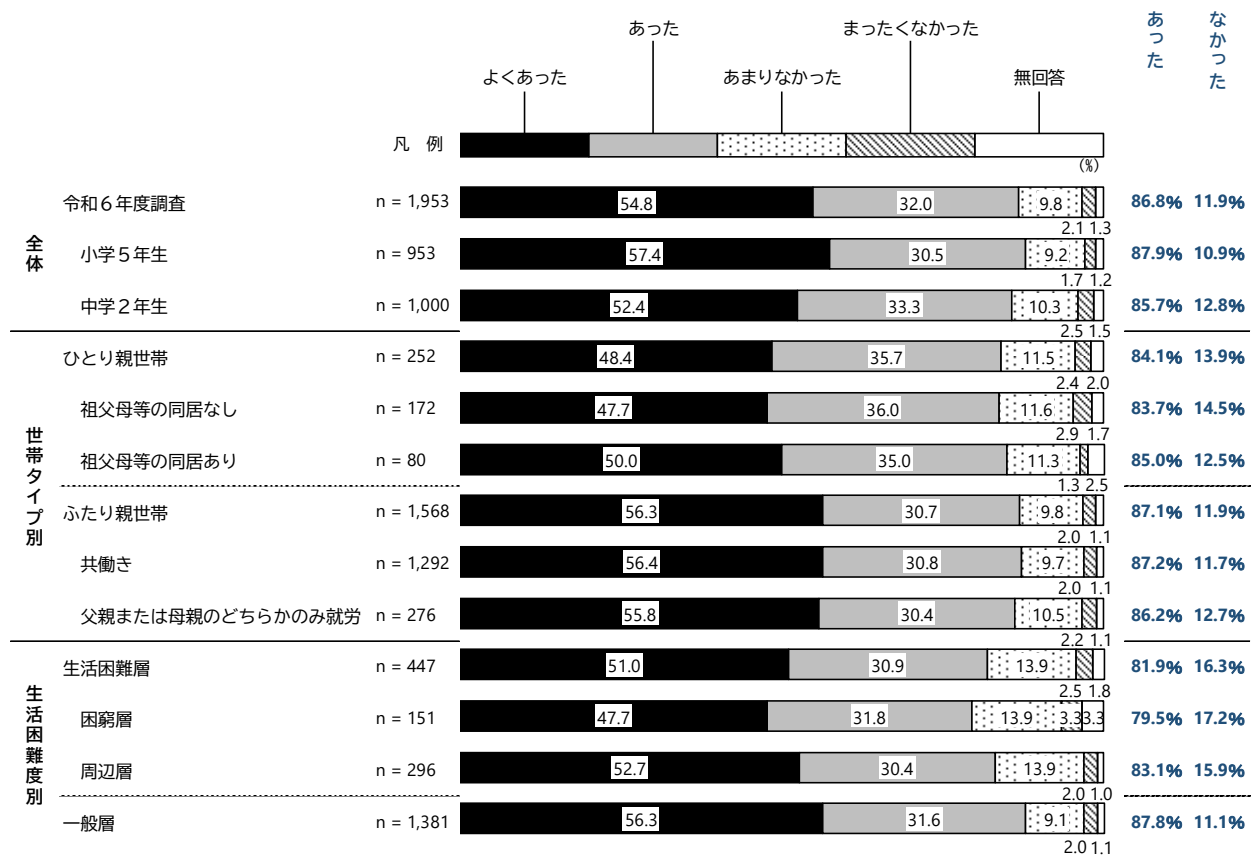


小学生になる前に家族で遊びにでかけた経験について、全体では《あった》が 95.4%、《なかった》が 3.5%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯とふたり親世帯で《あった》や《なかった》に大きな差はありませんが、ひとり親世帯では「よくあった」が65.1%と、ふたり親世帯に比べやや低くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では《あった》が 88.1%と9割を下回り、「よくあった」も 58.9%と6割を下回っています。

④ 家族に公園などで遊んでもらったこと



小学生になる前に家族に公園などで遊んでもらった経験について、全体では《あった》が86.8%、《なかった》が11.9%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯とふたり親世帯で《あった》や《なかった》に大きな差はありませんが、ひとり親世帯では「よくあった」が48.4%と、ふたり親世帯に比べやや低くなっています。

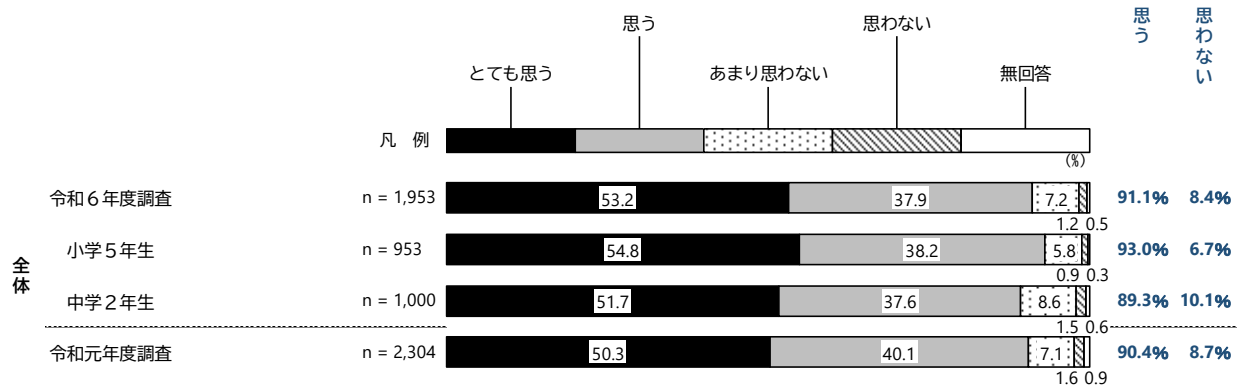
生活困難度別にみると、一般層では《あった》が87.8%であるのに対し、生活困難層では81.9%とやや低く、特に困窮層では79.5%と8割を下回っています。

4 自身が考えていることなどについて

4-1 思いや気持ちについて最も近いもの

問7 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いと思うものを選んでください。
(それぞれあてはまる番号1つに○)

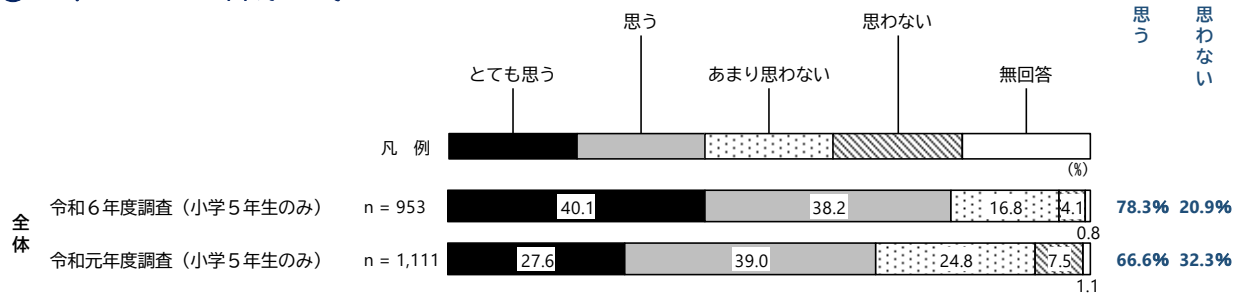
① がんばれば、良い結果が出る



『がんばれば、良い結果が出る』と思うかについて、全体では《思う》(「とても思う」+「思う」)が91.1%、《思わない》(「思わない」+「あまり思わない」)が8.4%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

② 今のままの自分が好き

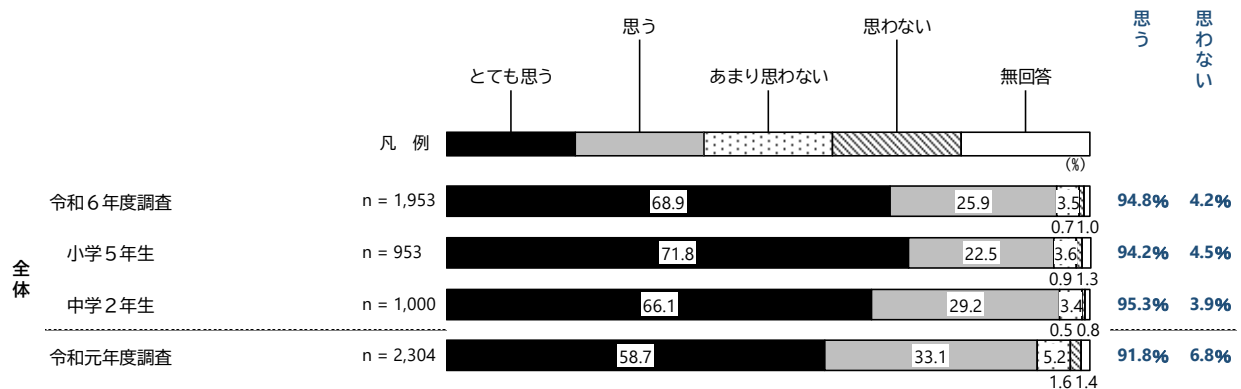


※本設問は、令和6年度調査では小学5年生にのみ聴取。よって、グラフの令和元年度調査も小学5年生の結果を掲載している

『今のままの自分が好き』と思うかについて、全体(小学5年生)では《思う》が78.3%、《思わない》が20.9%となっています。

令和元年度に市内の小学5年生・中学2年生の児童生徒に対して実施した調査(以下「令和元年度調査」という。)と比較すると、《思う》が約12ポイント上昇し、特に「とても思う」の上昇幅が大きくなっています。

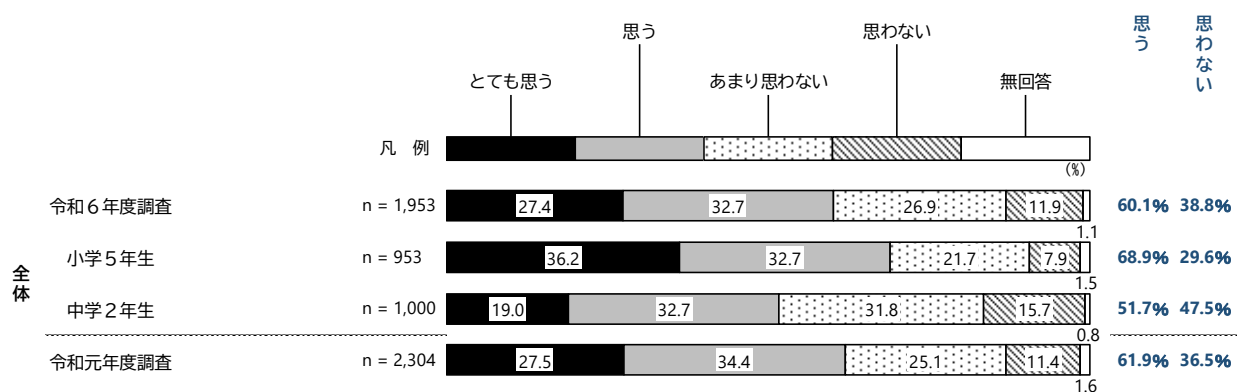
③ 自分は家族に大事にされている



『自分は家族に大事にされている』と思うかについて、全体では《思う》が94.8%、《思わない》が4.2%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較すると、《思う》や《思わない》に大きな変化はありませんが、「とても思う」が約10ポイント上昇しています。

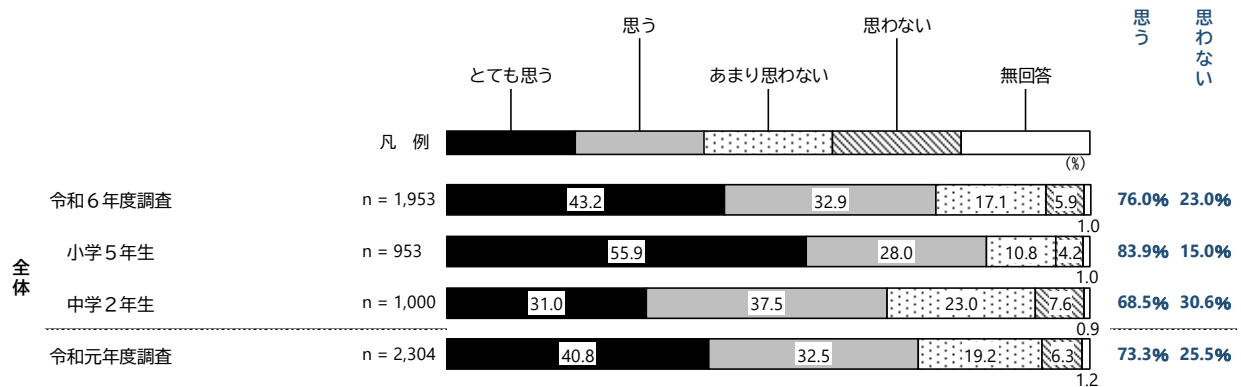
④ 不安に感じることはない



『不安に感じることはない』と思っているかについて、全体では《思う》が60.1%、《思わない》が38.8%となっており、中学2年生では《思う》が51.7%と、小学5年生に比べ約17ポイント低くなっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

⑤ 未来の自分が楽しみ



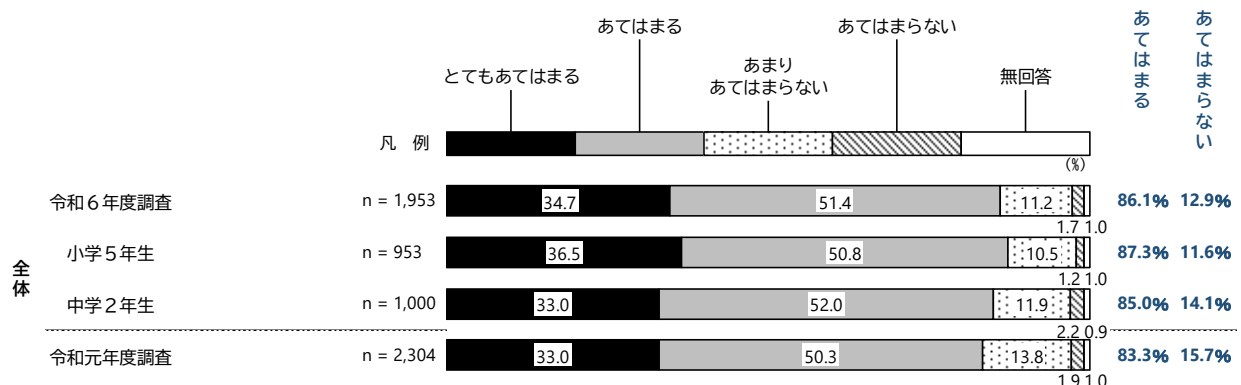
『未来の自分が楽しみ』と思うかについて、全体では《思う》が76.0%、《思わない》が23.0%となっており、中学2年生では《思う》が68.5%と、小学5年生に比べ約15ポイント低くなっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

4-2 次のことにはどの程度あてはまるか

問8 次のようなことにどの程度あてはまりますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

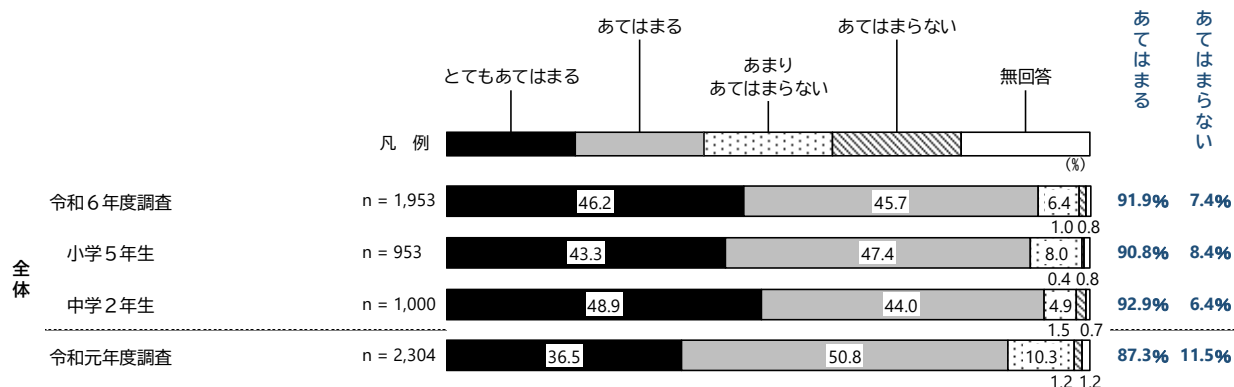
① 必要なときには苦手なことにもがんばって取り組むようにしている



『必要なときには苦手なことにもがんばって取り組むようにしている』について、全体では《あてはまる》(「とてもあてはまる」+「あてはまる」)が86.1%、《あてはまらない》(「あてはまらない」+「あまりあてはまらない」)が12.9%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

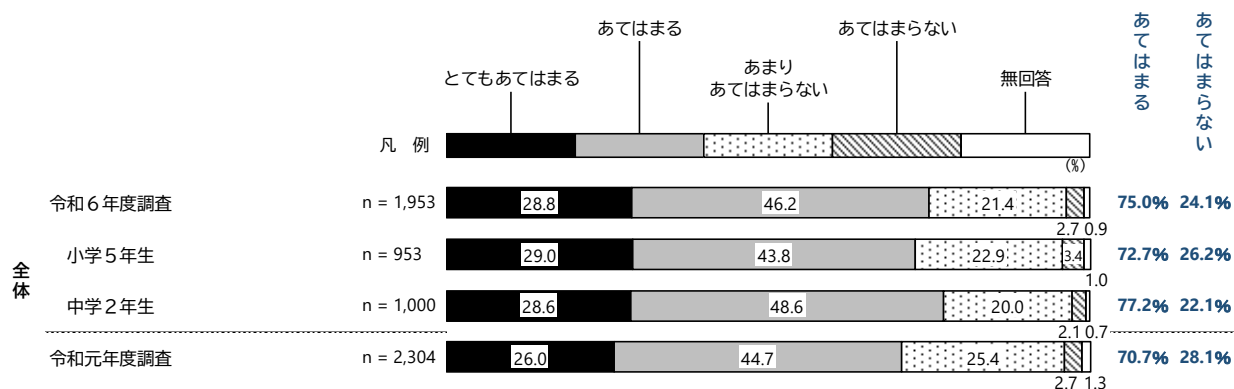
② 相手の気持ちを考えて話をするようにしている



『相手の気持ちを考えて話をするようにしている』について、全体では《あてはまる》が91.9%、《あてはまらない》が7.4%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較すると、《あてはまる》や《あてはまらない》に大きな変化はありませんが、「とてもあてはまる」が約10ポイント上昇しています。

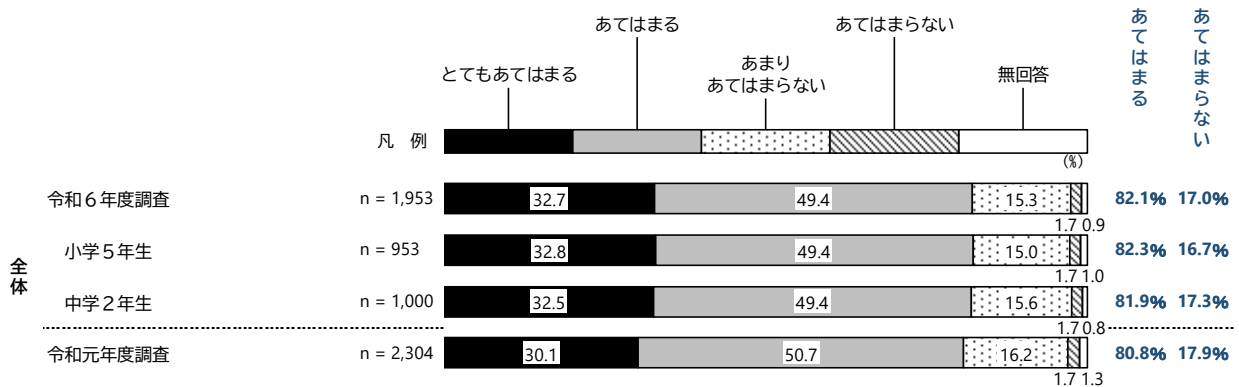
③ 分からないことがあったら、自分からすすんで調べるようにしている



『分からないことがあったら、自分からすすんで調べるようにしている』について、全体では《あてはまる》が75.0%、《あてはまらない》が24.1%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

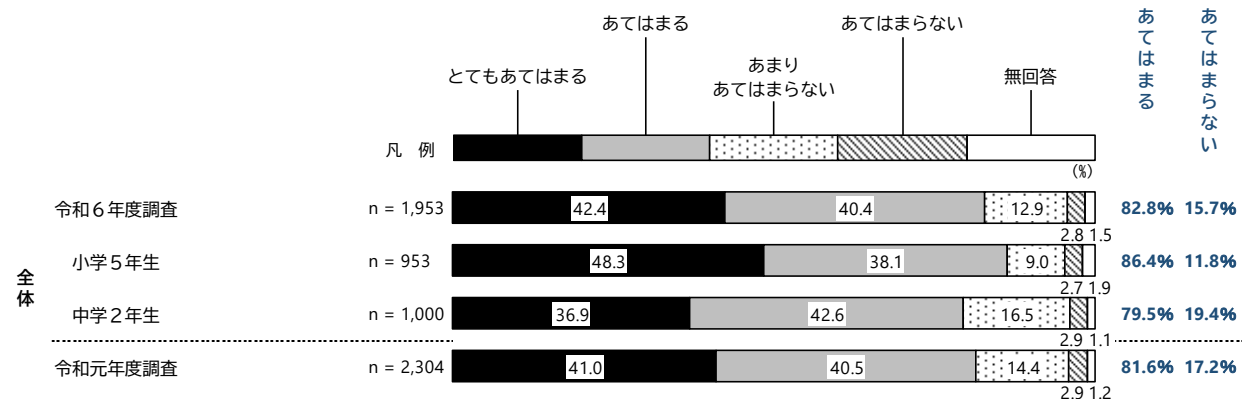
④ 身のまわりのことはできるだけ自分でしている



『身のまわりのことはできるだけ自分でしている』について、全体では《あてはまる》が82.1%、《あてはまらない》が17.0%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

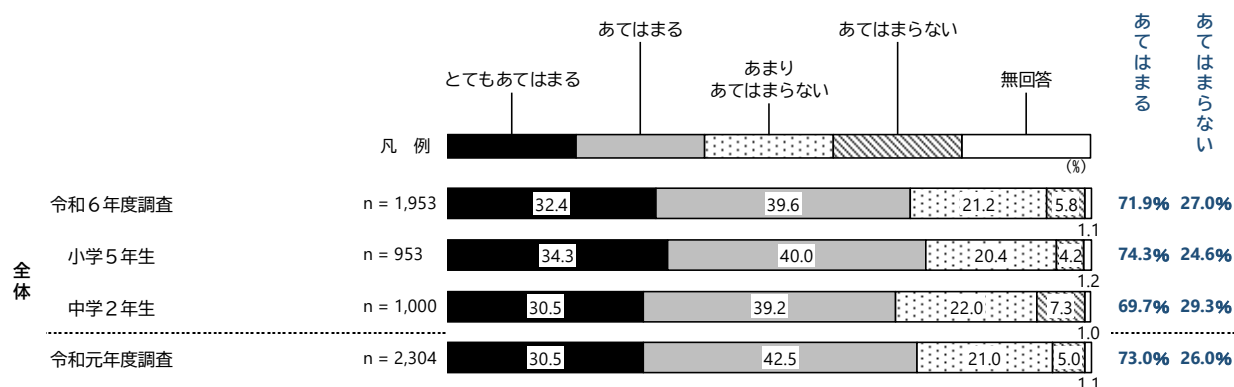
⑤ 失敗してもまたがんばろうと思う



『失敗してもまたがんばろうと思う』について、全体では《あてはまる》が82.8%、《あてはまらない》が15.7%となっており、中学2年生では《あてはまる》が79.5%と、小学5年生に比べやや低くなっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

⑥嫌なことがあっても気持ちを切り替えることができる

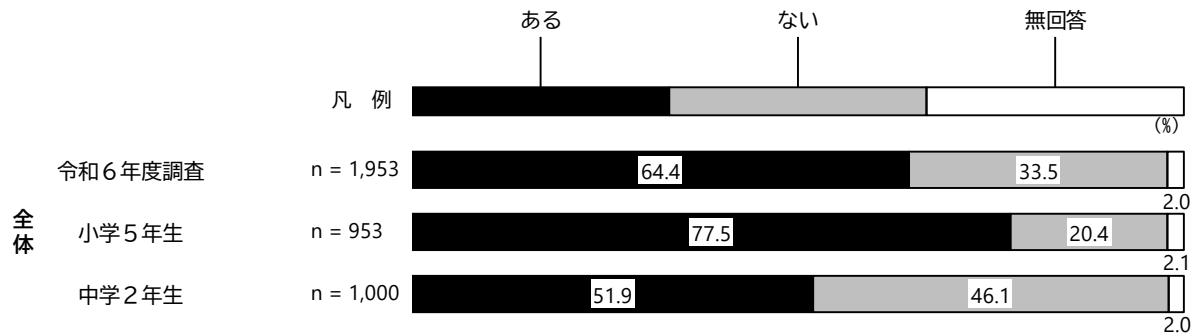


『嫌なことがあっても気持ちを切り替えることができる』について、全体では《あてはまる》が71.9%、《あてはまらない》が27.0%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

令和元年度調査と比較しても、特徴的な傾向はみられませんでした。

4-3 将来の夢はあるか

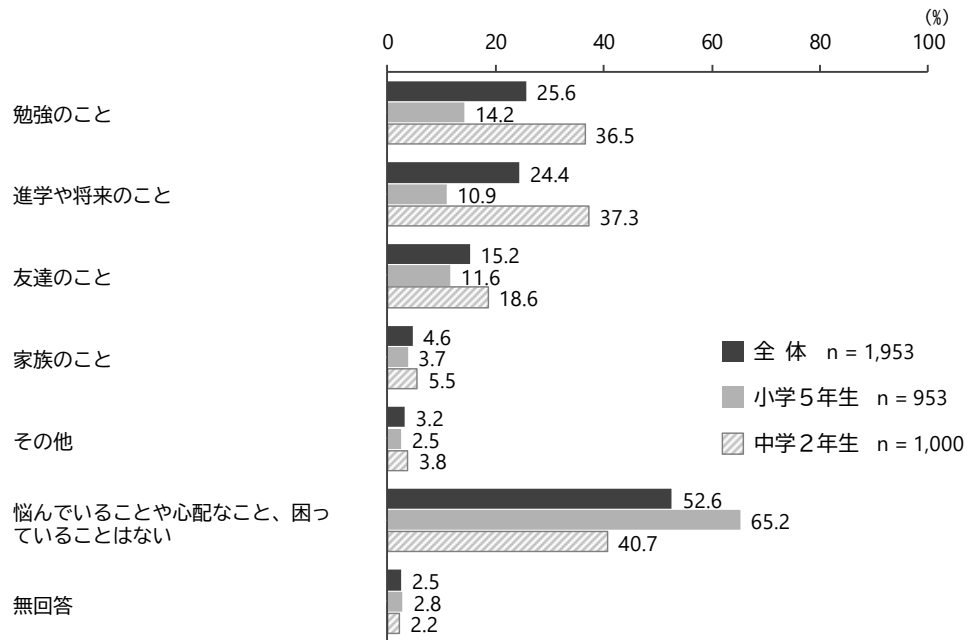
問9 将来の夢はありますか。(○は1つ)



将来の夢はあるかについて、全体では「ある」が64.4%、次いで「ない」が33.5%となっており、小学5年生では「ある」が77.5%なのに対し、中学2年生では51.9%と低く、約26ポイント低の差がみられます。

4-4 悩みごとや心配ごと、困りごと、誰かに相談したいこと

問 10 いま悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したいことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

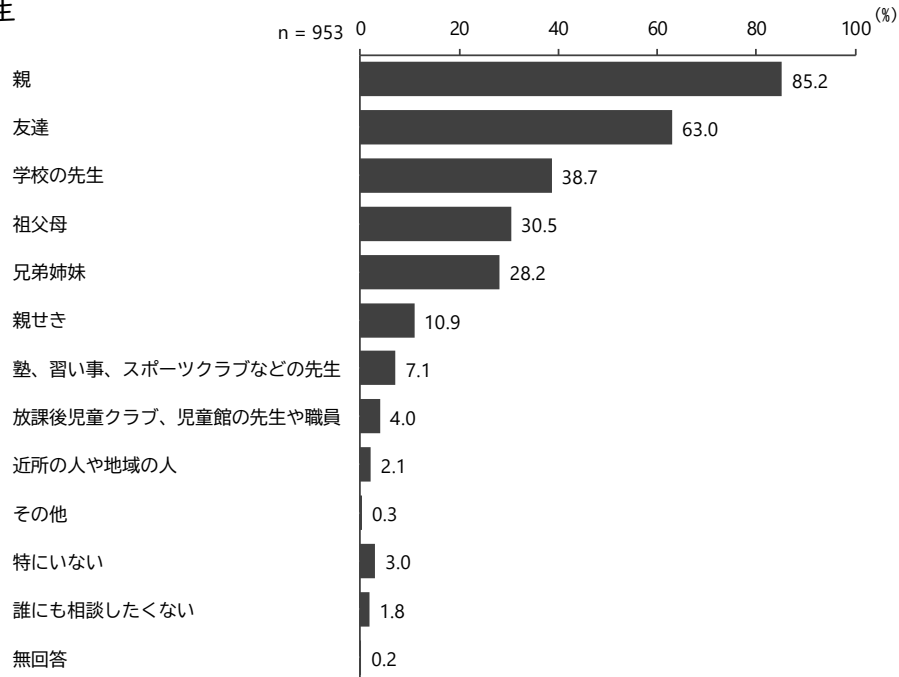


悩みごとや心配ごと、困りごと、誰かに相談したいことについて、全体では「勉強のこと」が25.6%と最も高く、次いで「進学や将来のこと」(24.4%)、「友達のこと」(15.2%)となっており、「悩んでいることや心配なこと、困っていることはない」は52.6%と半数程度にとどまっています。いずれの項目も、小学5年生に比べ中学2年生の方が回答割合が高い傾向があり、特に「勉強のこと」「進学や将来のこと」では大きな差がみられます。

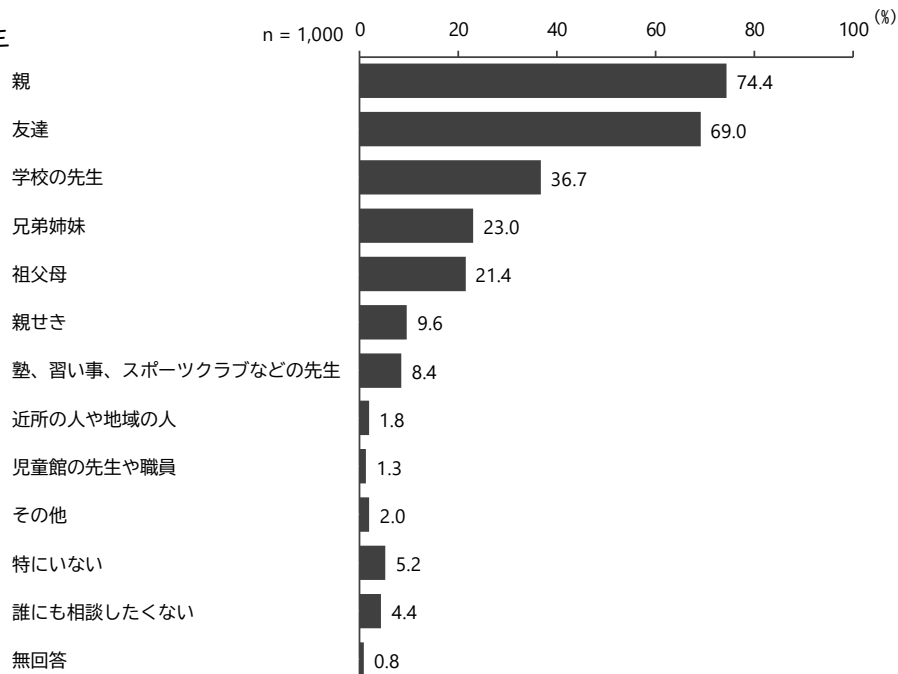
4-5 困った時に相談できる人

問 11 困った時に相談できる人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

◆小学5年生



◆中学2年生

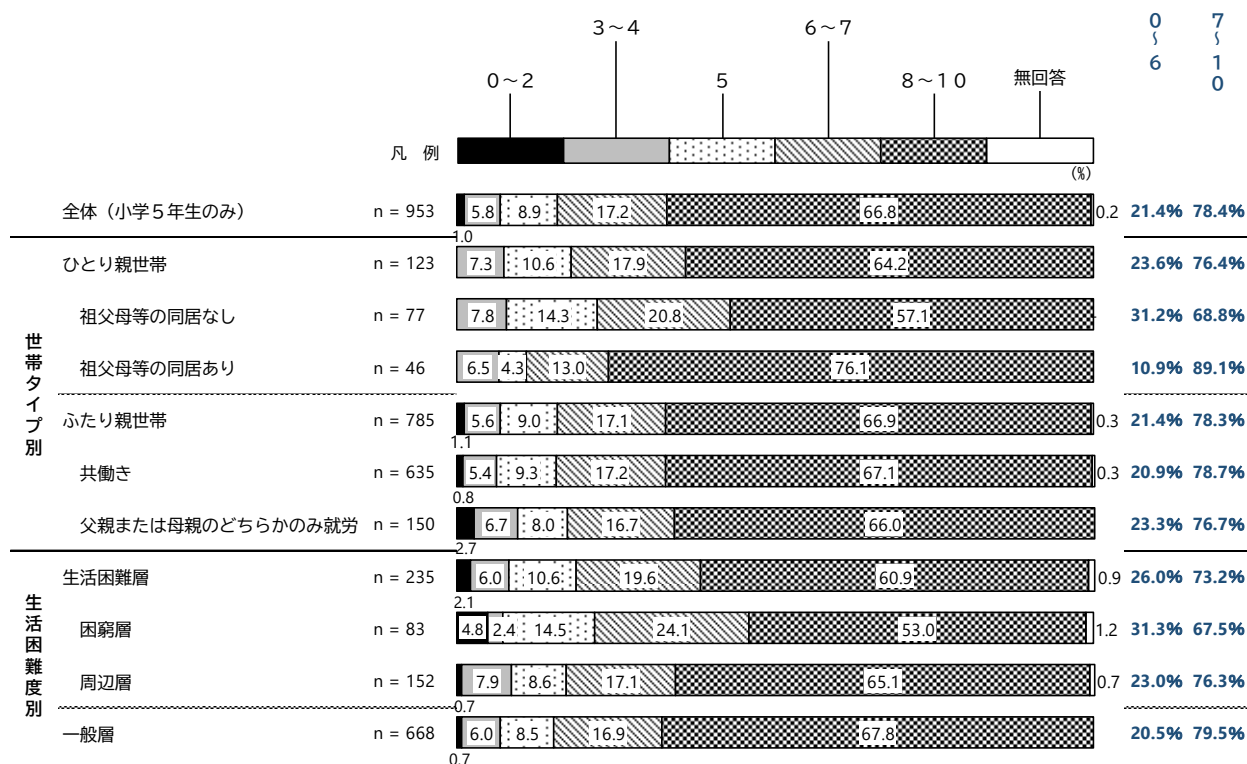


困った時に相談できる人について、小学5年生では「親」が85.2%と最も高く、次いで「友達」(63.0%)、「学校の先生」(38.7%)となっています。

中学2年生では「親」が74.4%と最も高く、次いで「友達」(69.0%)、「学校の先生」(36.7%)となっています。

4-6 最近の生活の満足度

問 12 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。0を「まったく満足していない」、10を「十分に満足している」としたとき、どれぐらいの数字になるか教えてください。（数字に○を1つ）



※本設問は、小学5年生にのみ聴取

※グラフ右の数値は、こども大綱における数値目標『「生活に満足している」と思うこどもの割合』が、7以上と答えた15歳の割合であることから、参考値として示したもの

最近の生活の満足度について、0（まったく満足していない）から10（十分に満足している）の11段階でたずね、その結果を上記のとおり5つに再分類して集計したところ、「8～10」が66.8%と最も高く、次いで「6～7」が17.2%となり、生活満足度が高い（数字が大きい）回答の割合が高くなっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯のうち、祖父母等の同居がある世帯では「8～10」が76.1%と他の世帯タイプに比べ高くなっている一方、祖父母等の同居なしの世帯では「8～10」が57.1%と6割を下回っています。

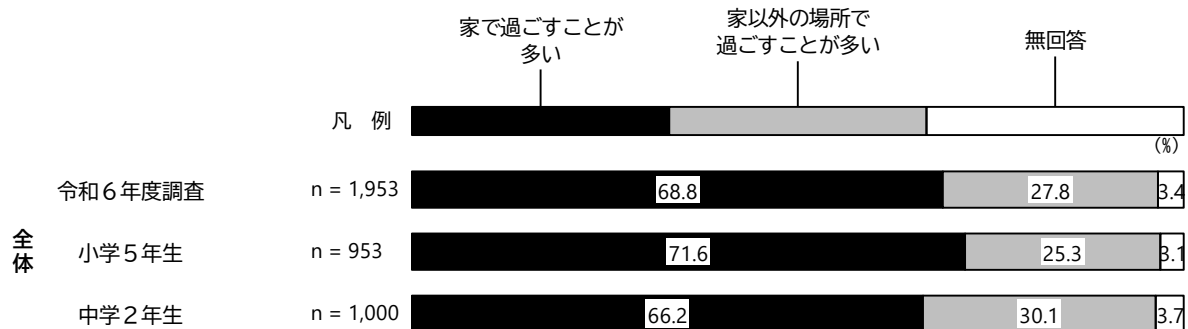
生活困難度別にみると、一般層では「8～10」が67.8%であるのに対し、生活困難層では60.9%とやや低くなり、特に困窮層では53.0%とより低くなっています。

5 放課後の過ごし方について

5-1 放課後の過ごし方

問 13／問 12 学校の授業が終わったあと、どこで過ごしますか。(○は1つ)

※上記のように設問番号を併記している場合、前の番号が小学5年生の調査票、後ろの番号が中学2年生の調査票の番号であることを示す。以下同じ



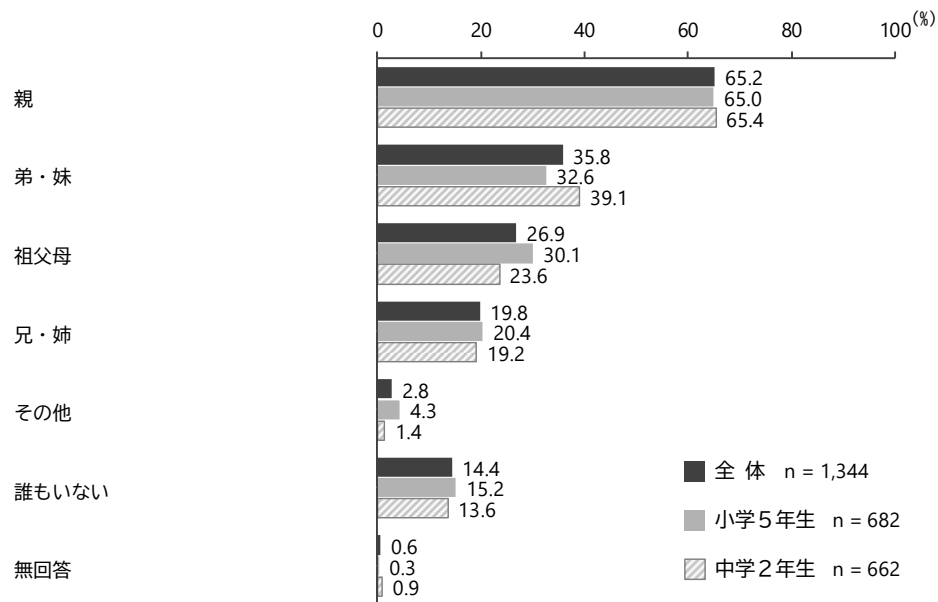
放課後の過ごし方について、全体では「家で過ごすことが多い」が68.8%、「家以外の場所で過ごすことが多い」が27.8%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

5-2 放課後に家に帰った時にいる人

【問13／問12で「家で過ごすことが多い」を選択した方のみ】

問13-1／問12-1 学校の授業が終わって、家に帰った時、家には誰かいますか。

(あてはまるものすべてに○)

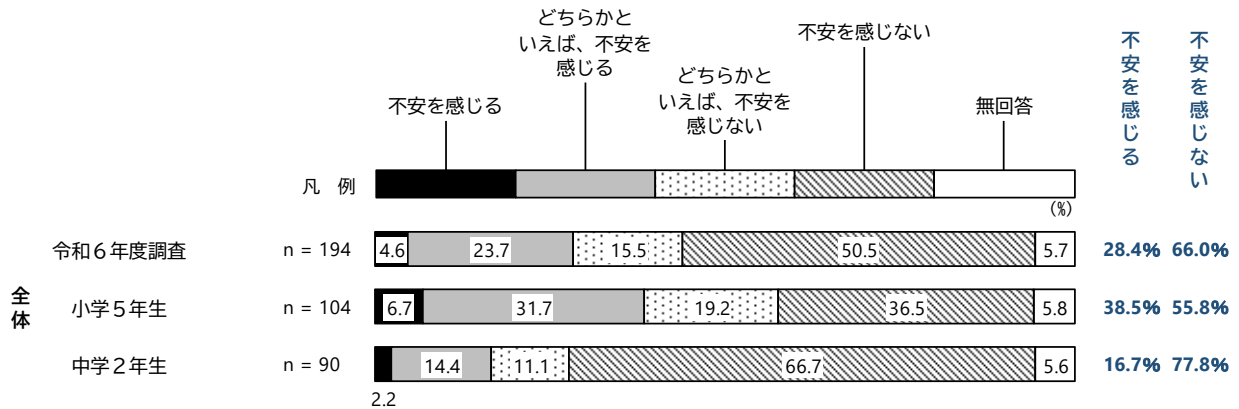


放課後に家に帰った時にいる人について、全体では「親」が65.2%と最も高く、次いで「弟・妹」(35.8%)、「祖父母」(26.9%)となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

5-3 放課後に家で一人で過ごすとき不安を感じるか

【問13-1／問12-1で「誰もいない」を選択した方のみ】

問13-2／問12-2 学校の授業が終わって家に誰もいない（一人で過ごす）とき、あなたは不安を感じたりすることがありますか。（○は1つ）



放課後に家で一人で過ごすとき不安を感じるかについて、全体では《不安を感じる》（「不安を感じる」＋「どちらかといえば、不安を感じる」）が28.4%、《不安を感じない》（「不安を感じない」＋「どちらかといえば、不安を感じない」）が66.0%となっており、小学5年生では《不安を感じる》が38.5%と約4割を占め、中学2年生に比べ高くなっています。

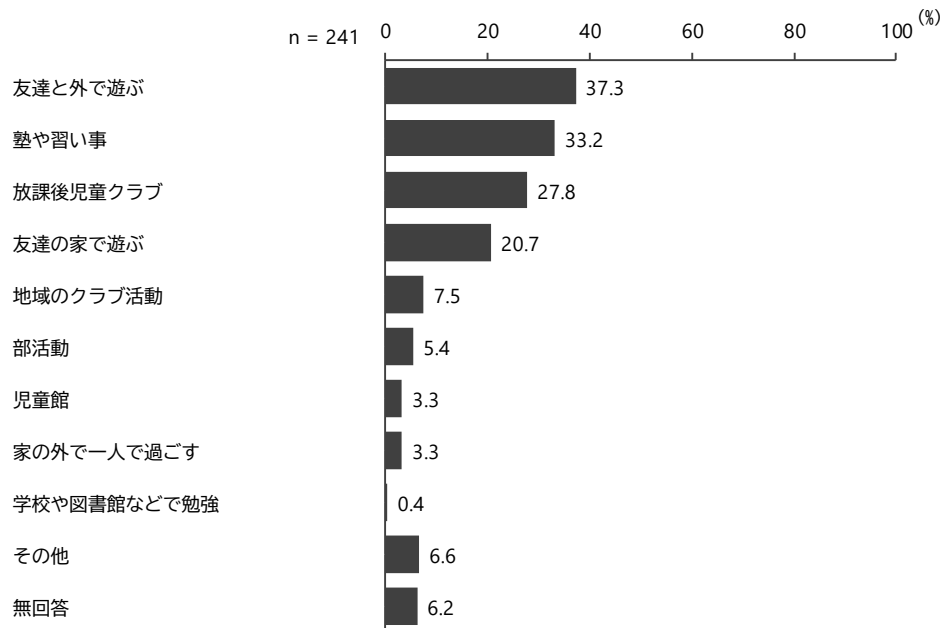
5-4 放課後どのように過ごすことが多いか

【問13/問12で「家以外の場所で過ごすことが多い」を選択した方のみ】

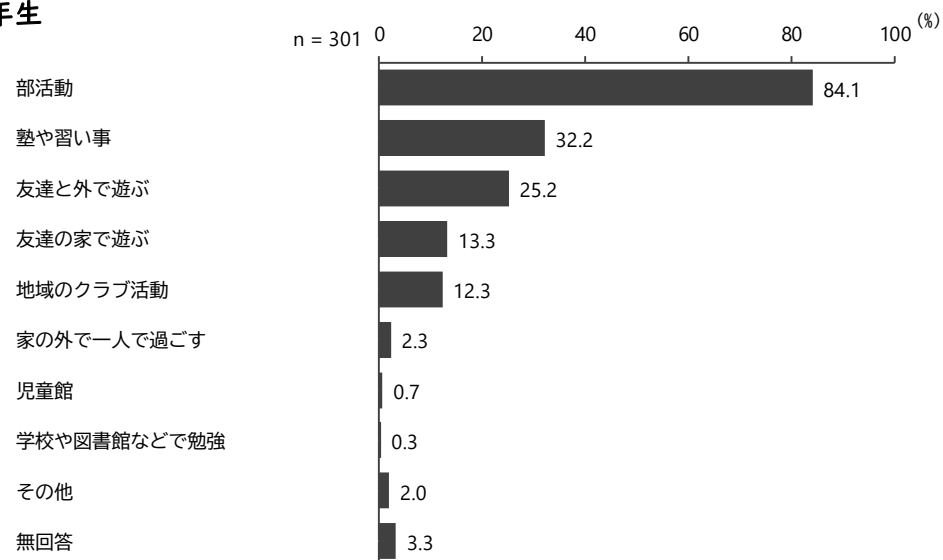
問13-3/問12-3 学校が終わったあと、どのように過ごすことが多いですか。

(あてはまるものすべてに○)

◆小学5年生



◆中学2年生

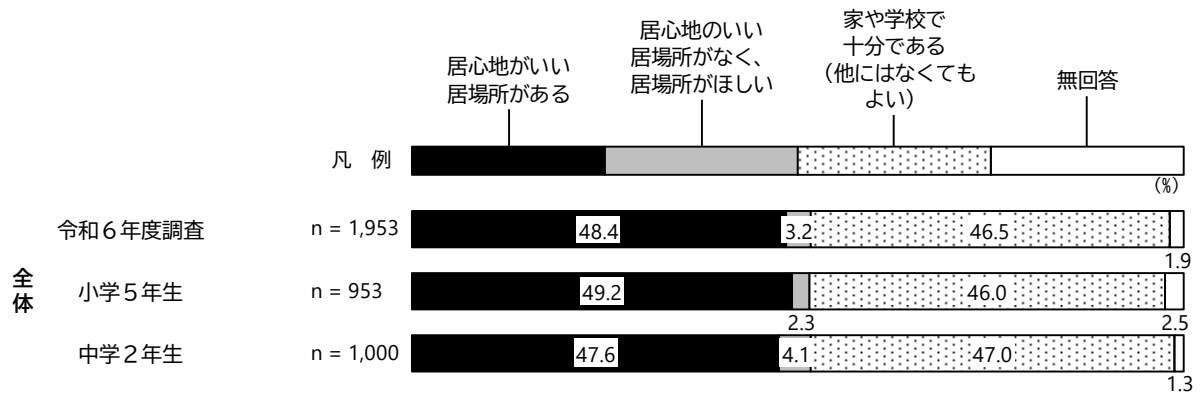


放課後どのように過ごすことが多いかについて、小学5年生では「友達と外で遊ぶ」が37.3%と最も高く、次いで「塾や習い事」(33.2%)、「放課後児童クラブ」(27.8%)となっています。

中学2年生では「部活動」が84.1%と最も高く、次いで「塾や習い事」(32.2%)、「友達と外で遊ぶ」(25.2%)となっています。

5-5 家や学校以外に居心地がいい居場所があるか

問 14／問 13 家や学校（部活、クラブ活動など含む）以外に、居心地がいい居場所がありますか。



家や学校以外に居心地がいい居場所があるかについて、全体では「居心地がいい居場所がある」が48.4%と最も高く、次いで「家や学校で十分である」(46.5%)、「居心地のいい居場所がなく、居場所がほしい」(3.2%)となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

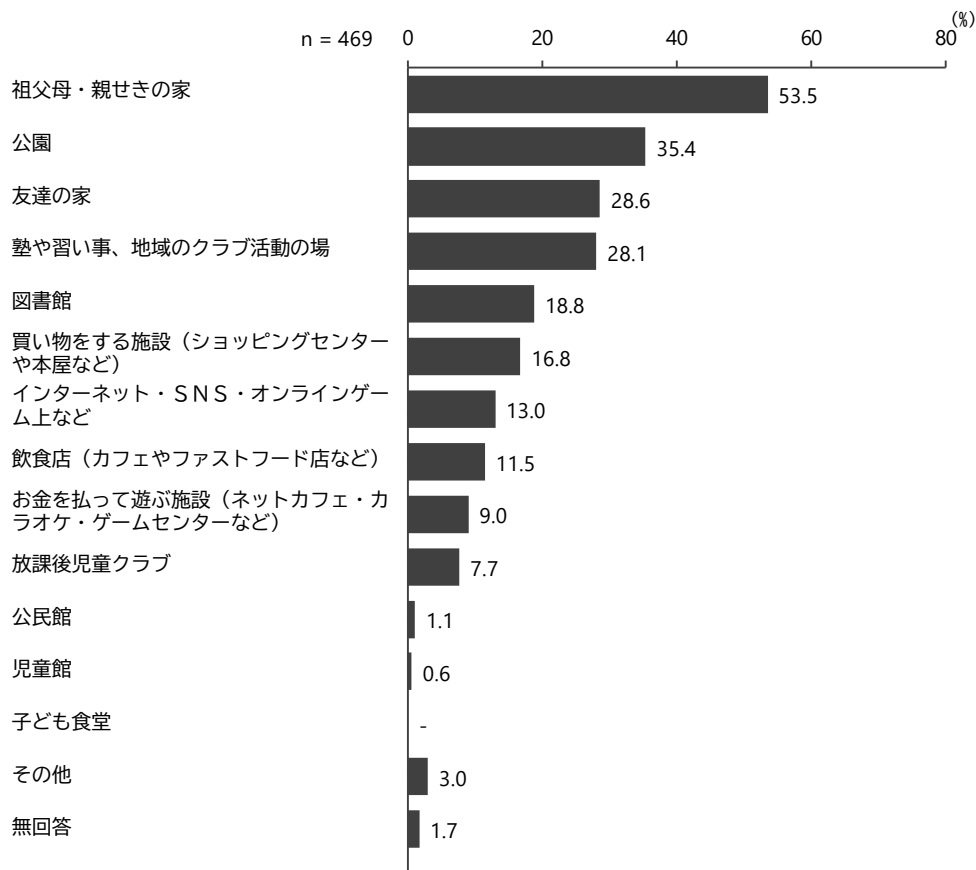
5-6 家や学校以外で居心地がいい居場所

【問14／問13で「居心地がいい居場所がある」を選択した方のみ】

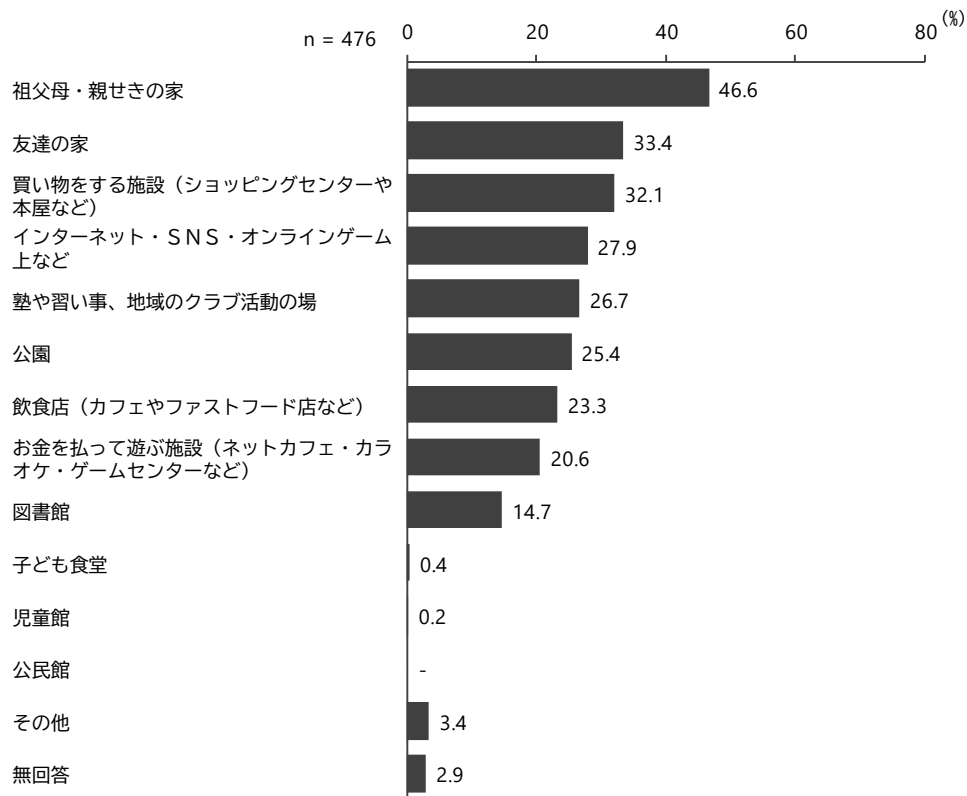
問14-1／問13-1 家や学校以外で、居心地がいい居場所はどこですか。

(あてはまるものすべてに○)

◆小学5年生



◆中学2年生

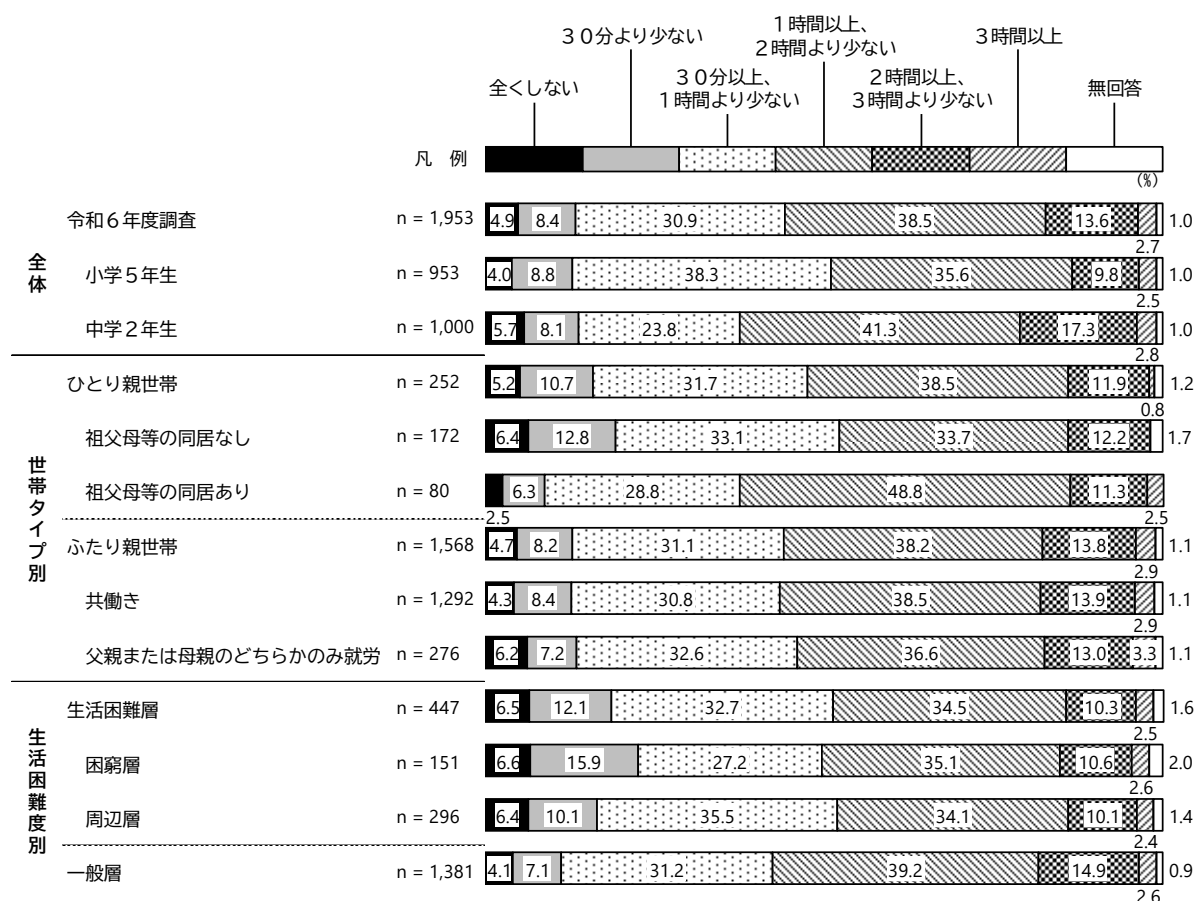


家や学校以外で居心地がいい居場所について、小学5年生では「祖父母・親せきの家」が53.5%と最も高く、次いで「公園」（35.4%）、「友達の家」（28.6%）となっています。

中学2年生では「祖父母・親せきの家」が46.6%と最も高く、次いで「友達の家」（33.4%）、「買い物をする施設（ショッピングセンターや本屋など）」（32.1%）となっています。

5-7 学校の授業以外での1日あたり勉強時間

問15/問14 学校の授業以外での勉強時間（塾などの時間も含む）は、1日あたりどのくらいですか。（○は1つ）



学校の授業以外での1日あたり勉強時間について、全体では「1時間以上、2時間より少ない」が38.5%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」(30.9%)、「2時間以上、3時間より少ない」(13.6%)となっており、小学5年生に比べ中学2年生の方が、より時間が長い項目（「2時間以上、3時間より少ない」「1時間以上、2時間より少ない」など）の回答割合が高くなっています。

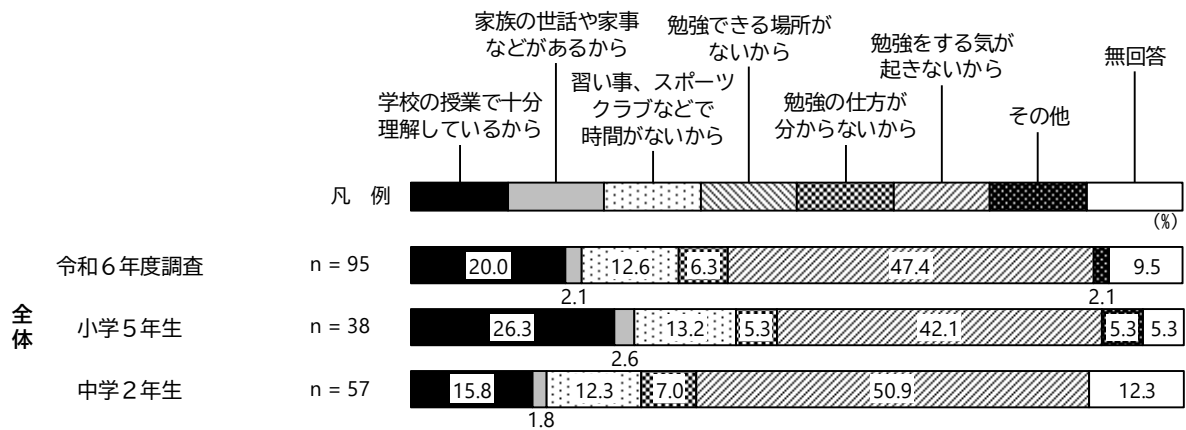
世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯のうち祖父母等の同居がある世帯とない世帯で勉強時間に差がみられており、祖父母等の同居がある世帯では「1時間以上、2時間より少ない」が高い一方、祖父母等の同居がない世帯では「全くしない」や「30分より少ない」などがやや高くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「全くしない」と「30分より少ない」の合算値が1割程度であるのに対し、生活困難層では18.6%とやや高くなり、特に困窮層では22.5%と2割を超えています。

5-8 学校の授業以外で勉強を全くしない理由

【問15／問14で「全くしない」を選択した方のみ】

問15-1／問14-1 学校の授業以外で勉強を全くしない理由は何ですか。(○は1つ)

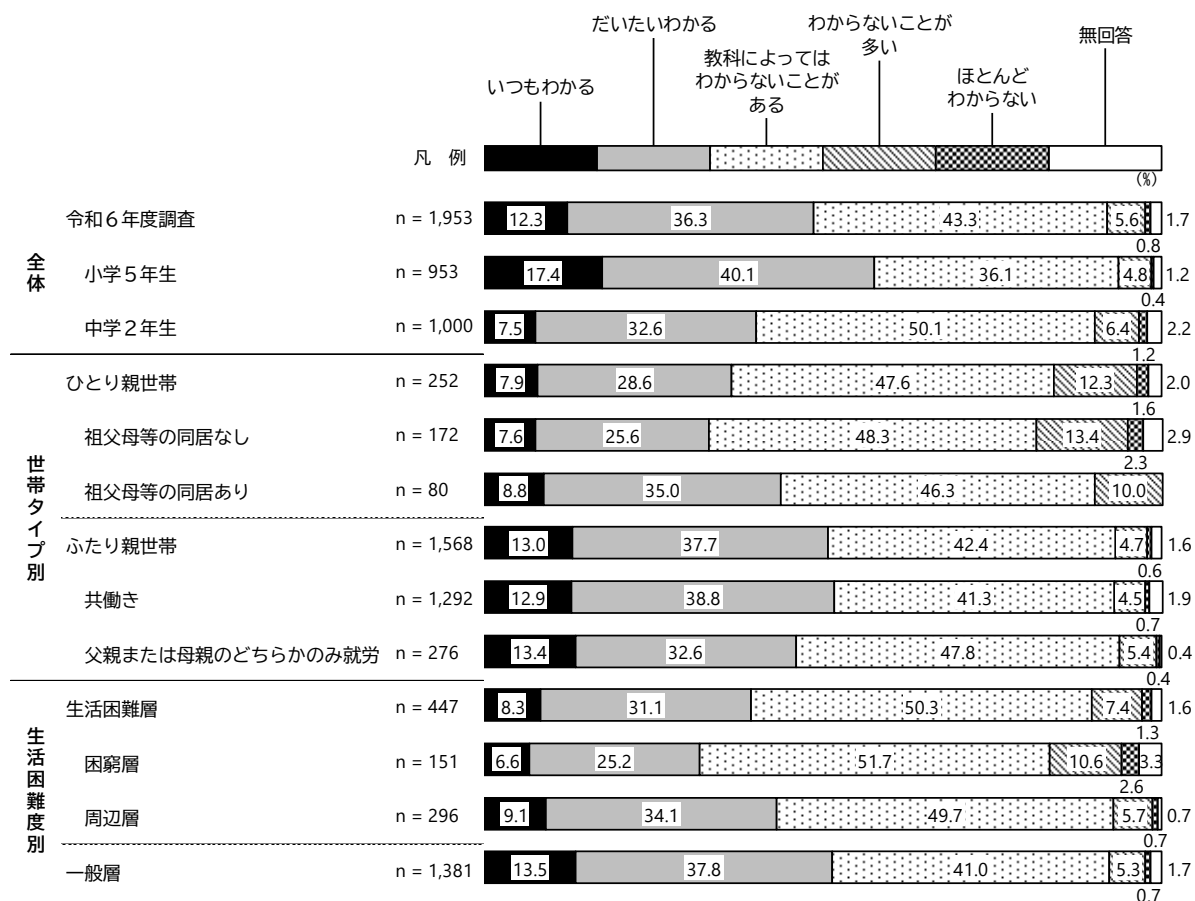


学校の授業以外で勉強を全くしない理由について、全体では「勉強をする気が起きないから」が47.4%と最も高く、次いで「学校の授業で十分理解しているから」(20.0%)、「習い事、スポーツクラブなどで時間がないから」(12.6%)となっており、小学5年生では「学校の授業で十分理解しているから」が26.3%と、中学2年生に比べ高く、中学2年生では「勉強をする気が起きないから」が50.9%と、小学5年生に比べ高くなっています。

6 学校での授業や進学のことについて

6-1 学校の授業がわからないことがあるか

問 16／問 15 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(○は1つ)



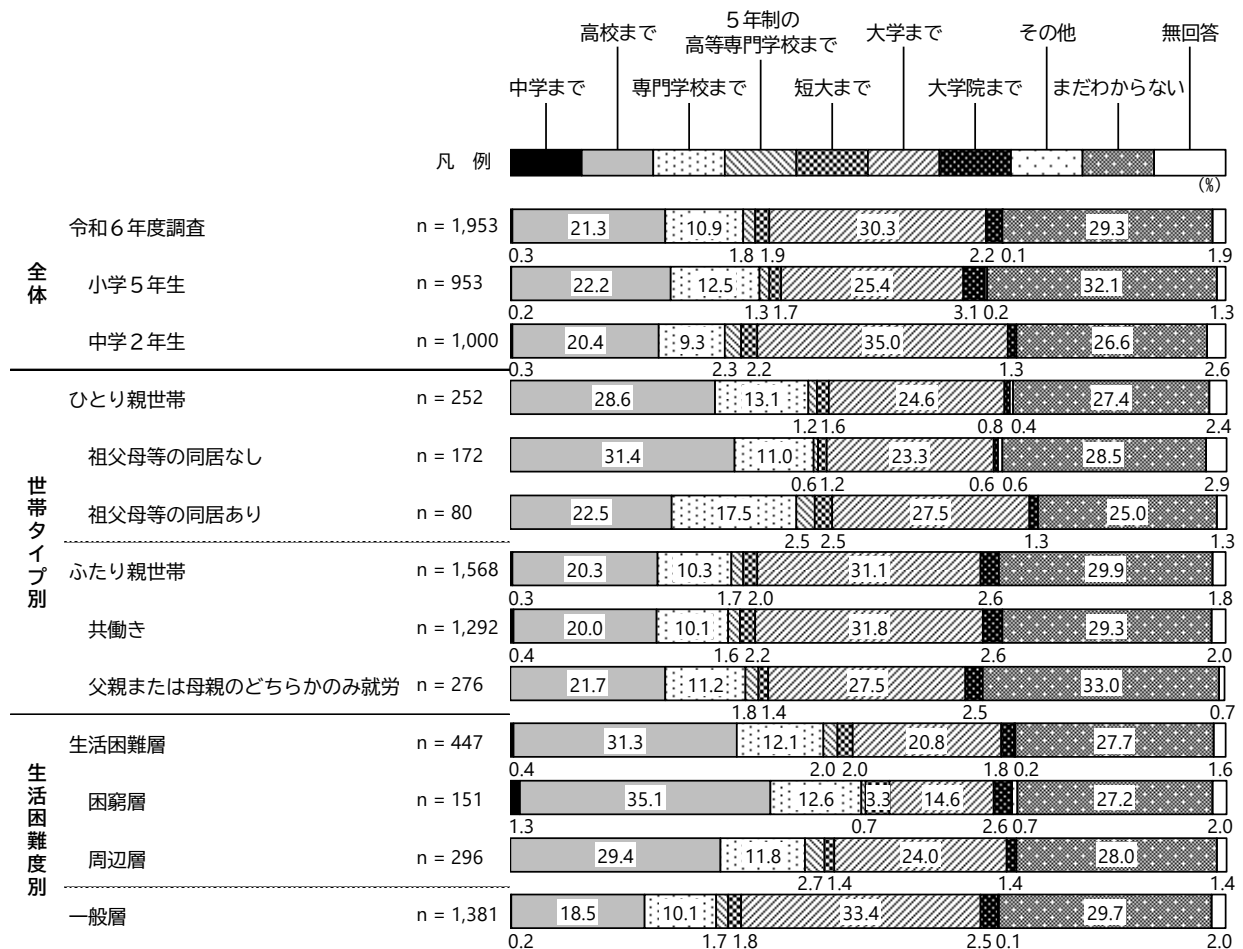
学校の授業がわからないことがあるかについて、全体では「教科によってはわからないことがある」が43.3%と最も高く、次いで「だいたいわかる」(36.3%)、「いつもわかる」(12.3%)となっており、小学5年生に比べ中学2年生の方が「いつもわかる」や「だいたいわかる」が低く、「教科によってはわからないことがある」が高くなっています。

世帯タイプ別にみると、ふたり親世帯では「いつもわかる」「だいたいわかる」の合算値が50.7%であるのに対し、ひとり親世帯では36.5%と低くなり、特に祖父母等の同居がない世帯における合算値が33.1%とより低くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「いつもわかる」「だいたいわかる」の合算値が51.3%であるのに対し、生活困難層では39.4%と低くなり、特に困窮層における合算値が31.8%とより低くなっています。

6-2 将来希望する進学段階

問 17／問 16 あなたは、将来、どの段階までの学校に進学したいですか。(○は1つ)



将来希望する進学段階について、全体では「大学まで」が30.3%と最も高く、次いで「まだわからない」(29.3%)、「高校まで」(21.3%)となっており、小学5年生に比べ中学2年生の方が「まだわからない」が低く、「大学まで」が高くなっています。

世帯タイプ別にみると、ふたり親世帯では「大学まで」が31.1%となっているのに対し、ひとり親世帯では24.6%にとどまり、「高校まで」が28.6%と高くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「大学まで」が33.4%となっているのに対し、生活困難層では20.8%と低くなり、「高校まで」が31.3%と高くなっています。特に困窮層では、「大学まで」が14.6%と1割台であり、「高校まで」が35.1%とより高くなっています。

6-3 将来希望する進学段階の理由

【問17／問16でいずれかの進学段階を選択した方のみ】

問17-1／問16-1 問17／問16の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

			(%)									
		n	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先ばいや友達がそうしているから	早く働く必要があるから	家にお金がないと思うから	その他	特に理由はない	無回答
全体	令和6年度調査	1,343	51.7	18.5	13.3	6.3	4.1	3.8	2.4	5.3	17.7	2.5
	小学5年生	635	47.9	12.8	8.3	4.9	2.4	4.1	1.6	6.0	22.2	3.1
	中学2年生	708	55.1	23.7	17.8	7.5	5.6	3.5	3.1	4.7	13.7	2.0
世帯タイプ別	ひとり親世帯	177	50.3	18.1	10.2	5.6	4.0	4.5	6.8	4.5	21.5	2.3
	祖父母等の同居なし	118	51.7	21.2	7.6	7.6	5.1	4.2	7.6	3.4	23.7	0.8
	祖父母等の同居あり	59	47.5	11.9	15.3	1.7	1.7	5.1	5.1	6.8	16.9	5.1
	ふたり親世帯	1,071	51.5	19.0	14.2	6.5	4.0	3.7	1.5	5.6	17.5	2.5
	共働き	888	51.9	19.5	14.2	7.3	4.7	3.7	1.2	6.1	17.3	1.8
	父親または母親のどちらかのみ就労	183	49.7	16.4	14.2	2.7	0.5	3.8	2.7	3.3	18.0	6.0
生活困難度別	生活困難層	316	44.3	16.8	13.6	6.0	4.7	4.7	5.7	4.4	23.1	3.2
	困窮層	107	43.0	16.8	10.3	7.5	5.6	6.5	11.2	3.7	23.4	6.5
	周辺層	209	45.0	16.7	15.3	5.3	4.3	3.8	2.9	4.8	23.0	1.4
	一般層	943	53.6	19.4	13.8	6.8	3.7	3.5	1.3	5.2	16.2	2.3

将来希望する進学段階の理由について、全体では「希望する学校や職業があるから」が51.7%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」(18.5%)、「親がそう言っているから」(13.3%)となっており、中学2年生では「自分の成績から考えて」「親がそう言っているから」が、小学5年生に比べ高くなっています。

世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、一般層では「希望する学校や職業があるから」が53.6%であるのに対し、生活困難層では44.3%と低くなっています。また、困窮層では「家にお金がないと思うから」が11.2%と1割以上となっています。

※問 17／問 16 将来希望する進学段階で「高校まで」の回答を抜粋

			(%)									
		n	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先ばいや友達がそうしているから	早く働く必要があるから	家にお金がないと思うから	その他	特に理由はない	無回答
世帯タイプ別	ひとり親世帯	72	27.8	29.2	6.9	9.7	6.9	5.6	9.7	4.2	34.7	2.8
	祖父母等の同居なし	54	27.8	31.5	3.7	11.1	9.3	3.7	9.3	3.7	38.9	1.9
	祖父母等の同居あり	18	27.8	22.2	16.7	5.6	-	11.1	11.1	5.6	22.2	5.6
	ふたり親世帯	319	24.1	26.0	10.3	7.8	6.0	8.8	4.1	5.6	29.5	3.1
	共働き	259	24.3	26.3	10.4	8.1	7.3	8.9	3.1	6.6	29.3	2.3
	父親または母親のどちらかのみ就労	60	23.3	25.0	10.0	6.7	-	8.3	8.3	1.7	30.0	6.7
生活困難度別	生活困難層	140	24.3	22.1	10.0	7.9	7.1	5.7	8.6	3.6	33.6	5.7
	困窮層	53	26.4	18.9	13.2	9.4	7.5	7.5	17.0	1.9	34.0	11.3
	周辺層	87	23.0	24.1	8.0	6.9	6.9	4.6	3.4	4.6	33.3	2.3
	一般層	256	25.8	29.7	9.8	8.6	5.9	9.4	3.9	5.9	28.1	2.0

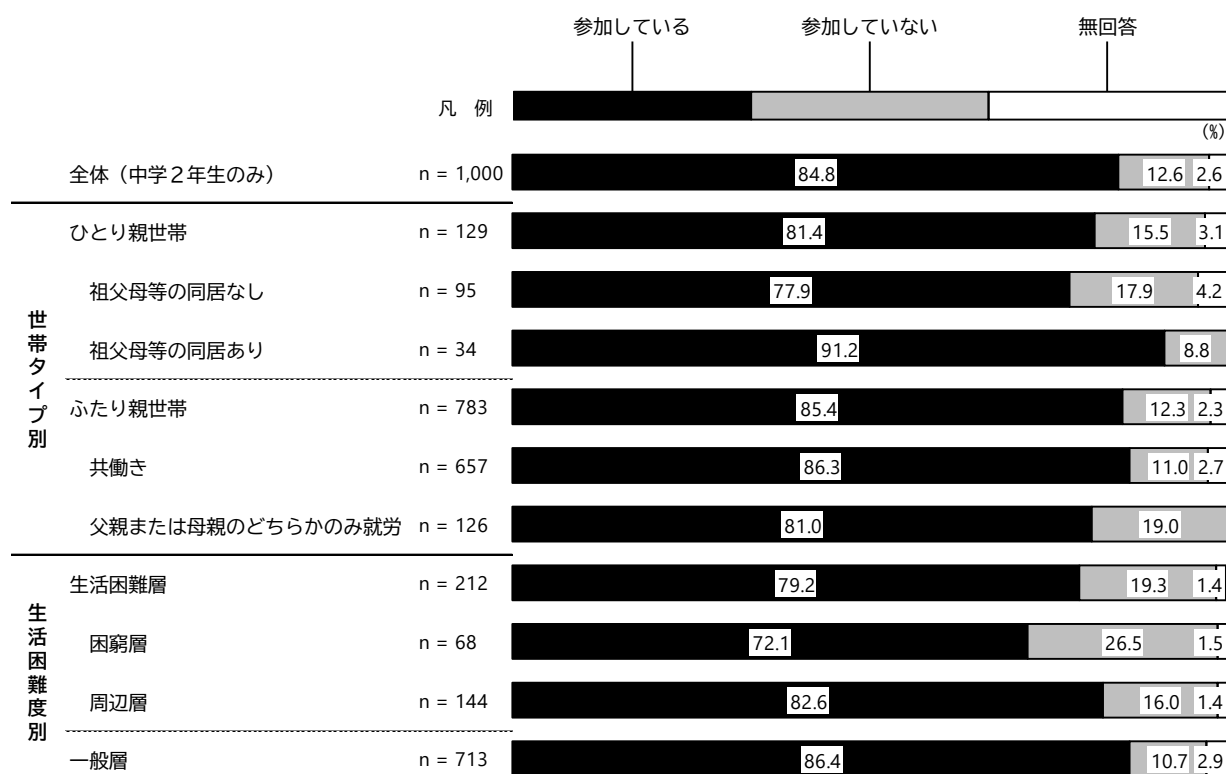
前ページの世帯タイプ別、生活困難度別のクロス集計について、問 17／問 16 の将来希望する進学段階が「高校まで」の回答を抜粋したのが、上記のグラフになります。

これを世帯タイプ別にみると、項目ごとに多少の回答割合の差はあるものの、全体的には特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、「家にお金がないと思うから」の差が前ページの結果に比べより顕著になり、一般層では 3.9%であるのに対し、生活困難層では 8.6%、困窮層では 17.0%となっています。

6-4 学校の部活動や地域のクラブの参加状況

問 17 あなたは、学校の部活動や地域のスポーツクラブ、文化クラブに参加していますか。
(○は1つ)



※本設問は、中学2年生にのみ聴取

学校の部活動や地域のクラブの参加状況について、全体（中学2年生）では「参加している」が84.8%、「参加していない」が12.6%となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯のうち祖父母等の同居がない世帯、ふたり親世帯のうち父親または母親のどちらかのみ就労の世帯において、「参加していない」がやや高い傾向があります。

生活困難度別にみると、一般層では「参加していない」が10.7%であるのに対し、生活困難層では19.3%と高くなり、特に困窮層では26.5%とより高くなっています。

6-5 学校の部活動や地域のクラブに参加していない理由

【問17で「参加していない」を選択した方のみ】

問17-1 参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

			(%)						
		n	入りたい部活動・クラブがないから	塾や習い事が忙しいから	お金がかかるから	一緒にいる友達がいないから	家の事情(家族の世話、家など)があるから	その他	無回答
全体(中学2年生のみ)		126	61.9	16.7	12.7	7.9	3.2	15.9	4.8
世帯タイプ別	ひとり親世帯	20	70.0	5.0	5.0	-	5.0	25.0	5.0
	祖父母等の同居なし	17	70.6	5.9	5.9	-	5.9	29.4	-
	祖父母等の同居あり	3	66.7	-	-	-	-	-	33.3
	ふたり親世帯	96	58.3	20.8	13.5	8.3	2.1	13.5	5.2
	共働き	72	61.1	25.0	15.3	9.7	2.8	11.1	2.8
	父親または母親のどちらかのみ就労	24	50.0	8.3	8.3	4.2	-	20.8	12.5
生活困難度別	生活困難層	41	58.5	12.2	14.6	2.4	2.4	26.8	2.4
	困窮層	18	55.6	11.1	22.2	-	5.6	22.2	5.6
	周辺層	23	60.9	13.0	8.7	4.3	-	30.4	-
	一般層	76	61.8	21.1	11.8	9.2	2.6	10.5	5.3

※本設問は、中学2年生にのみ聴取

学校の部活動や地域のクラブに参加していない理由について、全体(中学2年生)では「入りたい部活動・クラブがないから」が61.9%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」(16.7%)、「お金がかかるから」(12.7%)となっています。

世帯タイプ別について、調査数(n)が少ないため参考値としての掲載になりますが、ひとり親世帯では「入りたい部活動・クラブがないから」が70.0%と、ふたり親世帯に比べ高く、ふたり親世帯では「塾や習い事が忙しいから」が20.8%と、ひとり親世帯に比べ高くなっています。

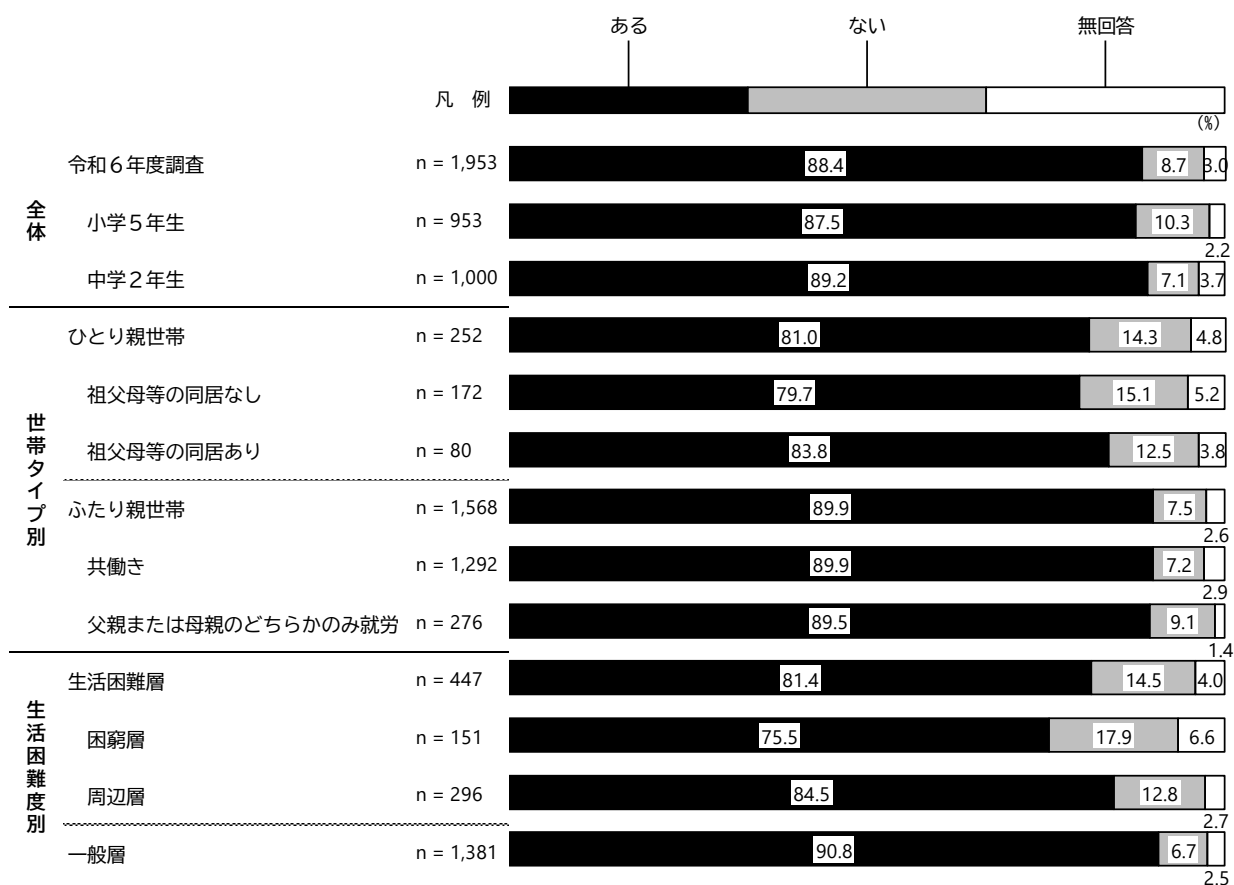
生活困難度別について、調査数(n)が少ないため参考値としての掲載になりますが、困窮層では「お金がかかるから」が22.2%と、他の困難度に比べ高くなっています。

7 生活状況について

7-1 自分が使うことができる次のものを持っているか

問 18 自分が使うことができる、次のものを持っていますか。また、持っていない場合、それは欲しいですか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

① 本（教科書、マンガ以外）

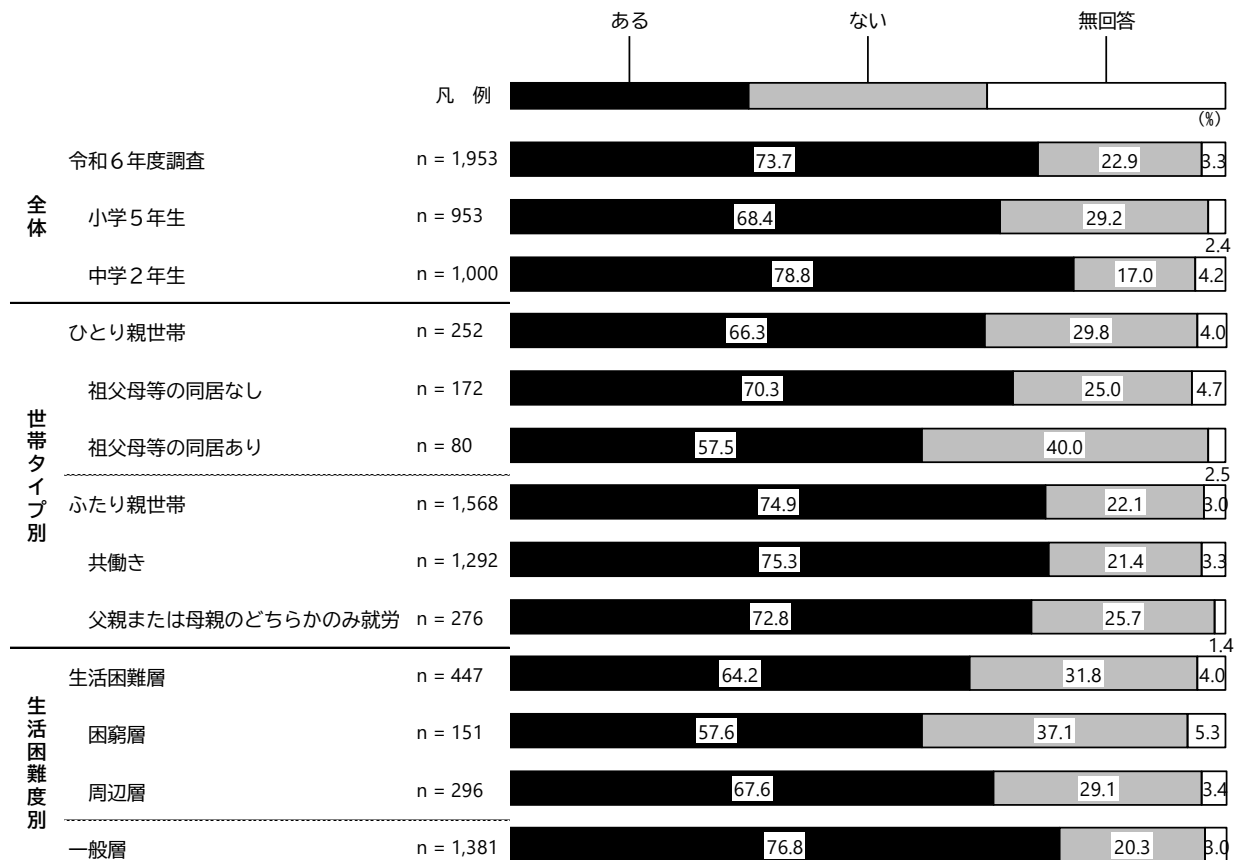


自分が使うことができる『本（教科書、マンガ以外）』を持っているかについて、全体では「ある」が88.4%、「ない」が8.7%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「ない」が14.3%と、ふたり親世帯に比べやや高くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「ない」が6.7%であるのに対し、生活困難層では14.5%と高くなり、特に困窮層では17.9%とより高くなっています。

② 子ども部屋（兄弟姉妹と一緒に使っている場合を含む）

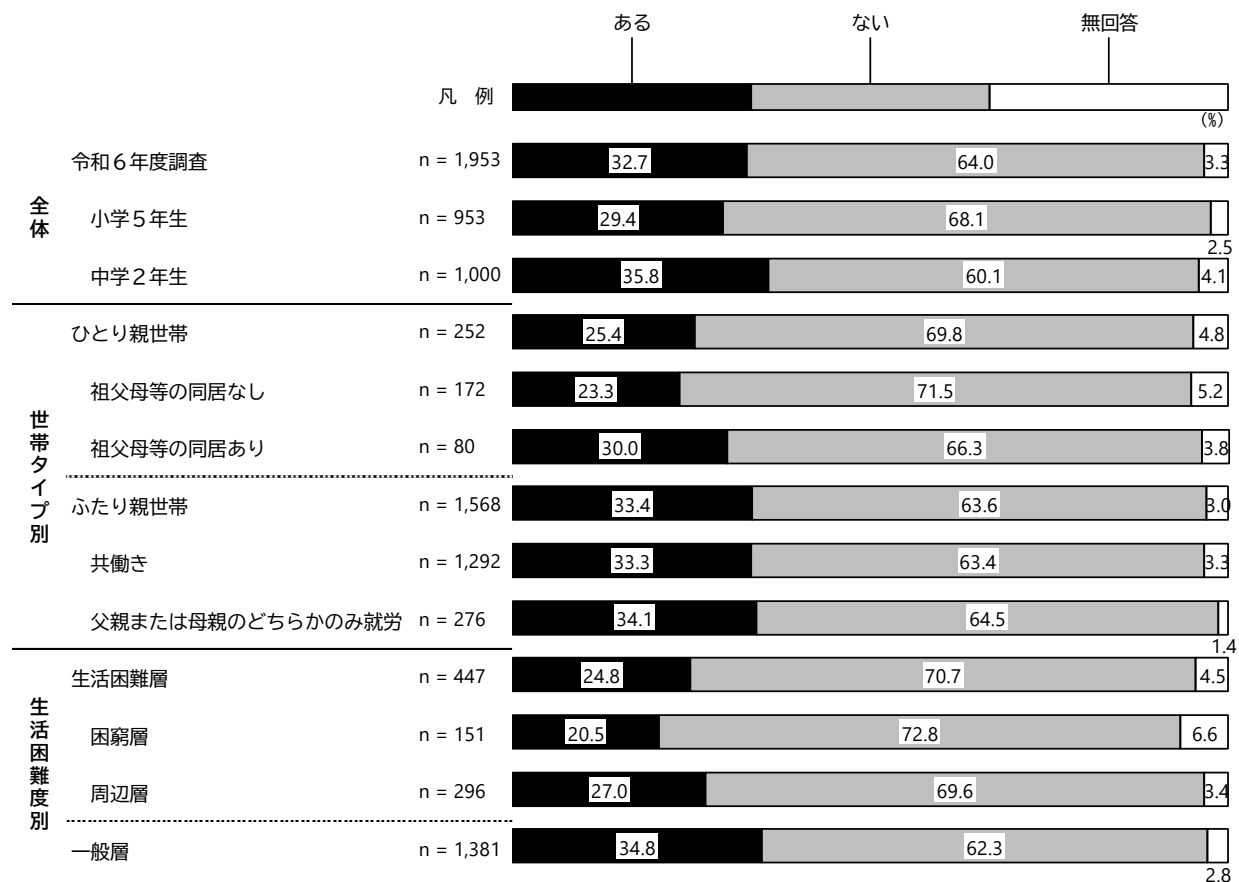


自分が使うことができる『子ども部屋』を持っているかについて、全体では「ある」が73.7%、「ない」が22.9%となっており、小学5年生に比べ中学2年生の方が、「ある」が高くなっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「ない」が29.8%と、ふたり親世帯に比べやや高くなっており、特に祖父母等の同居がある世帯では40.0%とより高くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「ない」が20.3%であるのに対し、生活困難層では31.8%と高くなり、特に困窮層では37.1%とより高くなっています。

③ インターネットにつながるパソコン

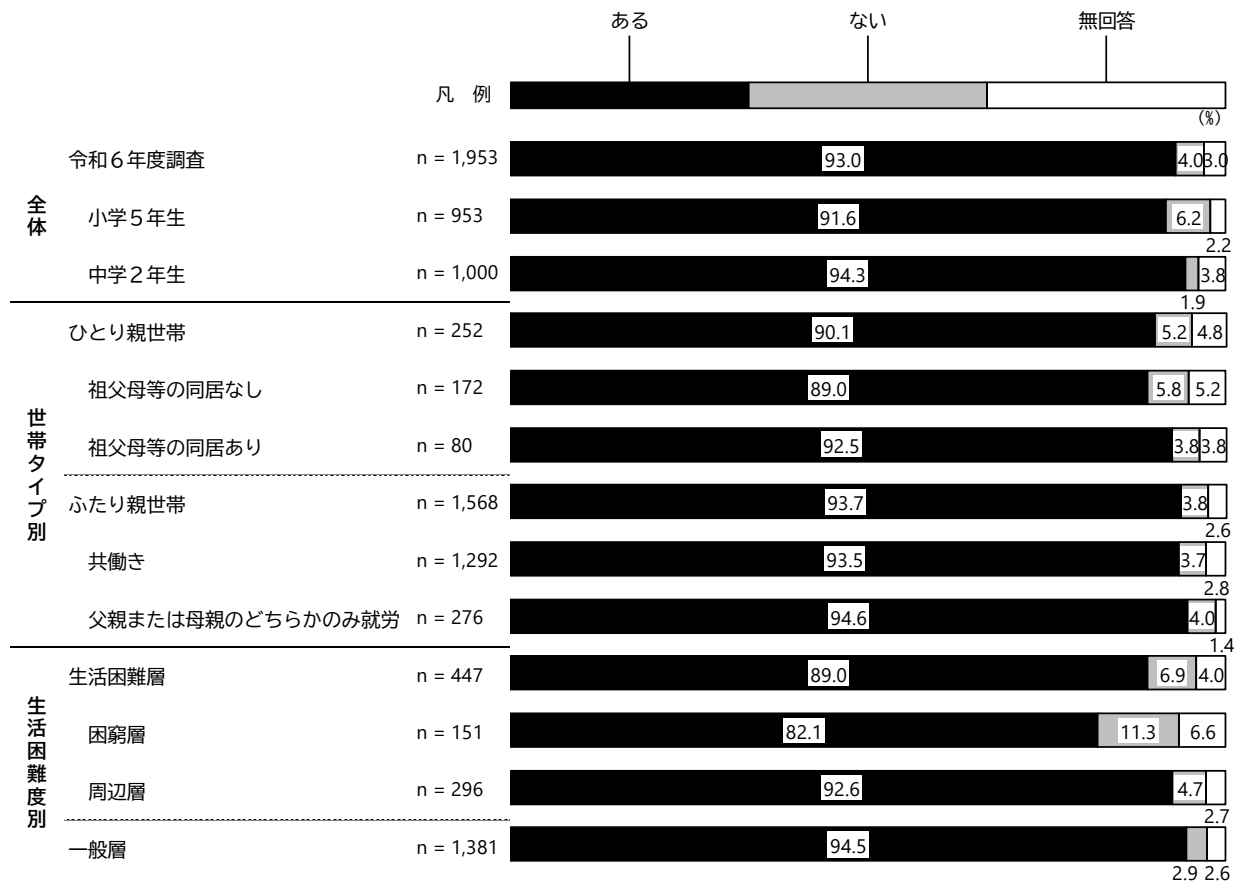


自分が使うことができる『インターネットにつながるパソコン』を持っているかについて、全体では「ある」が32.7%、「ない」が64.0%となっており、小学5年生に比べ中学2年生の方が、「ある」がやや高くなっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「ない」が69.8%と、ふたり親世帯に比べやや高くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「ない」が62.3%であるのに対し、生活困難層では70.7%とやや高くなっています。

④ 自宅で宿題をすることができる場所

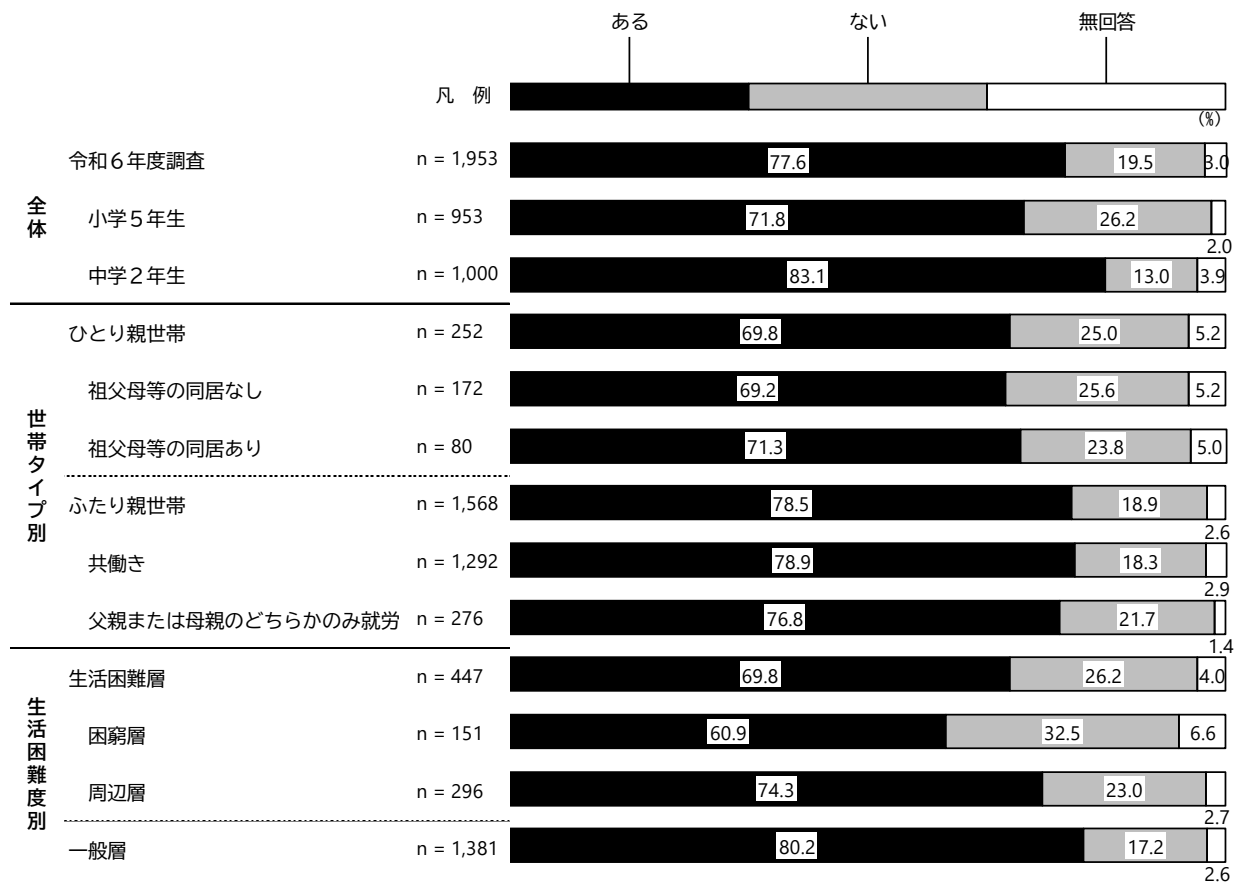


自分が使うことができる『自宅で宿題をすることができる場所』を持っているかについて、全体では「ある」が93.0%、「ない」が4.0%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、一般層では「ない」が2.9%であるのに対し、生活困難層では6.9%とやや高く、特に困窮層では11.3%と1割以上を占めています。

⑤ 勉強机

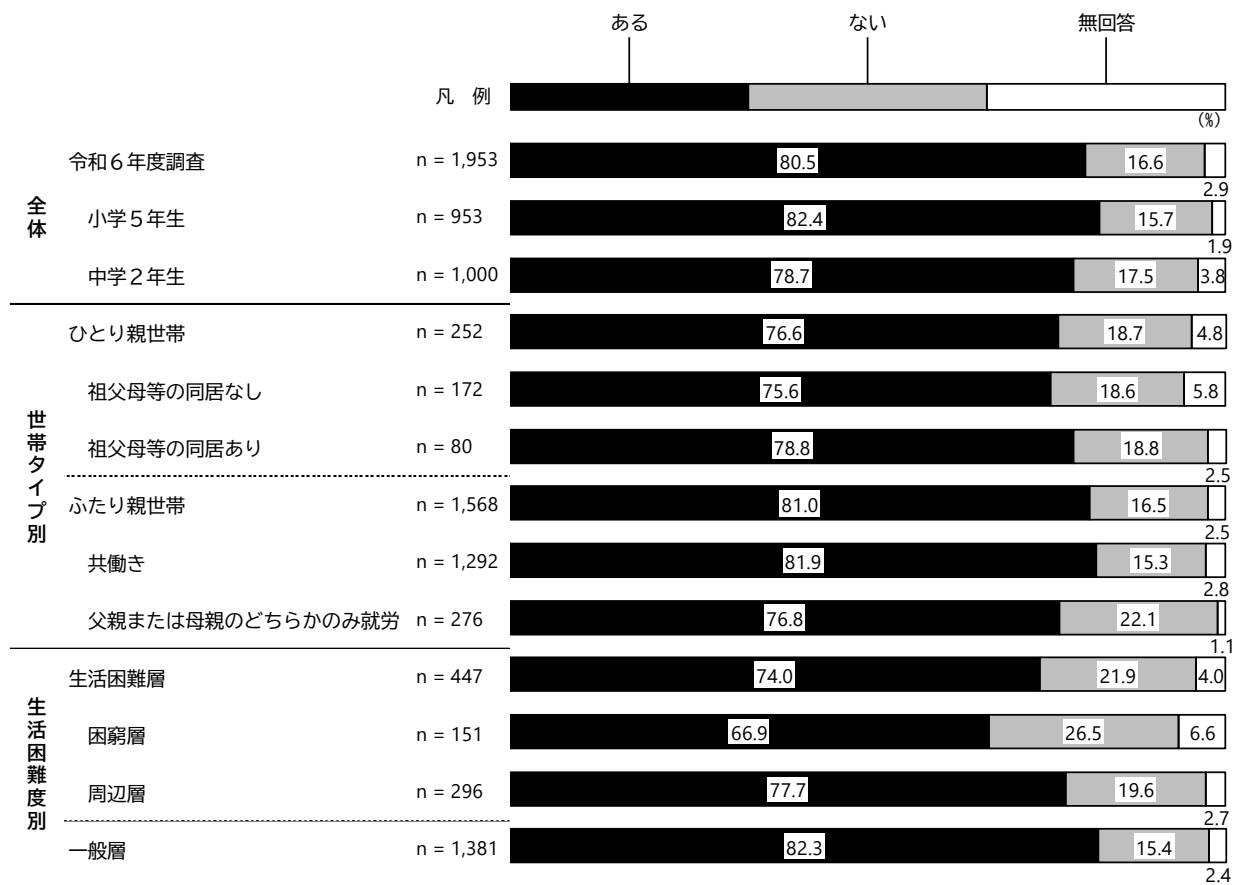


自分が使うことができる『勉強机』を持っているかについて、全体では「ある」が77.6%、「ない」が19.5%となっており、小学5年生に比べ中学2年生の方が、「ある」が高くなっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「ない」が25.0%と、ふたり親世帯に比べやや高くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「ない」が17.2%であるのに対し、生活困難層では26.2%とやや高くなり、特に困窮層では32.5%と3割以上を占めています。

⑥ スポーツ用品

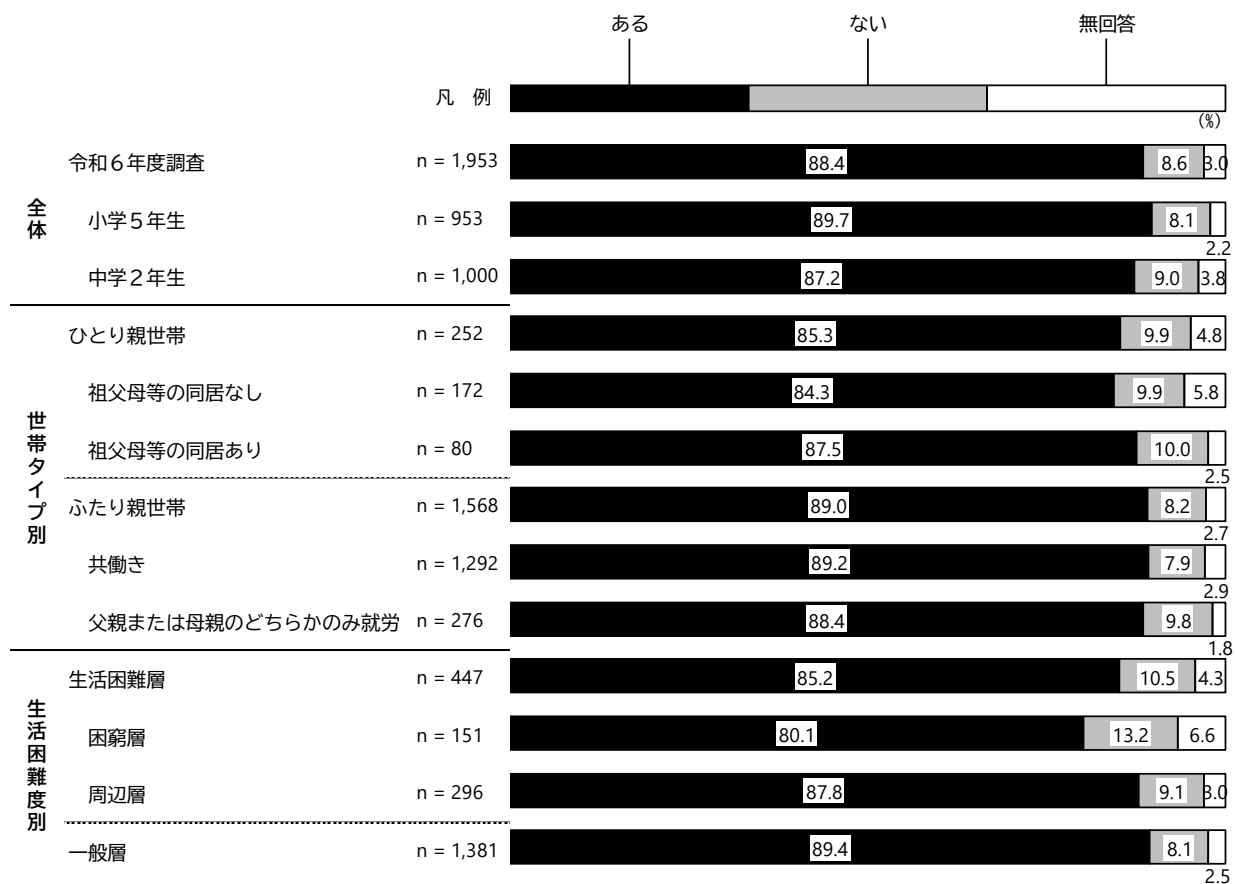


自分が使うことができる『スポーツ用品』を持っているかについて、全体では「ある」が80.5%、「ない」が16.6%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、一般層では「ない」が15.4%であるのに対し、生活困難層では21.9%とやや高くなり、特に困窮層では26.5%とより高くなっています。

⑦ ゲーム機

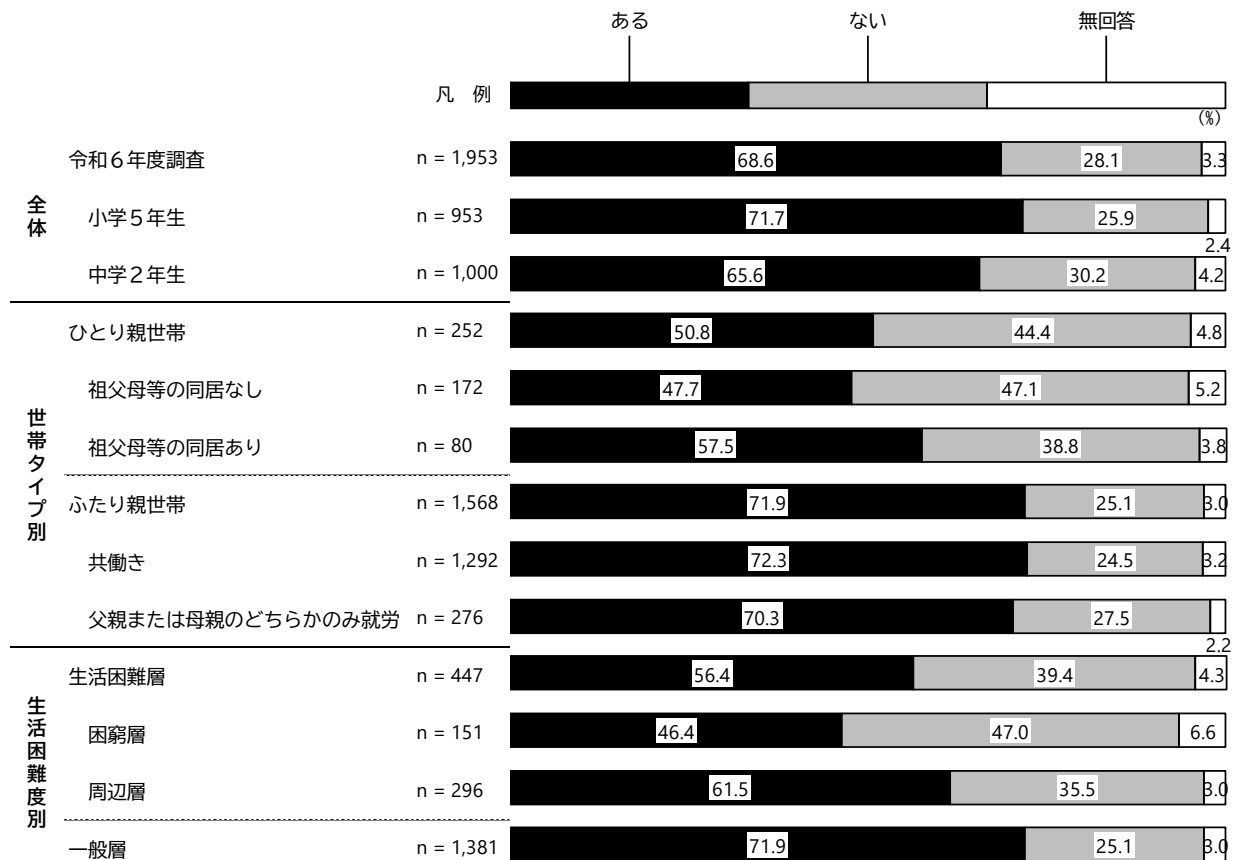


自分が使うことができる『ゲーム機』を持っているかについて、全体では「ある」が88.4%、「ない」が8.6%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、「ない」の回答割合に差はあるもののそれほど大きな差ではなく、特徴的な傾向はみられませんでした。

⑧ 自転車

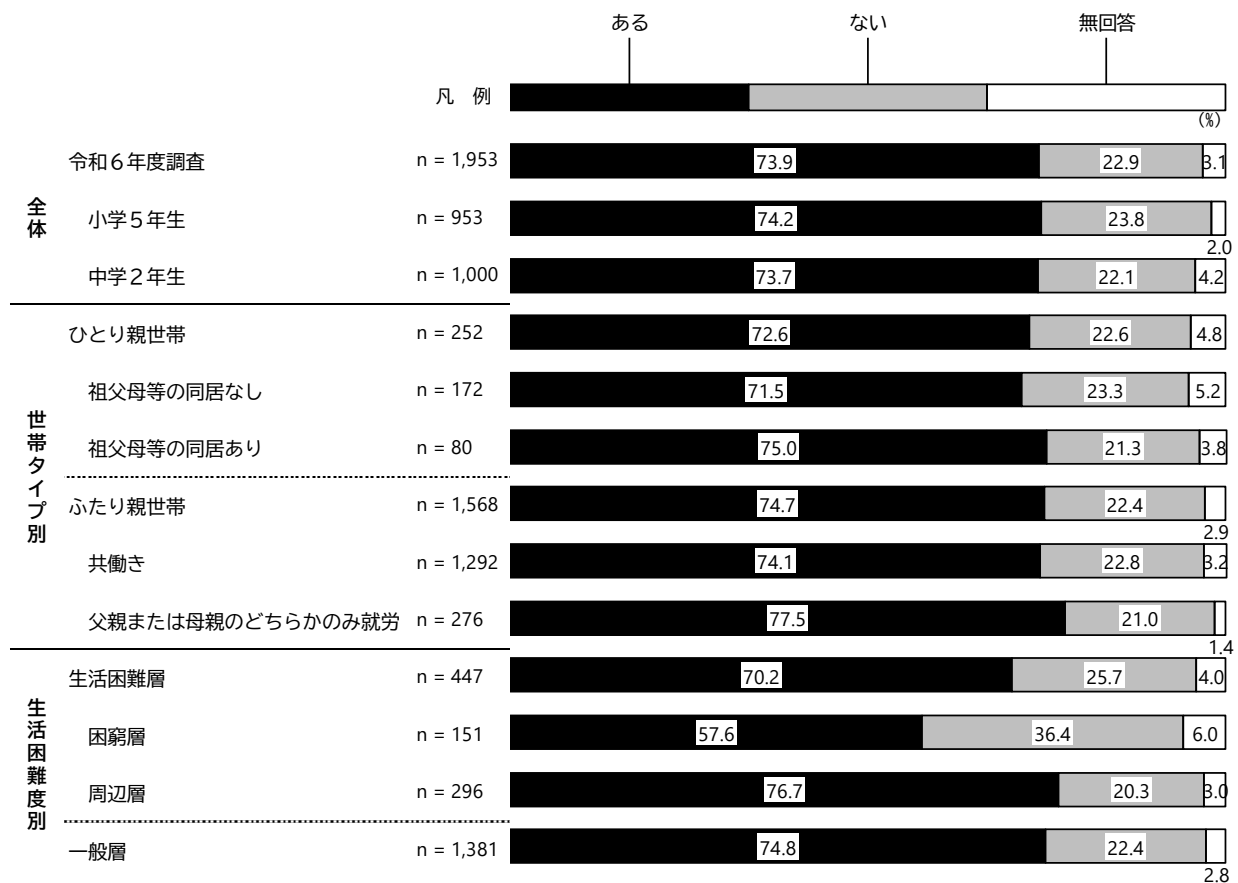


自分が使うことができる『自転車』を持っているかについて、全体では「ある」が68.6%、「ない」が28.1%となっており、中学2年生に比べ小学5年生の方が、「ある」がやや高くなっています。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「ない」が44.4%と、ふたり親世帯に比べ20ポイント近く高くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「ない」が25.1%であるのに対し、生活困難層では39.4%と高くなり、特に困窮層では47.0%と5割弱を占めています。

⑨ おこづかい

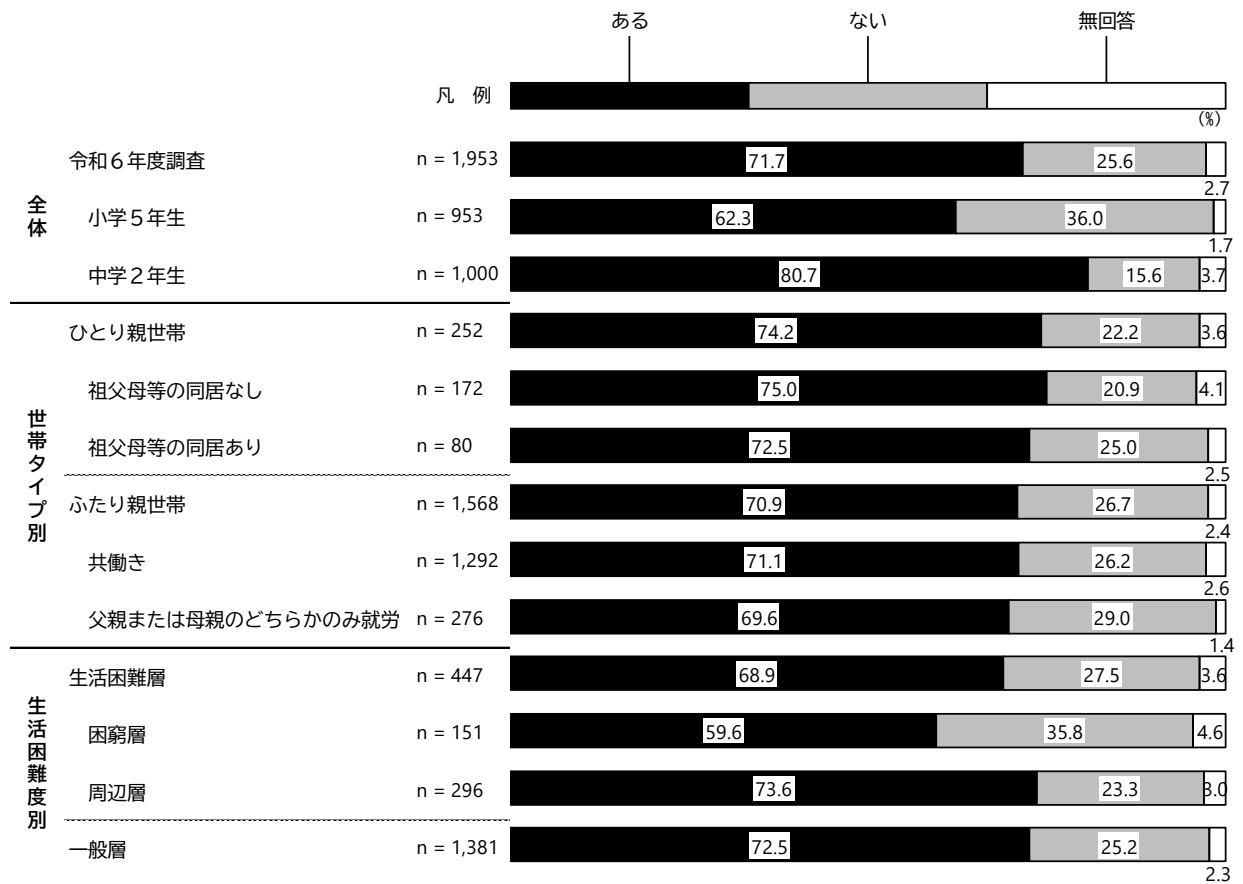


自分が使うことができる『おこづかい』を持っているかについて、全体では「ある」が73.9%、「ない」が22.9%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、困窮層では「ない」が36.4%と、他の困難度に比べ高くなっています。

⑩ 携帯電話、スマートフォン、タブレット端末



自分が使うことができる『携帯電話、スマートフォン、タブレット端末』を持っているかについて、全体では「ある」が71.7%、「ない」が25.6%となっており、小学5年生に比べ中学2年生の方が、「ある」が高くなっています。

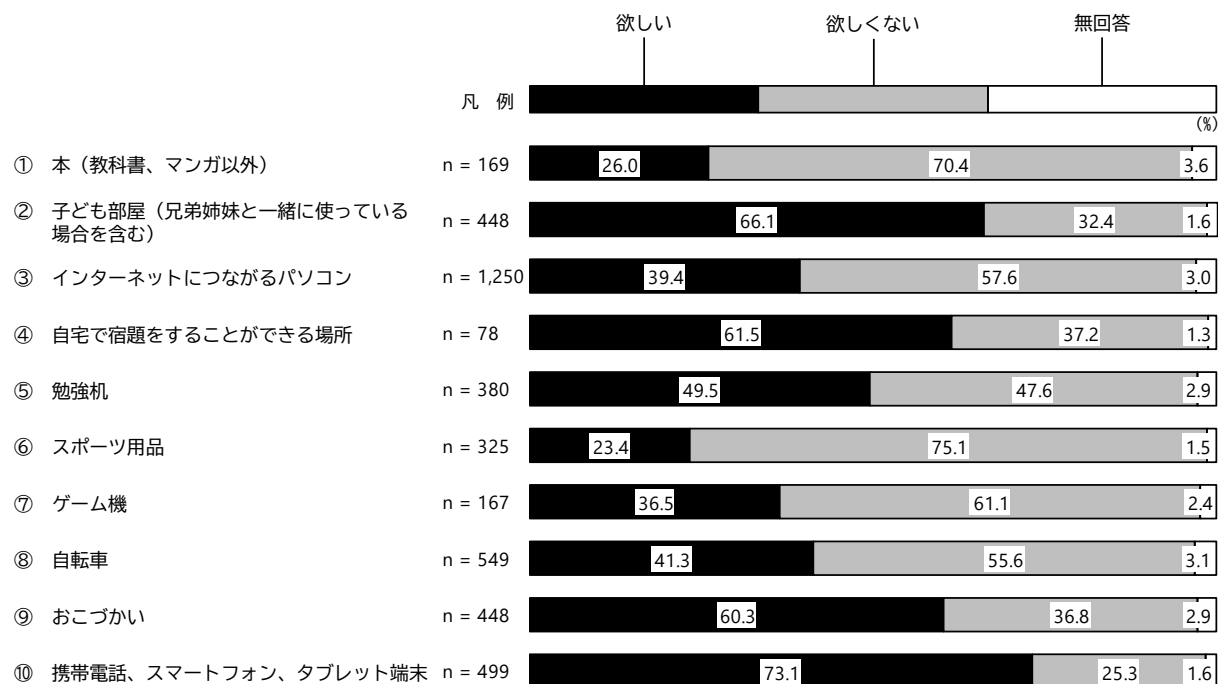
世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、困窮層では「ない」が35.8%と、他の困難度にならべて高くなっています。

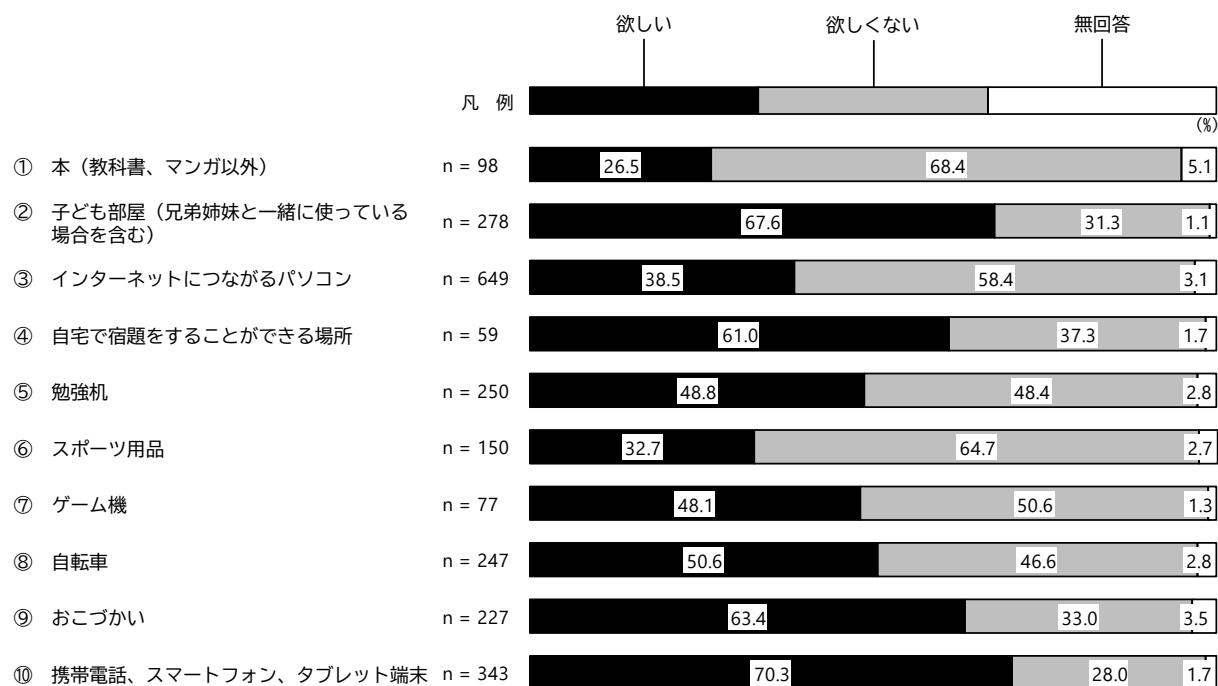
7-2 自分が使うことができる次のものを欲しいか

問 18 自分が使うことができる、次のものを持っていますか。また、持っていない場合、それは欲しいですか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

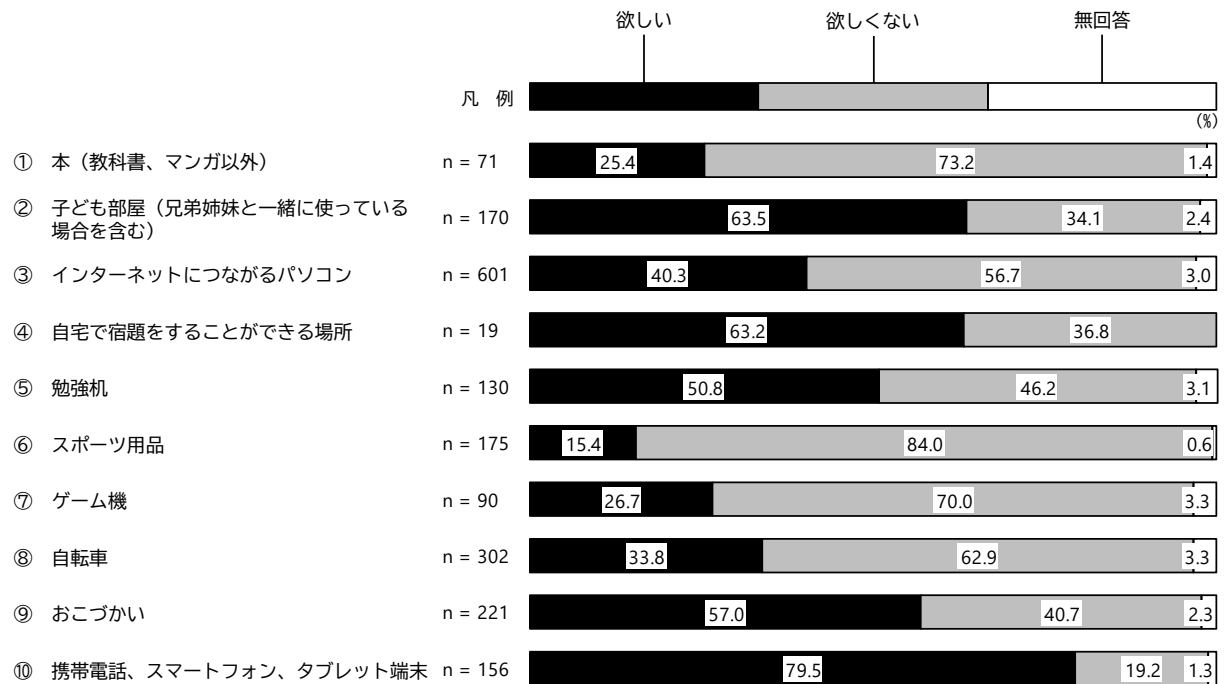
◆全体



◆小学5年生



◆中学2年生



自分が使うことができるものを持っていない場合に、それが欲しいかどうかについてたずねたところ、「欲しい」の割合は『⑩携帯電話、スマートフォン、タブレット端末』が7割強、『②子ども部屋』『④自宅で宿題をすることができる場所』『⑨おこづかい』が6割前後と、それぞれ高くなっています。一方、『①本（教科書、マンガ以外）』『⑥スポーツ用品』は「欲しい」が2割程度と低くなっています。

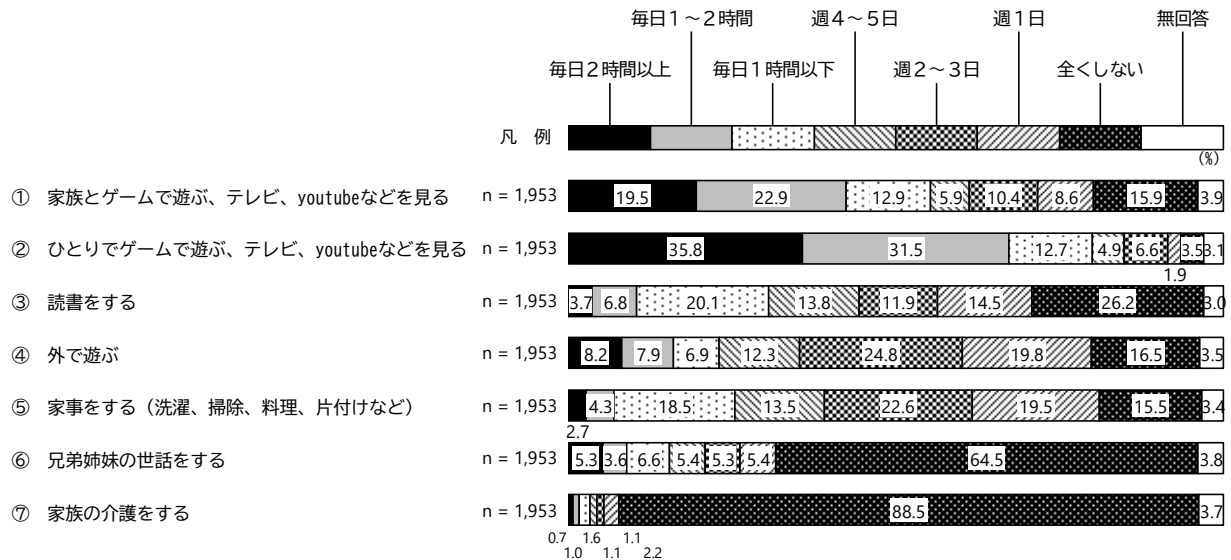
小学5年生では『⑥スポーツ用品』『⑦ゲーム機』『⑧自転車』の「欲しい」が、中学2年生に比べ高くなっています。一方、中学2年生では『⑩携帯電話、スマートフォン、タブレット端末』が、小学5年生に比べ高くなっています。

7-3 普段の活動頻度

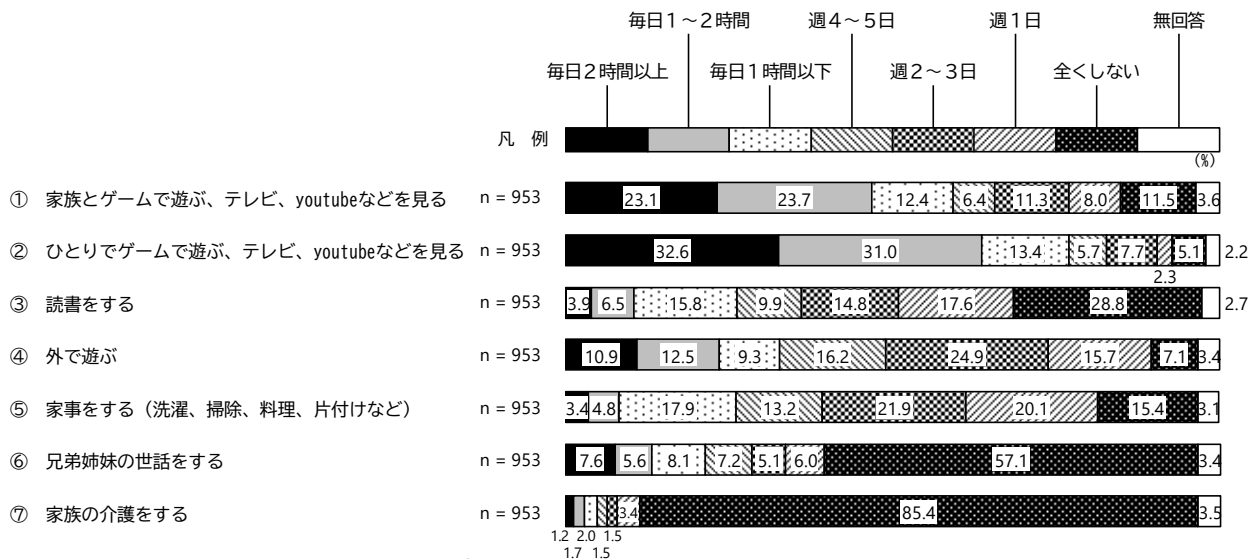
問19 普段、次のような活動をどのくらいしていますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

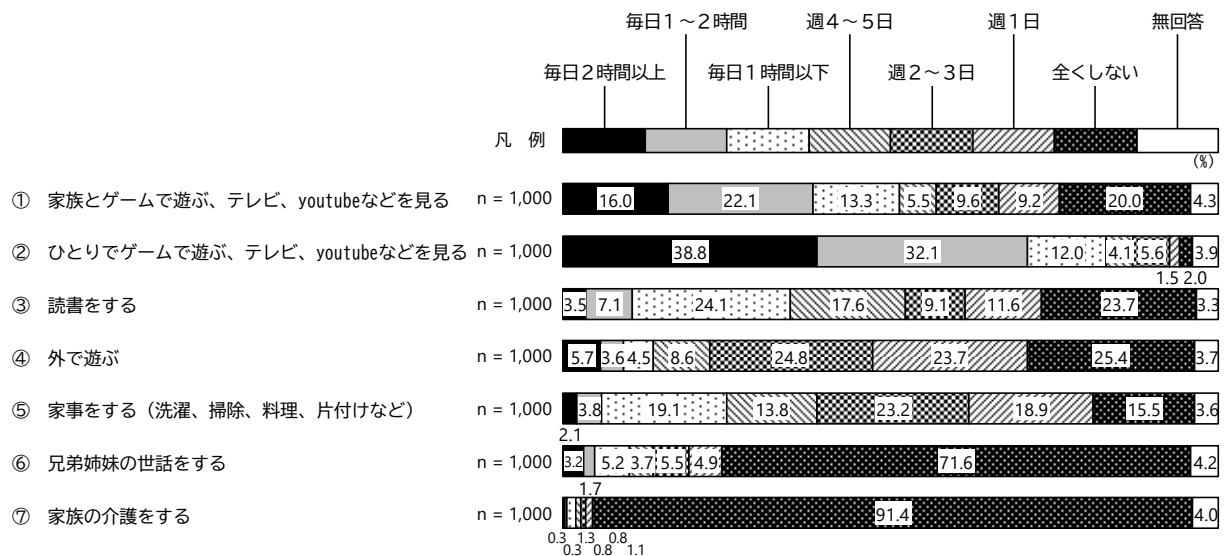
◆全体



◆小学5年生



◆中学2年生



普段の活動頻度について、全体では『①家族とゲームで遊ぶ、テレビ、youtube などを見る』『②ひとりでゲームで遊ぶ、テレビ、youtube などを見る』で、「毎日2時間以上」や「毎日1～2時間」など長い時間を回答している割合が高くなっています。

また、『⑥兄弟姉妹の世話をする』『⑦家族の介護をする』は「全くしない」が高くなっていますが、それ以外の回答割合（週1日以上その活動をしている割合）は合わせて、『⑥兄弟姉妹の世話をする』で31.7%、『⑦家族の介護をする』で7.8%となっています。

小学5年生では『④外で遊ぶ』を「全くしない」と回答した割合は7.1%と1割を下回っているのに対し、中学2年生では25.4%となっています。また、小学5年生では『⑥兄弟姉妹の世話をする』で週1日以上その活動をしている割合が39.6%、『⑦家族の介護をする』の同割合が11.1%となり、どちらも中学2年生に比べ高くなっています。

7-4 家族の中でお世話をしている人

問 20 あなたの家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。

(あてはまるものすべてに○)

			(%)							
		n	母親	兄弟姉妹	父親	全特定の誰かではなく、家族の家事を行っている	祖父母	その他	家事や家族のお世話はしていない	無回答
全体	令和6年度調査	1,953	9.4	9.1	5.6	4.7	3.5	1.3	73.7	4.6
	小学5年生	953	13.2	14.6	8.2	4.7	5.2	2.3	65.7	4.2
	中学2年生	1,000	5.8	3.8	3.2	4.7	1.9	0.4	81.4	4.9
世帯タイプ別	ひとり親世帯	252	11.5	8.7	2.8	5.2	7.1	1.6	67.5	6.0
	祖父母等の同居なし	172	13.4	9.9	2.9	6.4	3.5	0.6	66.3	5.8
	祖父母等の同居あり	80	7.5	6.3	2.5	2.5	15.0	3.8	70.0	6.3
	ふたり親世帯	1,568	9.0	9.3	6.0	4.5	2.9	1.3	74.9	4.3
	共働き	1,292	9.2	8.6	6.7	4.6	3.3	1.3	74.9	4.6
	父親または母親のどちらかのみ就労	276	8.0	12.7	2.9	4.3	0.7	1.4	74.6	2.5
生活困難度別	生活困難層	447	11.0	11.9	5.4	6.3	3.8	1.3	68.7	4.9
	困窮層	151	13.9	11.9	5.3	10.6	4.6	0.7	62.3	5.3
	周辺層	296	9.5	11.8	5.4	4.1	3.4	1.7	72.0	4.7
	一般層	1,381	8.6	8.1	5.4	4.2	3.3	1.4	75.7	4.4

家族の中でお世話をしている人について、全体では「家事や家族のお世話はしていない」が73.7%と7割以上を占めますが、お世話をしている人では「母親」が9.4%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」が9.1%、「父親」5.6%となっています。中学2年生に比べ小学5年生の方が「家事や家族のお世話はしていない」が低く、家族のお世話をしている割合がやや高い傾向があります。

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「家事や家族のお世話はしていない」が67.5%と、ふたり親世帯に比べやや低くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「家事や家族のお世話はしていない」が75.7%であるのに対し、生活困難層では68.7%とやや低くなり、特に困窮層では62.3%とより低くなっています。

7-5 家事や家族のお世話によってやりたいけどできていないこと

【問 20 で家事や家族のお世話をしていると回答した方のみ】

問 20-1 あなたは、家事や家族のお世話をするこで、やりたいけどできていないことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

			(%)										
		n	自分の時間がとれない	友達と遊ぶことができない	寝る時間が十分にとれない	宿題をする時間や勉強する時間がとれない	部活や塾、習い事が必要なことができない	退学しても学校を遅刻・早退してしまう	学校の行事やイベントなどを欠席する	学校に行きたくてもいけない	その他	特にできていないことはない	無回答
全体	令和6年度調査	424	8.0	6.4	5.7	4.7	1.4	0.9	0.2	-	0.5	73.8	9.4
	小学5年生	287	7.0	6.6	6.6	4.9	1.7	1.4	0.3	-	0.7	74.2	8.0
	中学2年生	137	10.2	5.8	3.6	4.4	0.7	-	-	-	-	73.0	12.4
世帯タイプ別	ひとり親世帯	67	9.0	11.9	6.0	4.5	4.5	1.5	1.5	-	1.5	68.7	9.0
	祖父母等の同居なし	48	8.3	12.5	6.3	4.2	4.2	2.1	-	-	-	68.8	10.4
	祖父母等の同居あり	19	10.5	10.5	5.3	5.3	5.3	-	5.3	-	5.3	68.4	5.3
	ふたり親世帯	327	6.7	5.5	3.4	4.0	0.6	0.6	-	-	-	77.4	9.2
	共働き	264	6.8	6.4	3.8	3.8	0.8	0.8	-	-	-	76.9	9.1
	父親または母親のどちらかのみ就労	63	6.3	1.6	1.6	4.8	-	-	-	-	-	79.4	9.5
生活困難度別	生活困難層	118	12.7	7.6	5.9	6.8	1.7	0.8	0.8	-	0.8	72.0	6.8
	困窮層	49	12.2	8.2	4.1	10.2	4.1	2.0	-	-	2.0	69.4	8.2
	周辺層	69	13.0	7.2	7.2	4.3	-	-	1.4	-	-	73.9	5.8
	一般層	275	5.1	6.2	4.0	3.6	1.1	0.7	-	-	0.4	76.7	9.5

家事や家族のお世話によってやりたいけどできていないことについて、全体では「特にできていないことはない」が73.8%と7割以上を占めますが、できていないことでは「自分の時間がとれない」が8.0%と最も高く、次いで「友達と遊ぶことができない」(6.4%)、「寝る時間が十分にとれない」(5.7%)となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっています。

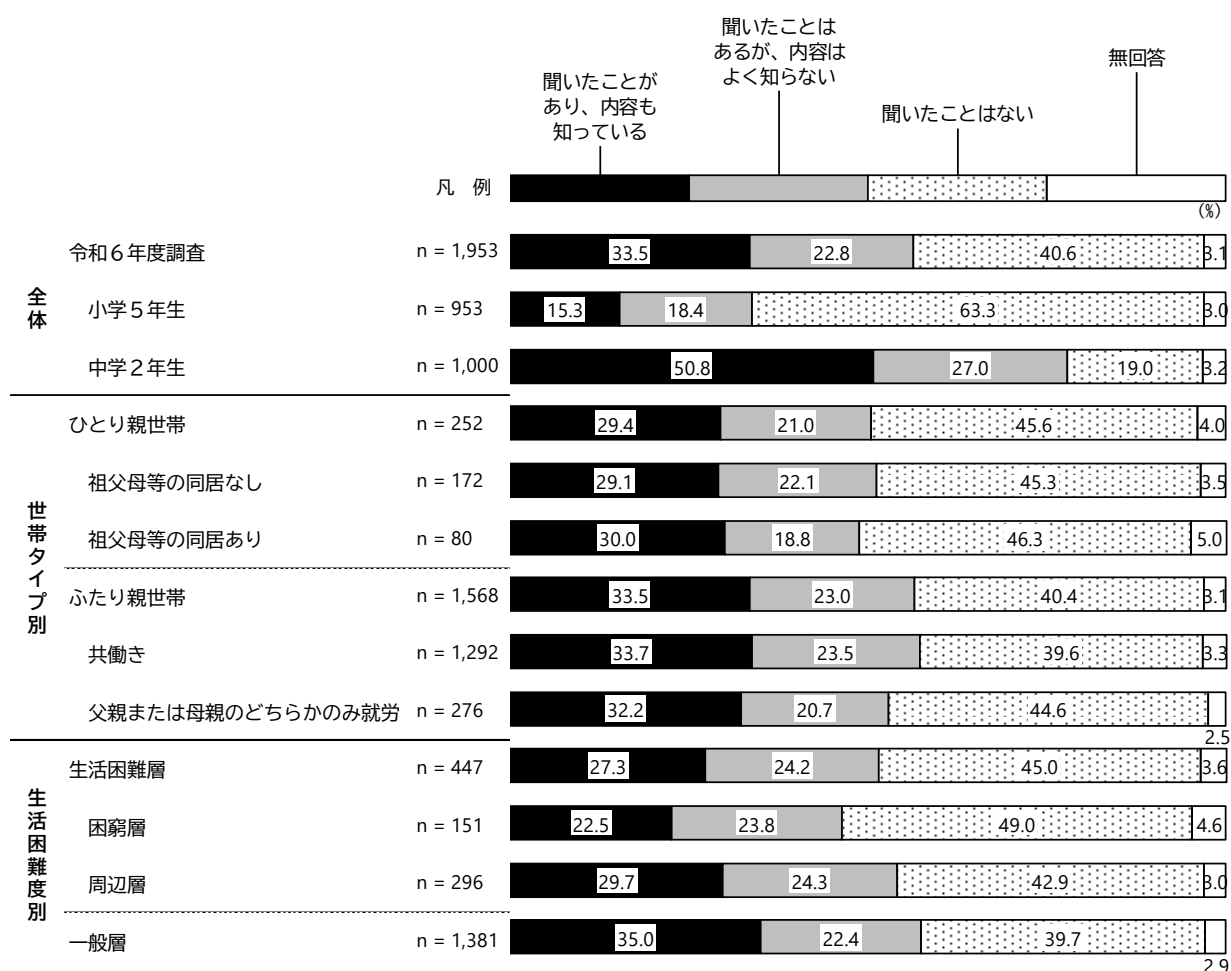
世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯では「特にできていないことはない」が68.7%と、ふたり親世帯に比べやや低く、「友達と遊ぶことができない」が1割以上とやや高くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「自分の時間がとれない」が5.1%であるのに対し、生活困難層では12.7%とやや高くなっています。また、困窮層では「宿題をする時間や勉強する時間がとれない」が1割以上となっています。

7-6 「ヤングケアラー」という言葉の認知度

問 21 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありますか。

(○は1つ)



「ヤングケアラー」という言葉の認知度について、全体では「聞いたことはない」が40.6%と最も高く、次いで「聞いたことがあります、内容も知っている」(33.5%)、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」(22.8%)となっており、中学2年生では「聞いたことがあります、内容も知っている」が50.8%を5割以上を占めています。

世帯タイプ別にみても、特徴的な傾向はみられませんでした。

生活困難度別にみると、一般層では「聞いたことがあります、内容も知っている」が35.0%であるのに対し、生活困難層では27.3%とやや低くなり、特に困窮層では22.5%とより低くなっています。

IV 使用した調査票

次ページ以降に、本調査で使⽤した調査票を掲載しています。

保護者調査票 : P.137～147 参照

児童調査票 : P.149～158 参照

生徒調査票 : P.159～169 参照

いわき市 子どもの生活実態調査

保護者用

ご記入にあたってのお願い

1. 調査票を配布したお子さんについて、お答えください。
2. アンケートは、お子さんの保護者であれば、どなたがお答えいただいても構いません。「あなた」とはアンケートに回答される方を表します。
3. あてはまる回答の数字に○をつけてください。また、質問によって○をつける数が異なりますので、注意書きに沿ってご記入ください。
4. ご記入いただいたアンケートは、令和6年4月26日（金）までに、お子さんのアンケートと一緒に学校へ提出してください。
5. お子さんのアンケートには、「回答したアンケートを保護者の方に確認する必要はありません」と記載していますので、ご配慮をお願いします。

この調査はいわき市が行っており、学校は配布・回収のみのご協力です。

皆様の回答内容を、学校関係者が閲覧することはありません。

本調査への質問または不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

いわき市役所 こどもみらい部こどもみらい課
住所：〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話：0246-22-7483

※住所や氏名の記入は必要ありませんので、回答内容が誰のものか特定されることは一切ありません。

1 あなたの世帯のことについておたずねします

問1 どちらの地区にお住まいですか。(○は1つ)

- | | | | | |
|--------|--------|------------|-------|--------|
| 1. 平 | 2. 小名浜 | 3. 勿来 | 4. 常磐 | 5. 内郷 |
| 6. 四倉 | 7. 遠野 | 8. 小川 | 9. 好間 | 10. 三和 |
| 11. 田人 | 12. 川前 | 13. 久之浜・大久 | | |

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。
(○は1つ)

- | | | |
|------|------|------------|
| 1. 父 | 2. 母 | 3. その他 () |
|------|------|------------|

問3 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況について教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|----------------------|----------|--------|
| 1. 結婚している(再婚や事実婚を含む) | 2. 離婚 | 3. 死別 |
| 4. 未婚 | 5. わからない | 6. いない |

【問3で「2」又は「4」を選択した方のみ】

問4 相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。
(○は1つ)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 取り決めをしており、受け取っている | 2. 特に取り決めはしていないが、受け取っている |
| 3. 取り決めをしているが、受け取っていない | 4. 取り決めをしておらず、受け取っていない |

【再びすべての方におたずねします】

問5 お子さんと同居している方について、お子さんからみた続柄と就業状況をお答えください。
単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合も、同居しているものとしてお答えください。

(続柄と就業状況をそれぞれ人数分、選択してください。※例：母が正社員・正規職員の場合)

	回答欄	
	続柄	就業状況
例	2	1
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

選択肢(数字は左の回答欄に記入)	
続柄	就業状況
1. 父	1. 正社員・正規職員
2. 母	2. パート・アルバイト
3. 祖父	3. 契約社員・派遣職員
4. 祖母	4. 自営業
5. 兄	5. 大学生・専門学校生
6. 姉	6. 高校生
7. 弟	7. 中学生
8. 妹	8. 小学生
9. その他	9. 幼稚園・保育所
	10. 無職

2 お子さんとの関わりについておたずねします

※問6～問7について、配偶者がいらっしやらない場合は、「あなた」の回答欄にのみお答えください。

問6 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。
(あなた、あなたの配偶者ごとに、①～⑤のそれぞれあてはまる番号1つに○)

項目		ほぼ毎日	週5日以上	週3～4日	週1～2日	月1～2日	めったにない
あなた	① お子さんの勉強をみる	1	2	3	4	5	6
	② お子さんと体を動かして遊ぶ	1	2	3	4	5	6
	③ お子さんと体を動かさない遊びをする	1	2	3	4	5	6
	④ お子さんと一緒に料理・家事をする	1	2	3	4	5	6
	⑤ お子さんと一緒に外出する	1	2	3	4	5	6
あなたの配偶者	① お子さんの勉強をみる	1	2	3	4	5	6
	② お子さんと体を動かして遊ぶ	1	2	3	4	5	6
	③ お子さんと体を動かさない遊びをする	1	2	3	4	5	6
	④ お子さんと一緒に料理・家事をする	1	2	3	4	5	6
	⑤ お子さんと一緒に外出する	1	2	3	4	5	6

問7 あなたのご家庭ではお子さんと何かをしたり、相手をしたりしている時間は、平日・休日それぞれ1日あたりどのくらいですか。

(1) 平日1日あたり(あなた、あなたの配偶者のそれぞれについて、○は1つ)

あなた	あなたの配偶者
1. 0～30分未満	1. 0～30分未満
2. 30分～1時間未満	2. 30分～1時間未満
3. 1～2時間未満	3. 1～2時間未満
4. 2～3時間未満	4. 2～3時間未満
5. 3～4時間未満	5. 3～4時間未満
6. 4時間以上	6. 4時間以上

(2) 休日1日あたり（あなた、あなたの配偶者それぞれについて、○は1つ）

あなた	あなたの配偶者
1. 0～30分未満	1. 0～30分未満
2. 30分～1時間未満	2. 30分～1時間未満
3. 1～2時間未満	3. 1～2時間未満
4. 2～3時間未満	4. 2～3時間未満
5. 3～4時間未満	5. 3～4時間未満
6. 4時間以上	6. 4時間以上

【再びすべての方におたずねします】

問8 あなたの家庭ではお子さんに次のようなことをしていますか。

（それぞれあてはまる番号1つに○）

項目	している	方針ではない	経済的にできない	時間的にできない	その他の理由でできない
① 毎月お小遣いを渡す	1	2	3	4	5
② 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3	4	5
③ 習い事に通わせる	1	2	3	4	5
④ 学習塾に通わせる（又は家庭教師に来てもらう）	1	2	3	4	5
⑤ 誕生日のお祝いをする	1	2	3	4	5
⑥ 年1回程度、家族旅行に行く	1	2	3	4	5
⑦ クリスマスプレゼントやお年玉をあげる	1	2	3	4	5
⑧ 子どもの学校行事などに親が参加する	1	2	3	4	5

3 周囲の人との関わりについておたずねします

問13 普段、近所の方との交流はありますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ほとんどない | 2. あいさつをかわす |
| 3. 立ち話をする | 4. その他 () |

問14 子育てに関して次のような心配事や悩み事がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 子どもに対するしつけや教育に自信が持てない |
| 2. 子育てが楽しいと思えない |
| 3. 子育てに配偶者の協力が得られない |
| 4. 子育て仲間がいない |
| 5. 子どもの基本的な生活習慣(あいさつ、整理整頓など)が不安 |
| 6. 子どもが勉強しない |
| 7. 子どもの進学や受験が心配 |
| 8. 子どもがなかなか言うことをきかない |
| 9. 子どもが何事に対しても消極的である |
| 10. 子どもの友人関係が心配 |
| 11. 子どもの身体の発育や病気が心配 |
| 12. 子どもが非行や問題行動をする |
| 13. 子どもの教育費に不安がある |
| 14. その他 () |
| 15. 心配事や悩み事はない |

問15 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)
また、頼れる人がいる場合それはだれですか。(それぞれあてはまるものすべてに○)

項目	頼れる人の有無			頼れる人							
	いる	いない	人に頼らないで このことでは	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	行政の相談窓口	民間の相談窓口	その他
① 子育てに関する相談	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8
② 重要な事柄の相談	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8
③ いざという時の金銭の援助	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8

4 家計の状況についておたずねします

問16 あなたの世帯で、昨年1年間（令和5年1～12月）に次の収入がありましたか。

（あてはまるものすべてに○）

※単身赴任等で世帯を離れている方の収入も、お子さんと生計を同一にしている場合は世帯の収入に含めてください

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. あなたの就労収入 | 2. 配偶者の就労収入 |
| 3. その他の就労収入 | 4. 児童扶養手当 |
| 5. 児童手当などの公的収入 | 6. 年金収入 |
| 7. 親族などの仕送り・援助 | 8. 生活保護費 |
| 9. 失業保険や育休などの雇用保険 | 10. 株式の利子や配当金などの財産収入 |
| 11. 元配偶者からの養育費 | 12. その他（ ） |

問17 問16の合計金額（税込）は、おおよそいくらになりますか。（○は1つ）

- | | | |
|-----------------|-----------------|------------------|
| 1. 50万円未満 | 2. 50～100万円未満 | 3. 100～150万円未満 |
| 4. 150～200万円未満 | 5. 200～250万円未満 | 6. 250～300万円未満 |
| 7. 300～350万円未満 | 8. 350～400万円未満 | 9. 400～450万円未満 |
| 10. 450～500万円未満 | 11. 500～600万円未満 | 12. 600～700万円未満 |
| 13. 700～800万円未満 | 14. 800～900万円未満 | 15. 900～1000万円未満 |
| 16. 1000万円以上 | | |

問18 現在の暮らしの状況をどう感じていますか。（○は1つ）

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. ややゆとりがある | 3. ふつう |
| 4. やや苦しい | 5. 苦しい | |

問19 過去1年間に、経済的理由で家族が必要とする食料を買えなかったことはありますか。ただし、嗜好品は含みません。（○は1つ）

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 全くなかった | 2. まれにあった |
| 3. ときどきあった | 4. よくあった |

問20 過去1年間に、経済的理由で家族が必要とする衣類を買えなかったことはありますか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。（○は1つ）

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 全くなかった | 2. まれにあった |
| 3. ときどきあった | 4. よくあった |

- 問21** 過去1年間に、経済的理由で次の料金が支払えなかったことがありますか。
(それぞれあてはまる番号1つに○)

項目	あった	なかった	払う必要がない
① 電話料金	1	2	3
② 電気料金	1	2	3
③ ガス料金	1	2	3
④ 水道料金	1	2	3
⑤ 家賃や住宅ローン	1	2	3
⑥ 税金	1	2	3
⑦ その他の債務	1	2	3

- 問22** 次のうち、経済的理由であなたの世帯にないものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 子どもの年齢にあった本 | 2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ |
| 3. 子どもが宿題をする場所 | 4. 子どもが必要とする文具や教材 |
| 5. その他 () | 6. 特にない |

5 子育て支援についておたずねします

- 問23** 子育てに関する施策等の情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------|-------------|------------------|
| 1. 広報いわき | 2. 市のホームページ | 3. 市子ども・子育て支援サイト |
| 4. おや CoCo アプリ | 5. 学校からのお便り | 6. 家族や友人からの情報 |
| 7. 民間の子育て支援サイト | 8. SNS | 9. こどもみらい BOOK |
| 10. その他 () | 11. 特にない | |

- 問24** 次のことについて、これまでに利用したことはありますか。また、利用したことがない場合は、利用してみたいですか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

項目	利用状況		利用したことがない場合	
	ある	ない	利用したい	利用したくない
① 子育てサークル	1	2	1	2
② こども食堂・コミュニティ食堂	1	2	1	2
③ 学校・塾以外の学習支援	1	2	1	2
④ 公民館（ジュニアリーダー学級など）	1	2	1	2

【問 24 で「ある」を選択した方のみ】

問24-1 それぞれ具体的な施設名や支援活動実施団体等が分かれば、記入してください。

項目	具体的な施設名等
① 子育てサークル	
② こども食堂・コミュニティ食堂	
③ 学校・塾以外の学習支援	
④ 公民館（ジュニアリーダー学級など）	

【再びすべての方におたずねします】

問 25 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。（それぞれあてはまる番号1つに○） また、利用したことがない場合、その理由は何ですか。（それぞれあてはまるものすべてに○）

項目	利用状況			利用したことがない理由				
	現在利用している	以前利用していたことが、 現在利用していないが、 ある	利用したことがない	制度の対象外（収入等の条件を 満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用した いと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援 制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからな かったり、利用しにくいから	それ以外の理由
① 就学援助※ ¹	1	2	3	1	2	3	4	5
② 生活保護※ ²	1	2	3	1	2	3	4	5
③ 生活困窮者の自立支援相談窓口※ ³	1	2	3	1	2	3	4	5
④ 児童扶養手当※ ⁴	1	2	3	1	2	3	4	5
⑤ 母子家庭等就業・自立支援センター※ ⁵	1	2	3	1	2	3	4	5

※1 就学援助：

経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度

※2 生活保護：

病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度

※3 生活困窮者の自立支援相談窓口：

お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う

※4 児童扶養手当：

所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当（児童手当とは異なります）

※5 母子家庭等就業・自立支援センター：

ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けられる

6 お子さんの学校への登校状況についてうかがいます

問 26 調査票を受け取ったお子さんの、現在の学校への登校状況として最もあてはまるものをお答えください。(○は1つ)

1. (体調不良時などを除き) 毎日登校している ※保健室などへ登校している場合も含む
2. 週に1日程度学校に通えない(不登校の)日がある
3. 長期間(継続的に)学校に通えていない ⇒問 26-2 へ
4. その他() ⇒問 27 へ

→【問 26 で「1」または「2」を選択した方のみ】

問 26-1 調査票を受け取ったお子さんは、学校でどのように過ごしていますか。(○は1つ)

1. 教室で授業を受けている
2. 教室ではなく、保健室や図書室などの本来通う教室以外の場所で過ごしている
3. わからない

【問 26 で「2」または「3」(不登校の日がある)を選択した方のみ】

問 26-2 調査票を受け取ったお子さんが学校に通えていない(不登校の)日の日中に、最も多くの時間を過ごしている場所はどこですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 自宅(ひとりで過ごす) | 2. 自宅(就労等していない家族と過ごす) |
| 3. 自宅(休みをとった家族と過ごす) | 4. (同居していない)祖父母の家 |
| 5. 適応指導教室(チャレンジホーム) | 6. フリースクールなどの民間施設 |
| 7. その他() | 8. わからない |

7 最後に、あなた自身のことについてうかがいます

【再びすべての方におたずねします】

問27 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。0を「まったく満足していない」、10を「十分に満足している」としたとき、どれぐらいの数字になるか教えてください。（数字に○を1つ）

0：まったく満足していない						10：十分に満足している					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

問28 あなたが今、困っていることや悩み事、市への要望等がありましたら、ご自由に記入してください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケートは、お子さんのアンケートと一緒に学校へ提出してください。

いわき市 子どもの生活実態調査

小学5年生用

ご記入にあたってのお願い

1. このアンケートは、児童の皆さんがお答えください。
2. 質問文をよく読み、あてはまる回答の数字に○をつけてください。また、質問によって○をつける数が異なります。注意書きを読んでご記入ください。
3. 答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考え方にできるだけ近いものに○をつけてください。
4. テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
5. 回答したアンケートを、保護者の方に確認する必要はありません。
6. ご記入いただいたアンケートは、同封していた提出用封筒（児童・生徒用）に入れ、封をしてください。
その後、保護者に記入してもらったアンケートと一緒に、大きい封筒（アンケート2通と封筒1部が入っていたもの）に入れ、封をし、令和6年4月26日（金）までに、学校の先生に提出してください。
7. アンケートやいづれの封筒にも、あなたのお名前や住所を記入する必要はありません。かいどうないよう回答内容
がだれのものか特定とくていされることは一切ありません。

この調査への質問またはわからない点がありましたら、下記までお問合せください。



いわき市役所 こどもみらい部こどもみらい課
住所：〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話：0246-22-7483



1 基本的な属性についてうかがいます

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男 2. 女 3. その他・答えたくない

2 あなたの普段の生活習慣や健康状態についてうかがいます

問2 あなたは1週間にどれくらい、食事をしていますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

項目	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、 ほとんど食べない
① 朝食	1	2	3	4
② 夕食	1	2	3	4
③ 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4



【問2で「1」以外を選択した方のみ】

問2-1 1週間の食事について、①朝食を食べないことがあると答えた主な理由を1つ教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---|
| 1. 食べる時間がないから | 2. ダイエットをしているから |
| 3. 食べたくないから | 4. 用意してもらえないから |
| 5. 食べるものがないから | 6. その他 () |

問2-2 1週間の食事について、②夕食を食べないことがあると答えた主な理由を1つ教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---|
| 1. 食べる時間がないから | 2. ダイエットをしているから |
| 3. 食べたくないから | 4. 用意してもらえないから |
| 5. 食べるものがないから | 6. その他 () |

問2-3 1週間の食事について、③夏休みや冬休みなどの期間の昼食を食べないことがあると答えた主な理由を1つ教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---|
| 1. 食べる時間がないから | 2. ダイエットをしているから |
| 3. 食べたくないから | 4. 用意してもらえないから |
| 5. 食べるものがないから | 6. その他 () |

【再びすべての方におたずねします】

問3 自分の健康状態^{けんこうじょうたい}についてどう感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|---------|--------|
| 1. よい | 2. まあよい | 3. ふつう |
| 4. あまりよくない | 5. よくない | |

3 家族や友達との関係についてうかがいます

問4 夕食は家族の誰かと一緒に食べていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 毎日一緒に食べている ⇒問5へ | |
| 2. 週の5日以上一緒に食べている | 3. 週の3、4日は一緒に食べている |
| 4. 週の1、2日は一緒に食べている | 5. ほとんど一人で食べている |

【問4で「2」～「5」のいずれかを選択した方のみ】

問4-1 一人でごはんを食べるとき、何をよく食べていますか。特によく食べているものを1つ教えてください。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. スーパー・コンビニなどで買ったもの | 2. 家族が作ったもの |
| 3. 自分で作ったもの | 4. 外食 |
| 5. あまり決まっていない | 6. その他 () |

【再びすべての方におたずねします】

問5 一番仲の良い友達は、どのような友達ですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 学校の友達 | 2. 学校は一緒にでないが、近所に住んでいる友達 |
| 3. じゅくや習い事の友達 | 4. 地域のスポーツクラブの友達 |
| 5. SNSなど、インターネットで知り合った友達 | 6. その他の友達 |
| 7. 仲の良い友達はいない | |

問6 小学生になる前に、次のような経験^{けいけん}がどれくらいありましたか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

項目	よくあつた	あつた	あまりなかつた	まかつたくなかつた
① 家族に本や絵本を読んでもらったこと	1	2	3	4
② 家族にほめられたこと	1	2	3	4
③ 家族で遊びにでかけたこと	1	2	3	4
④ 家族に公園などで遊んでもらったこと	1	2	3	4

4 あなたが考えていることなどについてうかがいます

問7 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いと思うものを選んでください。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

項目	とても 思う	思う	あまり 思わない	思わない
① がんばれば、良い結果がでる	1	2	3	4
② 今のままの自分が好き	1	2	3	4
③ 自分は家族に大事にされている	1	2	3	4
④ 不安に感じることはない	1	2	3	4
⑤ 未来の自分が楽しみ	1	2	3	4

問8 次のようなことにどの程度あてはまりますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

項目	とても あてはまる	あてはまる	あまり あてはまらない	あてはまらない
① 必要なときには苦手なことにもがんばって取り組むようにしている	1	2	3	4
② 相手の気持ちを考えて話をするようにしている	1	2	3	4
③ 分からないことがあったら、自分からすすんで調べるようにしている	1	2	3	4
④ 身のまわりのことはできるだけ自分でしている	1	2	3	4
⑤ 失敗してもまたがんばろうと思う	1	2	3	4
⑥ 嫌なことがあっても気持ちを切り替えることができる	1	2	3	4

問9 将来の夢はありますか。(○は1つ)

1. ある（具体的に： _____ ）
2. ない

問10 いま悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したいことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1. 家族のこと | 2. 勉強のこと |
| 3. 友達のこと | 4. 進学や将来のこと |
| 5. その他 () | 6. 悩んでいることや心配なこと、困っていることはない |

問11 困った時に相談できる人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. 親 | 2. 兄弟姉妹 |
| 3. 祖父母 | 4. 親せき |
| 5. 学校の先生 | 6. 放課後児童クラブ、児童館の先生や職員 |
| 7. 近所の人や地域の人 | 8. じゅく、習い事、スポーツクラブなどの先生 |
| 9. 友達 | 10. その他 () |
| 11. 特にいない | 12. 誰にも相談したくない |

問12 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。0を「まったく満足していない」、10を「十分に満足している」としたとき、どれぐらいの数字になるか教えてください。
(数字に○を1つ)

0：まったく満足していない						10：十分に満足している					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

5 放課後の過ごし方についてうかがいます

問13 学校の授業が終わったあと、どこで過ごしますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 1. 家で過ごすことが多い | 2. 家以外の場所で過ごすことが多い ⇒問13-3へ |
|---------------|----------------------------|

→ **【問13で「1」を選択した方のみ】**

問13-1 学校の授業が終わって、家に帰った時、家には誰がいますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 親 | 2. 兄・姉 |
| 3. 弟・妹 | 4. 祖父母 |
| 5. その他 () | 6. 誰もいない ⇒問13-2へ |

⇒問13-1で「6. 誰もいない」に○をつけなかった方は、問14に進んでください

【問13-1で「6」を選択した方のみ】

問13-2 学校の授業が終わって家に誰もいない（一人で過ごす）とき、あなたは不安を感じたりすることがありますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 不安を感じる | 2. どちらかといえば、不安を感じる |
| 3. どちらかといえば、不安を感じない | 4. 不安を感じない |

⇒問13-2を回答した方は、引き続き問14に進んでください

【問13で「2」を選択した方のみ】

問13-3 学校が終わったあと、どのように過ごすことが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. じゅくや習い事 | 2. 部活動 |
| 3. 地域のクラブ活動 | 4. 放課後児童クラブ |
| 5. 児童館 | 6. 学校や図書館などで勉強 |
| 7. 友達の家で遊ぶ | 8. 友達と外で遊ぶ |
| 9. 家の外で一人で過ごす | 10. その他（ ） |

【再びすべての方におたずねします】

問14 家や学校（部活、クラブ活動など含む）以外に、居心地いごこちがいい居場所がありますか。

（○は1つ）

- | |
|--|
| 1. 居心地 <small>いごこち</small> がいい居場所がある |
| 2. 居心地 <small>いごこち</small> のいい居場所がなく、居場所がほしい ⇒問14-2へ |
| 3. 家や学校で十分である（他にはなくてもよい） ⇒問15へ |

【問14で「1」を選択した方のみ】

問14-1 家や学校以外で、居心地いごこちがいい居場所はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 友達の家 |
| 2. じゅくや習い事、地域のクラブ活動の場 |
| 3. 放課後児童クラブ |
| 4. 図書館 |
| 5. 児童館 |
| 6. 公園 |
| 7. 公民館 |
| 8. 祖父母・親せきの家 |
| 9. 子ども食堂 |
| 10. 飲食店（カフェやファストフード店など） |
| 11. 買い物をする施設（ショッピングセンターや本屋など） |
| 12. お金を払って遊ぶ施設（ネットカフェ・カラオケ・ゲームセンターなど） |
| 13. インターネット・SNS・オンラインゲーム上など |
| 14. その他（ ） |

⇒問15に進んでください

【問 14 で「2」を選択した方のみ】

問14-2 家や学校以外で、どのような居場所がほしいと思いますか。いくつでもご自由にお書きください。

【再びすべての方におたずねします】

問15 学校の授業以外での勉強時間（じゅくなどの時間も含む）は、1日あたりどのくらいですか。
(○は1つ)

1. 全くしない
2. 30 分より少ない
3. 30 分以上、1 時間より少ない
4. 1 時間以上、2 時間より少ない
5. 2 時間以上、3 時間より少ない
6. 3 時間以上

【問 15 で「1」を選択した方のみ】

問15-1 学校の授業以外で勉強を全くしない理由は何ですか。(○は1つ)

1. 学校の授業で十分理解しているから
2. 家族の世話や家事などがあるから
3. 習い事、スポーツクラブなどで時間がないから
4. 勉強できる場所がないから
5. 勉強の仕方が分からないから
6. 勉強をする気が起きないから
7. その他（ ）

6 学校での授業や進学のことについてうかがいます

【再びすべての方におたずねします】

問16 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(○は1つ)

1. いつもわかる
2. だいたいわかる
3. 教科によってはわからないことがある
4. わからないことが多い
5. ほとんどわからない

問17 あなたは、将来、どの段階までの学校に進学したいですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|--------------------------------|------------|
| 1. 中学まで | 2. 高校まで | 3. 専門学校まで |
| 4. 5年制の高等専門学校まで | 5. 短大まで | 6. 大学まで |
| 7. 大学院まで | 8. その他（ ） | 9. まだわからない |

【問17で「1」～「8」のいずれかを選択した方のみ】

問17-1 問17の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 希望する学校や職業があるから
2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから
4. 兄・姉がそうしているから
5. まわりの先ばいや友達がそうしているから
6. 家にお金がないと思うから
7. 早く働く必要があるから
8. その他（ ）
9. 特に理由はない

7 生活状況についてうかがいます

【再びすべての方におたずねします】

問18 自分が使うことができる、次のものを持っていますか。また、持っていない場合、それは欲しいですか。（それぞれあてはまる番号1つに○）

項目	持っているかどうか		欲しいかどうか	
	ある	ない	欲しい	欲しくない
① 本（教科書、マンガ以外）	1	2	1	2
② 子ども部屋 （兄弟姉妹と一緒に使っている場合を含む）	1	2	1	2
③ インターネットにつながるパソコン	1	2	1	2
④ 自宅で宿題をすることができる場所	1	2	1	2
⑤ 勉強机	1	2	1	2
⑥ スポーツ用品	1	2	1	2
⑦ ゲーム機	1	2	1	2
⑧ 自転車	1	2	1	2
⑨ おこづかい	1	2	1	2
⑩ 携帯電話、スマートフォン、タブレット端末	1	2	1	2

問19 普段、次のような活動をどのくらいしていますか。（それぞれあてはまる番号1つに○）

項目	毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	週4～5日	週2～3日	週1日	全くしない
① 家族とゲームで遊ぶ、テレビ、youtube などを見る	1	2	3	4	5	6	7
② ひとりでゲームで遊ぶ、テレビ、youtube などを見る	1	2	3	4	5	6	7
③ 読書をする	1	2	3	4	5	6	7
④ 外で遊ぶ	1	2	3	4	5	6	7
⑤ 家事をする （洗濯、掃除、料理、片付けなど）	1	2	3	4	5	6	7
⑥ 兄弟姉妹の世話をする	1	2	3	4	5	6	7
⑦ 家族の介護をする	1	2	3	4	5	6	7

問20 あなたの家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

※ここでいう「お世話」とは、本来は大人が行うような家事(食事の用意や片付け、掃除・洗濯など)や家族の世話などを日常的にすることです

- | | |
|--|------------|
| 1. 父親 | 2. 母親 |
| 3. 祖父母 | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. <small>とくでい</small> 特定の誰かではなく、家族全員の家事を行っている | 6. その他 () |
| 7. 家事や家族のお世話はしていない ⇒問21へ | |

【問20で「1」から「6」のいずれかを選択した方のみ】

問20-1 あなたは、家事や家族のお世話をする中で、やりたいけどできていないことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 学校に行きたくてもいけない |
| 2. どうしても学校を ^{ちこく} 遅刻・早退してしまう |
| 3. 宿題をする時間や勉強する時間がとれない |
| 4. 寝る時間が十分にとれない |
| 5. 友達と遊ぶことができない |
| 6. 部活やじゅく、習い事ができない、またはやめなければならなかった |
| 7. 学校の行事やイベントなどを欠席する |
| 8. 自分の時間がとれない |
| 9. その他 () |
| 10. 特にできていないことはない |

【再びすべての方におたずねします】

問21 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 聞いたことがあります、内容も知っている | 2. 聞いたことはあるが、内容はよく知らない |
| 3. 聞いたことはない | |

※ヤングケアラーとは？

本来、大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に行っていることで、負担を抱える、もしくは、子どもの権利が侵害^{しんがい}されている可能性がある18歳未満の子どものことをいいます。

家族のことを想って、自分ができる範囲で行う「お手伝い」とは、ちょっと違うものになります。



ヤングケアラーについて、もっと詳しく知りたい方はこちら！(いわき市のホームページに移動します)

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケートは、同封していた提出用封筒(児童・生徒用)に入れ、封をしてください。

その後、保護者に記入していただいた調査票と一緒に、大きい封筒(調査票2通と封筒1部が入っていたもの)に入れ、封をし、学校の先生に提出してください。

いわき市 子どもの生活実態調査

中学2年生用

ご記入にあたってのお願い

1. このアンケートは、生徒自身がお答えください。
2. 質問文をよく読み、あてはまる回答の数字に○をつけてください。また、質問によって○をつける数が異なります。注意書きを読んでご記入ください。
3. 答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考え方にできるだけ近いものに○をつけてください。
4. テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
5. 回答したアンケートを、保護者の方に確認する必要はありません。
6. ご記入いただいたアンケートは、同封していた提出用封筒（児童・生徒用）に入れ、封をしてください。
その後、保護者に記入してもらったアンケートと一緒に、大きい封筒（アンケート2通と封筒1部が入っていたもの）に入れ、封をし、令和6年4月26日（金）までに、学校の先生に提出してください。
7. アンケートやいずれの封筒にも、あなたのお名前や住所を記入する必要はありません。回答内容がだれのものか特定されることは一切ありません。

本調査への質問または不明な点がありましたら、下記までお問合せください。



いわき市役所 こどもみらい部こどもみらい課
住所：〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話：0246-22-7483



1 基本的な属性についてうかがいます

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男 2. 女 3. その他・答えたくない

2 あなたの普段の生活習慣や健康状態についてうかがいます

問2 あなたは1週間にどれくらい、食事をしていますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

項目	毎日食べる (週7日)	週5 ～ 6日	週3 ～ 4日	週1 ～ 2日、 ほとんど 食べない
① 朝食	1	2	3	4
② 夕食	1	2	3	4
③ 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4



【問2で「1」以外を選択した方のみ】

問2-1 1週間の食事について、①朝食を食べないことがあると答えた主な理由を1つ教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---|
| 1. 食べる時間がないから | 2. ダイエットをしているから |
| 3. 食べたくないから | 4. 用意してもらえないから |
| 5. 食べるものがないから | 6. その他 () |

問2-2 1週間の食事について、②夕食を食べないことがあると答えた主な理由を1つ教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---|
| 1. 食べる時間がないから | 2. ダイエットをしているから |
| 3. 食べたくないから | 4. 用意してもらえないから |
| 5. 食べるものがないから | 6. その他 () |

問2-3 1週間の食事について、③夏休みや冬休みなどの期間の昼食を食べないことがあると答えた主な理由を1つ教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---|
| 1. 食べる時間がないから | 2. ダイエットをしているから |
| 3. 食べたくないから | 4. 用意してもらえないから |
| 5. 食べるものがないから | 6. その他 () |

【再びすべての方におたずねします】

問3 自分の健康状態についてどう感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|---------|--------|
| 1. よい | 2. まあよい | 3. ふつう |
| 4. あまりよくない | 5. よくない | |

3 家族や友達との関係についてうかがいます

問4 夕食は家族の誰かと一緒に食べていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 毎日一緒に食べている ⇒問5へ | |
| 2. 週の5日以上一緒に食べている | 3. 週の3、4日は一緒に食べている |
| 4. 週の1、2日は一緒に食べている | 5. ほとんど一人で食べている |

【問4で「2」～「5」のいずれかを選択した方のみ】

問4-1 一人でごはんを食べるとき、何をよく食べていますか。特によく食べているものを1つ教えてください。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. スーパー・コンビニなどで買ったもの | 2. 家族が作ったもの |
| 3. 自分で作ったもの | 4. 外食 |
| 5. あまり決まっていない | 6. その他 () |

【再びすべての方におたずねします】

問5 一番仲の良い友達は、どのような友達ですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 学校の友達 | 2. 学校は一緒にでないが、近所に住んでいる友達 |
| 3. 塾や習い事の友達 | 4. 地域のスポーツクラブの友達 |
| 5. SNSなど、インターネットで知り合った友達 | 6. その他の友達 |
| 7. 仲の良い友達はいない | |

問6 小学生になる前に、次のような経験がどれくらいありましたか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

項目	よくあった	あった	あまりなかった	なかった
① 家族に本や絵本を読んでもらったこと	1	2	3	4
② 家族にほめられたこと	1	2	3	4
③ 家族で遊びにでかけたこと	1	2	3	4
④ 家族に公園などで遊んでもらったこと	1	2	3	4

4 あなたが考えていることなどについてうかがいます

問7 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いと思うものを選んでください。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

項目	とても思う	思う	あまり思わない	思わない
① がんばれば、良い結果がでる	1	2	3	4
② 自分は家族に大事にされている	1	2	3	4
③ 不安に感じることはない	1	2	3	4
④ 未来の自分が楽しみ	1	2	3	4

問8 次のようなことにどの程度あてはまりますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

項目	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
① 必要なときには苦手なことにもがんばって取り組むようにしている	1	2	3	4
② 相手の気持ちを考えて話をするようにしている	1	2	3	4
③ 分からないことがあったら、自分からすすんで調べるようにしている	1	2	3	4
④ 身のまわりのことはできるだけ自分でしている	1	2	3	4
⑤ 失敗してもまたがんばろうと思う	1	2	3	4
⑥ 嫌なことがあっても気持ちを切り替えることができる	1	2	3	4

問9 将来の夢はありますか。(○は1つ)

1. ある（具体的に： _____ ）
2. ない

問10 いま悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したいことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1. 家族のこと | 2. 勉強のこと |
| 3. 友達のこと | 4. 進学や将来のこと |
| 5. その他 () | 6. 悩んでいることや心配なこと、困っていることはない |

問11 困った時に相談できる人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 親 | 2. 兄弟姉妹 |
| 3. 祖父母 | 4. 親せき |
| 5. 学校の先生 | 6. 児童館の先生や職員 |
| 7. 近所の人や地域の人 | 8. 塾、習い事、スポーツクラブなどの先生 |
| 9. 友達 | 10. その他 () |
| 11. 特にいない | 12. 誰にも相談したくない |

5 放課後の過ごし方についてうかがいます

問12 学校の授業が終わったあと、どこで過ごしますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 1. 家で過ごすことが多い | 2. 家以外の場所で過ごすことが多い ⇒問12-3へ |
|---------------|----------------------------|

→ **【問12で「1」を選択した方のみ】**

問12-1 学校の授業が終わって、家に帰った時、家には誰かいますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 親 | 2. 兄・姉 |
| 3. 弟・妹 | 4. 祖父母 |
| 5. その他 () | 6. 誰もいない ⇒問12-2へ |

⇒問12-1で「6. 誰もいない」に○をつけなかった方は、問13に進んでください

【問12-1で「6」を選択した方のみ】

問12-2 学校の授業が終わって家に誰もいない（一人で過ごす）とき、あなたは不安を感じたりすることがありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 不安を感じる | 2. どちらかといえば、不安を感じる |
| 3. どちらかといえば、不安を感じない | 4. 不安を感じない |

⇒問12-2を回答した方は、引き続き問13に進んでください

【問12で「2」を選択した方のみ】

問12-3 学校が終わったあと、どのように過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 塾や習い事 | 2. 部活動 |
| 3. 地域のクラブ活動 | 4. 児童館 |
| 5. 学校や図書館などで勉強 | 6. 友達の家で遊ぶ |
| 7. 友達と外で遊ぶ | 8. 家の外で一人で過ごす |
| 9. その他 () | |

【再びすべての方におたずねします】

問13 家や学校(部活、クラブ活動など含む) 以外に、居心地がいい居場所がありますか。

(○は1つ)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 居心地がいい居場所がある |
| 2. 居心地のいい居場所がなく、居場所がほしい ⇒問13-2へ |
| 3. 家や学校で十分である(他にはなくてもよい) ⇒問14へ |

【問13で「1」を選択した方のみ】

問13-1 家や学校 以外で、居心地がいい居場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 友達の家 |
| 2. 塾や習い事、地域のクラブ活動の場 |
| 3. 図書館 |
| 4. 児童館 |
| 5. 公園 |
| 6. 公民館 |
| 7. 祖父母・親せきの家 |
| 8. 子ども食堂 |
| 9. 飲食店(カフェやファストフード店など) |
| 10. 買い物をする施設(ショッピングセンターや本屋など) |
| 11. お金を払って遊ぶ施設(ネットカフェ・カラオケ・ゲームセンターなど) |
| 12. インターネット・SNS・オンラインゲーム上など |
| 13. その他 () |

⇒問14に進んでください

【問 13 で「2」を選択した方のみ】

問13-2 家や学校以外で、どのような居場所がほしいと思いますか。いくつでもご自由にお書きください。

【再びすべての方におたずねします】

問14 学校の授業以外での勉強時間（塾などの時間も含む）は、1日あたりどのくらいですか。

(○は1つ)

1. 全くしない
2. 30 分より少ない
3. 30 分以上、1 時間より少ない
4. 1 時間以上、2 時間より少ない
5. 2 時間以上、3 時間より少ない
6. 3 時間以上

【問 14 で「1」を選択した方のみ】

問14-1 学校の授業以外で勉強を全くしない理由は何ですか。(○は1つ)

1. 学校の授業で十分理解しているから
2. 家族の世話や家事などがあるから
3. 習い事、スポーツクラブなどで時間がないから
4. 勉強できる場所がないから
5. 勉強の仕方が分からないから
6. 勉強をする気が起きないから
7. その他（ ）

6 学校での授業や進学のことについてうかがいます

【再びすべての方におたずねします】

問15 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(○は1つ)

1. いつもわかる
2. だいたいわかる
3. 教科によってはわからないことがある
4. わからないことが多い
5. ほとんどわからない

問16 あなたは、将来、どの段階までの学校に進学したいですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|--------------------------------|------------|
| 1. 中学まで | 2. 高校まで | 3. 専門学校まで |
| 4. 5年制の高等専門学校まで | 5. 短大まで | 6. 大学まで |
| 7. 大学院まで | 8. その他（ ） | 9. まだわからない |

【問 16 で「1」～「8」のいずれかを選択した方のみ】

問16-1 問16の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 希望する学校や職業があるから
2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから
4. 兄・姉がそうしているから
5. まわりの先ばいや友達がそうしているから
6. 家にお金がないと思うから
7. 早く働く必要があるから
8. その他（ ）
9. 特に理由はない

【再びすべての方におたずねします】

問17 あなたは、学校の部活動や地域のスポーツクラブ、文化クラブに参加していますか。

(○は1つ)

1. 参加している ⇒ **問18**へ

2. 参加していない

→ **【問17で「2」を選択した方のみ】**

問17-1 参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 入りたい部活動・クラブがないから
2. 塾や習い事が忙しいから
3. お金がかかるから
4. 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
5. 一緒に入る友達がいないから
6. その他 ()

7 生活状況についてうかがいます

【再びすべての方におたずねします】

問18 自分が使うことができる、次のものを持っていますか。また、持っていない場合、それは欲しいですか。（それぞれあてはまる番号1つに○）

項目	持っているかどうか		欲しいかどうか	
	ある	ない	欲しい	欲しくない
① 本（教科書、マンガ以外）	1	2	1	2
② 子ども部屋 （兄弟姉妹と一緒に使っている場合を含む）	1	2	1	2
③ インターネットにつながるパソコン	1	2	1	2
④ 自宅で宿題をすることができる場所	1	2	1	2
⑤ 勉強机	1	2	1	2
⑥ スポーツ用品	1	2	1	2
⑦ ゲーム機	1	2	1	2
⑧ 自転車	1	2	1	2
⑨ おこづかい	1	2	1	2
⑩ 携帯電話、スマートフォン、タブレット端末	1	2	1	2

問19 普段、次のような活動をどのくらいしていますか。（それぞれあてはまる番号1つに○）

項目	毎日2時間以上	毎日1～2時間	毎日1時間以下	週4～5日	週2～3日	週1日	全くしない
① 家族とゲームで遊ぶ、テレビ、youtube などを見る	1	2	3	4	5	6	7
② ひとりでゲームで遊ぶ、テレビ、youtube などを見る	1	2	3	4	5	6	7
③ 読書をする	1	2	3	4	5	6	7
④ 外で遊ぶ	1	2	3	4	5	6	7
⑤ 家事をする （洗濯、掃除、料理、片付けなど）	1	2	3	4	5	6	7
⑥ 兄弟姉妹の世話をする	1	2	3	4	5	6	7
⑦ 家族の介護をする	1	2	3	4	5	6	7

問20 あなたの家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

※ここでいう「お世話」とは、本来は大人が行うような家事（食事の用意や片付け、掃除・洗濯など）や家族の世話などを日常的にすることです

1. 父親
2. 母親
3. 祖父母
4. 兄弟姉妹
5. とくてい特定の誰かではなく、家族全員の家事を行っている
6. その他 ()
7. 家事や家族のお世話はしていない ⇒問 21 へ

【問 20 で「1」から「6」のいずれかを選択した方のみ】

問20-1 あなたは、家事や家族のお世話をすることで、やりたいけどできていないことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学校に行きたくてもいけない
2. どうしても学校を遅刻・早退してしまう
3. 宿題をする時間や勉強する時間がとれない
4. 寝る時間が十分にとれない
5. 友達と遊ぶことができない
6. 部活や塾、習い事ができない、またはやめなければならなかった
7. 学校の行事やイベントなどを欠席する
8. 自分の時間がとれない
9. その他（ ）
10. 特にできていないことはない

【再びすべての方におたずねします】

問21 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありますか。(○は1つ)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている 2. 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
3. 聞いたことはない

※ヤングケアラーとは？

本来、大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に行っていることで、負担を抱える、もしくは、子どもの権利が侵害されている可能性がある 18 歳未満の子どものことをいいます。

家族のことを想って、自分ができる範囲で行う「お手伝い」とは、ちょっと違うものになります。



ヤングケアラーについて、もっとくわしく知りたい方はこちら！(いわき市のホームページに移動します)

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケートは、同封していた提出用封筒（児童・生徒用）に入れ、封をしてください。

その後、保護者に記入していただいた調査票と一緒に、大きい封筒（調査票2通と封筒1部が入っていたもの）に入れ、封をし、学校の先生に提出してください。

いわき市 子どもの生活実態調査

－調査結果報告書－

発行年月：令和6年12月

発行：いわき市 こどもみらい部 こどもみらい課

〒970-8686 福島県いわき市平字梅本 21 番地

電話 0246-22-7483 FAX 0246-22-7029

調査委託：株式会社サーベイリサーチセンター